文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
南関東ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【南関東ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。
科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「 2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、南関東ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 埼玉学習センター …… 2
- 千葉学習センター …… 43
- 東京文京学習センター …… 105
- 東京足立学習センター …… 189
- 東京多摩学習センター …… 230
- 東京渋谷学習センター …… 269
- 神奈川学習センター …… 270

● 各学習センター案内図 …… 320

【巻末資料】
● 追加登録申請書

科目コード	2690853
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**英語文学の歴史 散文の芸術表現**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定員	40名
担当講師	タケダ　チアキ 武田　ちあき 埼玉大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～12:20 試験･レポート等 12:20～13:05
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
英語文学の歴史を、散文の芸術表現の展開から、広くたどっていきます。
イギリス小説の揺籃期に重心を置き、主要な作品の抜粋を読解しながら、生活文化や社会情勢が芸術の形態や表現に反映し結実していくメカニズムについて、理解を深めます。
中世のカトリック支配から脱し、人間の想像力が解放された16世紀のイギリス・ルネサンスから、大英帝国の海洋発展による中産階級の勃興のもと、その生活文化が小説ジャンルの誕生と百花繚乱をもたらした18世紀の市民社会を経て、英語文学の英国性そのものが問われる20世紀のグローバリズムに至るまでの推移を概観します。
【到達目標】
1．イギリスの生活文化や社会情勢が、さまざまな小説ジャンルの成立に結びつき、それぞれの芸術表現に結実していった歴史的展開を、体系的に理解できるようになる。
2．作品の英語表現の芸術的特徴を指摘し、そこに当時の社会情勢や思潮がどう反映しているかを説明できるようになる。
3．作品の抜粋を、語学的に正確に、かつ、文学的に適切な文体で、日本語に訳せるようになる。
【授業テーマ】
第1回 トマス・モア、『ユートピア』［ルネサンスと想像力の解放］
第2回 ダニエル・デフォー、『ロビンソン・クルーソー』［航海日誌からファンタジーへ］
第3回 ジョナサン・スウィフト、『ガリヴァー旅行記』［諸国見聞録から風刺文学へ］
第4回 サミュエル・リチャードソン、『パメラ』［手紙文例集から書簡体小説へ］
第5回 ローレンス・スターン、『トリストラム・シャンディ』［実験小説・天下の奇書］
第6回 ジェイン・オースティン、『高慢と偏見』［反ロマン主義の家庭小説］
第7回 ジョゼフ・コンラッド、『闇の奥』［コスモポリタンの象徴主義］
第8回 カズオ・イシグロ、『日の名残り』［英国性と伝統の行方］
【学生へのメッセージ】
物語の楽しさはストーリーだけではありません。作品の生産の現場にも様々なドラマがあり、当時の生活や社会が、作品の芸術表現の形に、くっきりと痕跡を残しています。テクストの奥に広がる世界を旅してみましょう。
【受講前の準備学習等】
授業初日に、全回分のテキストをプリント冊子で配付しますので、毎回の内容に、事前に目を通しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞典（電子辞書も可）、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690861
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**韓国語の初歩：会話編**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	キム　スミ 金　秀美 慶應義塾大学非常勤講師
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験･レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
「韓国語の初歩：発音編」を受講した人が望ましいですが、独学などでハングルが読める方なら受講できます。ハングルが読めることを前提で韓国の文化のことも交えながら様々な場面で韓国語の文を使って簡単な会話の練習をします。会話の授業ですのでペアワークやグループワークも活発的に行います。
【到達目標】
韓国語での基本表現を身に付けて、数字の練習などをしっかりと行い、自己紹介することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 挨拶と自己紹介
第2回 買い物と値段
第3回 場所
第4回 時間と誕生日
第5回 好きなもの（こと）
第6回 希望・願望
第7回 様々な注文
第8回 ロールプレイ及びまとめ
【学生へのメッセージ】
ハングルが読めることが前提です。流暢に話す必要はありません。とにかく、授業開始までハングルは読めるようにしてきてください。韓国語で自分が言いたいこと、相手の話していることを聞き取り、通じ合える楽しみを味わってみましょう。ペアワークなどでは積極的に行いましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習（ハングルが読める練習）に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験（筆記、口述）の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690888
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**ベトナム語の初歩：文字と発音編**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	オガワ　ユウコ 小川　有子 拓殖大学非常勤講師
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
日本と深い関係にあるベトナムについて、私達はどれほどの事を知っているでしょうか。この授業では、ベトナム語の基礎を学びながら、ベトナムと日本との関わりについて共に考えます。ベトナム語は文法がシンプルで文字がアルファベットである上、漢語の語彙が多く日本人には学びやすい言語です。この授業がアジアの一地域への理解を深める機会になればと思います。
【到達目標】
・ベトナム語の記号の意味を理解できるようになる。
・記号がついた文字の音の違いについて理解し、それに基づいていくつかの会話文を発音できるようになる。
・定型文に人称代名詞を用いることができるようになる。
・ベトナム語の文字の変遷の歴史的背景を学び、それぞれを区別できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ベトナム語はどんな言葉？／簡単な文字・大切な発音／文字の歴史
第2回「こんにちは」／人間関係を体現する人称代名詞
第3回「私の名前は～です。」／日越関係①
第4回「ありがとう」／練習と初日のまとめ／日越関係②
第5回「お元気ですか。」／練習と初日の復習
第6回 ベトナム語を聞いてみましょう／ベトナムの映画
第7回 ベトナム語を読んでみましょう／ベトナムの歌／年中行事
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
授業では、発音練習、会話練習、ペア／グループワークを多く行うため、大きな声で積極的に参加することが望まれます。
担当している「ベトナム語の初歩」シリーズには、文字と発音編・文化編・会話編・読解編・読解編２があります。他の講座が未受講でも無理なく、受講済みでも新しく学べる内容になっています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験（筆記）の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・現代ベトナムを知るための60章［第2版］（今井昭夫・岩井美佐紀（編著）／明石書店／¥2,200／ISBN=9784750336893）
公立図書館等にも配架されています。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690870
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**モチベーションで高める英語力**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定員	20名
担当講師	ヴァイ・ステイシー　ルイーズ Vye,Stacey　Louise 埼玉大学教授
日程 実施時間	11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は英語で行います。英語で初級～中級レベルの日常会話ができる方を対象としています。
This course will help you develop your awareness of the motivation for how languages are learned. This includes learning a second or more languages, as you will learn more about the motivational self system developed by Zoltán Dörnyei. This motivational system comprises language-learning experiences, studies that the learner feels they ought to do, and their ideal new language identity. Through reading assignments, viewings, and in-class discussions about motivation and its relation to language, participants will have a greater ability to communicate effectively in English at an advanced beginner to intermediate level.
【到達目標】
At the end of the course, participants are expected to give a short presentation on an aspect of their language learning experiences, motivation, and future language visions that they would like to share with the class in English.
【授業テーマ】
第1回 The Language Learning Motivational Self System: Reading, Lecture, Comprehension and Individual Qs
第2回 Defining and Disscussing the Motivation to Learn Languages: Reading, Lecture, Viewing, Discussion and Activities
第3回 Motivation and Language Learning Experiences: Viewing, Comprehension Qs, Discussions, and Activities
第4回 The Ought-to Selves and Language Learning Attitudes: Viewing, Comprehension Qs, Discussions, and Activities
第5回 Balancing the Ought-to Self and the Motivation to Learn: Reading, Viewing, Comprehension Qs, Discussions, and Activities
第6回 The Vision of Future Langauge Learning and Ideal Selves: Viewing, Comprehension Qs, Discussions, and Activities
第7回 Preparations for Final Presentation
第8回 Final Presentations
【学生へのメッセージ】
This course is for students who can carry out beginning to intermediate daily conversation in English, develop the ability to discuss topics about foreign language motivation further, and build basic presentation skills. You do not need to understand all of the readings and the viewings. The main point is to understand the general ideas and be able to share your thoughts and opinions in basic English with other participants.
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
The material for this course will be available at "https://staceyvye.com/english-learning-resources/" from September 2026. To get the most benefit from the course, you study the materials before the first day of class. It is also highly recommended that those unsure of their English level review the materials before the course starts.
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内での学習状況、主体的な取り組み、Final Presentationの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞書（紙、電子は問わない）、ご自分で使いやすい学習道具（ノートアプリ等のデジタルツールでも構いません。タブレット等の端末を持参する場合は、講義室での電源確保が難しいため、ご自宅で十分な充電をお願いします。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690896	**授業概要**	**【授業内容】** 人は健康状態の悪化（加齢、障害、慢性疾患）や生活の変化（家族構成の変化、転居、被災等）によって、日課を失ったり日々の作業が困難になると、自分への信頼や生活意欲を失う恐れがあります。作業療法というリハビリテーションは、個人の重要な日課や作業が再び可能となることを目指します。本講では、国際的に人の作業に焦点を当てた実践モデルとして著名な「人間作業モデル」の入門を演習や事例を通じて学びます。筆者らは、全国各地で高齢者が人間作業モデルを学び、生活を見直し、健康増進に役立てる「65歳大学」という研究事業を行っています。受講生にも人間作業モデルの各評価表を各自付けてもらい、受講生同士で話し合いをしていただく演習を行います。 **【到達目標】** 人間作業モデルによる人の作業の捉え方を理解できる。／演習を通じて自身の作業の状態を捉えることができる。／保健医療介護福祉等の対人支援領域で人間作業モデルの考え方を活かす方法を考えることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 人間作業モデルとは－現代日本で生きることと人の作業 第2回 作業の基本的概念、人の作業のダイナミクス 第3回 人の意志の捉え方と障がいの影響 第4回 人の習慣の特性と障がいの影響、遂行能力、自身の身体を生きること 第5回 環境と作業－作業を行うのに適した環境とは 第6回 人が有能性を高めたり作業の状態に満足できる状態とは 第7回 人の作業発達や作業による変化 第8回 高齢者の健康で張り合いのある自分らしい暮らしづくりの実践 **【学生へのメッセージ】** 各時間の授業の中で、自分の作業や人生を振り返るワークを行います。演習を通して、自身の作業の状態を見直してください。また、保健医療介護福祉などの領域で対人支援をしている方に役立つ考え方も紹介します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。
学習センター	埼玉学習センター		
学習センターコード	11A		
クラスコード	K		
科目名	**人生再発見の 人間作業モデル入門**		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	コバヤシ　コウジ 小林　幸治 目白大学教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35		
実施会場	埼玉学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690900
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**発達性ディスレクシアを理解する**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ゴトウ　タカシ 後藤　多可志 目白大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
発達性ディスレクシア（発達性読み書き障害）とは、おもに就学期前後に明らかになる発達障害の一種で、知能や聴いて理解する力、発話で相手に自分の考えを伝えることには問題がないとしても読み書きの能力だけに困難を示す障害のことを言います。
本講義では、発達性ディスレクシアの定義・症状・評価法・指導法・支援法と、発達性ディスレクシアに関する様々なことを、まるっとくるっとドカンとお話します。
【到達目標】
発達性ディスレクシアの定義・症状・評価法・指導法・支援法がおおまかに理解できる。
【授業テーマ】
第1回 発達性ディスレクシアの定義を学ぶ
第2回 発達性ディスレクシアの出現率、読み書きの特徴を学ぶ
第3回 発達性ディスレクシアの原因仮説、生物学的背景を学ぶ
第4回 発達性ディスレクシアの評価法を学ぶ
第5回 発達性ディスレクシアの指導法を学ぶ
第6回 発達性ディスレクシアの支援法（合理的配慮含む）を学ぶ
第7回 発達性ディスレクシアのある児童について／症例提示
第8回 授業のまとめ
【学生へのメッセージ】
分からないことがあったら、遠慮せずに質問してください。講義中でもまったく構いません。1人が感じた「分からない」は、大抵の場合、みんなも「分からない」と感じています。みんなで「分かった」を共有しましょう。
※特定の個人を想定した質問にはお答えできません。ご了承ください。
【受講前の準備学習等】
発達性ディスレクシア研究会が作成したファクトシート（PDFファイル）を下記URL先からダウンロードして、事前に読んでおいてください。講義の内容が分かりやすくなります。
https://square.umin.ac.jp/dyslexia/factsheet.html
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
「寝ないで最後まで授業を受けよう、そしてたくさん質問して講師を困らせてやろう」という強い意志。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・言語発達障害（クリア言語聴覚療法4）（内山千鶴子・後藤多可志（編著）／建帛社／¥3,520／ISBN=9784767945545）
あくまで「参考書」であり、当日の授業では使用しません。 ただ、発達性ディスレクシアも含め、言語発達障害全般について分かりやすく整理した（つもりの）本ですので、興味のある方はぜひ手にしてみてください。講義当日も1冊サンプルで持っていきます。ご覧になりたい方は声をかけてください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690918
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**若者と社会**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ニノミヤ　ユウ 二宮　祐 群馬大学准教授／ 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
若者が考察の対象として固有の価値を持つとされるようになって数十年が経過しました。ある時期から、成人に至る過渡期としての「青年」ではなく、独自の文化を持つ「若者」に焦点が絞られて研究が進められるようになりました。現代の若者が置かれている状況や日々考えていること、若者ではない他者から述べられていることについて社会学などの分野の概念装置を通して検討します。

【到達目標】
・社会学とその隣接領域の学問分野の専門用語を理解したうえで、現代の若者に関する論点を提起できるようになる。
・若者に関する個別の具体的なテーマについて理解するとともに、それぞれのテーマに共通する論点を捉えられるようになる。

【授業テーマ】
第1回 中学・高校での友だち付き合い
第2回 教室における同調圧力
第3回 恋愛と結婚
第4回 自傷行為
第5回 大学生論
第6回 ジモトで生きること
第7回 政治意識とシティズンシップ
第8回 社会の中の若者

【学生へのメッセージ】
この講義では「あたりまえ」のことを疑うという姿勢を必要とします。そのためには、私たちが日常使っている言葉の体系から脱却しなければなりません。学問固有の言葉を理解したうえで、使いこなせるようになりましょう。

【受講前の準備学習等】
「年齢効果」、「時代効果」、「コーホート効果」のそれぞれをインターネットで検索して、意味を確認しておいてください。そのうえで、それら３つの「効果」の事例を挙げてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・大学生からみるライフコースの社会学（中西啓喜ほか／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=9784623097807）
・「最近の大学生」の社会学―2020年代学生文化としての再帰的ライフスタイル（小川豊ほか／ナカニシヤ出版／¥2,970／ISBN=9784779517679）
・見過ごされた貧困世帯の「ひきこもり」（原未来／大月書店／¥3,300／ISBN=9784272331048）
・〈ヤンチャな子ら〉のエスノグラフィー―ヤンキーの生活世界を描き出す（知念渉／青弓社／¥2,640／ISBN=9784787234452）
・若者の権利と若者政策（宮本みち子・末冨芳・秋田喜代美／明石書店／¥2,970／ISBN=9784750356594）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
・この「若者と社会」のシラバスでは複数の「参考書」を紹介しています。「参考書」は「教科書」ではありませんので、授業中には使用しません。
・一部の時間帯で若者による街頭デモの映像を紹介します。苦手な場合は配慮しますので申し出てください。

科目コード	2690926
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**戦争とは何か、 平和とは何か**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	60名
担当講師	イシヅ　トモユキ 石津　朋之 防衛研究所戦史研究センター主任研究官
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
この講義は、戦争と平和という人類が営む大きな社会的な事象を歴史的かつ理論的に考察することにより、戦争と社会の関係性、さらには平和の意味するところや平和を構築するための手掛かりなどについて、理解することを目的としています。
講義では、戦争と世界観、戦争と宗教、戦争と社会の関係性、戦争と文化交流、「時代精神」としての平和、さらには、日本の戦争観及び平和観などを大きな歴史的文脈の下で概観することにより、戦争とは何か、そして、平和とは何かについて考えます。

【到達目標】
戦争、そして平和の意味するところについて、歴史的な事例を踏まえた上で、自ら説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 戦争とは何か
第2回 平和とは何か
第3回 戦争と世界観：古代ギリシア・ローマから今日のアメリカまで
第4回 戦争と宗教：中世ヨーロッパの十字軍を中心に
第5回 戦争と社会：「総力戦」と社会の変化
第6回「時代精神」としての平和：戦争は抑え込めるか
第7回 戦争と文化交流：シルクロードと万里の長城を事例として
第8回 日本の戦争観と平和観：朝鮮半島への関与を通じて

【学生へのメッセージ】
戦争と平和をめぐる問題に少しでも関心を有する方、とりわけ宗教が果たす役割について関心を有する方であれば、誰でも大歓迎であり、特別な専門知識は必要ありません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、教科書を中心に自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
世界地図があると便利です。教科書もお持ちください。

【教科書】
・戦争学原論（石津朋之／筑摩書房／¥1,980／ISBN=9784480015686）
電子書籍もご活用ください。

【参考書】
・大戦略の思想家たち（石津朋之／日経BP／¥1,100／ISBN=9784296115723）
電子書籍も利用してください。
・新時代「戦争論」（マーティン・ファン・クレフェルト／原書房／¥2,860／ISBN=9784562055753）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690934
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**ジェンダーと社会**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ワタナベ　ダイスケ 渡辺　大輔 埼玉大学教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
ジェンダーやセクシュアリティをめぐる現代社会の諸問題を教育、メディア、労働、育児、暴力などの側面から考えていきます。
それを通して、「個人的なことは政治的である」というフェミニズムのスローガンの意味を、自分の生活に沿って考えていきます。
自分の「常識」「当たり前」を問い直し、自分の身近なできごとや関係性、自分たちが生きる社会の制度、世界にある問題を発見し、それへの解決策などを考えてみましょう。
本科目では、「教育」「身体」「子育て」を中心に扱います。
【到達目標】
「個人的なことは政治的である」というフェミニズムのスローガンの意味を、自分の生活に沿って説明できるようになる。
自分の「常識」「当たり前」を問い直し、自分の身近なできごとや関係性、自分たちが生きる社会の制度、世界にある問題を発見し、ジェンダー平等を基にして解決策などを考案することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回「ジェンダー」「フェミニズム」ってなに？
第2回 ジェンダーと教育
第3回 ジェンダーと身体・表象
第4回 データでみる「男女共同参画社会」
第5回 ワークライフバランスってなに？
第6回 イクメンってなに？
第7回 ジェンダーと暴力
第8回 平等と権利のための包括的性教育
【学生へのメッセージ】
「個人的なことは政治的である」というフェミニズムのスローガンの意味を実感として理解するために、積極的な参加を期待しています。受講者同士のディスカッションの機会も取り入れる予定です。
本科目で中心的に扱うのは「教育」「身体」「子育て」ですが、「災害」「暴力」「労働」「ケア」などのテーマに関心のある方は、瀬山紀子先生の「現代社会とジェンダー」の受講もご検討ください。
【受講前の準備学習等】
下記の参考書を読み進めるなど、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・はじめてのジェンダー論　改訂版（加藤秀一／有斐閣ストゥディア／¥2,090／ISBN=9784641151413）
・はじめて学ぶＬＧＢＴ　基礎からトレンドまで（石田仁／ナツメ社／¥1,760／ISBN=9784816365829）
・性の多様性ってなんだろう？（渡辺大輔／平凡社／¥1,540／ISBN=9784582837803）
・国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】（ユネスコ／明石書店／¥2,860／ISBN=9784750350486）
・図解雑学シリーズ ジェンダー（加藤秀一、石田仁、海老原暁子／ナツメ社／¥1,430／ISBN=9784816339028）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690942
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**やさしいマーケティング**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ハマナカ　マサト 濵中　眞人 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
マーケティングをより身近なものにするために、わかりやすく、事例を多く取り上げています。マーケティングに慣れた方より初めての方を対象にしています。
【到達目標】
マーケティングをより身近なものとして捉え、学生の日常の購買活動で、多くのマーケティングが利用されていることに気が付くことができる。
【授業テーマ】
第1回 マーケティングとは（1）
第2回 マーケティングとは（2）
第3回 日本とマーケティング（1）
第4回 日本とマーケティング（2）
第5回 マーケティング戦略とは（1）
第6回 マーケティング戦略とは（2）
第7回 実戦のマーケティング（1）
第8回 実戦のマーケティング（2）
【学生へのメッセージ】
授業を通じて、マーケティングが身近になり、また、普段の生活の中でもマーケティングに興味をもち、意識するようになってほしいと思います。後日、レポートの提出をお願いします。レポートには①授業の中で印象に残ったこと②それに対する自分の意見・感想を書いてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690950
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**初心者のための資産形成**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	ムラマツ　ユウコ 村松　祐子 放送大学非常勤講師／FPコスモス代表
日程 実施時間	11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
資産運用は、個人の人生設計を豊かにするための重要な手段であり、社会や経済の発展にも寄与します。また、適切な知識を持つことで、投資詐欺を防ぐことにもつながります。本講義では、以下のポイントについてわかりやすく解説します。
投資と社会のつながり、金融商品の仕組みとリスクを理解することで、リスクへの対応策を取りながら自分に合った投資方法を学ぶことができます。
資産形成を支援する制度についても触れ、これらを活用することで、より効率的な資産づくりを習得します。
この講義を通じて、資産運用や証券投資の基礎知識を身につけ、より豊かな人生を実現するための具体的な方法を理解していただければと思います。
【到達目標】
資産運用の手段やリスク管理の重要性を理解し、将来のライフプランを実現するための基盤の築き方を習得できる。具体的な投資手法を学び、自分に合った投資スタイルを見つけることができる。投資を学ぶことで、経済や市場の動向を理解する力が養われ、これにより、投資判断を行う際に必要な情報を適切に分析し、判断する能力を向上させることができる。
【授業テーマ】
第1回 資産運用の考え方　　投資と社会のつながり
第2回 金融商品のしくみとリスク
第3回 人生を楽しくする推し株の探し方①
第4回 人生を楽しくする推し株の探し方②
第5回 わかりやすい債券投資
第6回 投資信託　自分で選ぶ方法を知る
第7回 資産形成支援制度の活用法
第8回 金融商品を選んでみよう～　自分にあったポートフォリオを考える
【学生へのメッセージ】
本講義を通して、資産運用や証券投資に興味を持っていただくとともに、正しい知識を身に付け、皆さんをはじめご家族やお知り合いの方々のこれからの生活に役立てていただきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
金融や経済に関するニュース等に関心を持って、情報を取り入れておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新NISA成長投資枠でお金を増やす（村松祐子／河出書房新社／¥1,650）
・私の財産告白（本多静六／実業之日本社文庫／¥770）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
中立・公正な立場で活動しており、個別の金融商品の勧誘等は行いません。
金融リテラシーの向上を目的としており、投資勧誘を意図するものではありません。

科目コード	2690969
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**社会生活と民法・改正**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	210
定員	40名
担当講師	ヤマザキ　ユウイチロウ 山﨑　雄一郎 みとしろ法律事務所代表弁護士
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
身の回りで起きそうな、財産や家族を巡るトラブルや事故などの具体的な紛争事例を通じて、民法がどのような紛争解決の指針を用意しているのかを学んでいきます。特に、財産分野・家族分野で2019年から2024年にかけて施行された改正法によって、より明確化された解決指針を解説します。
そして、その事例の当事者の立場から、どのような手続を使って解決を図るのか、その手続で果たして、紛争が起こる前の状態あるいは本当に自分の満足いく結果が導けるのかを考えていきます。

【到達目標】
身の回りで起こりそうな紛争を念頭におきながら具体的な法的解決の道筋を考えることで、民法の体系と基礎的な概念を習得できる。

【授業テーマ】
第1回 通信・クレジットカード・ホテルの約款に変な規定があったら
第2回 買ったもの、作ってもらったものに欠陥があったら
第3回 知り合いの借金をかぶらないために
第4回 大家と店子で、もめないルール
第5回 交通事故の加害者・被害者になってしまったら
第6回 離婚したいが、相手が応じてくれない場合にどうしたらよいか
第7回「争族」を避ける遺言と「争族」を終わらせる遺産分割のやり方
第8回 後見（保佐・補助）制度の仕組みと利用の仕方

【学生へのメッセージ】
民法を学んで、トラブルに巻き込まれないための「転ばぬ先の杖」を身につけましょう。もし、トラブルに巻き込まれても、より早く、より傷を浅くするにはどうしたら良いかを考える力をつけましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
六法またはウェブサイトの閲覧で、民法の条文が見られる状態にすること（講義室での電源確保が難しいため、PC等持参の場合はご自宅で十分な充電をお願いします。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください）。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ポケット六法　令和８年版（森田宏樹・小泉直樹・石川健治（編集代表）／有斐閣／¥2,530／ISBN=9784641009264）
　なお、デイリー六法（令和８年版）／長谷部由起子（編集代表）／三省堂／￥2,530／ISBN=9784385158822でも良い。
・民法（全）第3版補訂版（潮見佳男（著）、長野史寛・下村信江・冷水登紀代（補訂）／有斐閣／¥5,060／ISBN=9784641233461）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690977
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**埼玉の街道 ー中山道と日光道中**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	スギヤマ　マサシ 杉山　正司 元埼玉県立文書館館長 サネマツ　ユキオ 實松　幸男 春日部市教育委員会文化財課長／ 春日部市郷土資料館館長
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:10 第４時限　15:25～16:55 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05
実施会場	この授業は、【10月18日（日）1～3時限、10月24日（土）は埼玉学習センター。10月18日（日）4時限は★さいたま市立博物館（さいたま市大宮区高鼻町2-1-2)、10月25日（日）は★草加市立歴史民俗資料館（埼玉県草加市住吉1-11-29)、及び草加宿】で行います。

授業概要

【授業内容】
埼玉県内には、江戸時代の五街道のうち、中山道と日光道中（奥州道中）という２つのルートが通っていました。この道をさまざまな人びとが通行し、旅人の宿泊・休憩地であった宿場町は地域の中心として栄えました。本講義では、県内の中山道・日光道中と宿場町について、江戸時代の交通システムや旅人の姿を交えながら話します。また、現地研修として現地散策や博物館・資料館の見学を行います。
【到達目標】
埼玉県の交通史について、江戸時代の中山道と日光道中（奥州道中）の成り立ちと特徴を理解し、現地見学を踏まえて実感しながら、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 江戸時代の交通政策～五街道と脇往還～（杉山）
第2回 中山道～街道・宿場・旅人～（杉山）
第3回 街道から鉄道へ～中山道と日本鉄道～（杉山）
第4回 大宮宿を歩く（杉山）
第5回 日光道中の成立と概要（實松）
第6回 日光道中を通った人々（實松）
第7回 草加市立歴史民俗資料館見学（實松）
第8回 草加宿を歩く（實松）
【学生へのメッセージ】
埼玉の街道について、江戸時代の交通制度と旅の様相、近代の変化などを理解しながら、学んで欲しいと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。埼玉県の地理、例えば国道17号と国道4号沿いの自治体名や駅名、荒川、元荒川、利根川、古利根川、中川（庄内古川)、江戸川などの大小河川と流路、台地と低地などの地形、旧宿場名などを事前学習しておくと、授業理解に役立ちます。
【成績評価の方法】
成績評価は、第3回の授業終了後に実施する小テストの評点、及びフィールドワークへの主体的な取り組み等の授業中の学習状況を総合的に判断して行います。

【受講者が当日用意するもの】
フィールドワークでは動きやすい服装・靴・雨具など
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・宿場と街道　五街道入門（児玉幸多／東京美術／¥1,495／ISBN=9784808703530）
現在入手困難なため、公共図書館での利用または古書サイトからの入手となります。
・日光街道繁昌記（本間清利／埼玉新聞社／¥1,100）
ASIN=B000J86RFA　現在入手困難なため、公共図書館での利用または古書サイトからの入手となります。
・埼玉ふるさと散歩　日光道・古利根流域編（秋葉一男（編）／さきたま出版会／¥1,500／ISBN=9784878910777）
現在入手困難なため、公共図書館での利用または古書サイトからの入手となります。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学外で行う授業の際には、動きやすい靴や服装で出席してください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。

科目コード	2690985
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**倫理的ジレンマと向き合おう**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ヨチ　ヒロシ 余地　寛 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:00 試験・レポート等　17:00～17:20 10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:55 試験・レポート等　16:55～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
限られた資源（稀少性）の配分の観点から、正義、公平性、公共性を考えていきます。社会的な問題の原因の多くは、限られた資源の配分（resource allocation）と多様性（diversity）から生じます。このような問題を見定め、ルールを創設し、問題解決していくのに、経済倫理学の考え方が役に立つかもしれません。本授業では、社会的意思決定が必要で、ジレンマを含む、正解がなさそうな問題（経済成長か脱成長か、AIによる自動運転、バイオサイエンスなど。これらの問題については、学生同士のディスカッションによって進めていきます。なお、教員の説明時にも、随時、意見を出していただき、ディスカッションで展開していきます。）に取り組むことで、ご自身の考え方を明確にしていきます。

【到達目標】
大学生として、ふさわしい基礎的知識や社会的・歴史的常識を整理して把握し、それを基にして、喫緊の現実的な問題の所在を明確にし、それについての自身の見解を展開し、なおかつ、他の社会的配慮を考え合わせながら、その問題の当事者が満足するような解決に近づけることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 倫理問題の原因としての資源の有限性・稀少性
第2回 正義についての基本的な考え方：功利主義、リベラリズム、コミュニタリアニズム（思考実験で内容を深める）
第3回 倫理・道徳・ルール・法：内面的な倫理と外面的なルール
第4回 伝統的な問題解決法（交換の正義（目には目を、歯には歯を）、分配の正義（再配分、累進課税））
第5回 ルール（市場メカニズムの導入）によって、道徳や思いやりが消えてしまう
第6回 社会的ジレンマ（協力をすると損をする）・共有地の悲劇
第7回 インセンティブ（政策的な誘導）・行動経済学・合意形成・交渉学（Win-Win交渉）
第8回 幸福とは、幸福度（well-being）、豊かさ、アナキスト人類学、宇沢弘文の社会的共通資本、オルテガ、渋沢栄一

【学生へのメッセージ】
皆さんは、人生や日々の生活で、いろいろな問題に直面し、問題を解決していきます。どれにも当てはまる解決法というものはありません。一つひとつの解決が皆さんの創造的活動なのです。

【受講前の準備学習等】
高等学校等で学んだ「倫理」について、特に、正義ということを復習しておいてください。また、「世界史」における社会思想の流れについても、把握しておくことが望ましいです。そして、受講前に、皆さんは、身近なところで、現代における、どのような危機に直面しているかについて、振り返っておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習への取り組み及びレポートの評点により行います。なお、成績評価のためのレポート提出は第4回と第8回の授業終了後の計2回となります。第4回のレポートのみ、コメントを入れたもののコピーをとって、それを返却し、フィードバックとします。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・はずれ者が進化をつくるー生き物をめぐる個性の秘密（ちくまプリマー新書353）（稲垣栄洋／筑摩書房／¥990／ISBN=9784480683793）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690993
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**初めての源氏物語 ー玉鬘巻まで**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	スズキ　タカコ 鈴木　貴子 日本女子大学学術研究員
日程 実施時間	10月31日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月7日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月14日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
『源氏物語』は、平安時代に成立した長編の物語文学です。今もなお私たちの心を惹きつけてやまないこの物語の魅力は、どのような点にあるのでしょうか。本授業では、『源氏物語』の構成とともに桐壺巻から澪標巻に至るまでの内容を確認した上で、蓬生巻から玉鬘巻に描かれる場面を中心に考察します。
流離を経て都に呼び戻された光源氏が復帰し、栄華への道を歩みはじめる過程を、皆さんとともに探っていきたいと思います。

【到達目標】
『源氏物語』の構成を理解することができる。光源氏が明石の君から明石の姫君を引き取り、紫の上に養育させることにした理由を説明することができる。藤壺の崩御を理解し、夜居の僧都が冷泉帝に出生の秘密を打ち明けることにした理由を説明することができる。

【授業テーマ】
第1回『源氏物語』の概説
第2回『源氏物語』蓬生巻ー末摘花との再会ー
第3回『源氏物語』絵合巻ー権力争いー
第4回『源氏物語』薄雲巻①ー母と子の別れー
第5回『源氏物語』薄雲巻②ー明かされた真実ー
第6回『源氏物語』朝顔巻ー亡き藤壺の夢ー
第7回『源氏物語』玉鬘巻①ーさすらう女君ー
第8回『源氏物語』玉鬘巻②ー贈られる衣ー

【学生へのメッセージ】
今まで『源氏物語』に触れる機会がなかったかたにも、親しみを感じていただけるような授業にしていきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
『源氏物語』玉鬘巻に至るまでの物語の展開を確認し、主な登場人物に関して調べておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具をご用意ください。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・源氏物語ハンドブック（鈴木日出男（編）／三省堂／¥1,980／ISBN=9784385410340）
・紫式部　源氏物語　NHK「100分de名著」ブックス（三田村雅子／NHK出版／¥1,100／ISBN=9784140816752）
授業では、プリントを使用します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691000
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**セクシュアリティと社会**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ワタナベ　ダイスケ 渡辺　大輔 埼玉大学教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
「セクシュアリティ」という概念の理解を深めるとともに、セクシュアリティをめぐる社会的課題を探求します。
私たちの性（セクシュアリティ）とはどのようなものなのか、社会の中でどのように扱われているのか､そこにはどのような問題があるのか、といったことをさまざまな角度から探りながら、私たちの性（セクシュアリティ）を大切にする社会について考えていきます。
【到達目標】
私たちの性（セクシュアリティ）とはどのようなものなのか説明できるようになる。セクシュアリティをめぐる社会的問題を的確に把握し、セクシュアリティ平等を基にして解決策を考案できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 セクシュアリティと「性の多様性」
第2回 セクシュアリティをめぐるアイデンティティのポリティクス
第3回 人権と「LGBT市場」を考える
第4回 優生思想とセクシュアリティ
第5回 婚姻の平等
第6回 セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツと社会の課題
第7回 絵本で学ぶセクシュアリティ
第8回 これからのセクシュアリティ教育のキーワード
【学生へのメッセージ】
この授業ではテーマに則して「性的」なものも扱います。ご了承ください。
また、授業内で受講者同士のディスカッションの機会を取り入れる予定です。
【受講前の準備学習等】
下記の参考書を読み進めるなど、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
本授業の内容をより深く理解するために前週の授業「ジェンダーと社会」の受講もお勧めします。もちろんこの授業のみの受講でも理解を深められます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・はじめて学ぶLGBT　基礎からトレンドまで（石田仁／ナツメ社／¥1,760／ISBN=9784816365829）
・LGBTを読みとく　―クィア・スタディーズ入門（森山至貴／筑摩書房（ちくま新書）／¥968／ISBN=9784480069436）
・季刊セクシュアリティ、103号（2021年10月号）（一般社団法人“人間と性”教育研究協議会／エイデル研究所／¥1,650／ISBN=4910128391019）
特集：包括的性教育をすすめるためのキーワード63
・国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】（ユネスコ／明石書店／¥2,860／ISBN=9784750350486）
・クィア・アクティビズム　はじめて学ぶ〈クィア・スタディーズ〉のために（新ヶ江章友／花伝社／¥1,980／ISBN=9784763420022）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691019
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**日本語の誤用分析**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	カナイ　ハヤト 金井　勇人 埼玉大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は「誤用分析」を通して行う日本語の「文法」の授業です。毎回、日本語学習者が書いた「誤用を含む作文」を資料に、「なぜ、そのような誤用が生じるのか？」「どうすれば、そのような誤用が生じないのか？」という観点から、「文法」の問題を中心に議論をしていきます。最終的な目標は、このような作業を通して日本語の「文法」についての理解を深めることです。したがって「文法」に興味がある方の受講を歓迎いたします。
【到達目標】
日本語の文法を（他言語とも対照しながら）分析することによって、「日本語とはどのような個性を持つ言語であるのか」を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 言語の類型、対照分析と誤用分析、旧情報と新情報、etc.
第2回 情報の既知と未知、単数と複数の表し方、etc.
第3回 進行と結果残存、敬語（の５分類）、etc.
第4回 テンス（時制）とアスペクト（相）、指示詞、etc.
第5回 授受表現（やりもらい）、動詞の自他、etc.
第6回 曖昧表現、ら抜き／さ入れ／れ足す／だ抜き言葉、etc.
第7回 排他と対比、単文と複文、etc.
第8回 格助詞、etc.
【学生へのメッセージ】
昨今の「ら抜き」言葉は、これを是とする人と非とする人に分かれます。これは文法が個々人の感性に負う部分も大きいということの証左です。従って本授業では、各自がどう考えるか、活発な意見交換を期待いたします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・伝わる文章の裏ワザ・表ワザ（金井勇人／経団連出版／¥1,760／ISBN=9784818519497）
本書は日本語母語話者の「文法と文章」について論じたものです。学習者の「文法と文章」について講義する本授業とは、日本語母語話者と学習者という違いはありますが、本質的なところは同じです。本授業を受講するにあたって本書は必読ではありませんが、本授業の内容を補強するものになると思います。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691027
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**埼玉の民俗 ～無形文化遺産**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	セキ　タカオ 関　孝夫 立正大学非常勤講師 ヤジマ　マサユキ 矢嶋　正幸 埼玉県立川の博物館学芸員
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
民俗文化財の中で、ユネスコの無形文化遺産への登録が進んでいます。埼玉県内では、すでに「山鉾屋台行事」の構成要素として川越祭と秩父祭が登録されました。現在では、「神楽」の登録に向けて提案が行われており、県内では鷲宮催馬楽神楽や玉敷神楽が構成要素となっています。一方で、「風流踊」も無形文化遺産に登録されていますが、県内の代表的な風流踊・三匹獅子舞は構成要素に含まれていません。
この講義では、世代から世代に伝承し、絶えず再現され、文化の多様性や創造性を尊重する無形文化遺産の趣旨を検証し、埼玉の無形民俗文化財をとおして、個別の「無形文化遺産」の歴史や文化的な特徴を考えていきます。
【到達目標】
身近にある埼玉の無形文化遺産・無形民俗文化財について理解を深め、その事象について自らの視点に基づき、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 無形文化遺産とは何か　～定義とその成り立ち（関）
第2回 風流踊と埼玉　～県内の風流踊・三匹獅子舞（関）
第3回 神楽と埼玉１（矢嶋）
第4回 神楽と埼玉２（矢嶋）
第5回 山鉾屋台行事とは（関）
第6回 秩父祭　～笠鉾と屋台のまつり（関）
第7回 川越祭　～江戸型山車のまつり（関）
第8回 県内各地の山鉾屋台行事　～熊谷うちわ祭り、久喜の提燈祭りなど（関）
【学生へのメッセージ】
授業では、映像資料等を活用して、埼玉県の祭礼や民俗芸能について、その歴史を踏まえながら理解を深めていきます。映像や講義だけでなく、実際に現地に赴いて、祭礼や民俗芸能を見学すると、そこには様々な情報が溢れており、理解はさらに深まります。事前もしくは事後に見に行くことをお勧めします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691035
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**アートの哲学 近代から現代まで**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	イトウ　タカオ 伊藤　貴雄 創価大学教授
日程 実施時間	1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、西洋哲学における芸術思想を近代から現代まで時代順に学びます。あわせて彫刻・絵画・建築などの具体的作品を参照しながら、哲学的な問いの立て方と考察の方法に慣れることを目標とします。哲学的解釈にも作品解釈にも唯一の正解はなく、哲学者の見解や担当者の説明自体も吟味の対象となります。受講者には、それらへの疑問や批判を自ら考え、「ともに考える」経験を通して「哲学する」ことの楽しさを味わってほしいと思います。
【到達目標】
近代から現代に至る西洋哲学の主要な美学思想を理解し、代表的な芸術作品を例に、自分の言葉で論点を説明し、批判的に考察できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ヘーゲルと「歴史」：民衆を率いる自由の女神
第2回 ショーペンハウアーと「表象」：無我夢中にこそ喜びが
第3回 ニーチェと「解釈」：ムンクもピカソもここから生まれた
第4回 ハイデガーと「存在」：ゴッホの絵が語るもの
第5回 ヴィトゲンシュタインと「言語」：モダニズムは自己超克か
第6回 デューイと「経験」：人生もまた芸術
第7回 対話型美術鑑賞：近現代絵画をめぐって
第8回 総括：アートとは何か？
【学生へのメッセージ】
美術鑑賞が好きな方にもそうでない方にも、あるいは哲学を愛する方にも苦手な方にも、アートについて考えることを楽しんでいただければと願っています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。例えば、古代から近世までの哲学史について入門書等で概観しておくことをお勧めします。理解が深まります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691043
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**情報理論入門**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	シマムラ　テツヤ 島村　徹也 埼玉大学教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
情報工学の基礎に情報理論があります。情報とは何か？情報をどのように扱うとよいか？情報はどのように符号化し、どのように伝送するのか？を学ぶ学問です。本講義では、大きく２つの概要、情報源符号化と通信路符号化を取り上げ、世の中で用いられている通信システムの基礎を学びます。我々の身の回りにあるスマートフォンやコンピュータなどの情報機器が、如何に確率的なルールに基づいて用いられているかを考えてみます。
【到達目標】
情報の定量的な取扱い、情報源から発生する信号の効率的な符号化を行う情報源符号化、雑音のある通信路において通信の信頼性を高める通信路符号化の基礎について理解する。これらを通して、情報を数学的にとらえてより効率的に取扱う手法を身に着け、実際に用いられている身近な通信システムを支える情報理論の具体的な成果について理解できる。
【授業テーマ】
第1回 情報理論とは何か
第2回 情報源符号化に必要な条件
第3回 瞬時符号の見分け方
第4回 ハフマン符号化
第5回 拡大情報源とハフマン符号
第6回 誤り制御方式
第7回 ハミング符号化
第8回 通信の限界
【学生へのメッセージ】
複雑な数式表現は避け、平易な解説を心がけますので、情報という学問に興味がある方は是非受講していただきたいと思います。各授業時間の最後に関連する演習を行い、理解を深めていただこうと考えております。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691051
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**論理回路入門**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ヤシマ　ヒロユキ 八嶋　弘幸 東京理科大学名誉教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの身近にはスマートフォンなどをはじめとして情報機器がたくさんあります。これらの機器にはディジタル信号を扱う論理回路が多数用いられており、コンピュータには数億個にものぼる論理回路が使用されています。この論理回路とはどういうものでしょうか？この授業では電気回路の基礎となるオームの法則から基本論理回路、論理回路の設計法について説明し、多数決論理回路や加算回路、カウンタのような回路設計手法について解説します。
【到達目標】
オームの法則から入り、電気回路の簡単な動作や論理回路の基本動作を理解できるようになる。論理代数の基礎から論理式の簡単化の手法を習得し、多数決論理回路や加算回路のような簡単な論理回路の設計が可能となる。また、フリップフロップについて学び、カウンタ等の回路設計ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 オームの法則とトランジスタの基本動作
第2回 2進数と基本論理回路
第3回 論理代数
第4回 論理式の簡単化
第5回 論理回路設計1
第6回 論理回路設計2
第7回 フリップフロップ
第8回 カウンタ回路
【学生へのメッセージ】
論理回路への入門として平易な解説を心がけますので、情報機器の動作の基本に興味がある方は是非受講していただきたいと思います。演習を交えて進め、体験しながら理解を深めていただこうと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ディジタル電子回路（大類重範／オーム社／¥2,970／ISBN=9784274229282）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691060
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**障害と社会**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カワムラ　チヒロ 河村　ちひろ 埼玉県立大学名誉教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
歴史上、障害や病気のある人々（以下、障害者）は社会の中でどのような位置におかれてきたかについて知り、現代、特に国際連合・障害者の権利に関する条約にみられる考え方について学びます。また、私たちの生活の様々な場面、すなわち医療、教育、仕事、公共交通などの社会インフラ、社会保障・社会福祉などの分野における現状や課題、とりわけ、当事者の視点からはどのような改善点が望まれているかについて、事例などに基づき理解を深めます。さらに、地域社会の一員としての私たちがどのような貢献ができるかについて考えます。
【到達目標】
障害観・障害者像の変遷や現代社会における実情、今日の国際社会が到達している理念、保健医療・教育・就労・物理的環境・社会保障および社会福祉の制度における障害者にとっての現状と課題、当事者の視点で考える課題を理解できる。また、地域社会の一員である自身が貢献できることを考え、意見を表明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 歴史にみる障害観・障害者像／法制度の変遷
第2回 国際連合・障害者の権利に関する条約にみる考え方
第3回 保健医療・リハビリテーション／日常生活を支える福祉制度
第4回 教育　ー主に学校教育をめぐる課題ー
第5回 仕事　ーディーセントワーク／就労をめぐる課題ー
第6回 公共交通などの環境・ユニバーサルデザイン
第7回 メディアにおける障害観・障害者像から考える
第8回 まとめと振り返り／レポート課題について
【学生へのメッセージ】
講義中心の授業ですが短時間のディスカッションも行います。扱う題材や動画に刺激的な内容は含みませんが、学生自身の経験によっては辛い内容になる可能性もありますので、配慮しながら授業を進めます。
【受講前の準備学習等】
事前学習：障害や障害者に関する事柄に関心を持ち、様々なメディアに登場する話題について意識的に見聞するなど、事前学習を行ってください。
事後学習：事後に提出するレポート（第8回でレポート課題を伝達する予定）の準備を行ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691078
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**ナイチンゲールに学ぶ心の看護**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カミニワ　ジュンコ 神庭　純子 西武文理大学教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
フロレンス・ナイチンゲール（1820 - 1910）は近代看護の礎を築いた人です。ナイチンゲールの著した『看護覚え書』には現代に活かすことのできる健康的な生活の営みを創り上げるための視点が示されています。生活はその人の心のあり方が反映されます。そのため、現代社会においては特に心を看る看護が求められているといえます。本科目では、生活の営みを創り出す人間の心（認識）を整える看護について考えていきます。
【到達目標】
心（認識）をみてとるための基礎的な知識を理解し、健康的な生活の営みを創り上げるために人間の心（認識）を整えるとはどういうことかを理解することができる。ナイチンゲール『看護覚え書』をヒントに現代社会における心を看る看護の重要性について考察することができる。
【授業テーマ】
第1回 心の看護とナイチンゲール
第2回 現代社会と心の健康－病気・健康・看護
第3回『看護覚え書』に学ぶ（1）生活環境への理解
第4回『看護覚え書』に学ぶ（2）病人の心象への理解
第5回 看護のための認識論（1）認識の交流の実際
第6回 看護のための認識論（2）心を看る看護の実践例
第7回 心を看るための視点－看護のための弁証法
第8回 ナイチンゲールに学ぶ心の看護
【学生へのメッセージ】
本科目は看護学の専門的な知識がなくても受講できます。健康や看護、生活に興味や関心を持って積極的に参加してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業開始前には各回の内容を参考に健康や看護、生活に関する興味や関心事について自分の考えをまとめておいてください。授業終了後は、配付した資料を参考によく復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・初学者のための『看護覚え書』(1)（神庭純子／現代社／¥1,980／ISBN=9784874741405）
【参考書】
・看護覚え書（第8版）（フロレンス・ナイチンゲール／現代社／¥1,980／ISBN=9784874741993）
・現代看護教育に求められるもの（神庭純子／現代社／¥2,200／ISBN=9784874741931）

科目コード	2691086
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**歯は命、骨も命：歯科医師の役割**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イトウ　ハルオ 伊藤　春雄 東京歯科大学非常勤講師
日程 実施時間	12月23日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月24日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
歯と骨は生命にとって極めて重要な硬組織です。この歯と骨にはどのような疾患があり、予防するにはどのような食事及び生活習慣が好ましいかを理解します。また、口腔内にとどまらず、顎顔面、さらには全身を対象とする歯科の職域と歯一本が教えてくれる現代社会との深い関わりについても考察します。
「今日からできる歯の健康法」の観点からブラッシング指導も行います（希望者は自身が現在使用の歯ブラシを持参ください）。
【到達目標】
本講義を受講する学生が①人体の歯と硬組織、とりわけ歯と骨について大まかな解剖（かたち）と機能（働き）について理解し説明することができる。②歯と骨の病気とその治療法、予防法について概要を理解して説明することができる。また、学生自身の健康に生かすことができる。③歯科医師の医療領域と現代社会との関わりについて理解して説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 歯とは何か、骨とは何か？
第2回 歯と骨の病気と治療のいろいろ
第3回 歯と骨の病気の予防法
第4回 歯と骨の研究の現状
第5回 法医学-歯科医師の役割
第6回 大規模災害・事故と身元確認
第7回 DNA多型と人類の起源
第8回 戦争と歯科医師
【学生へのメッセージ】
一般常識で理解できる生活に役立つ専門知識を伝えます。授業資料は配付しません。自身で授業を聞き、感じ取り、メモ、ノートをとりながら自己学習へ繋げて行く姿勢の方を対象とします。この点ご理解の方のみご参加ください。医療人、若年者も歓迎です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、図書館の書籍など利用し、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
パワーポイントで説明しますので、ノートを持参ください。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
定時に開始致します。やむを得ない理由で遅刻の方は事前にご連絡願います。

科目コード	2691094
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**人間関係の心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヒラタ　マリコ 平田　万理子 立教大学兼任講師
日程 実施時間	10月23日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 10月30日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月6日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月13日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
対人場面における、人間の判断や行動の法則性を明らかにする「社会心理学」の中で、この科目ではとりわけ「他者との関係性」に焦点を当てることにします。人は、人との関わり合いの中で様々な心理現象を体験します。誰かと出会い、惹かれ、影響を受け合う中で生じる、いくつかの心の働きについて、社会心理学的な知見から解説します。
【到達目標】
・社会心理学における、「対人相互作用」に関連するいくつかの知識を習得できるようになる。
・人と人の関わり合いについて、心理学的な視点から考えることができるようになる。
・人間関係のありようについて、客観的に捉えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回【出会い1】人に惹かれる：印象形成
第2回【出会い2】人を好きになる：対人魅力
第3回【深まり1】自分の心が変わる：態度変容
第4回【深まり2】相手の心を変える：説得
第5回【合わせる1】相手の空気を読む：同調
第6回【合わせる2】相手に流される：服従
第7回【群れる1】みんなに依存する：社会的手抜き
第8回【群れる2】みんなと考える：集団思考
【学生へのメッセージ】
「社会心理学」の基礎的知識を学んでから受講されると、より理解が進むと思われます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・グラフィック社会心理学　第3版（池上知子・遠藤由美／サイエンス社／¥2,970／ISBN=9784781916101）
できれば最新の第3版を参照するのが望ましいですが、初版、第2版でも構いません。
・対人場面の心理（中村陽吉／東京大学出版会／¥2,640／ISBN=9784130020282）

科目コード	2689120
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	22名
担当講師	オザワ　エミコ 小沢　恵美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業の目的は、心理学の基礎的な実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することです。行う実験は「ミュラー・リヤーの錯視」「心理尺度」「情報伝達」の３つです。実際に実験者と実験協力者の立場を経験しながら、実験の手続き、条件設定、実験を行う時の注意点などを体験的に学んでいきます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。実験はペアやグループで実施します。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 ミュラー・リヤーの錯視（1）：実験（ペア作業あり）
第3回 ミュラー・リヤーの錯視（2）：解説、データの整理
第4回 心理尺度（1）：実験（ペア作業あり）
第5回 心理尺度（2）：解説、データの整理
第6回 情報伝達（1）：実験（グループ作業あり）
第7回 情報伝達（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方の説明、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
受講者同士での相談の時間も取りながら授業を進めることがあります。実験、データ整理はパソコンは使わず、手作業で行っていきます。パソコンを使わないから簡単ということではありません。細かい作業の上に作業量も多くなります。また授業終了からレポート提出のスケジュールがタイトになるかと思いますが、ぜひ頑張ってほしいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）と後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、20cm程度が測定できる定規、電卓、ハサミ（ミュラー・リヤーの錯視）
※プリントが多くなるのでクリアファイルなどがあると便利だと思います。
※授業中にご自分のPCを使用したい場合はご持参ください（講義室での電源確保が難しいため、PC持参の場合はご自宅で十分な充電をお願いします。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください）。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689146
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	チノ　カズホ 茅野　一穂 明星大学常勤准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学における実験的研究として、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「運動技能学習におけるフィードバック効果」、「集団の認知（錯誤相関）」の３つを取り上げます。受講生の皆さんは、実験者あるいは実験参加者として実験に臨み、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学実験の目的と方法
第2回 実験１「自由再生による記憶の系列位置効果」実施
第3回 実験１「自由再生による記憶の系列位置効果」データ処理
第4回 実験１「自由再生による記憶の系列位置効果」レポートの書き方
第5回 実験２「運動技能学習におけるフィードバック効果」実施
第6回 実験２「運動技能学習におけるフィードバック効果」データ処理・レポートの書き方
第7回 実験３「集団の認知（錯誤相関）」実施
第8回 実験３「集団の認知（錯誤相関）」データ処理・レポートの書き方

【学生へのメッセージ】
この授業では、実験によって得られたデータの処理（統計）を扱うため、分散分析等の統計処理をある程度理解できていることが望まれます。これらの理解がないと、授業内容が難しく感じ、レポート作成も困難でしょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。ただし、レポートの書き方や心理統計に関しては、紹介した参考書などで自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）と後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
アイマスク、電卓、定規。
なお、授業当日、実験データを受け取りたい方は、USBメモリ等お持ちください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）
・手ぎわよい科学論文の仕上げ方ー（付）初心者べからず集＜第２版＞（田中潔／共立出版／¥2,750／ISBN=9784320008854）
・テンプレートで学ぶはじめての心理学論文・レポート作成（長谷川桐・鵜沼秀行／東京図書／¥2,200／ISBN=9784489022791）
・ステップアップ心理学シリーズ　心理学レポート・論文の書き方　演習課題から卒論まで（板口典弘・山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	コガ　ヒロミ 古賀　ひろみ 立教大学兼任講師
日程 実施時間	11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月19日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月26日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月3日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的な実験4種を「参加者」「実験者」として実施し、その結果をレポートにまとめます。実験の経験や結果整理、考察を通して実験という調査手法の特徴や問題点、また適切な調査のために留意すべき点について学ぶことを目的とします。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。また、下記4種の実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学実験の役割と概要、「ヒューリスティック判断」実験－問題解決における演繹的推理
第2回「ヒューリスティック判断」実験の解説と結果整理と考察
第3回「鏡映描写」実験－視覚と運動の協応学習の両側性転移
第4回「鏡映描写」実験の結果整理と考察
第5回「触2点閾の測定」実験－物理的刺激と感覚の関係
第6回「触2点閾の測定」実験の結果整理と考察
第7回「ストループ効果」実験－視覚刺激間の認知への干渉
第8回「ストループ効果」実験の結果整理と考察および統計法の利用について

【学生へのメッセージ】
心理学や実験調査に関心はあるが実験やレポートの作成経験がないという方を対象とします。実験者として、参加者として実験を体験することに重要な意味があるので、すべての実習に積極的に参加することを求めます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）と後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
USBメモリまたはSDカード（実験のデータ等、合計1MB程度のファイルの持ち帰りに使用します。紙で持ち帰ることもできるので無くても問題ありません）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業は色識別を要する実験課題があります。
またすべての実習についてレポートは個別に作成しますが、実験は主に実験者と参加者のペアで実施します。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カジハラ　ナオキ 梶原　直樹 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査（テスト）は、人によってさまざまに異なる知能や性格を客観的かつ正確に示そうとするものです。ただ、知能や性格には実体がないので、身長や体重のようにそれ自体をじかに測ることはできません。この授業では、そのような対象をどのように考えることで正確に測ろうとしているのかを、実際の検査をとおして学びます。実施する検査は、矢田部ギルフォード性格検査、主要5因子性格検査、バウムテストの３種類です。単位修得には、原則として8コマすべてに出席することと、授業終了後にすべての検査についてレポートを提出することが必要になります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査の基礎と倫理
第2回 検査のための知能と性格の基礎
第3回 検査1　矢田部ギルフォード性格検査
第4回 検査の種類とテスト・バッテリー
第5回 検査2　主要５因子性格検査
第6回 よい検査の条件ー妥当性、信頼性、効率性
第7回 検査3　バウムテスト
第8回 レポートの書き方

【学生へのメッセージ】
巷にはいろいろな心理テストが出まわっていますが、ほとんどはお遊びのものです。そのようなものと、学問的なものとの根本的なちがいをしっかり理解しましょう。

【受講前の準備学習等】
心理統計の基本として、平均値と標準偏差との関係を確認しておいてください。その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）と後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
HBから2B程度の濃さの鉛筆を2、3本と消しゴム（２日目のみ）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・臨床心理アセスメントハンドブック（三訂）（村上宣寛・村上千恵子／北大路書房／¥2,970／ISBN=9784762830587）
　出版社では品切れだそうです。
・樹木画テスト（高橋雅春・高橋依子／北大路書房／¥1,870／ISBN=9784762827044）
・性格を科学する心理学のはなし（小塩真司／新曜社／¥2,420／ISBN=9784788512535）

科目コード	2691108
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**埼玉を「社会生態学」する**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イサカ　ヤスシ 井坂　康志 ものつくり大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 10月24日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 10月31日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、社会生態学者ドラッカーの視座を援用し、埼玉県という地域を一つの動的な生態系として読み解きます。前半は、講師編著の『大学的埼玉ガイド』や「MONOGRAM」（ものつくり大学）連載「埼玉学」をテキストに、社会生態学の分析手法や埼玉の「汽水性」について理論的に学びます。中盤以降は、受講生自身が地域の観察者となり、埼玉の魅力を伝えるコラムを執筆します。互いの観察を共有することで、地域の未来を構想する社会生態学的な実践力を養います。

【到達目標】
・社会生態学の基本的な視座を理解し、地域社会を人間と環境が相互作用するシステムとして説明できる。
・埼玉県の歴史・文化的特性を多角的に分析できるようになる。
・自ら設定したテーマに基づいて埼玉に関するコラムを執筆し、その内容を論理的に報告・議論できる。

【授業テーマ】
第1回 社会生態学の基礎理論
第2回 地域を「汽水域」として捉える
第3回 地形と歴史の社会生態学
第4回 埼玉の人物と産業
第5回 社会生態学の実践
第6回 地域のアイデンティティを綴る
第7回 生活圏の生態系を読み解く
第8回 埼玉の未来と社会生態学

【学生へのメッセージ】
社会生態学は、現場の観察からすべてが始まります。本講義では、「それぞれの埼玉」を読み解き、共有します。自身の視点で、埼玉の新しい姿を言葉にしてみましょう。

【受講前の準備学習等】
事前学習として、MONOGRAM（https://www.iot.ac.jp/magazine/）の「埼玉学」連載や、教科書として指定した『大学的埼玉ガイド』（昭和堂）に目を通し、社会生態学の考え方に触れておいてください。また、自身が執筆するコラムの題材を探すため、日頃から居住地や勤務地の風景、歴史、人々の活動を意識的に観察し、メモを取る習慣をつけておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと後日提出の最終的なコラムの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート、教科書

【教科書】
・大学的埼玉ガイドーこだわりの歩き方（井坂康志／昭和堂／¥2,750／ISBN=9784812223260）

科目コード	2691116
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**電気と社会**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ハセガワ　ユキ 長谷川　有貴 埼玉大学准教授 イナダ　ユウキ 稲田　優貴 埼玉大学准教授
日程 実施時間	11月13日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月27日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
2011年3月の東日本大震災では、多くの地域で電気が不足して社会に大きな影響を与え、2018年には、北海道全土にわたる広域停電「ブラックアウト」が発生し連日大きく報道されました。さらに最近では、化石燃料価格高騰への対応、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー等の利用にも大きな注目が集まっています。
当たり前のように使用している電気は、どのように作られ、運ばれ、使うことができるのか。この講義では、電力システムの仕組みやこれからの社会における電気エネルギーとのつきあい方を、簡単な実験など交えて解説します。
【到達目標】
電気を作る、送る、配る、貯める、などの電力システムの仕組みについて説明することができる。
電気エネルギーを正しく安全にスマートに使用するための知識を習得し、実際の生活に活かすことができる。
【授業テーマ】
第1回 私たちの身近にある電気技術（長谷川）
第2回 電気の歴史 -電気の発見とそれが社会に認められるまで-（長谷川）
第3回 電気はどうやって作るのか -さまざまな発電技術-（長谷川）
第4回 電気が家庭に届くまで -送電線の役割-（稲田）
第5回 電気と安全（稲田）
第6回 大規模停電（稲田）
第7回 電気を貯める技術 -さまざまな蓄電技術-（長谷川）
第8回 スマート社会における電気のあり方（長谷川）
【学生へのメッセージ】
普段はほとんど意識しないけれど、私たちの生活を豊かにしてくれている「電気」。ただ当たり前のものとして使うだけでなく、仕組みを理解して正しく、スマートに使えるように学んでいきましょう。
【受講前の準備学習等】
講義時に、教科書として「電気の知識を深めようシリーズ」の小冊子（グレースケール版）を配付しますが、電子媒体（カラー版）をhttp://www.ieej.org/denki/からダウンロード可能です。事前に読んでみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
・電気の知識を深めようシリーズ　Vol.1～7（電気学会／電気学会／¥0）
授業当日に教室で配付します。（同一内容の電子媒体を電気学会HP（https://www.ieej.org/denki/）からダウンロード可能です。）

科目コード	2691124
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**憲法裁判を考える1**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カワマタ　ノブヒコ 川又　伸彦 放送大学埼玉学習センター所長
日程 実施時間	11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
憲法上の論点について、主に最高裁判所の判例を考察することを通じて理解を深めます。授業では、まず、判例の原文を読み、裁判所がどのような憲法解釈・理論構成に基づいて結論を導いたかを分析します。そして、判例理論を批判的に考察します。単に裁判所の結論の当否を政治的に論じるのではなく、法理論的に検討します。

【到達目標】
主要な憲法裁判について、憲法上の論点、最高裁判例の論理構成を説明し、それについて自らの意見を憲法理論的に述べることができる。

【授業テーマ】
第1回 憲法裁判の理論構成と判例分析の視点
第2回 外国人の参政権（最判平成7年2月28日）
第3回 公務員の「政治的行為」（最判平成24年12月7日－堀越事件）
第4回 被疑者の写真撮影（最大判昭和44年12月24日－京都府学連事件）
第5回 夫婦同氏制（最大判平成27年12月16日）
第6回「君が代」起立・斉唱（最判平成23年5月30日）
第7回 大阪市ヘイトスピーチ条例（最判令和4年2月15日）
第8回 ノンフィクションと前科（最判平成6年2月8日－「逆転」事件）

【学生へのメッセージ】
最高裁判例の原文を用いて講義します。長文のものもありますが、頑張って通読してください。事実関係は、下級審の裁判を調べると理解が深まります。なお、授業中、任意で発言を求めることがあります。

【受講前の準備学習等】
各回で取り上げる判例の原文を、予め読んでおいてください。原文は、裁判所ホームページ（https://www.courts.go.jp/hanrei/search1/index.html）で入手してください。授業中の説明（参照頁の指示など）は、これを用いて行います。また、憲法の概説書で、関連する個所に目を通しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
各回の最高裁判例原文
※紙媒体でも、ご自身のPC等を持ち込んでの電子媒体でも構いません。（なお、学習センターでは、判例原文の紙媒体の配付は行いません。また、PC等の貸し出しも行っていません。）
※自身のPC等の端末を持参する場合は、講義室での電源確保が難しいため、ご自宅で十分な充電をお願いします。（学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・憲法　第8版（芦部信喜（著）/高橋和之（補訂）／岩波書店／¥3,740／ISBN=9784000616072）
・憲法判例百選　第8版　Ⅰ（長谷部恭男ほか（編）／有斐閣／¥2,750／ISBN=9784641213449）
第7版だと、掲載されていない判例があります。

【その他（特記事項）】
当日配付するプリントは、授業の補助とするレジュメです。

科目コード	2691132
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**交通事故における損害賠償**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	スズキ　キヨアキ 鈴木　清明 鈴木清明法律事務所弁護士
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
交通事故において最も重要な損害賠償という問題について理解していただくために、弁護士としての法律実務経験を生かした授業を進めて行きたいと考えています。
【到達目標】
交通事故における損害賠償の根拠、損害の内容・種類、損害額の算定方法などについて理解することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 交通事故と法的責任、損害賠償の法的根拠、不法行為の成立要件
第2回 不法行為の効果（損害賠償）物的損害
第3回 不法行為の効果（損害賠償）人的損害（1）傷害
第4回 不法行為の効果（損害賠償）人的損害（2）後遺障害
第5回 不法行為の効果（損害賠償）人的損害（3）生命侵害
第6回 過失相殺と損益相殺
第7回 事例研究
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
最初の授業の際に配付する教材を利用して授業をしますので、教材をよく読み、授業を熱心に聴いていただくことができれば、「交通事故における損害賠償の根拠、損害の内容・種類、損害額の算定方法などについて理解する」という授業の目的を達成できると思います。
【受講前の準備学習等】
できれば民法の不法行為に関する部分（民法第三編五章、七〇九条から七二四条の二）を読んでおいていただくと授業内容を理解しやすくなると思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具等
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691140
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**現代社会とジェンダー**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	セヤマ　ノリコ 瀬山　紀子 埼玉大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の日本社会のなかに存在する性別に関わる規範や、それに基づく差別、性別役割分業型社会制度の課題を幅広くとらえることによってジェンダーの概念やジェンダー平等の必要性を理解し、応用する方法を身に着けます。授業では、2020年にはじまったコロナ禍がもたらした「女性不況」を入り口に、ジェンダーに基づく暴力の課題、リプロダクティブヘルス＆ライツ、働くこととケアにまつわる課題を掘り下げ、ディスカッションを交えながら学んでいきます。
【到達目標】
・性別に基づく差別や、性別役割分業型社会の課題を、自身の経験に照らし合わせ、理解できるようになる
・ジェンダーの視点を身に着け、現代の社会課題を掘り下げられるようになる
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション・ジェンダーの視点とは
第2回 ジェンダーの視点で振り返るコロナ禍
第3回 ジェンダーに基づく暴力の問題を考える
第4回 リプロダクティブ・ヘルス・ライツにまつわる課題を考える
第5回 働くこととジェンダーにまつわる課題を考える
第6回 ケアすることとジェンダーにまつわる課題を考える
第7回 男女雇用機会均等法から40年が過ぎたいまの課題を考える（映像視聴）
第8回 まとめ　全体を通して学んだことを確認する
【学生へのメッセージ】
性別（男性／女性、性別二元論的な思考）に関わる規範や、それに基づいて生じている格差の課題を見つめ、自分の経験や、自分とは異なる経験に照らしながら、考えていく授業をつくりたいと思います。
本授業では、「災害」「暴力」「労働」「ケア」を起点に考えます。「教育」「身体」「子育て」などのテーマに関心のある方は、渡辺大輔先生の「現代社会とジェンダー」の受講もご検討ください。
【受講前の準備学習等】
・提示した参考書等を読み進めるなど、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・学修した内容について復習し、関連するニュース等を参照しながら理解を深めていってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・新しい労働世界とジェンダー平等（浅倉むつ子／かもがわ出版／¥1,870／ISBN=9784780312416）
・災害女性学をつくる（浅野富美枝・天童睦子（編著）／生活思想社／¥2,310／ISBN=9784916112323）

科目コード	2691159
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**著作権概論 ー音楽、美術を中心に**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	オオツカ　ダイ 大塚　大 駒沢公園行政書士事務所行政書士
日程 実施時間	1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
あらゆるものがデジタルで流通する社会となって、創作者もユーザーも情報を発信したり、入手利用することが容易になりました。AI創作も増え、創作物の利用や保護の方法、とりわけ著作権といった権利の理解がいっそう、重要になってきています。本授業では身近な事例や裁判例などを通して、著作権を身近に感じていただけたらと思います。

【到達目標】
・著作権紛争の裁判状況がわかるようになる。著作権侵害性の成否のポイントを掴めるようになり、創作活動の幅が広がる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション（導入）
第2回 知的財産権総論（産業財産権、著作権、民法との対比）
第3回 著作権概論
第4回 判例検討１
第5回 判例検討２
第6回 映画の著作物その他
第7回 契約実務１
第8回 契約実務２（演習）

【学生へのメッセージ】
「AI」「海賊版」等々、日頃から様々な著作権に関わる事件がニュースで流れています。本講の受講で、著作権の「勘所」を簡単に押さえることができるようになります。どうぞ、お気軽にご受講ください。

【受講前の準備学習等】
ニュースで流れる著作権や知的財産権に関わりそうな事件について、関心を持って調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
資料はスクリーンに投影します。教科書（文化庁や特許庁の無料PDFテキスト）は各自でご用意ください。必ずしも印刷する必要はありません。（スマートフォン等の端末を持参してインターネットに接続する場合は、講義室での電源確保が難しいため、ご自宅で十分な充電をお願いします。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。）

【教科書】
・著作権テキスト（最新のもの（令和８年版を予定））（文化庁／文化庁／¥0）
文化庁のサイト　https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/index.html　にてPDF無償配布
・知的財産権制度入門（最新のもの（2026年版を予定））（特許庁／特許庁／¥0）
特許庁のサイト　https://www.jpo.go.jp/news/shinchaku/event/seminer/text/index.html　にてPDF無償配布

【参考書】
・著作権ハンドブック：先生、勝手にコピーしちゃダメ：著作権を制する者は授業を制す！（宮武久佳・大塚大／東京書籍／¥1,760／ISBN=9784487813384）
学校教員、図書館関係者の方向けの書籍となります。
・いちばんやさしい知的財産法入門（今村哲也／有斐閣／¥2,310／ISBN=9784641244009）

科目コード	2691167
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**日本史のなかの戦国時代**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ホリ　シン 堀　新 共立女子大学教授 ノリタケ　ユウイチ 則竹　雄一 明星大学非常勤講師 カスヤ　ユキヒロ 糟谷　幸裕 一財歴史科学協議会事務書記
日程 実施時間	10月17日(土) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第１時限　 9:50～11:20 第２時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
戦国時代と戦国大名は、しばしばNHK大河ドラマに取り上げられているように、平和な時代にも大きな関心を集めてきました。その戦国時代とは日本史上どのような特質があるのか、最新の研究成果にもとづいてわかりやすく解説します。
まず最初に戦国時代とはどのような時代であるかを概説し、先行する鎌倉時代や室町時代との相違点や共通点を説明します。そして戦国争乱の中で平和はどのようにつくられ、15世紀から16世紀にかけての大きな社会変動のなかで、日本社会はどのように変貌していったのでしょうか。東国社会を中心に説明し、最後に信長・秀吉の安土桃山時代を経て、近世社会への転換とその源流を考察します。
以上8回の講義を通じて、戦国時代とはどのような時代で、どのような歴史的意義があるのか、みなさんと考えてみたいと思います。
【到達目標】
日本史上における戦国時代の歴史的意義について、世間に流布している一般的なイメージと、近年の研究成果の違いを踏まえて、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 日本の中世国家と戦国時代（則竹）
第2回 15世紀～16世紀の社会変動と戦国大名の成立（則竹）
第3回 戦国争乱と大名の平和・民衆の平和（則竹）
第4回 戦国大名の登場－今川氏を事例に－（糟谷）
第5回 戦国時代の法－分国法の歴史的位置－（糟谷）
第6回 戦国時代の領主と民衆－後北条領国を中心に－（糟谷）
第7回 信長・秀吉の「平和」－その虚像と実像－（堀）
第8回 天下泰平と「鎖国」（堀）
【学生へのメッセージ】
予備知識は必要ありませんが、戦国時代に興味がある方の受講を希望します。少しだけ史料読解にも挑戦する気持ちを持って講義に臨んでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本中世の社会と国家〔増補改訂版〕（永原慶二／青木書店／¥2,200／ISBN=9784250910104）
現在絶版のため図書館等でお読みください。『永原慶二著作選集』第7巻（吉川弘文館）にも収録されています。
・豊臣平和令と戦国社会（藤木久志／東京大学出版会／¥5,940／ISBN=9784130200738）
・今川氏研究の最前線－ここまでわかった「東海の大大名」の実像（日本史史料研究会（監修）、大石泰史（編）／洋泉社／¥1,078／ISBN=9784800312631）
現在は絶版のため、図書館等でお読みください。
・日本中世の歴史７　天下統一から鎖国へ（堀新／吉川弘文館／¥2,860／ISBN=9784642064071）
・秀吉の虚像と実像（堀新・井上泰至／笠間書院／¥3,080／ISBN=9784305708144）

科目コード	2691175
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**“画鬼”河鍋暁斎の画技と画業**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フジタ　ノボル 藤田　昇 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
河鍋暁斎の晩年の数年間、暁斎に師事したお雇い外国人の英国人建築家“ジョサイア・コンドル”は、教えを受けた暁斎の絵画技術や画論を克明にノートに記し、そのエッセンスを織り込んだ著書“PAINTINGS AND STUDIES BY KAWANABE KYOSAI”を暁斎二十三回忌の年である1911年に刊行しました。また、浮世絵研究家として知られた“飯島半十郎（虚心）”は、肉筆画を中心とした暁斎の画業についてフィールドワークの手法を駆使して研究した成果を『河鍋暁斎翁傳』と題する稿本としてコンドルの前掲書刊行の10年程前に仕上げました。
本講では、ジョサイア・コンドルの前掲書の翻訳本である岩波文庫の『河鍋暁斎』（山口静一訳）と飯島半十郎の著作『文庫版　河鍋暁斎翁伝』（河鍋暁斎記念美術館発行）の両書の内容をベースに据え、出版に係る作画活動も含めて河鍋暁斎の超絶画技とその画業について講義を行います。
【到達目標】
河鍋暁斎という絵師の実像を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 授業の到達点の確認/レポート・テーマの提示/授業における教科書の位置づけ/河鍋暁斎の生涯
第2回 河鍋暁斎の画業（1）
第3回 河鍋暁斎の画業（2）
第4回 河鍋暁斎の画業（3）
第5回 河鍋暁斎の画技（1）
第6回 河鍋暁斎の画技（2）
第7回 河鍋暁斎の画技（3）
第8回 河鍋暁斎の画技と画業（総括）
【学生へのメッセージ】
授業においては、パワーポイントを活用して作品や資料の画像をたくさん投影しますし、DVDも活用します。文献資料や暁斎作品のオリジナルを見ていただく機会も設けたいと思います。画像やオリジナル等をご覧いただきながら、河鍋暁斎の画業と画技を楽しく学んでいただきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
教科書であるジョサイア・コンドル著（山口静一訳）の岩波文庫『河鍋暁斎』、飯島半十郎（虚心）著の『文庫版　河鍋暁斎翁伝』を事前に読み込んでその内容を理解し、授業で確認したい事柄や質問したい事項等について整理した上で授業に臨んでいただきたいと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・岩波文庫　河鍋暁斎（ジョサイア・コンドル（著）、山口静一（訳）／岩波書店／¥1,078／ISBN=9784003356913）
・『櫂舟三郎コレクション“最後の浮世絵師”河鍋暁斎 肉筆画展（帆風美術館主催）』図録（藤田昇／藤田昇／¥1,630）
担当講師の論稿「“最後の浮世絵師”河鍋暁斎の肉筆画 その超絶画技とユーモア」が所収されています。購入は通信販売のみ（https://kaikyosai.base.shop）、別途送料350円がかかります。通信販売での購入が難しい場合は、学習センターに事前（授業初日の1週間前まで）に相談してください。
【参考書】
・文庫版　河鍋暁斎翁伝（飯島半十郎／公益財団法人河鍋暁斎記念美術館／¥2,200）
河鍋暁斎記念美術館併設のミュージアムショップで購入できます（河鍋暁斎記念美術館ホームページ参照。通信販売については、ミュージアムショップウェブページ（http://kyosai-museum.jp/hp/museum_shop.html）参照）。書店では販売していません。
・文庫版　暁斎画談（瓜生政和（編著）、河鍋洞郁（画）／有限会社翠企画／¥1,815）
河鍋暁斎記念美術館併設のミュージアムショップで購入できます（河鍋暁斎記念美術館ホームページ参照。通信販売については、ミュージアムショップウェブページ（http://kyosai-museum.jp/hp/museum_shop.html）参照）。書店では販売していません。
・河鍋暁斎の挑戦　ー狂画で拓いた新時代ー（定村来人／東京大学出版会／¥10,120／ISBN=9784130860666）

科目コード	2691183
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**劇文学としての能**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ムラカミ　タタウ 村上　湛 明星大学教授／石川県立音楽堂邦楽主幹
日程 実施時間	11月7日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 11月14日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 12月5日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 12月12日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～14:50
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
現代に至るまで断絶なく上演されてきたという点で世界最古の舞台演劇「能」を、劇文学として多面的に読み解く授業です。能を確立した世阿弥の能論などを参考にしつつ、現今の研究成果を踏まえ、具体的な舞台を想定しながら、いくつかの能作品を読解します。実際の上演や市販映像などに接し、受講生それぞれの評論力を養いたいとも思っています。
【到達目標】
・芸能史を正確に捉え、劇作の背景に留意しつつ、能を劇文学として読み解く力を養う。
・能の舞台に接し、その成果や意義を自分自身のことばで表現できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 能の特殊性と普遍性
第2回 能作における原典と史実
第3回 能を読み解く（1）～世阿弥作〈老松〉
第4回 能を読み解く（2）～世阿弥作〈実盛〉
第5回 能を読み解く（3）～禅竹作〈定家〉
第6回 能を読み解く（4）～元雅作〈弱法師〉
第7回 能を読み解く（5）～信光作〈船弁慶〉
第8回 能を見る愉しみ
【学生へのメッセージ】
これから長く能の舞台に接する喜びを、皆さんにぜひ知っていただきたく思います。それを目的とした、「能を愉しむ」ための授業です。古典に深く接するには、「今と昔と、どれほど違っているか」ということと、「今も昔も、さほど違っていない」ということと、その双方を知ることが大切です。代表的な傑作を読み解きながら、能の魅力を多角的に分析したく思います。
【受講前の準備学習等】
・予告されている曲目については、わかる範囲で事前に調べておいてください。
・毎回の講義を簡単にまとめ、自分なりによく呑み込んでください。
・映像でも実際でも、能の舞台に接する計画を是非お立てください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・ようこそ能の世界へ 観世銕之亟能がたり（観世銕之亟（八世）／暮しの手帖社／¥2,514／ISBN=9784766000658）
版元在庫僅少

科目コード	2691191
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**古代中国哲学講読「儒学」10**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ウチコシ　タツヤ 打越　竜也 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～12:20 試験・レポート等 12:20～13:05
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
中国春秋時代末期に孔子と弟子たちが残した数々の言行録を中心にまとめられた『論語』を基軸に、儒家の代表である孔子、孟子、荀子、この三者の特徴について実際に漢文の文章を使って学びます。さらにその他の日本の儒学者たちはどう捉えたかも考察し、儒家の存在は中国にとってどのような位置づけにあったのか再確認していきましょう。
【到達目標】
・孔子、孟子、荀子、またその他の思想家たちが何を伝えたかったのか、その真意に少しでも迫るために、漢字一字一字の持つ意味とその文字の背景を理解し、誤読しないようにする。
・あらゆる角度から文言にあたることにより、断片的な発言に隠された意味を深めることができる。
・受身ではなく、積極的に考えることでより名言を読み味わうことの大切さを実感できる。
【授業テーマ】
第1回 儒家　孔子の考え方を知る①
第2回 儒家　孔子の考え方を知る②
第3回 儒家　孟子と荀子の考え方を知る①
第4回 儒家　孟子と荀子の考え方を知る②
第5回 儒家　日本の儒学者の考え方を知る①
第6回 儒家　日本の儒学者の考え方を知る②
第7回 儒家　まとめ①
第8回 儒家　まとめ②
【学生へのメッセージ】
講読１０となっていますが、１～９を受講していなくても問題はありません。
講義は漢文（昔の中国の文章）を使って進めていきますが、論語初学者の方、漢文初学者の方ももちろん歓迎です。丁寧に読解の仕方を解説していきますので、安心して受講してください。積極的に取り組んでいただき、論語の世界を読み味わう楽しさを実感していただきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2691205
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**日本人の死生観 ～近世・近代編**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	モウリ　トヨフミ 毛利　豊史 明治学院大学非常勤講師／ 専修大学非常勤講師／ 共立女子大学非常勤講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
現代に生きる私達の文化（精神文化）の根本は何なのでしょうか。それを探訪し考える事は、自己の存在理解を深め、やがてその知的体験は教養の基礎となりより豊かな人生観に結実することと考えます。また国際交流がうたわれる昨今、自国の文化への深い知見は交流にとっての要点でもあります。本講座は文化の根本に直結する死生観の特徴を通史的に概観し、日本文化の本質の一端を検討します。今期は近世・近代期を講じます。
【到達目標】
日本文化の本質に関して、近世・近代の死生観の学修を通じ、その一端を説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 近世武士の死生観①山鹿流士道論と「忠臣蔵事件・前半（松之大廊下刃傷事件～赤穂城明け渡し）」
第2回 近世武士の死生観②「忠臣蔵事件・後半（山科閑居～討入り）」
第3回 心中物の死生観①『曽根崎心中』
第4回 心中物の死生観②『冥途の飛脚』
第5回 近代的自我の生成と絶望1:夏目漱石『行人』・志賀直哉『暗夜行路』
第6回 近代的自我の生成と絶望2:太宰治『人間失格』・宮沢賢治『よだかの星』他
第7回 ハンセン病迫害史:日本近現代史の闇
第8回 ハンセン病患者と死生観:明石海人『白描』・井深八重の生涯
【学生へのメッセージ】
内容は難しくありませんが、色々な話が出て来るので、ノートを取ることをお勧めします。日本人の精神文化の根底にある死生観の生成について、共に学びましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691213
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**柳田国男の国語論**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フカサワ　ススム 深澤　進 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
柳田国男の業績は多岐に渡りますが、その中心の一つに国語についての一連の議論があります。『国語の将来』、『国語史 新語篇』、『毎日の言葉』、『蝸牛考』など、国語に関連する柳田の著作は数多くあります。
この講義では、柳田国男の国語論にはどのような特徴があるのかを、検討します。柳田の国語論が学問的に注目されるようになったのは柳田の死後しばらく経ってからであり、柳田の業績の中ではあまり光が当たってこなかった部分ではありますが、現代に通ずる重要な論点を含んでいます。そこに注目することで柳田国男の新たな側面を見出したいと思います。
【到達目標】
柳田国男の国語論はどのようなものであるのかを学び、民俗学とは違う角度から柳田国男の業績を理解することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 標準語と方言
第2回 都市の言葉と農村の言葉
第3回 口語と文語
第4回 標準語と植民地
第5回 新語論
第6回 国語教育の問題
第7回 心と表現
第8回 まとめ：国語とは何であるのか
【学生へのメッセージ】
柳田国男の業績を、「言語」の視点から分析することをテーマとする授業です。少し抽象度の高い内容になる可能性もありますが、柳田の作品には『遠野物語』にある様々な伝承のように魅力的なものが沢山あるので、その魅力をそがないように、あまり堅苦しくない授業にしようと思っています。
【受講前の準備学習等】
『国語の将来』、『国語史 新語篇』、『毎日の言葉』などの、柳田国男の国語に関連する著作をいくつか読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691221
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**イギリス文学への誘い5**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨネカワ　サトミ 米川　聖美 獨協大学非常勤講師
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
ナーサリーライム（マザーグース）やバラッド、そして近代の英詩は、今日においても小説や映画、音楽に度々登場するなど、イギリスの人々の心に深く刻まれています。本授業では、そのなかでも重要な作品を取り上げ、読み解き、音読することをとおして、イギリス文学を楽しく体得していただく授業です。また大きな流れのなかで、どのようにして小説が生まれ、発展したかについても個々に学びます。まとめの時間では少しグループ・ディスカッションをしていただき、さらに理解を深めます。

【到達目標】
この授業をとおして、イギリス文学の大きな流れが理解でき、自分の好きな作品について自分の言葉で説明ができるようになることを目標とします。

【授業テーマ】
第1回 イギリスの歴史と文学史
第2回 民衆の心の叫びー　バラッドとナーサリーライム
第3回 ロマン派の詩からヴィクトリア朝の詩
第4回 近代詩から現代詩
第5回 シェイクスピア劇と現代ー　『ロミオとジュリエット』
第6回 小説の始まりから近代小説までー　『嵐が丘』
第7回 現代小説ー　『ノーマル・ピープル』
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
原文の抜粋を音読し、読み解くとともに、DVD等を用いて理解の定着を図ります。それぞれの作品を楽しく鑑賞しながら、イギリス文学を深めてまいりましょう。

【受講前の準備学習等】
日本語訳でかまいませんので、ナーサリーライムや『ロミオとジュリエット』、『嵐が丘』、『ノーマル・ピープル』などの作品を事前に読んで、自己学習に努めてください。また授業後にそれぞれの作品を再読することにより、その作品の価値や当時の人々の考え方をしっかり捉えることができます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞書（電子辞書も含む）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・イギリス名詩選（平井正穂（編）／岩波書店（岩波文庫）／¥1,012／ISBN=9784003227312）
・ノーマル・ピープル（サリー ・ルーニー（著）、山崎まどか（訳）／早川書房／¥2,860／ISBN=9784152101907）
参考までに翻訳本をご紹介いたします。

科目コード	2691230
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**グラフ・アルゴリズムの実装**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	330
定員	40名
担当講師	ヤマダ　トシノリ 山田　敏規 埼玉大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
グラフは交通網、通信ネットワーク、タスクの依存関係など様々なものを表現するために使われ、これらに付随する問題の多くはグラフ上の問題に落とし込んでから解かれます。例えば、カーナビゲーションにおける経路検索は、道路網をグラフで表現し、グラフ上で最適な（例えば最も所要時間の短い）経路を見つけることで実現されます。本講義では、グラフ上の問題を解くアルゴリズムをいくつかを取り上げ、それらがPythonでどのように実装されるかを学んでいきます。なお、この授業ではパソコンを使用せず、講義室で授業を行います。
【到達目標】
グラフ理論的な問題を解くためのアルゴリズムをPythonで実装できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 アルゴリズムとPython
第2回 グラフとその表現
第3回 グラフの探索
第4回 最短経路問題：Dijkstra法
第5回 最小全域木問題：Prim法
第6回 最小全域木問題：Kruskal法
第7回 最大フロー最小カット問題：Edmonds-Karp法（1）
第8回 最大フロー最小カット問題：Edmonds-Karp法（2）
【学生へのメッセージ】
この講義ではアルゴリズムをどのように実装するかに重きを置くため、その正当性（問題を正しく解くこと）と計算量（メモリ使用量・計算時間）についての説明は省略する予定です。これらの詳細については参考書等で独学することをお勧めします。
【受講前の準備学習等】
事前に離散数学と離散アルゴリズムについて学習しておいてください。また、自主学習用にサンプルプログラムをメール配付しますので、ご自宅等で Python が動作する環境を用意することをお勧めします。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・応用最適化シリーズ４　ネットワーク最適化とアルゴリズム（繁野麻衣子／朝倉書店／¥3,740／ISBN=9784254117899）
・グラフ・ネットワークアルゴリズムの基礎　数理とCプログラム（浅野孝夫／近代科学社／¥2,970／ISBN=9784764905368）
・新訳　データ構造とネットワークアルゴリズム（Robert Endre Tarjan（岩野和生訳）／毎日コミュニケーションズ／¥3,740／ISBN=9784839919313）

科目コード	2691248
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**ディジタル通信概論**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	シマムラ　テツヤ 島村　徹也 埼玉大学教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
情報工学の中の重要な技術の一つに通信があります。実際に情報を伝送する技術で、通信工学という学問分野では通常その伝送方式を学びます。本講義では、通信工学における技術をアナログ方式とディジタル方式に大別するときの、特にディジタル方式、いわゆるディジタル通信について主として解説します。なぜ、テレビ放送ではディジタル通信が採用されたのか、スマートフォンでの通信のしくみはどのようになっているのか等々、我々の身の回りにある通信機器について考えてみます。また、今後どのように通信技術が発展していきそうか、一緒に予想してみましょう。
【到達目標】
現在の様々な通信システムに用いられているディジタル通信技術の特徴と基礎となる技術である変調と復調、雑音の影響、多元接続の概略、さらに、より効率を高めるための技術であるマルチキャリア伝送、伝送路符号化等の基礎について学ぶ。この講義により、携帯電話やインターネットで用いられている現状の通信技術の概略を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 通信とは何か
第2回 ディジタル通信の特徴
第3回 変調と復調
第4回 多値変調
第5回 雑音の影響
第6回 多元接続
第7回 マルチキャリア伝送
第8回 伝送路符号化・まとめ
【学生へのメッセージ】
複雑な数式表現は避け、平易な解説を心がけますので、通信技術に興味がある方は是非受講していただきたいと思います。各授業時間の最後に関連する演習を行い、理解を深めていただこうと考えております。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691256
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**ゲノム科学と日常生活**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	オオトウ　ミチエイ 大藤　道衛 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、ヒトを対象としたゲノム、遺伝子の概念ならびに個人遺伝情報の扱い方を理解するとともに、ゲノム解析について実験技術の進歩を通じて学びます。さらに、遺伝子組換え技術・ゲノム編集技術と食品、マイクロバイオーム、がん発生メカニズムとがんゲノム医療、体質や疾患リスクを調べる遺伝子検査、iPS細胞など多能性幹細胞を用いた創薬や細胞治療など日常生活に密着したテーマをゲノムの視点で考察します。
【到達目標】
ゲノムならびに個人遺伝情報の意味、ゲノム解析に用いるPCR・次世代シークエンサー（NGS）の原理や応用が分かるようになる。日常生活を支えている食品や医療についてゲノム科学の視点から理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ゲノム・遺伝子・DNAと個人遺伝情報について
第2回 PCR・次世代シークエンサー（NGS）で明らかになったゲノム
第3回 遺伝子組換え技術・ゲノム編集技術による作物の改良と食品
第4回 NGSの発展で明らかになったマイクロバイオーム
第5回 ヒトゲノムからみたがんとがんゲノム医療
第6回 DTC（消費者直結型）遺伝子検査と日常生活
第7回 多能性幹細胞と創薬・細胞治療
第8回 日常生活とゲノムリテラシーの醸成
【学生へのメッセージ】
本講義では、ゲノム科学、ゲノム解析技術の基礎を学び、食品や医療に関係するトピックスを考察することでゲノムリテラシーを高めます。なお、本講義の資料では、数箇所、がん組織の写真を掲載しています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に日常生活でのゲノム、遺伝子、DNAの話題を考えてみてください。
10月上旬頃、予習用の資料を科目登録者のキャンパスメールに送付する予定ですので、目を通してから授業に臨んでください。（もし、資料送付を行わないことになった場合には、その旨をキャンパスメールに通知します。）
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・現代生命科学　第3版（東京大学生命科学教科書編集委員会編／羊土社／¥3,080／ISBN=9784758121033）
講義第１、３～７回の背景をさらに深めたい受講者に薦めたい書籍です。
・バイオ実験超基本Q&A　改訂版（大藤道衛／羊土社／¥3,740／ISBN=9784758120159）
講義第２回の実験技術の具体的な内容を、さらに深く学びたい受講者に薦めたい書籍です。

【その他（特記事項）】
今回の講義では、受講者の実験の予定はありません。

科目コード	2691264
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**水害対策と避難 埼玉の川を例に**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イガラシ　ヨシヤ 五十嵐　善哉 埼玉大学助教
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
毎年のように豪雨災害が発生する昨今、いざ身近な地域で危険が迫ったときにどのような行動をすべきか、皆さんで議論する授業です。議論に必要な知識（治水の歴史、ハザードマップ、マイ・タイムライン等）を第1回から第5回までで説明します。第1回の冒頭では、学生に簡単な自己紹介（本講義で関心のある事項など）をしてもらいます。第6回と第7回では、水害の危機が迫っているときに取るべき行動や、避難を妨げる要因についてグループワークで議論します。第8回で本授業のまとめを行い、その後、レポートを作成・提出していただきます。
【到達目標】
自らが生活する地域で洪水被害の危険性が高まった際に安全な行動を取るために、水害対策の現状や避難に資する情報の見方・入手方法について理解し、取るべき行動を的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 学生の自己紹介、過去の洪水被害と河川改修の歴史
第2回 埼玉県の河川での取り組み（治水と環境）
第3回 河川堤防の決壊リスク（越水なき破堤とは？）
第4回 洪水ハザードマップ（内水と外水、氾濫解析）
第5回 マイ・タイムライン
第6回 ディスカッション１（避難行動のタイミング）
第7回 ディスカッション２（避難行動を妨げる要因）
第8回 授業のまとめと振り返り
【学生へのメッセージ】
水害リスクや対策・避難について学びます。本授業では数学や物理、専門知識が無くても問題ありません。専門用語等は丁寧に説明します。なお、本授業では、洪水等、自然災害がもたらした被害の写真・映像を使用します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
第5回の講義（マイタイムラインの作成）までに、自らが生活する地域の洪水ハザードマップを確認し、想定される浸水深と最寄りの避難所、避難所までの経路等を調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

科目コード	2691272
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**身の回りの香料化学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	330
定員	40名
担当講師	ハセガワ　トシオ 長谷川　登志夫 埼玉大学シニアプロフェッサー
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
においの元であるにおい分子の性質を理解することが、においを化学的に知ることにつながります。前学期の面接授業「香料化学の基礎」では、においの世界を知るための入り口となる基礎的な化学、特に有機化学の視点からの講義を行いました。私たちは、においとともに生活しているといってもおかしくないほど、においは私たちの生活に深くかかわっています。本講義では、香料化学の応用編として、身の回りに存在するにおいに関する様々な現象を扱いながら、どのようににおいを化学的にとらえていけばいいのかについて講義します。この講義を通じて、においをよりよく理解していけることを目指しています。

【到達目標】
これまで、漫然としてしか捉えることができなかった“におい”を、化学的な視点から、考えることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 身の回りに潜む“におい”
第2回“におい”のもと“におい分子”とは（1）
第3回“におい”のもと“におい分子”とは（2）
第4回“におい”の世界を探る方法
第5回 食品のパートナー“におい”（1）
第6回 食品のパートナー“におい”（2）
第7回 私たちの生活と“におい”のつながり（1）
第8回 私たちの生活と“におい”のつながり（2）

【学生へのメッセージ】
においは、私たちに様々な情報を与えてくれています。危険を察知したり、食事をよりおいしくしてくれたり、気持ちをよくしてくれたりなど。私たちの生活は、においによって支えられています。しかし、においは時によっては、私たちの心地よい生活を乱すこともあります。においをよりよく理解することは、私たちにとって大切なことです。この講義をきっかけに、においと上手に付き合うことができるようになればと思います。
なお、本授業では、受講者同士のディスカッションの機会を取り入れる予定です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。基本、香料化学についての基礎的な事項を理解している方を対象とします。（前学期に「香料化学の基礎」を受講した受講生は、その際のテキスト（本授業では参考書の）「香料化学」の関連箇所を熟読して復習しておいてください。）講義後には、テキストや配付されたプリントを熟読して、講義内容の理解を深めるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施する試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書

【教科書】
・生活の中の“におい”を化学する（長谷川登志夫／コロナ社／）
2026年10月頃出版予定。書籍名は仮です。書籍名が確定しましたら，科目登録者にキャンパスメールにてお知らせします。

【参考書】
・香料化学（長谷川登志夫／コロナ社／¥2,090／ISBN=9784339066579）
・香りがナビゲートする有機化学（長谷川登志夫／コロナ社／¥2,200／ISBN=9784339066388）
・マンガでわかる有機化学（長谷川登志夫／オーム社／¥2,420／ISBN=9784274069574）
・絵でわかるにおいと香りの不思議（長谷川香料株式会社／講談社／¥2,420／ISBN=9784065269251）

【その他（特記事項）】
講義中ににおい物質を嗅いだりすることがあります。ごく微量のため、特別の注意の必要はありませんが､特に化学物質に敏感な受講生は､講義前に申し出てください。

科目コード	2691280
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**気象学と天気予報**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タナカ　ノブユキ 田中　信行 元気象大学校教授／ 放送大学埼玉学習センター客員教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
天気予報は、いまや我々の日常生活や社会活動に欠かせない情報です。天気予報を可能とするのが、気象学の知識とその応用である数値予報です。この講義では、気象学の基礎知識を理解した上で、実際の気象現象の構造的理解や、天気予報の仕組みについて理解を深めます。前半は基礎的な概念・知識の習得、後半は気象現象の理解と天気予報への適用､専門的天気図の見方等を解説します。第8回目の授業では、習得した知識を用いて地上天気図を作成する演習を行います。

【到達目標】
学生が、以下の項目について理解し説明できるようになる。
1．大気の持つ基本的な性質
2．大気の状態を変化させる現象や条件
3．大気の状態や気象現象を把握するための観測の方法
4．規模の異なる気象現象の種類と特徴、季節ごとの特徴的な天気
5．大気の立体構造と気象現象との関連性、予測の考え方

【授業テーマ】
第1回 太陽系の進化、大気生成の歴史、地球大気の鉛直構造
第2回 大気中の水の性質、雲の種類と降水メカニズム、地上気象観測
第3回 放射・散乱、地球の加熱と冷却のバランス、温室効果、気象衛星観測
第4回 大気熱力学（温位、断熱減率)、状態曲線
第5回 気象学の歴史、大気力学（コリオリ力、地衡風)、高層天気図の見方
第6回 総観規模気象現象：大気の循環・温帯低気圧、地上天気図、数値予報
第7回 メソスケール気象現象：台風・積乱雲、気象レーダー、演習準備
第8回 地上天気図の作成演習

【学生へのメッセージ】
標準的な気象学の講義と比べ、天気予報等への応用面への利用を意識した内容となります。数式の使用は最低限とし、概念的に理解できるよう努めます。一方、専門用語は多用します。第８回目の授業では、グループ毎に地上天気図を作成して発表します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、身の回りの気象現象や天気現象に関心を持つようにしておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
HB以上の濃さの鉛筆またはシャープペンシル、定規（15cm程度で可)、ルーペ（必要に応じて。資料の細かい部分を拡大するため)

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691299
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**身のまわりの化学3**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヒロセ　タクジ 廣瀬　卓司 放送大学埼玉学習センター客員教授／ 埼玉大学シニアプロフェッサー
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
これまで担当した面接授業では、主に身のまわりの自然現象や物質に潜む化学現象について解説を行ってきました。今回の「身のまわりの化学３」では、我々が利用している、あるいは利用するために作った物質を主な題材にして、授業を行いたいと思います。それらの物質について、性質や構造、利用する理由や関係を考えていきます。ただし、高分子材料についてはほとんど扱わない予定です。

【到達目標】
私たちは生活の中で色々な物質、化学物質を意識しないで使っているが、使用する理由やその原理を理解し、その物質について、利用するか、あるいは危険や不都合を回避するために行動するかどうかなど、自らの判断を理由とともに説明することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 食べ物、飲み物関係（1） 料理にかかわる物質
第2回 食べ物、飲み物関係（2） 味にかかわる物質
第3回 食べ物、飲み物関係（3） 洗剤にかかわる物質
第4回 食べ物、飲み物関係（4） 薬にかかわる物質の「化学」
第5回 その他の生活関係（1） 寒い時、暑い時に関係する物質
第6回 その他の生活関係（2） 電気に関係する物質 1
第7回 その他の生活関係（3） 電気に関係する物質 2
第8回 その他の生活関係（4） 水素の利用

【学生へのメッセージ】
生活の中では数えきれないほど多くの物質、化学物質、が利用されています。その中には、利用の科学的な根拠が分かる物も少なくありません。講義で触れられないそうした物質にも注目して貰えればと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。最近ではほとんどの食品、医薬品や化粧品、工業製品に使われている化学物質が容器や袋に表示されています。何にどのような名称の物質、材料が使われているか、日頃の生活の中で注意してみるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び第8回の授業終了後に実施するレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・Newton別冊　学びなおしで身につく 新・化学の教科書（ニュートンプレス／ニュートンプレス／¥1,980／ISBN=9784315527605）

【その他（特記事項）】
今回の講義では、受講者の実験の予定はありません。

科目コード	2691302
学習センター	埼玉学習センター
学習センターコード	11A
クラスコード	K
科目名	**生物実験の成果から学ぶヒトの体**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ハンモト　ヒデヒロ 半本　秀博 放送大学非常勤講師／ 「生物の科学遺伝」編集委員
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	埼玉学習センター

授業概要

【授業内容】
情報としての遺伝子発現と、発生による個体形成について理解を深めます。染色体複製と分配、放射線による染色体切断、網膜中心窩10度に集まる錐体細胞分布による色覚多様性、雑種間不稔などを染色体の基本構造をもとに考えます。同じ情報が分配されている細胞が、発生とともに適所で分化していく様子を、ニワトリ発生実験動画を参考に背腹、上下軸形成から理解します。また骨髄を通して体性幹細胞、特に間葉系幹細胞の多分化能・神経細胞分化と中枢神経について考えます（座学実験として視覚聴覚から脳幹について考えます)。

【到達目標】
染色体構造の重要箇所とそのはたらきや相同染色体の重要性を理解し、エピジェネティクな遺伝とその例､放射線影響､雑種間不稔を説明できる。ニワトリの一日目胚、三日目胚の構造をおおまかに図示し、胚盤葉、体節構造、脳胞、眼胞、耳胞などヒト発生との共通点を整理できる。面白いと感じた部分を紹介し考えを表明できるとなおよい。

【授業テーマ】
第1回 染色体複製・分配システムとDNA情報のよみとり
第2回 放射線照射と染色体切断、がん細胞の染色体異数性
第3回 遺伝子発現制御、XX染色体と網膜錐体（黄斑の座学実験）
第4回 種特有な染色体と染色体進化にかかわる構造特性
第5回 ヒト初期胚の内部細胞塊から胚盤葉形成（ニワトリ胚参照）
第6回 ニワトリ胚を参照にヒト上下，背腹軸形成とHox遺伝子
第7回 造血幹細胞，間葉系幹細胞と多分化能（実験動画等参照）
第8回 耳胞と咽頭弓からの耳形成、音波のとらえ方（聞こえ方実験）

【学生へのメッセージ】
生物は実体として存在します。遺伝情報はその裏付けの一つです。この関係を逆に考えず、まず生き物とその現象から考えてください。

【受講前の準備学習等】
10日前くらいを目途にテキスト概要版をお送りします。おおよその内容を把握してください。わからない部分は、疑問としてあたまの片隅に置いてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具のみ

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
講義は、皆さんの理解の様子を見ながら進めます。
今回の講義では、実験室での実験は予定していません。

科目コード	2691310	**授業概要**	**【授業内容】** 全く手話を知らない方も、少し学習経験がある方も、一緒に、楽しくコミュニケーションをとりながら、手話を学んでいきましょう。伝えたいという積極的な気持ち、そして、相手の話を聞こうと思うやさしさの中で、手話という言語を学び、その言語を通して、安心して共存できる社会を共に考えてみましょう。 **【到達目標】** 手話を用いて、自己紹介ができる（名前・住んでいる場所・出身地など）。 手話を用いて、自分の趣味、好きなことを話すことができる　。 手話を用いて、自分の体験を話すことができる。 手話を用いて、自分の気持ちを伝えることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 手話で自己紹介してみましょう（名前、住まい、出身地など） 第2回 手話で好きなこと、したいことを話してみましょう(私は〜が好きです。〜したいです) 第3回 手話で状況を伝えてみましょう（暑い、寒い、晴れ、雨など） 第4回 手話でミニ会話１　１日目のまとめ 第5回 手話で、体験を話してみましょう（大きい、大変、難ししいなど） 第6回 手話で、詳しく体験を伝えてみましょう 第7回 手話でミニ会話２　気持ちを込めてスピーチをしてみましょう 第8回 学習のまとめ **【学生へのメッセージ】** 手話は「見られる言語」です。前に出て手話を表現していただきます。恥ずかしがらず、積極的に、明るく、表情豊かに、授業に臨んでください。授業中、席が近い受講者同士で手話で会話してもらう時間を設ける予定です。一緒に、社会の中で、私達ができることを考えてみましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況（手話の実技を含む）及び第8回の授業終了後に実施する試験（筆記）の評点により行います。
学習センター	埼玉学習センター		
学習センターコード	11A		
クラスコード	K		
科目名	**手話で話そう**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	32名		
担当講師	タナカ　ユウコ 田中　裕子 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50〜11:20 第２時限　11:35〜13:05 第３時限　14:05〜15:35 第４時限　15:50〜17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50〜11:20 第２時限　11:35〜13:05 第３時限　14:05〜15:35 第４時限　15:50〜16:35 試験・レポート等　16:35〜17:20		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、ノート **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	埼玉学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は所属コースのコース科目に該当します。 服装について：白い服、柄のある服（チェックや花柄）は、手話が見えにくくなってしまいます。できるだけ、黒に近い色の服、そして、手を動かしますので、動きやすい服でご参加ください。 座席について：座席の場所は、授業前にくじを引いていただき決定させていただきます。

科目コード	2691329
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**映像表現入門（1分番組制作）**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	タカヒラ　カズミチ 髙比良　一道 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
インターネット、SNS、パワーポイントで映像やコンテンツを活用、発信する機会が増えています。この授業は、受講生がスマホやデジカメ等で写真や動画を撮影したり、１～２分のコンテンツを企画したりするノウハウを伝え実習を行います。NHKや放送大学のカメラマンやディレクターが実践する方法です。撮影実習はグループごとに行い、講師が見本を示したり、受講生の実習に助言したりします。このため撮影の際、受講生自身が被写体になることがあります。ビジネス、趣味、研究等の撮影やコンテンツ作りに役立ちます。キャンパスでの実習が主体の体験型授業です。

【到達目標】
★写真（静止画）や動画の魅力、特長、それらをどんなケースで活用すべきかが理解できる。
★撮影の基本ノウハウがわかり、実習で基本手法が身につく。
★撮影では「これを撮りたい」という意思を持つこと、「どう撮るべきか」を考えることの大切さがわかる。
★創意工夫することで、１～２分の短い映像コンテンツは、編集せずに、撮影のみで作ることが理解できる。

【授業テーマ】
第1回 静止画＆動画の特長と撮影の基本
第2回 テーマを設け静止画実習、撮影スキルアップ①
第3回 テーマを設け静止画実習、撮影スキルアップ②
第4回 コンテンツ制作、および動画撮影の基本
第5回 受講生撮影の静止画検討、動画撮影に応用
第6回 テーマを設け動画実習、撮影スキルアップ③
第7回 テーマを設け動画実習、撮影スキルアップ④
第8回 コンテンツ作りの基本ノウハウ

【学生へのメッセージ】
科目タイトルを「～入門」としました。上級者向けではなく初心者向けの授業です。撮影経験や編集のスキルは必要ありません。「どう撮れば印象的な映像になるのか」に関心がある方の受講をお待ちしています。

【受講前の準備学習等】
①ふだんスマホ等で撮影の際、「悩んでいること」「うまく行かないこと」を振り返ってください。
②心に残る写真や映像を思い出してください。どんな点が心に残っているのか、その理由も考えてください。
③写真や映像の特長を考えてください。

【成績評価の方法】
10/25静止画実習の取り組み方、授業後、講師に提出する静止画リポート内容、および11/8動画実習の取り組み方により成績評価します。筆記試験はありません。

【受講者が当日用意するもの】
スマホ、デジカメなど、静止画・動画を撮影できる機材を持参願います。撮影実習が多いため、充電器、または充電ケーブル、または充電済の予備バッテリー等も持参願います。２日間とも動きやすい服装で来てください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・映像制作ハンドブック（グラスバレー株式会社／玄光社ＭＯＯＫ／¥2,090／ISBN=9784768305386）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2691337
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**発表の力を身につける**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	タカヒラ　カズミチ 髙比良　一道 放送大学非常勤講師 タキシマ　マサコ 滝島　雅子 十文字学園女子大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
ゼミのプレゼンテーション、学会発表、新製品プレスリリース、趣味のサークル活動など様々な場面で発表が行われます。この授業では発表準備から本番までの各プロセス、つまり情報の収集と取捨選択、タイトルや発表内容検討、理解促進させる映像の活用、伝わる発音、発声等で、発表を向上させるノウハウは何かをお伝えします。さらにそれらのノウハウを身につけるため、「わたしの楽しいひととき」など複数テーマで受講生が発表を繰り返し、講師が助言、指導を重ねながら発表力向上を目指す実践的な授業です。

【到達目標】
漠然と理解していた発表のテーマ設定から準備のプロセス、本番までの一連の作業の実態がよく理解できる。具体的には、①情報収集だけでなく捨てることの必要性、②話す順番を工夫しなければならない理由、③印象的なタイトルをつけるために必要なこと、④映像の特長を理解し活用できる能力、⑤元NHKアナウンサー滝島雅子講師が発音・発声の指導をし、聞き手が理解しやすい話し方の基本、を修得する。

【授業テーマ】
第1回 発表のタイトルや方針を決めよう（髙比良）
第2回 発表のための情報を取捨選択しよう（髙比良）
第3回 コメント構成力を高めよう（髙比良）
第4回 視覚・音素材を活用しよう（髙比良）
第5回 日本語表現力を高めよう（1）（滝島）
第6回 日本語表現力を高めよう（2）（滝島）
第7回 発表しながらスキルアップしよう（1）（髙比良・滝島）
第8回 発表しながらスキルアップしよう（2）（髙比良・滝島）

【学生へのメッセージ】
発表実習は、受講生全員が一人ずつ教室の教壇で行い、グループごとにも行います。評価に使用するため、受講生の発表の様子を動画で撮影します。希望する受講生には、復習教材として、授業後、撮影動画をメール送付します。

【受講前の準備学習等】
発表実習に関する資料を11/22（日）ころ、受講生各位のキャンパスメールにお送りします。必ず確認の上、皆様それぞれ発表実習の事前準備を願います。発表テーマは３つ。①この授業の受講理由、②わたしのおすすめの一冊（本、マンガ等）、③わたしの楽しいひととき（趣味や仕事等）になります。①の発表時間は１分以内、②③の発表時間は２分以内でお願いします。

【成績評価の方法】
受講生各位の発表実習をはじめ、授業への取り組み方により評価を行います。筆記試験はありません。

【受講者が当日用意するもの】
スマホ、携帯、デジカメなど、写真・動画が撮影できるものをご持参ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2691345
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**韓国語の基礎：発音と基礎会話**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	チ　ソンリン 池　成林 拓殖大学／目白大学／流通経済大学／江戸川大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
韓国語の学習歴がまったくない方々を対象にする授業です。韓国語の文字であるハングルの書き方や正しい発音を覚え、基礎的な文法事項、日常会話でよく使う様々な表現を学んでいきます。特に韓国語の発音変化や日本人が苦手な発音の練習をして韓国人に通じる発音ができることに重点を置きます。
教科書を中心に進みますが、補足プリントも用意します。最後の授業では小テストを行う予定です。一緒に楽しく韓国語を勉強しましょう。
【到達目標】
ハングルの読み書きができるようになる。
パッチムなど日本人が苦手な発音ができるようになる。
連音化など韓国語の発音変化を理解し、実際の会話で活かせるようになる。
簡単な会話ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 韓国語とは。基本母音の原理と練習。
第2回 基本子音の原理と練習。子音と母音の組み合わせ練習。
第3回 平音・濃音・激音。合成母音。
第4回 韓国語の音節構造、パッチムの発音。日本語との音節構造の違いを理解する。
第5回 簡単な文法と基本的日常会話1。連音化と鼻音化。
第6回 簡単な文法と基本的日常会話2。濃音化と激音化。
第7回 簡単な文法と基本的日常会話3。hの弱音化。
第8回 復習。これからの学習について。
【学生へのメッセージ】
初めて韓国語を習う方やもう一度基礎を固めたい方のための授業です。韓国語は日本人にとって最も学びやすい外国語と言われています。簡単な会話ができるようになって韓国人相手に一言でも話せるようになると韓国語を勉強することが更に楽しくなると思います。一緒に韓国語を頑張ってみませんか。
【受講前の準備学習等】
予習や復習をしっかりやりましょう。せっかくの面接授業なのでご質問があったら何でも聞いてください。
授業のときだけではなく、普段の生活で映画やドラマ、K-popなど様々なコンテンツを通じて韓国語に触れるのも韓国語学習に役立ちます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・123 ！韓国語入門～初級（稲川右樹ほか／HANA／¥2,530／ISBN=4295409243）
事前に購入し授業当日必ず持参してください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691353	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、過去の面接授業「ベーシック・スペイン語2」または放送授業「初歩のスペイン語（'25）」などを履修した初級修了者を対象に、直説法未来、過去未来、接続法現在、現在完了、過去、過去完了の文法と会話表現を学びます。あわせて、スペイン語圏の文化にも触れます。 **【到達目標】** スペイン語の基本文法（接続法まで）を理解し、身の回りの日常的なコミュニケーションをスペイン語で行うことができる。 **【授業テーマ】** 第1回 初級文法の復習（直説法現在・過去時制など） 第2回 直説法未来の用法 第3回 直説法過去未来の用法 第4回 接続法現在の用法 第5回 接続法現在完了の用法 第6回 接続法過去の用法 第7回 接続法過去完了の用法 第8回 接続法の総復習 **【学生へのメッセージ】** 「ベーシック・スペイン語２」履修者は教科書を持参してください。教科書をお持ちでない方には該当箇所のみコピーを配布します。 語学は発音練習が大切です。一日５～１０分程度でいいので、日課としてテキストなどを音読するよう心がけてください。好きな音楽の歌詞や文学のフレーズを朗読・暗唱するのもおすすめです。 **【受講前の準備学習等】** 講義を効率的に理解するため、「ベーシック・スペイン語1～2」で扱う内容（直説法現在、点過去、線過去など）を復習してください。シラバスの内容から判断して自己研修に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**ベーシック・スペイン語3**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	アオト　セイイチ 青砥　清一 神田外語大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	千葉学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 教科書（「ベーシックスペイン語2」履修者）、西日辞典（できたら日西辞典も） **【教科書】** ・初級スペイン語 ALBA（青砥清一／白水社／¥2,200／ISBN=9784560016978） 授業で取り扱う部分（Lección 13-14）のみコピーを配布しますので、お持ちでない方は新たに購入しなくても構いません。 千葉学習センターでの販売は行いません。 **【参考書】** ・新版 スペイン語の入門（音声DL付）（瓜谷良平、瓜谷望／白水社／¥2,530／ISBN=9784560068427） ・初歩のスペイン語（' 25）（柳原孝敦／放送大学教育振興会／¥2,860／ISBN=9784595325359）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691361
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**できるコミュニケーション中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	35名
担当講師	ヨウ　コウ 楊　紅 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
2025年度第２学期『できるコミュニケーション中国語』の続きです。これまでに学習した場面ごとの会話を思い出しながら、発音よく、堂々と会話練習する授業です。(2025年度第２学期『できるコミュニケーション中国語』を受講してなくても受講可能です。)
【到達目標】
緊張せず、自信をもって、中国語であいさつ、自己アピールすることができる。
中国語圏で旅行するときに基礎的な対応ができる。
【授業テーマ】
第1回 中国語のピンインの学び直し、小テスト
第2回 近況を尋ねてみよう：最近怎么样？忙不忙？
第3回 日頃の出来事をしゃべってみよう：暑假我去神龙架旅游了。/我是跟朋友一起去的。
第4回 相手の都合を尋ねてみよう：我想去看富士山，你能带我去吗？
第5回 条件・情報を尋ね、比較してみよう：这儿离车站近吗？ /这个没有那个贵。
第6回 進行状況を尋ねてみよう：你在做社么？ /报告还没写完吗？
第7回 経験を尋ねてみよう：你汉语说得真好，学了多长时间了？
第8回 別れの言葉を覚えましょう＋まとめの復習：以后常联系，祝你一路顺风！
【学生へのメッセージ】
中国語を聞いて、シャドーイング練習しましょう。
沢山音読を積み重ねることで、つい口から自然に中国語が出てくると思います。
【受講前の準備学習等】
発音（ピンイン）の復習を徹底的にしてきてください。
中国語の基本文型を復習してきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
・できる・つたわるコミュニケーション中国語（岩井伸子　胡興智／白水社／¥2,530／ISBN=ISBN9784560069356C3887）
2025年度第２学期使った教材の後半の授業ですので、教材の継続使用が可能です。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691370
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**ベーシック・バスク語1**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	15名
担当講師	テヅカ　ススム 手塚　進 神田外語大学非常勤講師／ 慶應義塾大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
バスク語は、スペインとフランスの国境地帯・バスク地方で話されています。話者人口は約100万人で、そのうち90万人程度はスペイン・バスクに住んでいます。スペイン側では、現在でも学校や家庭において活発に話されており、地方公用語としても指定されています。言語系統は不明であり、周辺のどんな言語とも異なる文法をもっています。本講義では、バスク語を初めて学ぶ方のため、アルファベットの読み方や、初歩的な会話表現や、いくつかの必須な文法を学びます。
【到達目標】
(1) 日常生活で必要最低限のあいさつを理解し、使うことができる。
(2) 文字で書かれた単語や文章を正しく発音することができる。
(3) 辞書を用いて、必要な語彙を調べることができる。
(4)「私は学生です」「この本は安くありません」など、簡単な名詞文および形容詞文を理解し、作文をすることができる。
【授業テーマ】
第1回 文字の発音／あいさつと自己紹介
第2回 名詞文「〇〇〇は×××です」／家族に関する語彙
第3回 主語代名詞／動詞izan「〇〇〇は×××だ」の活用
第4回 指示代名詞「これ」「それ」「あれ」／辞書の使い方／歌　Lehen ikasgaia
第5回 形容詞／指示形容詞「この」「その」「あの」／否定文
第6回 文章読解
第7回 複数形／数詞／日付の言い方
第8回 フィードバックを含む試験／歌 Ikusi mendizaleak
【学生へのメッセージ】
バスク語は、日本語と似ており、馴染みやすい言語です。母音はアイウエオだけで、語順も動詞が最後です。ぜひバスク語を覚えて、バスク地方で使ってみてください。絶対に驚いてくれますよ！
【受講前の準備学習等】
①バスク語で「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」は、それぞれ何と言いますか？　アルファベットで書き、発音を覚えてきてください。
②バスク地方の歴史や文化、社会について、調べて来てください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ボールペン
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691388
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**英語表現2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	15名
担当講師	フジムラ　トモコ 藤村　朋子 神田外語大学准教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
本科目では、第1学期の面接授業「英語表現」と同様に、基本的な英文法を確認しながら、自分が伝えたい内容を英語で「書く」そしてクラスメートに「話す」ことに焦点を当てます。毎回の授業で様々な単語やフレーズを学び、自分が伝えたい内容をしっかり英語で表現できるようになることを目指します。各自で書く時間を十分に取りつつ、クラスメートとのペアワークも盛り込んでいきますので、楽しみながら参加して下さい。最後の試験は持ち込み可です。
【到達目標】
【書くこと】
・基本的な文法や語彙を用いて、身近な事柄、人、場所などについて、自分の経験や気持ちを盛り込みながら、描写することができる
・自分に関わりのある環境での出来事を、ある程度まとまりのある文章で表現することができる
【話すこと】
・自分が書いた内容をクラスメートに英語で伝えることができる
【授業テーマ】
第1回 自己紹介をする
第2回 お気に入りの場所について
第3回 身近な人、好きな有名人、尊敬する人
第4回 英語で短いスピーチをする
第5回 自分にとって大切なものやこと（1）
第6回 自分にとって大切なものやこと（2）
第7回 日本を紹介する
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
受講生の方々の様子を見ながら活動・進度を調節していきます。分からないことはご遠慮なく質問して下さい。
※初中級者向けの科目です。
【受講前の準備学習等】
中学校１～２年生程度の英文法を復習しておいてください。必要な文法確認は授業内でも行います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
和英辞書（紙媒体の辞書、電子辞書、オンライン辞書など、どの形態でも結構です。使い慣れているものがありましたら、それがよいと思います。お持ちでない場合、新たに購入していただく必要はありません。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
※第１学期の面接授業「英語表現」「英語表現３」と扱うトピックが異なります。但し、自己紹介の回や基本的な文法事項を扱う箇所では一部重複する内容があります。重複部分については、復習ととらえていただければと思います。
※「英語表現」「英語表現３」を履修していない方も履修できます。

科目コード	2691396
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**初歩英語で コミュニケーション**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	ジョンソン　トモコ Johnson Y. 智子 神田外語大学非常勤講師／ 千葉県立保健医療大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
英語の「基礎の基礎」を少しずつ学ぶ初級者向けの内容です。すでに初中級以上の知識のある学生や、多くの知識や高度な知識を学びたい学生には向きません。英語への関心を高め今後の持続的な学習へつなげることを主な目的とし、英語でコミュニケーションをとる楽しみが学習のモチベーションの一つとなることを目指します。文法・語彙・発音を中心に学習しますが、学んだことをクラスメートと一緒に使ってみる(話す・書く)授業活動に重点が置かれます。最後のテストは授業配付物とノートの持ち込みは可です。
【到達目標】
学生は、
1．be動詞現在時制と形容詞・名詞を使い、肯定文・否定文・Yes/No疑問文と応答を理解し、身近な人物や物事について書く・言うことができる。
2．一般動詞現在時制の肯定文・否定文・Yes/No疑問文とそれに対する応答・助動詞を使った応用を理解し、日常の動作について書く・言うことができる。
3．1.及び2.の知識を応用し、過去形について理解し言うことができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション　自分やクラスメートについて言ってみよう
第2回 発音「thを意識してみよう」・人や物事について言ってみよう(be動詞・名詞・形容詞・代名詞)
第3回 発音「rとｌを意識してみよう」・be動詞の応用（否定・疑問）
第4回 日常の動作を表現してみよう（一般動詞・頻度や時を表す副詞）
第5回 be動詞・一般動詞の復習
第6回 発音「余計な母音を言わない」・過去について言ってみよう
第7回 発音「つながる音を意識してみよう」・動詞を応用していろいろ言ってみよう（助動詞）
第8回 まとめの復習・テスト準備
【学生へのメッセージ】
授業活動にはペアワークやグループワークを多く含みます。間違えることを恐れず、クラスメートと一緒に英語学習を楽しんでいただきたいと思います。内容・進度は履修生のニーズに合わせ調節されます。
英語に自信のない学生のための初級者向けの内容ですので、すでに初中級以上の知識のある学生や多くの知識や高度な知識を学びたい学生は受講をご遠慮ください。
【受講前の準備学習等】
アルファベット（大文字・小文字）を書ける状態で受講してください。英文を筆記体でしか書けない学生は、活字体でも書けるよう必ず練習しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
発音練習用の小さな鏡（スマートフォンも使用可）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691400
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**フランス語： 初級から中級へ**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	25名
担当講師	サカグチ　シュウスケ 坂口　周輔 愛媛大学講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業は、フランス語を学び始め、基礎を身につけつつあるものの、まだ中級レベルには達していない学習者を対象とします。既習事項を確認しながら基礎文法の後半を学んでいきます。また、映画の一場面を観たり、歌詞を読んだりすることで、実際に使われているフランス語にも親しんでいきます。
【到達目標】
・フランス語基礎文法の後半を理解し、簡単な文章を読めるようになる。
・フランス語の基礎力を着実に固め、中級レベルへ進めることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 レベルの確認、フランス語初級のおさらい
第2回 形容詞の学習
第3回 いくつかの動詞の活用
第4回 疑問代名詞・疑問副詞
第5回 前日のおさらい
第6回 複合過去
第7回 代名動詞、フランス語の映画や歌に触れる
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
初級と中級のあいだの授業です。フランス語を始めて、もっと続けたいという人歓迎です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
仏和辞書
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2691418	**授業概要**	**【授業内容】** この講座はイタリア語に興味がある方のための、やさしい入門講座です。イタリア語の発音や読み方から始めて、あいさつや簡単な会話など、旅行の際にも役立つ知識を身に付けていきます。また、イタリアの映像を見たり、イタリア語の歌を聴いたりすることを通して、さまざまなイタリア語に触れ、その明るい響きを体験していきます。音楽の国イタリアの美しい言語を、ぜひ味わってみましょう！ **【到達目標】** ・イタリア語のアルファベットや発音の仕方が分かるようになる。 ・あいさつや自己紹介からはじめ、ホテルや街角でコミュニケーションが取れるような、簡単なイタリア語が話せるようになる。 ・イタリアの歴史や文化、社会についての知識を身に付けられる。 **【授業テーマ】** 第1回 イタリア語について簡単な説明＆発音と文字の読み方 第2回 イタリア語のあいさつ「Ciao!チャオ！」 第3回 自己紹介してみましょう！ 第4回 いろいろなイタリア語に触れてみましょう！（その１） 第5回「〜したいのですが」＆イタリア語の数字（その１） 第6回「〜をお願いします」＆イタリア語の数字（その２） 第7回 いろいろなイタリア語に触れてみましょう！（その２） 第8回 授業のまとめ **【学生へのメッセージ】** イタリア語は日本人にとっては比較的発音しやすい言語です。イタリア語の音楽的な響きを楽しみながら、積極的に発音してみましょう！ **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**イタリア語の初歩：発音編**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	25名		
担当講師	オオサキ　サヤノ 大崎　さやの 東京大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50〜11:20 第２時限 11:35〜13:05 第３時限 14:05〜15:35 第４時限 15:50〜17:20 12月27日(日) 第１時限　9:50〜11:20 第２時限 11:35〜13:05 第３時限 14:05〜15:35 第４時限 15:50〜16:35 試験・レポート等 16:35〜17:20		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	この授業は、【千葉学習センター（※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施）】で行います。		**【その他（特記事項）】** この科目は2009〜2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 イタリア語の初歩は発音編、文化編、会話編の３科目で構成され、本科目は発音編です。

科目コード	2691426
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**姿勢と健康**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	110
定員	60名
担当講師	シブカワ　ミツカズ 渋川　光一 渋川整骨院院長
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
今こそ知ってほしい「姿勢」と健康の深い関係
肩こりや腰痛、膝の痛み、疲れやすさなどの不調を「年齢のせい」と感じがちです。しかし、その多くは長年の姿勢の乱れや身体の歪みが関係している場合があります。本講座では、なぜ姿勢が崩れるのか、悪い姿勢が身体に与える影響、今からでも改善できる方法を分かりやすく解説します。さらに、無理なく続けられる姿勢改善体操や正しい身体の使い方を実践し、5年後、10年後も自分の足で快適に過ごせる身体づくりを目指します。本講座が、これからの人生をより健やかに過ごす第一歩となれば幸いです。
【到達目標】
本講座では、まず「良い姿勢とは何か」を正しく理解していただくことを目的としています。
無意識に続けている悪い姿勢が身体へ及ぼす影響を知ることで、今後の人生をより健康で充実したものにするために姿勢改善の必要性を正しく判断できるようになる。また、本講座を通して、一つのことを継続することの大切さを学び、良い姿勢を保つために日常生活の中で何を意識し、実践すべきなのかを的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 理想的な姿勢とは、理想的な姿勢の取り方
第2回 悪い姿勢はどうしていけないのか
第3回 姿勢から考える「肩こり・腰痛」について・痛みについて
第4回 どうして背中は丸まってしまうのか
第5回 背骨の構造と働き・背骨と神経の関係
第6回 姿勢の見方と分析・日常姿勢の問題点
第7回 背骨の歪みが引き起こす症状について
第8回 ストレス症状について・予防を考える
【学生へのメッセージ】
健康な身体づくりは、正しい知識と小さな意識の積み重ねから始まります。
特に「姿勢」は、痛みや不調を防ぐための土台となる大切な要素です。
今回の学びをきっかけに、ご自身の身体と向き合い、より良い毎日を目指していきましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
4色程度のカラーペン。簡単なストレッチをするので、動きやすい服装。スカート、ハイヒールはご遠慮ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691434
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**負けない体を作る姿勢学**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	110
定員	64名
担当講師	タカギ　ミツヒロ 高木　光洋 湘南カイロ鎌倉整体院院長
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
姿勢が変われば人生も変わる！この講座のサブテーマです。筋肉が張っていても元気な方、健康診断で問題なくても凝りや痛みで困っている方と様々です。何故でしょうか。そこには姿勢が深く関わっています。痛みが起こるラインを超えないようにする為の日常姿勢の工夫と予防や症状軽減に役立つ、誰でも出来る様々なストレッチをこの講座でお伝えします。肉体的・精神的ストレスに負けないような体作り。何歳になっても、やりたい事が出来る人生を目指す姿勢学です。

【到達目標】
姿勢が何故大切なのか？凝りや痛み、疲労感など姿勢が原因で起こりやすい体への影響、気を使うなど精神的な事が体に与える影響他、姿勢と体との関係について具体的に説明出来るようになる。健康維持に必要な日常生活での工夫や、基本的な体の動かし方について学び、自分や周りの方々の健康に活かせるようになる。

【授業テーマ】
第1回 自分の体の中を知る　構造と動き、働きなど
第2回 自分の体の歪みを知る　体のバランスを崩す姿勢習慣
第3回 鉄の肩、ガラスの腰を改善する
第4回 背すじを伸ばし、表情筋を動かして若々しくなる
第5回 イキイキ元気に歩き続ける為に　足と膝の動きの大切さ
第6回 背すじを丸めると起こりやすい症状と対策、椎間板ヘルニア
第7回 ストレスなど、精神的姿勢が起こしやすい症状と対策
第8回 痛みがないからセーフではない　まとめ

【学生へのメッセージ】
特別な知識は必要ありません。姿勢の大切さ、体を動かす事の大切さを理解して頂き、できるだけ痛みを出しにくい体質になってほしい。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。体を動かしやすい服装。お持ちならスマホ携帯等。できればハイヒールやスカートはご遠慮ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691442	授業概要	**【授業内容】** 英語やフランス語では憲法のことをConstitutionといいます。この語には「構成」「体質」などの意味があります。すなわち憲法とは、平たく言えば、「くにのかたち」を指します。憲法を学ぶことは、その国のあり方やその国民のアイデンティティを理解することにつながります。 本講義では、日本国憲法をはじめて学ぶ方や、もう一度しっかりと学び直したい方などを対象に、前文および条文の解釈、ならびに関連する判例を解説しながら、立憲主義、天皇制、安全保障、基本的人権、統治機構、憲法の改正などについて概観します。 **【到達目標】** 日本国憲法の三大原則（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）を理解し、前文、条文および判例・通説の要点を説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 憲法の成り立ち〜立憲主義とは〜 第2回 象徴天皇制〜明治憲法下の天皇制と比較して〜 第3回 戦争の放棄〜憲法９条と安全保障〜 第4回 基本的人権（1） 自由権〜信教の自由、思想・良心の自由、表現の自由など〜 第5回 基本的人権（2） 社会権〜生存権、教育権、労働基本権など〜 第6回 統治の仕組み（1） 三権分立と財政 〜国会・内閣・司法〜 第7回 統治の仕組み（2） 地方自治〜地方分権の理念と制度〜 第8回 憲法の改正〜憲法改正をめぐる議論〜 **【学生へのメッセージ】** 講義では、日本国憲法にまつわる人物（幣原喜重郎、鈴木義男、ベアテ・シロタ・ゴードン、三淵嘉子など）を取り上げますので、憲法をより身近に感じていただきたいと思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**憲法入門**		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	210		
定員	50名		
担当講師	アオト セイイチ 青砥 清一 神田外語大学教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限 9:50〜11:20 第２時限 11:35〜13:05 第３時限 14:05〜15:35 第４時限 15:50〜17:20 11月22日(日) 第１時限 9:50〜11:20 第２時限 11:35〜13:05 第３時限 14:05〜15:35 第４時限 15:50〜16:35 試験・レポート等 16:35〜17:20		**【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・グローバル化時代の日本国憲法（山元一／放送大学教育振興会／¥2,970／ISBN=9784595319426） ・憲法 第八版（芦部信喜（著）, 高橋和之（補訂）／岩波書店／¥3,740／ISBN=9784000616072）
実施会場	千葉学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009〜2015年度「共通科目」に該当します。 講義資料を当日配布します。

科目コード	2691450
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**市民参加と協働のまちづくり**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	セキヤ　ノボル 関谷　昇 千葉大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
人口減少・少子高齢社会・グローバル化を背景に、日常生活の実情が大きく変容しています。自助／共助／公助の境界線が流動化し、自助で生きていくことの困難さと、行政や既存のしくみに依存することの限界が顕著になっています。そうした状況において、自治体や地域の現場では、共助の模索や実践が活発になりつつあります。本講義では、福祉・ケア、教育、経済、環境、都市計画など様々な分野・領域において展開されている市民参加・協働のまちづくりの基本的な考え方・諸課題や実例を学ぶとともに、自治の可能性を展望します。

【到達目標】
本講義では、市民参加・協働のまちづくりを多角的に学ぶことで、身近な活動に参加することや、新たな課題解決や魅力創出の諸活動に携わることなどのイメージを膨らませ、「自分に何ができるか」「自分たちで協力して何ができるか」を考えられるようにする。

【授業テーマ】
第1回 時代の転換期に直面する現在
第2回 市民参加が問われる社会的背景
第3回 市民活動と地域づくり
第4回 市民参加の新たな拡がり
第5回 協働のまちづくり
第6回 コミュニティと地域連携
第7回 まちづくりの「力」と「関係性」
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
この授業は、地域づくりを様々な観点から照らし出し、その課題と可能性を探ります。できるだけ身近なところから考え、事例を学び、自分たちに何ができるかを模索することを主眼としていきます。授業を通じて、今後の地域コミュニティや生活環境のイメージを膨らませてみてください。

【受講前の準備学習等】
市民参加や協働のまちづくりについて、自分なりの問題意識を明確にして、講義に臨んでください。
可能であれば、参考書にあげた文献（新書）を読んでみることをお勧めします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・市民自治の憲法理論（松下圭一／岩波書店／ISBN=9784004100423）
・社会的共通資本（宇沢弘文／岩波書店／ISBN=9784004306962）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691469
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**美術モデルを描く**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	18名
担当講師	アサノ　サトシ 浅野　智 画家
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
この講座では、水彩絵具を使った技法を実践研究し、美術モデルを招いて人物画を制作します。作品制作を通じて自己表現のあり方、自身の感性や考え方、物事の見方を深めて絵画表現の可能性を追求します。制作は各々テーマを決めて進め構図や表現方法を模索していきます。必要があれば独自で用意した資料（写真など）を参考に進めます。完成した作品には題名を付けて全体講評の中で自身の作品のテーマや拘った点を一人づつ発表してもらいます。講評、作品発表を通じて他者との感性や表現方法の違いを検証し、同時に作品鑑賞に関する認識を幅広く養っていきます。
【到達目標】
水彩絵具の特徴を理解し、様々な技法を使って自分にあった表現に結びつけることができるようになる。
モデルを描写することで人体に対する理解を深め、体の動きを生き生きと表現することができる。
自身の感性と向き合い、感じたことを絵画表現へと繋げることができるようになる。
他者の作品を鑑賞して絵画表現の多様性を理解し自由な表現による芸術の可能性を豊かにすることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 水彩画技法の研究と絵画表現のレクチャー
第2回 絵画制作
第3回 絵画制作
第4回 中間講評
第5回 絵画制作
第6回 絵画制作
第7回 作品発表と講評
第8回 総評とまとめ
【学生へのメッセージ】
美術モデルを招いて絵画制作をします。モデルさんに失礼のないようにマナーとモラルを守った態度で受講してください。モデルを写真、動画で撮影することは禁止です。絵画制作を楽しみながら学ぶことはとても大切ですが、カルチャーセンターなどの趣味の講座ではないので、未知の知識や技法、表現を学習するというチャレンジ意欲を持って参加してください。画材などの忘れ物をしないように注意してください。
【受講前の準備学習等】
透明水彩絵具と不透明水彩絵具の違いをインターネットや技法書などで調べて、自身が使用する水彩絵具の特徴を把握し、技法や表現も調べておいてください。様々な時代の人物画作品を鑑賞して主題や表現方法の理解を深めておきましょう。モデルは着衣の女性、椅子に座りポーズで席は当日抽選で決定します。それらを踏まえてテーマをイメージして自分の作品制作に必要（背景など）と思われる資料があれば準備、用意してください。その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業の学習状況及び成果物の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
F6スケッチブック、鉛筆デッサン用具一式、水彩絵具一式、自身の表現に必要と思われる写真などの資料（任意）
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691949	授業概要	**【授業内容】** 俳句実作をさらに深める講座です。吟行（ぎんこう）とは、俳句を作るために、景色や情緒のよい場所へ実際に赴き、景色や雰囲気を感じながら創作活動を行うことです。その場で目にしたものや感じたことを詠む「嘱目吟（しょくもくぎん）」といい、ものをよく見て俳句を作るトレーニングをします。 今回は東京都江東区・深川にて、さまざまな俳句の題材を拾って作句、その後、芭蕉記念館で句会を行います。様々な表現を比較鑑賞することで俳句表現の幅が広がります。現地でたくさんの季語と出会い、楽しみながら知識を深め、さらなる俳句の上達に繋げる講座です。 **【到達目標】** 季節の言葉について理解し、俳句の実作、さらに作品を的確に鑑賞できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 冒頭に吟行のポイントや注意点を解説。続いて江東区・清澄庭園を取材。 第2回 江東区・清澄庭園を取材。さらに広く観察し、俳句の構想を練る。 第3回 句会場の芭蕉記念館に移動後、各自句作。後半は句会に入る。 第4回 句会において他者の作品を選句・鑑賞し、自身の作品表現と比較し学びを深める。 第5回 冒頭で吟行のポイントや注意点などを説明。続いて江東区・富岡八幡宮を取材。 第6回 江東区・富岡八幡宮を取材。この季節ならではの素材を見つけ、俳句の構想を練る。 第7回 句会場の芭蕉記念館に移動後、各自句作。後半は句会に入る。 第8回 句会において他者の作品を選句・鑑賞し、自身の作品表現と比較し学びを深める。 **【学生へのメッセージ】** 一期一会の季語との出会いや景物との出会いを楽しんでいただきたいと思います。その積み重ねが知識を深め、作句力を高めます。 **【受講前の準備学習等】** 吟行地の情報などをあらかじめリサーチ、その季節に該当する教科書、歳時記のページに目をとおしておく **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**俳句の楽しみ 深川吟行編**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	ウラカワ　サトコ 浦川　聡子 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	この授業は、【10月25日（日）、★江東区芭蕉記念館、★清澄公園、11月8日（日）、★江東区芭蕉記念館、★富岡八幡宮（東京都江東区）】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具。歳時記、あるいは歳時記に類するもの。 **【教科書】** ・もっと知りたい　美しい季節のことば（浦川聡子　宇多喜代子監修／NHK出版／¥1,320／ISBN=978-4-14-407191-1） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）ーにて加入してください。

科目コード	2691477
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**ヴァイオリンを学ぼう！**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	イトウ　マコト 伊藤　誠 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月28日(水) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月29日(木) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 10月30日(金) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
ヴァイオリンは、確かに「難しい」楽器です。しかし限られた時間のなかで、簡単な教材を使いながらアンサンブル実習を主体にすすめ、少しずつ楽器に親しんで頂こうと考えています。弦楽器の歴史についても取り上げます。実践と理論から、弦楽器の醍醐味を味わいましょう。
ト音記号の簡単な単旋律の楽譜が読めることを必須条件とします。すでにヴァイオリンをお持ちの方はご持参ください。

【到達目標】
・ヴァイオリンの歴史的変遷を踏まえつつ、音が出る仕組み（発音原理）について説明できる。
・弓の構造や弦の発展についても理解を深める。
・課題曲を演奏するうえで、他パートの音やリズムの流れを聴き取りながら、充実したアンサンブルができる。
・弦楽器特有の奏法（音程の取り方、アーティキュレーションの表現方法など）を身に付ける。

【授業テーマ】
第1回 楽器の構え方／pizz.奏法／左手のフォーメーションづくり
第2回 右手（主に弓の持ち方）の基礎／五度調弦のおもしろさ
第3回 ヴァイオリン（弦楽器）の歴史的変遷／左手親指の大切さ
第4回 童謡でアンサンブル／アーティキュレーションと右手の関連性
第5回 音が出る仕組み／シフティング（チェンジポジション）の体験
第6回 第九のテーマをアンサンブルで／いろいろなボゥイング
第7回 グループ別で合奏作品にチャレンジ
第8回 まとめ（弦楽器の特殊奏法を加えて）

【学生へのメッセージ】
クリックやタップなどで簡単に音が出せてしまう楽器が蔓延しています。ヴァイオリンの難しさを受け止めながら、アナログの世界に浸ってみませんか。

【受講前の準備学習等】
１）ヴァイオリンの構造や部品の名称などについて、関連サイトを活用して調べておくこと。
２）楽器の構え方や弓の持ち方について、関連サイトを活用してイメージしておくこと。
３）第１ポジションにおける音程の取り方（左指の配列）についても、調べておくこと。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートテーマ（予定）：ヴァイオリンの演奏体験を通して、弦楽器の音楽表現について学んだこと、難しかったこと等についてまとめなさい。

【受講者が当日用意するもの】
１）薄手のハンカチを一枚ご用意ください（楽器とあごとの間に挟むため）。
２）五線紙をご持参ください（授業中に、楽譜を書くことがあるため）。
３）注意事項：Webサイトなどで、数万円で購入できる楽器は決して購入しないでください。仕上げが粗雑だったり、調整が不十分であったりして、形はヴァイオリンでも使い物にならないからです。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
受講が決定した方は、必ず９月30日（水）までに、「学習センターの用意するヴァイオリンを借りたい」、もしくは「ヴァイオリンを持参する」旨、千葉学習センターに電話でご連絡ください。学習センターで必要数（10台ほど）を用意しますので、必ず連絡してください。貸出用ヴァイオリンは、受講者数により複数人で１台を扱うこともありますので、予めご了承願います。なお、ヴァイオリンの館外持ち出しはできません。ご了承ください。
両手とも、爪を切ってご参加ください。

科目コード	2691485	**授業概要**	**【授業内容】** 過去開設の面接授業『楽典（入門編）』の内容をさらに深めます。「楽典」は音楽を楽しむためのアイテムです。知っていると、楽しみの幅が広がります。この授業では、拍子、音階、和音、調、形式などについて学びます。できるだけ、演奏したり、鑑賞したりしながら、体験的に学習していきたいと思います。 ※2026年度は、1学期に『楽典（入門編）』を開設しなかったので、今回は、入門編の復習も含めます。 **【到達目標】** ・演奏や鑑賞などを通した体験などから、楽典の知識・技能を理解習得することができる。 ・楽典の知識・技能を使って、音楽を楽しむことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 拍子とリズム（1）演奏しながら 第2回 拍子とリズム（2）つくりながら 第3回 音階と旋律（1）演奏しながら 第4回 音階と旋律（2）つくりながら 第5回 和音について 第6回 基本的な和音進行 第7回 楽譜を読む（1）表現編 第8回 楽譜を読む（2）鑑賞編 **【学生へのメッセージ】** 音楽のいろいろなきまりを読譜や記譜、演奏、鑑賞を通して学んでください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況等により受講生の理解度を判断します。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**楽典（発展編）**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ナカジマ　ヒサシ 中島　寿 武蔵野大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20		
実施会場	千葉学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 五線ノート、鉛筆（BまたはHB） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 試験・レポートは、ありません。 ２日目も、17時20分まで授業を行います。

科目コード	2691493
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**総譜（スコア）の読み方**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ナカジマ　ヒサシ 中島　寿 武蔵野大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、スコアの読み方を学びます。スコア（総譜）とは、合唱、室内楽、管弦楽曲などにおいて、すべてのパートが同時に書かれている楽譜のことです。ここでは、主に管弦楽曲のスコアについて学びます。少しでもスコアの読み方がわかると、鑑賞の楽しさが倍増します。もちろん、自分が演奏したり、指揮をしたりする時にも大いに役に立ちます。作曲家や指揮者になるための専門的な内容ではありません。音楽をより楽しめるようになるための講座です。

【到達目標】
・作品（楽曲）をより理解し楽しめるようになるために、総譜（スコア）の読み方の基本を理解し、身につけることができる。

【授業テーマ】
第1回「スコア（総譜）」って何? スコアを読むための楽典①
第2回 スコアを読むための楽典②　管弦楽の楽器について・管弦楽曲の編成と記譜
第3回 スコアを読む練習
第4回 ベートーヴェン作曲　交響曲第5番「運命」のスコアを読む　①
第5回 ベートーヴェン作曲　交響曲第5番「運命」のスコアを読む　②
第6回 ベートーヴェン作曲　交響曲第5番「運命」のスコアを読む　③
第7回 ベートーヴェン作曲　交響曲第5番「運命」のスコアを見ながら聴く
第8回 ワーグナー作曲　ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲を読む。スコアを見ながら聴く

【学生へのメッセージ】
スコアの読み方を学ぶことで作品（楽曲）をより理解し、鑑賞や演奏の楽しみの幅をひろげてほしいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況等により受講生の理解度を判断します。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、五線ノート、鉛筆（BまたはHB)、消しゴム、赤青鉛筆

【教科書】
・ベートーヴェン:交響曲第５番ハ短調作品67＜運命＞（ベートーヴェン（著)、土田英三郎　（解説）／音楽之友社／¥880／ISBN=9784276919297)
事前に購入して授業当日必ず持参してください。このスコアがないと学習できませんので、早めに用意しておいてください。
・ワーグナー:ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲（ワーグナー（著)、高木卓（解説）／全音楽譜出版社／¥1,100／ISBN=9784118972114)
事前に購入して授業当日必ず持参してください。このスコアがないと学習できませんので、早めに用意しておいてください。

【参考書】
・オーケストラの読みかた　改訂版:　スコア・リーディング入門（池辺晋一郎／学研プラス／¥1,760／ISBN=9784058006863)
参考書ですので、授業では使いません。絶版になっているかもしれませんが、中古本では手に入ります。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
◆当日、教科書の販売はありませんので、必ず個人で用意してください。スコアに書き込みをしながら学習を進めますので、必ず当日持参してください。特に、ベートーヴェン作曲　交響曲第5番「運命」のスコアは、早めに準備しておいてください。スコアを持参されない場合は受講できません。ワーグナー作曲　ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲のスコアも同様です。
◆試験・レポートは、ありません。２日目も、17時20分まで授業を行います。

科目コード	2691507	**授業概要**	**【授業内容】** 音楽に対するコンプレックス３大要素は、「楽譜が読めない」「楽器が弾けない」「歌が上手く歌えない（いわゆるオンチ）」ではないでしょうか。では、これら３つのコンプレックスは、いったいいつ生まれ、どのように解決していけるのか。本講義では、小学校のどの学年でどのような音楽に出会い、どのようなことを学び活動しているのかについて、現在使用されている小学校の音楽教科書を使って概観します。さらに、各自が何をどのように学び直したらよいのかについて明らかにし、今後の音楽活動の方向性を探っていきます。 **【到達目標】** ・音楽をより楽しめるようになるために、小学校の音楽教科書をもとに、音楽に関する自己の習得内容、未習得内容を把握し、今後の音楽活動の指針をもつ。 ・教科書の内容を知り、教科書を活用しながら自ら音楽学習を進めることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション～６年間の音楽学習を概観する 第2回 楽譜には何が書かれているのか 第3回 歌唱活動で何を学ぶのか 第4回 鑑賞活動で何を学ぶのか 第5回 器楽活動で何を学ぶのか 第6回 音楽づくり（創作活動）で何を学ぶのか 第7回 合唱、合奏にチャレンジ 第8回 まとめ～小学校６年間で学習する音楽を総括する **【学生へのメッセージ】** 小学校の教科書はよく読んでみると知識の宝庫です。疑問に思っていたことがすべて書かれています。小学校の音楽教科書を読みなおすことによって、音楽3大コンプレックスの原因と克服方法を見つけていただきたいと思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況、毎時の振り返りカードの記述及び小論文の評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**音楽を学び直そう**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ナカヤマ　ユミ 中山　由美 明治学院大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月19日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月26日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	千葉学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 教科書は、初日の授業内で販売します。つり銭の無いように小銭を含む現金をご用意ください。（令和７年度は1,452円でした。令和８年度の価格は、４月以降に教科書協会のサイトで確認してください。https://www.textbook.or.jp/textbook/textbook-price.html）。ソプラノリコーダー（全員：器楽の内容を扱う11月26日に使用します）、鍵盤ハーモニカ（任意）、筆記用具 **【教科書】** ・小学生の音楽（１～６）（小原光一（編著者）／教育芸術社／¥1,500） 教育芸術社の小学校音楽教科書（１～６年）を使用します。授業当日､学習センターで販売します。つり銭の無いように小銭を含む現金をご用意ください。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691515	**授業概要**	**【授業内容】** 中国文化、日本伝統音楽文化について学ぶ講座です。 中国文化では中国の民族楽器や民謡、お茶や食文化など多角的に体験を含みながら中国の文化を学んでいただきます。 日本の伝統音楽文化では、日本の伝統楽器や音楽史、日本音楽の特徴などを学び、また伝統楽器である尺八の実技体験を予定しています。 最終講義では中国伝統楽器と日本伝統楽器によるミニコンサートを鑑賞していただきます。 **【到達目標】** 中国文化、日本伝統文化を統合的に学ぶ事により双国の文化の成り立ち・発展を理解出来るようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 中国民族楽器／日本の伝統楽器（鄭） 第2回 中国民謡／日本の音階・リズム（鄭） 第3回 中国映画／日本音楽史（鄭） 第4回 中国映画／尺八について（田辺） 第5回 中国のお茶と食文化／尺八実技（鳴らし方）（田辺） 第6回 中国映画／尺八実技（課題曲）（田辺） 第7回 中国映画／ 尺八実技（課題曲）（田辺） 第8回 中国伝統楽器と日本伝統楽器によるミニコンサート（鄭） **【学生へのメッセージ】** どなたでも中国・日本の文化を体験をしながら楽しく学べる講座です。 中国を旅するように、そして日本を再発見しにお越しください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は授業中の学習状況及び実施課題の発表により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**中国文化の旅と 日本伝統文化**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	25名		
担当講師	テイ　ウ 鄭　宇 元柏市立柏高等学校非常勤講師／ 中国民族楽器奏者 タナベ　ケイザン 田辺　恵山 桐朋学園芸術短期大学非常勤講師／ 尺八演奏家		**【受講者が当日用意するもの】** 中日辞典 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35		
実施会場	千葉学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691523	**授業概要**	**【授業内容】** 「コミュニケーション学」の立場から人と人との間のやり取りを検討することでコミュニケーションに対する分析的な視点を提供することを目的とします。コミュニケーションのノウハウを扱う授業ではなく、放送授業「コミュニケーション論序説('07)」「日本語からたどる文化('11)」「日本語とコミュニケーション('15)」「コミュニケーション学入門('19)」「多文化共生のコミュニケーション('24)」で扱った内容の復習・発展を兼ねた講義が中心となります。 **【到達目標】** ・自分が行っているコミュニケーションについて客観的な観点から分析できるようになる。 ・コミュニケーション学の観点から見たコミュニケーションの姿を理解する。 ・対人コミュニケーションについて様々な角度から考察できるようになる。 ・マスメディアの影響について批判的に考えられるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 コミュニケーションとは 第2回 非言語コミュニケーション 第3回 身体とコミュニケーション 第4回 服装・時間・空間とコミュニケーション 第5回 言語コミュニケーション 第6回 対人コミュニケーション1 第7回 対人コミュニケーション2 第8回 マスメディアとコミュニケーション **【学生へのメッセージ】** 私たちがコミュニケーションをどのようにして成り立たせているのかを振り返ってみる機会にして頂ければと思います。 **【受講前の準備学習等】** 受講前にコミュニケーション学について基礎的な知識を得ておいてください。放送大学の印刷教材(『コミュニケーション論序説』『コミュニケーション学入門』『多文化共生のコミュニケーション』など)やその他の入門書を一通り読んでおくことをお勧めします。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**コミュニケーション学入門**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	210		
定員	35名		
担当講師	オオハシ　リエ 大橋　理枝 放送大学教授		
日程 実施時間	12月4日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月11日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	千葉学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・多文化共生のコミュニケーション(大橋理枝・根橋玲子／放送大学教育振興会／¥2,750／ISBN=9784595324529) ・コミュニケーション学入門(大橋理枝・根橋玲子／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595319273)
			【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 放送授業「多文化共生のコミュニケーション('24)」「コミュニケーション学入門('19)」「日本語とコミュニケーション('15)」「日本語からたどる文化('11)」「コミュニケーション論序説('07)」及び同一講師による面接授業「コミュニケーション学入門演習」「異文化間コミュニケーション」と内容が一部重複します。

科目コード	2691531
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**現代短歌の方法と心を読む**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	カワノ　サトコ 川野　里子 歌人
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
戦後から現代までの短歌作品を読み、その背景にある時代や文学思潮を探りつつ作品の方法や心を読み深めます。新しい作品は単独で誕生するのではなく、さまざまな時代背景や先行作品、同時代作品との真剣な「対話」の結果生まれます。その対話を読み取りつつ、作品の方法や心を読み込んでゆきます。

【到達目標】
戦後から今日の短歌作品を読み味わえるようになる。同時に、評論や時代背景を知ることにより、さらに深く作品が誕生した必然性やその方法と心とを理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 戦中から戦後へ。宮柊二の戦争を読む。
第2回 短詩形文学批判に応えた塚本邦雄の作品を読む。
第3回 戦後女性の動きと葛原妙子の作品を読む。
第4回 戦後の女性の代表、中城ふみ子を読む。
第5回 戦後の異色の方法論としての寺山修司を読む。
第6回 戦後の短詩形批判論を読む。
第7回 90年代の豊かさのなかの口語短歌を読む。
第8回 2000年以降の作品の多様さを知る。

【学生へのメッセージ】
短歌作品の読みを深め、その面白さを知る授業です。時代との格闘を知り、そのなかから生まれてくる作品を数多く系統的に読み深めてゆきます。主な作品について解説してゆきますので、現代短歌を読んだことのない学生さんも受講可能です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、本屋などで歌集を手に取り、現代短歌の多様さを感じ取り、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
使いやすい辞書。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691540
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**音で遊ぶ ～サウンドデザイン入門**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	ヨコウチ　ヨウコ 横内　陽子 放送大学非常勤講師／ （一社）サウンドアーカイブスジャパン
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験･レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

ネットやスマートフォンなど多様なメディアに個人が作品を発表する場が広がっていますが、「音」の表現やデザインについては、文章や写真・映像などに比べ、体験する機会が必ずしも多くありま せん。本講座では、「音」で伝え、表現することを通じ、身近な「音」への理解と感性を深めるととも に、現代社会における様々な音のデザイン事例について学びます。本講義はいわゆる「作曲」や「音楽制作」ではなく、音の編集ソフトを用いて効果音や音楽等の音素材をミックスして紡ぎ、デザインするための初歩的な技術と方法論を学び、「音」によるオリジナル作品を一人ひとり制作します。（パソコン基礎スキル必要）

【到達目標】

・「サウンドデザイン」の概念や内容について理解する。
・音の編集ソフトの基本的な使い方を理解し、自ら操作できる。
・音の編集ソフトを用いた多様な表現方法を理解する。
・音（音・音楽・言葉）を用いて自分なりの表現による作品づくりができる。

【授業テーマ】

第1回 サウンドデザイン概論
第2回 編集ソフトの使い方を覚えよう
第3回 オリジナル作品を作る～作品対象を決めよう
第4回 オリジナル作品を作る～作品の構成を考えよう
第5回 音の編集・デザイン実習Ⅰ
第6回 音の編集・デザイン実習Ⅱ
第7回 音の編集・デザイン実習Ⅲ
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】

編集ソフトの扱いやハウツーを覚えるだけでなく、私たちの日常や記憶の中で「音」が何を伝え、どのような役割を担っているのか、音から世界や環境を見つめ直す契機としていただければ幸いです。

【受講前の準備学習等】

身の回りの音（環境の音、日常の音など）に耳を澄まして、どのような音があるかよく聴いておいてください。
パソコンの基本的なスキル（インターネット検索、メール送受信、Word、Excel の基本操作ができる程度）を参加の前提とします。
インターネットへの接続が必要です（授業で使用するアプリケーションを当日教室にてダウンロードします）。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び成果物の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
　音声の編集を行いますので、マウスをお持ちの方は持参することが望ましいです。
　自身のパソコンに接続可能なヘッドホン（イヤホン）を持参してください。
2．OSの指定
　Windows またはMacOS
3．ソフトのインストール
　授業当日に音声編集ソフト（無料版）をダウンロードします。PCの空き容量が最低100MB以上必要です。
4．その他
　ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2691558
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**野菜の養液栽培と植物工場**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	ツカゴシ　サトル 塚越　覚 千葉大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【★千葉大学環境健康フィールド科学センター(千葉県柏市柏の葉6-2-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
養液栽培（水耕）は野菜の生産量向上だけでなく、その品質も制御が可能で、植物工場や大規模生産に適した技術です。その本質を理解するには、そもそも養液栽培とはどのような栽培なのかだけでなく、関連する様々な理論を理解する必要があります。そして、環境制御の基礎理論を合わせて理解することで、最近話題の植物工場について深く理解することが可能です。これらを実際の栽培現場の見学と合わせてやさしく解説します。

【到達目標】
野菜の養液栽培の歴史、植物工場の仕組み、養液栽培や植物工場での野菜生産について背景となる理論、実際に使われる技術などを講義と見学で理解し、野菜生産の現状について幅広い視点を身につけることができる。また、野菜生産ひいては食料生産の将来について考えるきっかけとすることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 野菜栽培に関係する植物生理学
第2回 養液栽培とは（概要と歴史）
第3回 養液栽培システムの基礎
第4回 施設栽培の環境制御技術
第5回 植物工場とは
第6回 野菜の高品質化技術
第7回 植物工場見学
第8回 まとめの講義

【学生へのメッセージ】
かなり幅広い内容の科目で、専門的な用語も出てきますが、実際の植物工場や野菜の養液栽培を見学することで、すべての内容がつながるはずです。日本の農業や野菜園芸の問題点を考える機会にもしていただければと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。基本的には講義中に十分な解説をしますが、光合成、養液栽培、植物工場などについてインターネット等であらかじめ確認しておくと、より理解が深まります。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目の見学時には歩きやすい服装と靴、カメラなど（２日目の天候予測によっては、見学を１日目に行う場合がある）。
昼食は柏の葉キャンパス駅前の商業施設等のレストランでもとれるが、講義室から徒歩10分ほどかかるので、持参するとよい。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・演習と実習で学ぶ養液栽培　培養液管理から環境制御まで丸わかり（日本養液栽培研究会／誠文堂新光社／¥5,940／ISBN=978-4-416-52469-5）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2691566
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**植物学入門1系統と形態・分類**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ナカムラ　トシヒコ 中村　俊彦 東京大学大学院農学特定支援員
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
約40億年の地球生命の歴史のなかで、植物は二酸化炭素を吸収し、ヒトを含む動物に酸素をもたらす生物として進化し現在に至っています。そして植物は、花や葉、茎、根、さらに果実や種子は、食料から燃料、木材、衣服、医薬、また生け花や庭木、街路樹と、私たちの日々の生活に必要不可欠なものです。また清らかな水や空気をもたらし、豊かな土壌を育んでいるのも植物です。このような、植物とは？ その歴史と進化で育まれた多種多様な植物について、その形態や分類を中心に解説し、私たちの資源としての未来を考察します。
【到達目標】
多種多様な植物の系統や形態・分類の理解を深めるとともに、植物と人間の将来について想いをめぐらすようになる。
【授業テーマ】
第1回 プロローグ：植物たちの冬じたく
第2回 植物の研究と進化系統
第3回 ウイルス・細菌・菌類、地衣類、藻類
第4回 コケ植物とシダ植物
第5回 シダ植物から種子植物へ
第6回 種子植物の花と生殖
第7回 種子植物の根、茎、葉
第8回 エピローグ：植物資源とその未来
【学生へのメッセージ】
私たちの身の回りにはたくさんの植物が存在しますが、その形態や分類への理解とともに植物への興味を高め、植物をより好きになっていただければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。課題レポートの準備を早めに進めていただければと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。レポート課題は「身近な植物の種類とその相違：○○の仲間（あるいは）いろいろな△△」です。生活のなかの身近な植物（○○、△△）を2種類以上とりあげ、その植物学的な相同や相似、また人とのかかわりについてのレポートをお願いします。レポートには、自身で画いた図を1点以上入れて下さい。なお、レポートは返却しませんので、提出はコピーで結構です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・校庭のコケ（中村俊彦・古木達郎・原田浩／全国農村教育協会／¥2,095／ISBN=9784881370926）
・樹木博士入門（小幡和男・岩瀬徹・川名興・飯島和子・宮本卓也／全国農村教育協会／¥3,190／ISBN=9784881371985）
・教養のための植物学図鑑（福田健二監修・久保山京子著／朝倉書店／¥4,400／ISBN=9784254171914）
・絵でわかる植物の世界（大場秀章監修・清水晶子著／講談社サイエンティフィック／¥2,200／ISBN=4061547542）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
“再履修可” 2016～2024年度第２学期面接授業『植物学入門』の授業内容と重複するところがあります。

科目コード	2691574
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**地層の縞模様から探る地球環境史**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	25名
担当講師	イトウ　マコト 伊藤　慎 千葉大学名誉教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
地層には様々な形や大きさの縞模様が観察されます。このような縞模様は「堆積構造」とよばれ、地層を構成する粒子が運搬され堆積するまでの一連のプロセスの特徴が記録されています。したがって、堆積構造の特徴から地層を形成した流れの種類、方向、速さ、深さなどの情報を解読することができます。さらに、堆積構造は、地層が形成された堆積環境の特徴や堆積環境の変遷とその要因などの解読にも活用されます。この授業では、堆積構造のでき方や堆積構造から読み取れる太古から現在に至る地球環境史の理解を目指します。
【到達目標】
土砂移動の水理、堆積構造の形成過程、ならびに陸域、沿岸、浅海、深海での堆積過程と侵食過程の基礎事項を理解することができるようになる。そしてその理解に基づいて、地層に記録された地球環境史の特徴についての理解を深めることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 地層の形成要因と砕屑粒子の始動条件
第2回 一方向流による土砂の移動と堆積構造の形成過程
第3回 振動流ならびに潮流による土砂の移動と堆積構造の形成過程
第4回 重力流による土砂の移動と堆積構造の形成過程
第5回 河川で形成された地層に記録された地球環境史
第6回 沿岸ならびに浅海で形成された地層に記録された地球環境史
第7回 深海で形成された地層に記録された地球環境史
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
授業までに機会があれば、(1) 川や海での水の動き、ならびに (2) 川の流域や海岸付近での礫、砂、泥などの粒子の動きを観察してみて下さい。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・フィールドマニュアル　図説　堆積構造の世界（日本堆積学会（監修)・伊藤慎（総編集）／朝倉書店／¥4,730／ISBN=9784254162790)
・房総半島の地層と岩石のフィールドガイド–チーバくんと探る大地の成り立ち（伊藤慎（編集）／コロナ社／¥4,290／ISBN=9784339066739)

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
授業内容に関連するプリントを適宜配付します。

科目コード	2691582
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**地球表層の資源と環境**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	トマル　ヒトシ 戸丸　仁 千葉大学大学院教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
地球表層では様々な物質が移動、循環し、有用な資源となる一方で、時には環境課題を引き起こします。本授業では、化石燃料、メタンハイドレート、ヨウ素などの資源がどのように形成されるのかを題材に、深海や地下のような直接目に見えない世界で起きている現象を地球科学の視点から探究します。さらに、身近なマイクロプラスチック問題にも触れながら、資源の恩恵と環境保全のバランスについて考え、地球表層のダイナミックな仕組みを総合的に紐解いていきます。

【到達目標】
化石燃料、メタンハイドレート、ヨウ素などの資源形成メカニズムと、地球表層における物質循環の基本を理解できる。また、海底環境の変動やマイクロプラスチック問題などの具体的な事例を通して、資源の利用と環境課題に対して地球科学の視点から客観的・論理的に考察できる。

【授業テーマ】
第1回 地球表層を構成する物質
第2回 化石燃料の形成と利用
第3回 海底環境の形成と変動
第4回 メタンハイドレートの特徴と分布
第5回 メタンハイドレートと環境変動
第6回 ヨウ素資源の形成
第7回 マイクロプラスチックと地球環境
第8回 まとめと振り返り

【学生へのメッセージ】
地球科学の壮大な時間・空間スケールで起きている現象は、現在の環境や私たちの生活に密接に結びついています。目に見えない地下や深海で今何が起きているのか、好奇心を持って学んでください。

【受講前の準備学習等】
授業で扱う物質の特徴を説明する際に、元素記号、化学反応式、物質量（mol）などを使用します。中学～初歩的な高校の化学分野を復習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・スクエア最新図説地学（西村祐二郎、杉山直　監修／第一学習社／¥957／ISBN=9784804047454）
・フォトサイエンス地学図録（数研出版編集部／数研出版／¥946／ISBN=9784410287732）
・ニューステージ地学図表（浜島書店編集部／浜島書店／¥950／ISBN=9784834340181）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691590
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**菌類学入門**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ホソヤ　ツヨシ 細矢　剛 国立科学博物館植物研究部長
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
菌というと何を思い浮かべますか。本講義では菌類（カビ・きのこ・酵母）の生物学的位置に始まり、菌糸細胞の細胞学的な基本、自然界での生態、分類の基本などを学びます。また、私達の生活とも深く関わっている菌類の応用についても紹介し、菌類について深く考える入口とします。実物の提示・展示によって、実感をもって理解してもらうことを目指します。

【到達目標】
学生が真菌類とバクテリアの違いを説明することができるようになる。菌糸の特徴について理解し、菌類の生活との関連を説明できるようになる。分類学の基本を理解し、真菌類の特徴を理解し、主要な分類群を説明できるようになる。菌類の生態学的特性を理解し、私達の生活との関連について説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 菌類と私達の生活
第3回 菌類の生物学的位置
第4回 菌類の細胞学的基礎
第5回 分類と進化
第6回 菌類の生態
第7回 人新世と菌類
第8回 まとめ

【受講前の準備学習等】
菌類についての知識はどんどん更新されています。テキストとして出版されているものも情報がどんどん古くなってしまいますので、事前に読めるようなものを準備します。事前にダウンロードして読んでから授業に臨んでください。

【成績評価の方法】
授業の途中で、適宜、簡単なチェックテストを行い、理解度を確認していただきます。また、講義終了時点でまとめのレポートを書いてもらいます。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・菌類の隠れた王国～森・家・人体に広がるミクロのネットワーク～（キース・サイファート著、熊谷玲美訳　／白揚社／¥2,970／ISBN=9784826902601）
入門書として適切
・菌類のふしぎ　形とはたらきの驚異の多様性　第2版（細矢剛／東海大学出版部／¥3,080／ISBN=9784486020264）
大学生など向けに書いた本で、前掲の本より専門的内容です。ただし、多少時代遅れになりつつあります。
・菌類の世界　きのこ・カビ・酵母の多様な生き方（細矢剛／誠文堂新光社／¥2,420／ISBN=9784416211106）
子供向けの本ですが、大人が読んでも十分難しい内容が含まれています。写真を多数掲載しているので、楽しく読めます。
・基礎から学べる菌類生態学（大園享司／共立出版／¥2,750／ISBN=9784320057876）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2691604
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**植物学入門2 生態と人のかかわり**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ナカムラ　トシヒコ 中村　俊彦 東京大学大学院農学特定支援員
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月16日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
生態とは､生物が自然界で生きていく様（ようす）のことです｡まさに私たちヒトも､生物の一種として、自然とのかかわりで生きていく生態（ライフスタイル）があります。植物学入門２では、植物の分布や生態、また生育する場所の環境に、多種多様な植物がどのようにかかわり、生命を伝えているかを解説します。この自然環境とのかかわりによってもたらされる植物の群落の姿とその動態・遷移、またその中で展開される競争や共生、さらに、急速に変化している地球環境のなかでの私たちと植物とのかかわりについても考えたいとおもいます。
【到達目標】
多種多様な植物の生態や人とのかかわりについての理解を深めるとともに、植物と人間の将来について想いをめぐらすようになる。
【授業テーマ】
第1回 プロローグ：正月の植物
第2回 植物の分布と環境
第3回 植物群落と生態系
第4回 競争や共生・寄生
第5回 植物群落の遷移
第6回 里山里海の植物生態
第7回 植物の保護、保全再生
第8回 エピローグ：生態系の変化と人間社会
【学生へのメッセージ】
私たちの身の回りにはたくさんの植物が存在しますが、その分布や生態への理解とともに植物への興味を高め、植物をより好きになっていただければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。課題レポートの準備を早めに進めていただければと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。課題レポートの準備を早めに進めていただければとおもいます。レポート課題は「春を待つ身近な植物、○○○の観察」です。春を待つ身近な植物を選び、その冬じたくの様子などを観察し、スケッチと写真等で解説していただき、春の姿についても調べ､レポートにして下さい｡レポートは返却しませんので提出はコピーで結構です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・図説 日本の植生[講談社学術文庫 1534]（沼田 眞・岩瀬 徹／講談社／¥1,298／ISBN=9784061595347）
・里やま自然誌（中村俊彦／マルモ出版／¥2,750／ISBN=9784944091331）
絶版で、古書としては高額なので図書館等で閲覧ください
・教養のための植物学（福田健二監修・久保山京子著／朝倉書店／¥3,850／ISBN=9784254171808）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
“再履修可” 2016～2024年度第２学期面接授業『植物学入門』の授業内容との重複があります。

科目コード	2691612
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**おいしさと調理の科学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定員	50名
担当講師	オオイシ　キョウコ 大石　恭子 昭和女子大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験･レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
米、小麦、芋、野菜、肉、魚について、食品材料、調理法の特徴とおいしさとの関係について解説します。食品材料は調理操作によって物理的、化学的に変化し、それらの変化においしさが関与します。普段、何気なく行っている調理には美味しく食べるための科学的な裏付けがあるわけです。おいしさを科学的な視点で捉えることにより、調理について理解を深めます。
【到達目標】
米、小麦、芋、野菜、肉、魚といった食品材料について、それぞれの調理法の特徴とおいしさとの関係を科学的に理解できるようになる。調理操作による物理的・化学的変化を理解し、それらがおいしさにどのように関与するかを考察できるようになる。さらに、科学的な視点から調理を分析し、その知識を日常の調理に応用することができる。
【授業テーマ】
第1回 調理の目的とおいしさ
第2回 だしのおいしさと健康効果
第3回 米の調理とおいしさ
第4回 小麦の調理とおいしさ
第5回 いもの調理とおいしさ
第6回 野菜の調理とおいしさ
第7回 肉・魚の調理とおいしさ
第8回 鍋と加熱機器の特徴
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691620
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**日本の身体文化**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヤタベ　ヒデマサ 矢田部　英正 日本身体文化研究所／武蔵野美術大学
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
「日本とは何か？」というテーマについて「身体技法」という視点から考える授業です。日本人の立居振舞いの特徴や「衣」「食」「住」の身近なテーマから、生活の根底に潜む文化の形について、映像とともに解説します。道具が内に秘めている身体の論理について理解し、物事の「道理」を「具」える「道具」の由縁を明らかにします。現代生活のなかで、自然と調和した文化のあり方について考える場にしたいと思います。
【到達目標】
身体の使い方にも和式と洋式のちがいがあることを理解し、ゲタとクツとを歩き分けるための技を身につけることができる。「自然体」にもとづく立ち居の論理を学ぶことで、ストレスのない美しい振る舞いの技術を習得することができる。
【授業テーマ】
第1回 日本とは何か？
第2回 身体にあらわれる文化の特色について
第3回 衣服が規定する文化様式
第4回 身体美の起源について
第5回 坐り方の歴史
第6回 人はなぜ椅子に座るようになったのか？
第7回「正しい姿勢」とは何か？
第8回 よい椅子の選び方・座り方
【学生へのメッセージ】
「身体技法」という無形文化が中心テーマとなります。テキストでしっかり予習・復習し、理解を深めてください。実生活を豊かにするヒントを持ち帰っていただければ幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
7限に実技を行うので、２日目は動きやすい服装で参加のこと
教科書
【教科書】
・たたずまいの美学～日本人の身体技法（矢田部英正／中公文庫／¥924／ISBN=9784122055407）
事前に購入して授業当日必ず持参してください。
・坐の文明論（矢田部英正／晶文社／¥2,420／ISBN=9784794970275）
事前に購入して授業当日必ず持参してください。
【参考書】
・風土（和辻哲郎／岩波文庫／¥1,210／ISBN=9784003314425）
・日本文化の形成（宮本常一／講談社学術文庫／¥1,100／ISBN=9784061597174）

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691639
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**社会と感染症**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	ウルマ　レイコ 潤間　励子 千葉大学総合安全衛生管理機構教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちは感染症と無縁に生きることはできません。本講義では、医学的な基礎知識にとどまらず、感染症が社会に与える影響（差別、法律、経済、食の安全）を多角的に学びます。日常生活で直面する予防接種・食中毒などの身近なテーマを掘り下げます。
【到達目標】
学生さんが、正しい情報に基づき、感染症流行状況やそれに伴う社会の反応を理解し、対応できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 感染症の基礎
第2回 感染症への偏見と感染症法
第3回 予防接種
第4回 海外渡航と感染症
第5回 動物由来感染症とワンヘルス
第6回 呼吸器感染症とパンデミック
第7回 食中毒の社会への影響
第8回 最近話題になった感染症
【学生へのメッセージ】
非医療系学生/非医療系職の学生向けの講義となります。出席、講義への参加（質問）、レポートで評価を行います。
【受講前の準備学習等】
学生が居住もしくは通学通勤圏の行政が発出する、感染症情報を確認しておいてください。
【成績評価の方法】
各回の最後に質問コーナーを設けますので、積極的に質問することを評価します。レポートは高度な医学知識を問うものではなく、授業を通じて得た「社会に対する視点」を重視します。レポート作成は講義時間に含めず、最終日の講義終了後にレポートを作成する、もしくは、別途設定する締め切り日までに千葉学習センター事務室へ提出されたものについて評価の対象とします。なお、レポートは返却します。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2691647
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**漢方と未病**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定員	70名
担当講師	キタ　トシアキ 喜多　敏明 辻仲病院柏の葉　漢方未病治療センター長
日程 実施時間	12月11日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
最近、漢方がブームになっていますが、漢方について正しい知識をどれだけ持っているでしょうか？
漢方について正しい知識を習得すれば、病気になる前の未病の段階で治すことが可能になります。
本講義では、漢方の特質と歴史、基礎理論と臨床アプローチについて体系的に学習しながら、漢方と未病の関係について様々な角度から考えてもらいます。
そして、病気になる前に未病を治す秘訣（自然治癒力をオンにする生き方）を手に入れることが本講義の目的です。
【到達目標】
・漢方医学の特質について理解し、実証・虚証・寒証・熱証タイプの違いについて説明できる。
・漢方医学の歴史について理解し、外感病と内傷病に対するアプローチの違いについて説明できる。
・西洋医学と漢方医学の視点について理解し、西洋型未病と東洋型未病の違いについて説明できる。
・気虚、血虚、腎虚、水滞、瘀血、気鬱の病態について理解し、各病態に合った養生について説明できる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション　漢方薬と漢方医学の特質
第2回 漢方医学の歴史と基礎理論
第3回 気血水の臨床アプローチ（1）気虚・血虚・腎虚
第4回 気血水の臨床アプローチ（2）水滞・瘀血・気鬱
第5回 漢方で未病を治す（総論）
第6回 漢方で未病を治す（各論）ストレスによる未病
第7回 病気になる前に未病を治す秘訣
第8回 がんが自然に治る生き方
【受講前の準備学習等】
授業の内容を深く理解するために、参考図書『病気はチャンス』を事前に読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・病気はチャンス　治る力を引き出す漢方（喜多敏明／クリエイトブックス／¥1,650／ISBN=9784909162076）
Amazonでのみ入手可（一般書店で入手不可）、単行本・Kindle版どちらでも可

科目コード	2691655
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**生と死の臨床医学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イトウ　ハルオ 伊藤　春雄 東京歯科大学非常勤講師
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
医学・医療への関心は益々高まる中、医学・医療についての知識、情報は大いに氾濫しています。これに対し、私たちは、自分自身で「医学的なものの考え方」を養い、知識や情報の選択の目を持つことが求められます。本講では、現代医学を生と死の二面から大きく分け、現代社会を強く反映した医学の現状を学びます。これにより、学生自身の「日々の現代医学との関わり方」の益となれば幸です。若い方、医療従事者を目指す方、現役医療従事者の参加歓迎です。

【到達目標】
現代社会を医学という視点から観ることができる。現代社会の抱える医学的な課題を含めた現状の一面を自身の立場からとらえて理解することができる。法医学という「死の医学」とはどのようなものかを理解することができる。私たちが日常で接する「生の医学」とこの法医学という学問はどのような関係にあるかを自身の言葉で説明できる。

【授業テーマ】
第1回 生の医学（1）医の心とは 生命倫理学 東西医学史
第2回 生の医学（2）現代医療社会をみつめて 医療事故 虐待 感染症 AIDS他
第3回 生の医学（3）検査と医療 現代医療の最前線ー 命を続ける命たち
第4回 生の医学（4）臨床の紹介 人類の進化と文明病
第5回 死の医学（1）法医学とは何かー 生と死の間で
第6回 死の医学（2）死の現象 ヒトの死に様
第7回 死の医学（3）外因死 ヒトの死に方
第8回 死の医学（4）個人識別とDNA鑑定

【学生へのメッセージ】
人の死を対象とした「法医学」という内容に鑑み、授業資料の配布はありません。ご自身で授業を聞き、感じ取り、メモ、ノートをとりつつ、更なる自己学習へ繋げて行くという学習姿勢の方歓迎です。この点をご理解頂いた方のみ是非ご参加ください。

【受講前の準備学習等】
各自が臨床医学、法医学に関する教科書、成書について自由に選び、図書館など利用して読み、講義前の基礎知識としておいてください。同時に、読んでみて疑問が生じた点があれば、講義の際に教員に質問してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び授業終了後の試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、メモのとれるノート

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
単位取得には最終時限の試験の受験が必須。また、原則として全８回の出席が必要。

科目コード	2689120
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験１**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	マツイ　ススム 松井　進 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基本的な実験を実験者または参加者の役割で体験し、実験の実施方法や結果の整理の方法について学んでもらいます。実験のテーマについては、「ミュラーリヤー錯視」「対連合学習」「情報伝達」「書字スリップ」を扱います。なお単位取得の条件は、原則８回の授業すべてに出席することと、各テーマのレポートを全て提出することです。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 錯視についての説明
第2回 ミュラーリヤー錯視の実験
第3回 実験レポートの書き方の説明
第4回 記憶についての説明
第5回 対連合学習の実験
第6回 情報伝達の実験
第7回 アクション・スリップについての説明
第8回 書字スリップの実験

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	アリイズミ　ユカリ 有泉　優里 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月28日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験３種の実習を行います。各実習では、受講生の皆さんが実験参加者となった後、研究者の視点で実験を理解した上で、結果を基に考察を行います。その過程で、実験結果の分析方法や心理学実験レポート（問題と目的、方法、結果、考察）の書き方を学びます。最後の実験では実験者の役割も体験します。全実験実習への参加、及び、各実験についてのレポート作成・提出が必須です（計３種のレポート）。原則８回の授業すべてに出席する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、実験１「逆向抑制」実施
第2回 実験１「逆向抑制」解説、心理学実験レポートの書き方
第3回 心理学実験法・統計の基礎
第4回 実験１「逆向抑制」結果・考察
第5回 実験２「囚人のジレンマ」実施・解説
第6回 実験２「囚人のジレンマ」結果・考察
第7回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」実施・解説・結果
第8回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」考察、レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
遅刻しないように注意してください。第1回から通して出席しなければ実習課題は達成できません。中途出席者の実験参加は認められません。実習ではパソコンは不使用です。実験結果を手計算（電卓）で算出します。レポートはパソコン・手書きのどちらでも作成可能で、提出期限は授業終了から約2週間後とします（郵送または窓口提出、レポート返却なし）。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。レポートテーマ（予定）：心理学実験レポート3種

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2691663
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**思春期の 問題行動・非行への臨床**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ユウマ　チアキ 遊間　千秋 駿河台大学心理学部特任教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
国際情勢も国内情勢も不安定な中、少子高齢社会が進み、子どもたちを取りまく社会状況は多くの問題を抱えています。こうした中、子どもたちの健全な成長を支えていくには、どうすればよいのでしょうか。この授業では、昨今の思春期の子どもたちの問題行動や非行を心理学的視点にたって理解し、子どもや家族をどのように支援していくかを、架空事例なども多く取り入れながら具体的に考えていきます。
【到達目標】
社会の状況を踏まえて、子どもたちの現状や行動を理解できるようになる。また、そうした理解にたって、大人としてどのように子どもたちに接し、支援していくかを考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 思春期の子どもたちを理解する①
第2回 思春期の子どもたちを理解する②
第3回 思春期における行動上の問題①非社会的問題行動等
第4回 思春期における行動上の問題②反社会的問題行動（非行）
第5回 家庭・学校で起こる問題行動の理解と対応
第6回 事例に学ぶ（1）
第7回 事例に学ぶ（2）
第8回 全体の振り返りとまとめ
【学生へのメッセージ】
ご自身の思春期・青年期にも思いをはせながら、どのように子どもたちを理解し、支援していくかをともに考えていきたいと思います。それぞれの体験を生かした、積極的・主体的な意見、意欲をもった方の参加を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
日々の生活の中で、子どもをめぐる問題（不登校、いじめ、虐待、非行等）に注目し、それぞれ問題意識をもって参加してください。特に、文部科学省のHPにある「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」や犯罪白書第３編「少年非行の動向と非行少年の処遇」第１章は参考になりますので、目を通しておいてください。（いずれもインターネット上で閲覧可能）
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具以外特に必要なものはありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691671
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**メディアと子どもの発達**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	マツオ　ユミ 松尾　由美 江戸川大学講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
本科目では、テレビやテレビゲーム等のメディア利用が子どもの発達にどのような影響を及ぼすのかを心理学の観点から学びます。メディア利用が子どもの発達に及ぼす影響については様々な観点から研究が進められていますが、本科目では主に「社会性」に関わるトピック（言語やコミュニケーション等の発達）を扱います。また、子どもとメディアの上手な付き合い方をどのように教えたらよいのかについても一緒に考えます。
【到達目標】
・現代の子どもを取り巻くメディアに関する問題について、心理学の理論や研究知見を用いて説明することができる。
・メディア利用が子どもの発達に及ぼす影響を検討する研究で得られた知見について、研究手法の違いを踏まえて、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 子どものメディア利用の現状と課題
第2回 子どもの発達に及ぼすメディアの影響に関する理論の概説
第3回 メディアと社会性の発達①－コミュニケーションの発達を中心に
第4回 子どもは映像をどう見ているか？　演習　グループディスカッション
第5回 メディアと社会性の発達②－言語の発達を中心に
第6回 保護者のメディア利用が子どもに与える影響
第7回 メディアとの付き合い方をどう教えるか
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
この科目は、講義を聞くだけではなく、映像等を見て考えたり、それに関するグループディスカッションを行う予定です。この機会を活かして、他の受講生とのコミュニケーションを深め、現在の子どもを取り巻くメディア環境について考えるきっかけにして欲しいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業資料は、印刷して配付します。また、投影するスライドの資料と合わせて、GoogleClassroom上で、当日、共有します。Classroomのコードはg7dzfp6eです。印刷やスクリーンの都合上、資料やスライドの文字が不鮮明であったり小さいことがあるかもしれません。その場合は、Classroomのファイルをご確認頂ければと思います。手元で資料を確認するために、必要であれば、パソコンやタブレット端末等をご用意ください。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	マツイ　ススム 松井　進 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基本的な実験を実験者または参加者の役割で体験し、実験の実施方法や結果の整理の方法について学んでもらいます。実験のテーマについては、「ミュラーリヤー錯視」「対連合学習」「情報伝達」「書字スリップ」を扱います。なお単位取得の条件は、原則８回の授業すべてに出席することと、各テーマのレポートを全て提出することです。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 錯視についての説明
第2回 ミュラーリヤー錯視の実験
第3回 実験レポートの書き方の説明
第4回 記憶についての説明
第5回 対連合学習の実験
第6回 情報伝達の実験
第7回 アクション・スリップについての説明
第8回 書字スリップの実験

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	アリイズミ　ユカリ 有泉　優里 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月11日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験３種の実習を行います。各実習では、受講生の皆さんが実験参加者となった後、研究者の視点で実験を理解した上で、結果を基に考察を行います。その過程で、実験結果の分析方法や心理学実験レポート（問題と目的、方法、結果、考察）の書き方を学びます。最後の実験では実験者の役割も体験します。全実験実習への参加､及び､各実験についてのレポート作成・提出が必須です（計３種のレポート）。原則８回の授業すべてに出席する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、実験１「逆向抑制」実施
第2回 実験１「逆向抑制」解説、心理学実験レポートの書き方
第3回 心理学実験法・統計の基礎
第4回 実験１「逆向抑制」結果・考察
第5回 実験２「囚人のジレンマ」実施・解説
第6回 実験２「囚人のジレンマ」結果・考察
第7回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」実施・解説・結果
第8回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」考察、レポート執筆指導

【学生へのメッセージ】
遅刻しないように注意してください。第1回から通して出席しなければ実習課題は達成できません。中途出席者の実験参加は認められません。実習ではパソコンは不使用です。実験結果を手計算（電卓）で算出します。レポートはパソコン・手書きのどちらでも作成可能で、提出期限は授業終了から約2週間後とします（郵送または窓口提出、レポート返却なし）。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。レポートテーマ（予定）：心理学実験レポート3種

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サカイ　アツシ 酒井　厚 東京都立大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理検査は、パーソナリティなどの個人の心理的な諸特性について測定するために用いられるものです。本講義では、心理検査の種類や理論的背景について解説をしたうえで、実際に３つの心理検査を体験します。また、収集した一部のデータをまとめる作業として、パソコンを使った簡単な統計処理も行います。授業後には、すべての課題について、得られた結果をもとに学術的レポートを提出します。原則８回の授業全部に出席する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の歴史と種類および研究倫理
第2回 検査実習１　質問紙調査法（NEO-PI-R人格検査）
第3回 検査実習１　NEO-PI-R人格検査で収集したデータの集計・解析
第4回 検査実習２　作業検査法（内田クレペリン検査）の実施
第5回 検査実習２　内田クレペリン検査による結果の整理と解釈
第6回 検査実習３　投影法（HTPテスト）の実施
第7回 検査実習３　HTPテストによる結果の整理と解釈
第8回 まとめ：心理検査の組み合わせ方と検査の信頼性・妥当性
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さまが、心理検査から得られた結果を総合的に判断するという学習過程を学ぶとともに、自分あるいは他者を理解する一つの機会になれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
授業や提出するレポートでは、ワードやエクセルといったパソコンのワープロソフトや表計算ソフトを使用します。入力などの基本的作業を練習しておいてください。授業ではエクセルを使用します。
インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。なお、レポートは返却します。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
　WindowsとMacのどちらでも問題ありませんが、データをやりとりするために
　Windowsのファイルが問題なく使用できるようにしておいてください。
３．ソフトのインストール
　簡単な統計解析を実施いたしますのでExcelが必要です。
４．その他
　・ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学では、収集した心理検査のデータを、統計処理してまとめたり個々のケースを丁寧に見たりして、様々な方法で考察していきます。限られた時間での実施となりますから、心理学の初学者にはそうしたことに矛盾を感じることがあるかもしれません。授業には、柔軟さや多様性という観点を持って取り組んで頂ければと思います。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
なお、レポートは返却されますが添削等はいたしません。

科目コード	2689146
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	イトウ　コウキ 伊藤　晃碧 東京都健康長寿医療センター研究所研究協力員
日程 実施時間	11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
３種類の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。原則として8回の授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。予定している実験は、要求水準、自由再生における系列位置効果、パーソナルスペースです。授業時間中にデータ整理を行い、後日レポートを提出していただきます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 要求水準　実験実施
第3回 要求水準　実験の説明、データ整理、レポート執筆指導
第4回 自由再生における系列位置効果　実験実施、実験の説明
第5回 自由再生における系列位置効果　データ整理、レポート執筆指導
第6回 パーソナルスペース　実験実施
第7回 パーソナルスペース　実験の説明、データ整理
第8回 パーソナルスペース　レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
心理学実験の楽しさが伝わるように授業をしたいと思いますので、ぜひ積極的に授業に参加していただけますと嬉しいです。実験では他の受講生との交流があること、授業後に自宅でレポート作成の時間が必要であることをご了承いただいたうえで受講してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
レポート作成のための筆記用具をお持ちください。ボールペンではなくシャーペンや鉛筆など書き直しができるものをお勧めします。必須ではありませんが、グラフを作成するため、定規もお持ちいただけると良いと思います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	L
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	マエシロ　カズミ 眞榮城　和美 白百合女子大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説をしたうえで、実際に３つの心理検査を体験し、それぞれについて、レポート（目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート）にまとめていただきます。原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション　心理検査の意義　心理検査の種類
第2回 検査実習１　YG性格検査
第3回 検査実習２　自尊感情尺度　レポートの書き方
第4回 心理尺度の作り方（項目分析、因子分析法）　実習１、２のレポート執筆指導
第5回 検査実習３　バウムテスト　実習３のレポート執筆指導
第6回 投影法（ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、P-F スタディなど）とは
第7回 知能検査（集団式、WISCなど）とは
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）、倫理的問題　まとめ
【学生へのメッセージ】
心理検査を実施して、ご自身の結果を解釈してレポート（目的・方法・結果・考察を含む標準的レポート）を提出してもらいます。この授業が、ご自身のことを振り返るきっかけとなれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと 後日提出の レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
HBの鉛筆２、３本と消しゴム、ボールペン（黒・赤）、定規（短いものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691680
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**社交不安症の認知行動療法**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヒラマツ　ヨウイチ 平松　洋一 千葉大学　子どものこころの発達教育研究センター
日程 実施時間	12月10日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月11日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
社交不安症は、人前での発表やグループに後から入るなどの対人場面で不安が大きくなりすぎるために、学校や仕事に行けなくなるなど、日常生活に支障が起きる心の病気です。その治療としての認知行動療法は、認知（考え方）、行動、注意の偏り（バイアス）のパターンが不安を大きくする悪循環につながることを見つけ出し、バランスを取るようにする精神療法のことです。本授業で、自分がクライエントになったつもりで体験しながら概要を学びましょう。※学生へのメッセージ及び準備の欄をよくお読みの上お申し込みください。
【到達目標】
認知行動療法について、また社交不安症について理解できるようになる。
社交不安症の認知行動療法がどのようなプロトコルで進むかを体験的に理解できる。
【授業テーマ】
第1回 総論、認知療法（認知再構成）、行動療法（曝露療法）
第2回 社交不安症の疫学、症状評価、不安と認知
第3回 安全行動、注意のシフト演習
第4回 ビデオ・フィードバック、行動実験演習
第5回 世論調査、反芻・心配
第6回 記憶の書き直し、スキーマワーク演習
第7回 再発予防、アサーティブ・コミュニケーション演習
第8回 不安へのコンパッションについて
【学生へのメッセージ】
教科書「自分で治す社交不安症」は、実際に書き込みながら取り組むので、必ずご用意ください（電子書籍版でも可）。その他の教科書は必須ではありませんが、ご用意いただくと認知行動療法についての予習に役立ち、理解が促進されます。
※頻繁にグループワークや発表を行います。苦手な方はご注意ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
※全員が時間内にワークを終えるまで待たずに進行してしまう場合があります。ご心配な方は事前にテキストに一通り目を通しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書「自分で治す社交不安症」は、実際に書き込みながら進めていくため必須（直接書き込むことはできませんが電子書籍版でも可）。鉛筆、消しゴム、ノート、ビデオ撮影可能なスマートフォン・タブレット・デジカメなど
【教科書】
・自分で治す「社交不安症」（清水栄司／法研／¥1,650／ISBN=9784865130805）
自分で書き込みながら講義を進めますので、事前に購入して授業当日必ず持参してください。電子書籍版でも可
・認知行動療法のすべてがわかる本（清水栄司／講談社／¥1,650／ISBN=9784062594448）
必須ではありません。ご用意いただくと予習に役立ち、理解が促進されます。
【参考書】
・自分でできる認知行動療法　うつと不安の克服法（清水栄司／星和書店／¥2,090／ISBN=9784791107476）

【その他（特記事項）】
※頻繁にグループワークや発表を行います。苦手な方はご注意ください。
※全員が時間内にワークを終えるまで待たずに進行してしまう場合があります。ご心配な方は事前にテキストに一通り目を通しておいてください。

科目コード	2689146
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	イトウ　コウキ 伊藤　晃碧 東京都健康長寿医療センター研究所研究協力員
日程 実施時間	12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
３種類の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。原則として8回の授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。予定している実験は、要求水準、自由再生における系列位置効果、パーソナルスペースです。授業時間中にデータ整理を行い、後日レポートを提出していただきます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 要求水準　実験実施
第3回 要求水準　実験の説明、データ整理、レポート執筆指導
第4回 自由再生における系列位置効果　実験実施、実験の説明
第5回 自由再生における系列位置効果　データ整理、レポート執筆指導
第6回 パーソナルスペース　実験実施
第7回 パーソナルスペース　実験の説明、データ整理
第8回 パーソナルスペース　レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
心理学実験の楽しさが伝わるように授業をしたいと思いますので、ぜひ積極的に授業に参加していただけますと嬉しいです。実験では他の受講生との交流があること、授業後に自宅でレポート作成の時間が必要であることをご了承いただいたうえで受講してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
レポート作成のための筆記用具をお持ちください。ボールペンではなくシャーペンや鉛筆など書き直しができるものをお勧めします。必須ではありませんが、グラフを作成するため、定規もお持ちいただけると良いと思います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2691698
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**カウンセリングの理論と実際**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	カネコ　チエコ 金子　智栄子 文京学院大学名誉教授
日程 実施時間	12月24日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月25日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
日常生活の中でカウンセリングという言葉が良く聞かれます。本来、カウンセリング（counseling）には「助言、相談」などの意味がありますので、お肌のカウンセリングなど、広く相談活動一般を示すものです。しかし、心理臨床ではカウンセリングを心という観点からより限定的に位置づけます。本授業では心理的な観点からカウンセリングの理論を理解し、カウンセリング・ロールプレイなどの実体験を通しながらカウンセラーとは何かについて学びます。
【到達目標】
カウンセリングについて理論的背景を踏まえて理解できる。
カウンセラーとしての自分の特徴について気づくことができる。
【授業テーマ】
第1回 カウンセリングとは何か：カウンセリングの効果、カウンセリングのプロセスなど
第2回 カウンセリングの諸理論（1）：精神分析理論、ユング心理学やクライエント中心療法のアプローチなど
第3回 カウンセリングの諸理論（2）：交流分析、家族療法など
第4回 カウンセリング・ロールプレイ：カウンセラー、クライアント、オブザーバーの3役を体験
第5回 カウンセラーのあり方：カウンセラーの倫理、カウンセラーの人間観など
第6回 カウンセラーが必要とされる発達理解：各発達段階での課題など
第7回 開発的カウンセリング：構成的エンカウンターグループを体験
第8回 ノンバーバル・コミュニケーション：描画法で自分のイメージを表現
【学生へのメッセージ】
面接授業の特徴を生かして、実践を取り入れて学びます。エクササイズは簡単なものですので、気軽に楽しんでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
第8回ノンバーバル・コミュニケーションでは、クレヨン、クレパス、サインペン、マジック、色鉛筆などどれか色がつくものを持参してください。学習センターでも貸し出すことは可能ですが、数に限りがありますので、お手持ちの場合はご持参ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・教育相談とカウンセリング―子どもの発達理解を基盤として―（金子智栄子／樹村房／¥2,090／ISBN=9784883672967）

科目コード	2691701
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**音楽療法概論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	オオシマ　ミチエ 大島　美知恵 宇都宮共和大学准教授／ 宇都宮短期大学非常勤講師
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
音楽療法の総論として、歴史・定義・音楽の役割、そして音楽療法の対象となる領域の基本的な概要を幅広く学びます。授業では、楽器や教材、映像等を用いながら理解を深め、具体的なイメージをつかんでいただきます。また、受講生同士のコミュニケーションや実際の音楽活動も積極的に取り入れます。
本講座は「気分に合わせた曲選び」やクラシック鑑賞を主とした内容ではありません。即興演奏・歌唱・身体活動などを通して対象者の主体性を引き出す能動的音楽療法の理論と実践を扱います。
【到達目標】
・人と音楽の関係性について、歴史や日常生活にある音・音楽を見直すことから理解し、音楽が療法として利用される理由を説明できる。
・音楽のもつ特性と、対象者領域による音楽療法のアプローチの違いを理解する。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 音楽療法の歴史及び定義
第3回 音楽療法における音楽の役割
第4回 児童対象の音楽療法
第5回 成人対象の音楽療法
第6回 高齢者対象の音楽療法
第7回 精神科及び緩和ケアでの音楽療法
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
音楽療法を基礎から学び、実践に触れたい方の受講を希望します。基礎的な内容を一緒に学びながら、音楽療法が日常の中でどのように役立つのかも感じてみてください。
【受講前の準備学習等】
・参考図書を読むなど、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容を復習し、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
タオル1枚と金属製またはステンレス製スプーン一つ、縫い糸60㎝程度
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・音楽療法の基礎（村井靖児／音楽之友社／¥1,980／ISBN=9784276122888）

科目コード	2691710
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**SDGs時代の国際協力**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	40名
担当講師	ヒラヤマ　シュウイチ 平山　修一 国際協力機構（JICA）国際協力専門員 ヤマグチ　エツコ 山口　悦子 ジョイセフ事務局長 ナカワ　ナギサ 中和　渚 関東学院大学建築・環境学部准教授 コニシ　ノブユキ 小西　伸幸 公益財団法人笹川平和財団 アジア・イスラム事業Gグループ長 イソガイ　シロヒ 礒貝　白日 JICA青年海外協力隊事務局・ 社会還元促進課課長 ミズタニ　ジンヤ 水谷　陣也 JICA管理部債権管理第一課職員
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
SDGs（持続可能な開発目標）とは、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを目標としています。このSDGs達成に向けて日本が果たす役割について、国内外の国際協力の現場に当事者として関わったJICAを始め、NGO、大学、財団などで働く多彩な講師陣より、その経験を語っていただきます。中東を始め東南アジアからアフリカまでの幅広い国や地域の事情に加え、母子保健、教育、安全保障などの特定の課題やテーマ、また私たちの身近に住む在留外国人との共生に係る支援などの分野別の課題の視点を交え、総合的に、SDGs時代の私たちの生活と国際問題がどう関わっているのかを学べる機会を提供したいと考えています。
また授業の一環としてワークショップによる演習を行い、授業で得た学びや気づきをより深く感じられるようなカリキュラム構成となっています。
【到達目標】
学生が身近に触れる国際情勢の話を自分事として考えることができるようになる。また、それに対して自分の考えを持つことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 SDGs時代の国際協力　概論（平山）
第2回 イランをめぐる国際情勢（水谷）
第3回 ザンビアにおける数学教育（中和）
第4回 東南アジアASEAN（タイ）における高等教育（小西）
第5回 ガーナにおける母子保健（山口）
第6回 JICA海外協力隊の社会還元及び地域活性化と多文化共生支援（礒貝）
第7回 語らいのワークショップ（平山）
第8回 講座のまとめ（平山）
【学生へのメッセージ】
最新の国際情勢をその国際協力の当事者から貴重な生の声を聴ける良い機会かと思います。
是非多くの方の聴講をお待ちしています。
【受講前の準備学習等】
どの地域、どの分野でも構いませんので、受講前に国際協力に係る書籍を1冊読んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・現代ブータンを知るための60章（平山修一／明石書店／¥2,200／ISBN=9784750347738）
・地方からの国づくり（平山修一・永井史男・木全洋一郎／佐伯コミュニケーションズ／¥1,650／ISBN=9784905428633）

科目コード	2691728
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**航空ビジネスについて知ろう**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ミズノ　ヨシヒロ 水野　義弘 株式会社ANA総合研究所主席研究員 モリ　タケアキ 森　健明 株式会社ANA総合研究所取締役副社長 イマニシ　マサト 今西　雅人 株式会社ANA総合研究所主席研究員 ヒロオカ　シンヤ 廣岡　信也 株式会社ANA総合研究所主席研究員 マツザキ　マサユキ 松﨑　正行 全日本空輸株式会社マネージャー ニシ　マリコ 西　眞理子 株式会社ANA総合研究所主席研究員 ハラダ　ヨシタカ 原田　義孝 全日本空輸株式会社部長
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
グローバル化を促進する重要なインフラである航空業界は、一見華やかに見えますが様々な課題も抱えています。１日目は、そのような航空業界の特徴と課題を広く学んだあと、「LCC」「航空物流」について更に深く学びます。２日目は、「安全」「オペレーションマネジメント」「ホスピタリティ」「顧客満足」といった航空業界が得意とする４つのキーワードについて、より専門的に学びます。

【到達目標】
航空業界の概要を把握し、安全やホスピタリティなどの航空における重要要素について、理解し、エアラインビジネスの概略を的確に把握することができる。

【授業テーマ】
第1回 航空産業概論Ⅰ（歴史・特徴）（水野）
第2回 航空産業概論Ⅱ（ネットワーク、アライアンス、空港など）（今西）
第3回 LCC（森）
第4回 航空物流（廣岡）
第5回 航空安全（松﨑）
第6回 オペレーションマネジメント（原田）
第7回 ホスピタリティと顧客満足Ⅰ（西）
第8回 ホスピタリティと顧客満足Ⅱ（西）

【学生へのメッセージ】
航空業界にフォーカスした講義ですが、「安全」「オペレーションマネジメント」「ホスピタリティ」「顧客満足」など、他の業界にも適用できる要素が多く含まれています。航空業界への興味の有無に関わらず、幅広い皆さんの受講をお待ちしています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・航空産業入門第２版（ANA総合研究所／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492762356）
・エアラインオペレーション入門 改訂新版（株式会社ANA総合研究所／イカロス出版／¥1,980／ISBN=9784802211437）

科目コード	2691736
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**音風景学概論・フィールド編**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	カネコ　カツシ 兼古　勝史 立教大学兼任講師／武蔵大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35
実施会場	この授業は、【10月25日（日）のみ★フィールド見学（東京都内）】で行います。

授業概要

【授業内容】
世界に耳を澄まし、環境や地域、日常に息づく「サウンドスケープ＝音の風景」（耳で捉えた風景）について学び考えます。「サウンドスケープ」という捉え方、第１日目（第１回～第４回）では、この概念の成立経緯や音楽思潮としての歴史を振り返り、環境・教育・建築・まちづくり・メディア・アートなど現代社会や文化の広範な領域との関わり、様々な調査手法、実践デザイン事例などを多角的に学び、第２日目（第５回～第８回）には、野外等実際のフィールドを訪れ、現地のサウンドスケープを体験するサウンドウォークやサウンドスケープのデザイン事例の見学などの実習を行います。
【到達目標】
サウンドスケープの概念、その思想の背景、経緯、について学び、現代社会の多様な分野と関わりのあることについて理解することができる。
サウンドスケープの調査方法、その伝え方等について理解し活用することができる。
実際のフィールドでサウンドスケープについて体験し、学びを深めるとともに、サウンドスケープデザインの事例や手法について理解する。
【授業テーマ】
第1回 音風景に耳を澄ます～サウンドスケープとは何か
第2回 音風景を振り返る～サウンドスケープ思潮の歴史
第3回 音風景を探る～サウンドスケープ調査の方法
第4回 音風景を創る～サウンドスケープ・デザイン
第5回 音風景を体験する～フィールド実習１
第6回 音風景を体験する～フィールド実習２
第7回 音風景を体験する～フィールド実習３
第8回 音風景を体験する～フィールド実習４
【学生へのメッセージ】
講義のテーマは音ですが、音は入口であってオーディオや音楽のマニアックな追求が目的ではありません。音から環境や地域・日常を捉え直す契機となれば幸いです。音・音楽はもちろん、地域や環境、建築やまちづくりなど様々な興味の方の参加を期待しています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。第２日目は野外を歩き、公園等にも立ち寄るので、歩きやすい服装・靴で参加するようにしてください。また宗教施設（寺院等）の敷地にも入るるため。華美な服装や肌の露出の多い服装は避け、シャツの場合は衿のあるタイプのものを着用してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・世界の調律―サウンドスケープとはなにか 新装版（平凡社ライブラリー）[全集叢書]（R. マリー ・シェーファー／平凡社／¥2,530／ISBN=9784582769265）
1986年（新刊本）、2006年（文庫本） の新装文庫版（2022年１月）です。

【その他（特記事項）】
フィールド体験予定地；東京都内・お茶の水「東京復活大聖堂（ニコライ堂）」（鐘音を聞き外から見学の予定）、他都内サウンドスケープのデザイン事例、（天候・人数その他によって変更の可能性あり）。別途、参拝料（300円）、現地までの往復及び現地での移動の交通費等がかかります。また公園入園料（300円）がかかる場合があります。
第２日目は9:40 JR「御茶ノ水駅」聖橋口集合、夕方「目黒駅」にて解散予定。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691744
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**敵討ち物と江戸歌舞伎**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	ウカイ　トモコ 鵜飼　伴子 武蔵野大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
敵討ち（仇討ちとも言います）は、主君や父兄を殺害された者が、加害者を討って復讐する私的制裁ですが、江戸時代の幕府は、武士に限り一定のルールのもと、法制化して認めていました。江戸の庶民に特に好まれた曽我兄弟の敵討ちや、忠臣蔵の名で知られる赤穂事件ほか、実説に基づいて脚色された敵討ち物と呼ばれる歌舞伎・浄瑠璃作品が、たくさん作られています。江戸歌舞伎が敵討ちをどのように描いていたのか、時代背景や作品の鑑賞を通して、考えてみたいと思います。

【到達目標】
江戸時代の敵討ち制度について正しく理解し、敵討ち物の文芸作品の系譜をたどって、江戸の都市民が歌舞伎作品の中に見出した敵討ちの諸相と意義を、日本人の情緒を踏まえて説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 武士道と敵討ち
第2回 敵討ち狂言の系譜
第3回 曽我狂言の成立と展開①
第4回 曽我狂言の成立と展開②
第5回 敵討ち小説の流行と四代目鶴屋南北の時代①
第6回 敵討ち小説の流行と四代目鶴屋南北の時代②
第7回 女敵（めがたき）討ち作品
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
現代人の価値観ではなく、江戸時代の人々の心情に思いを寄せて作品を鑑賞してみると、新たな発見があるはずです。ぜひ芝居小屋へ足を運んで、数百年受け継がれてきた歌舞伎の力と感動を味わってみてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ルーペがあると、配布資料の細部が見やすくなります。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691752
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**裁判から読み解く 中世日本社会8**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	38名
担当講師	コンドウ　シゲカズ 近藤　成一 放送大学特任教授
日程 実施時間	11月11日(水) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月2日(水) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月9日(水) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月23日(水) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
鎌倉幕府が発行した裁許状（判決書）は約700通ほどが遺っていますが、鎌倉時代の社会の様相を知るための史料として不可欠のものです。たとえば曽我兄弟の仇討事件は土地をめぐる一族間の紛争が背景にありましたが、同じような事件は鎌倉時代にはゴマンとありました。それらの事件の具体像を史料から直接読み解くことによって、同時代の社会の様相を知ることができます。現代とはまったく異なる社会のしくみと人間の考え方に接するとともに、意外にも私たちと同じ感情が鎌倉時代の人びとのなかにもあったことを発見するかもしれません。

【到達目標】
鎌倉幕府の裁許状を使って鎌倉時代の社会を知るために、裁許状の構成を理解し、裁許状に何が書かれているかを的確に判断できるようにする。

【授業テーマ】
第1回 徳治２年12月24日六波羅裁許状・徳治２年12月27日六波羅裁許状を読む
第2回 徳治３年５月２日六波羅裁許状を読む
第3回 延慶元年10月12日六波羅裁許状・延慶元年12月23日六波羅裁許状を読む
第4回 延慶元年12月24日六波羅裁許状を読む
第5回 延慶２年５月27日六波羅裁許状を読む
第6回 応長元年７月７日六波羅裁許状・応長元年８月12日六波羅裁許状を読む
第7回 正和元年５月８日六波羅裁許状を読む
第8回 正和元年７月７日六波羅裁許状を読む

【学生へのメッセージ】
同じ題目で８回目の授業ですが、内容はまったく異なります。ライブWebで開講する「鎌倉幕府裁許状を読んでみよう11」、東京文京で開講する「鎌倉幕府の裁許状を読む15」、東京足立で開講する「鎌倉時代の古文書を読む７」とも異なる内容で行います。はじめての方でもわかるように、やさしく講義します。以前の講義を受講した方もさらに楽しめるように努力します。

【受講前の準備学習等】
授業そのものは、予備知識がなくても理解し、楽しめるように進めますので、自己学習としては、授業から触発された興味を発展させて自らいろいろ調べてみる方向で進めてください。授業で取り上げた内容からどのように問題が発展するのかについて、授業のなかでどんどんお話しますので、それをヒントに自らの学びを進めてください。大学での授業は与えられた課題を消化するものではなく、みずから課題をみつけ、みずから学びを進めていくものです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
3色ボールペンなどで記号やメモを書き込みながら受講することをお勧めします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・新版　古文書学入門（佐藤進一／法政大学出版局／¥3,630／ISBN=9784588320118）
どうしても自習したい方のためにお示しします。受講するのに必須ではありません。
・鎌倉幕府と朝廷（近藤成一／岩波書店／¥902／ISBN=9784004315803）
岩波新書「シリーズ日本中世史」全4冊の2冊目。第5章「裁判の世界」で鎌倉幕府の裁判制度と裁許状について概説しています。ただし受講の前提ではありませんので、読んでこなくて大丈夫です。

科目コード	2691760
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**能楽の世界 ー中世文学と芸能**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	シバ　カヨノ 柴　佳世乃 千葉大学教授
日程 実施時間	11月11日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月18日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
能楽は中世後期に世阿弥によって大成され、今日になお継承されています。 本講義では、能楽に至る芸能の流れを、その芸態・音曲などから辿るとともに、世阿弥伝書を具体的に読むことによって、芸能的特性を考えます。 また、能・狂言の公演や寺院に行われている諸芸能を映像で鑑賞し、テキストと体現芸術との間を考察する手立てとします。読むことも観ることも楽しみましょう。
【到達目標】
中世における芸能のあり方について理解することができる。古典文学の読解能力を身につける。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス：中世芸能の世界
第2回 能楽について（映像も視聴）
第3回 世阿弥の伝書について
第4回 能の作品を読む、鑑賞する　1
第5回『風姿花伝』を読む
第6回『申楽談儀』を読む
第7回 能の作品を読む、鑑賞する　2
第8回 能楽の源流―寺社の芸能、全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
授業では、映像を多く観てもらおうと考えています。古典を読むことも映像を観ることも、積極的に楽しんでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691779
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**クラシック音楽の歴史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	クボタ　ケイイチ 久保田　慶一 日本大学芸術学部大学院講師
日程 実施時間	11月18日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月19日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
西洋の芸術音楽（クラシック音楽）の歴史を、古代ギリシャから現代まで、音源を聴きながら学習します。特に、政治や社会といった時代背景との関連に焦点をあてて、説明したいと思います。
【到達目標】
・音楽を聴いてその特徴を理解して、どのような時代の、どのような国の音楽が言えるようになる。
・音楽の成立した時代や社会の背景を理解して、音楽が聴けるようになる。
【授業テーマ】
第1回 古代ギリシャから中世まで
第2回 中世からルネサンスまで
第3回 バロック時代
第4回 古典派の時代
第5回 前期ロマン派の時代
第6回 後期ロマン派の時代
第7回 第２次世界大戦まで
第8回 第２次世界大戦後
【学生へのメッセージ】
クラシック音楽を音楽としてだけでなく、政治や社会の反映として聴くことで、音楽やその歴史の理解を深めてもらいたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートテーマ（予定）：授業で学んだことを振り返り、音楽の聴き方がどのように変化したかを記述してもらいます。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・増補改訂版　音楽史を学ぶ　古代ギリシャから現代まで（久保田慶一／教育芸術社／¥990／ISBN=9784867790670）
楽器店、ネット等で入手可能 事前に購入して授業当日必ず持参してください。

科目コード	2691787
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**合奏を楽しもう1**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ニシザワ　ケンジ 西澤　健治 作曲家／ピアニスト
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
「音楽」は人間にとってなくてはならない素晴らしいものです。また「言葉」だけでは説明できない不思議な力をもっています。「音楽を聴く」「音楽を演奏する」「音楽をつくる」楽しみ方を多角的に紹介し、みなさんに“音楽の魅力”を体感していただく授業です。今回の合奏の楽しみ方では、いろいろな楽器の特性を生かしながら合奏法を学習します。また、曲趣にあった表現を工夫しながら実際に楽器を使って演奏し、音楽専門知識の理解を深めます。みなさんでアイディアを出し合って授業を進めていきます。最終日には、演奏発表会をしましょう！

【到達目標】
・音楽の基礎知識を理解する。
・色々な楽器の特性を理解する。
・それぞれのパートの音を聴き合いながら演奏することが出来る。
・器楽合奏曲における編曲の基本を理解する。
・この講義の最終目標であるグループ演奏に参加し、音楽を通じて人と人との交流を深め、積極的にグループ演奏発表会を行うことが出来る。

【授業テーマ】
第1回 音楽の基礎知識：合奏用（理論）
第2回 音楽の基礎知識：合奏用（実践）
第3回 合奏曲を演奏しよう！：基礎編
第4回 合奏曲を演奏しよう！：応用編
第5回 演奏楽曲の全体構成と練習準備
第6回 グループによるパート練習1（パート練習と全パートとの交流）
第7回 グループによるパート練習2（パート練習と全パートとの交流）
第8回 クループコンサート実施：発表とまとめ

【学生へのメッセージ】
音楽の楽しさをみなさんと体感しながら学習していきたいと思っております。音楽の専門知識をお持ちでない方でも分かりやすく授業を進めていきますので、是非安心してチャレンジしてください。また、この機会にみなさんとご一緒に情報交換もしましょう！

【受講前の準備学習等】
シラバスから判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びグループワークでの成果（発表）により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、五線紙、その他演奏できる楽器。（持ち運べる楽器）※感染症の影響により、フルート、リコーダーなど飛沫が飛ぶ可能性がある楽器を使用できない場合もありますので、状況判断によりご持参ください。※遠方からの受講生につきまして、楽器の持参は無理のない範囲でお願いいたします。シンセサイザー、パーカッション類などは学習センターにも用意してあります。授業当日に配布する教材代（楽譜/資料など）として1,500円程度をご用意ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・西澤健治Piano Trio作品集 Vol.1 フランボワーズの香りに包まれて（KMF MUSIC FACTORY／Ken Record／¥2,000／ISBN=JAN4582500634771）
・西澤健治コーラス・セレクション　生命が羽ばたくとき　全曲収録CD付き（西澤健治／音楽之友社／¥3,080／ISBN=9784276875425）
・西澤健治コーラス・セレクション　人間っていいね！　全曲収録CD付き（西澤健治／音楽之友社／¥3,080／ISBN=9784276875432）
・西澤健治コーラス・セレクション　Let's Go! TAMAGO　全曲収録CD付き（西澤健治／音楽之友社／¥3,080／ISBN=9784276875456）
・歌とピアノのための小品集　風と恋人（西澤健治／音楽之友社／¥2,090／ISBN=9784316400891）

科目コード	2691795
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**西洋美術と その背景を学ぶ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ジンノ　シンゴ 神野　真吾 千葉大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
西洋の美術は、日本人の「美術観」に強い影響を与えています。それは時代と共に形成され、今もなおそれは変化し続けています。
本講義を通じて、西洋において美術という制度が確立した過程を、その時代背景や思想を踏まえつつ学んでいきます。特にそれが強固な制度として確立した近代に焦点を当て、現代までその影響がどのように引き継がれ、あるいは乗り越えられたのかを見ていくことになります。
【到達目標】
自らの視点で、さまざまな時代の美術表現と向き合い、自分なりの解釈ができるようになるため、さまざまな時代の西洋美術の作品とその背景にある文化・思想や、社会的状況及びその変化について学び、自分なりの見方ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 美術史を学ぶ～みることの学び、文化の学び～
第2回 ギリシャ・ローマの美術～西洋美術の起源？～
第3回 暗黒の中世？～宗教のための美術は今の我々の眼で評価されるべきか？～
第4回 ルネサンス～余剰な価値の評価～
第5回 バロック～ロココ　宗教からの離脱
第6回 近代美術の誕生～ロマン主義から印象主義～
第7回 多様な20世紀美術
第8回 まとめ 美術と向き合う価値
【学生へのメッセージ】
美術館やギャラリーなどで作品と向き合うとき、自分の心の中に表れるものが何か、意識してみてください。それがそんなに高尚なものでなくとも、かならず重要な手がかりになるはずです。そして、そこから生まれた疑問について考えるようにしてください。この授業を通じて、自分が感じる。自分で調べたりして深める。その意味について考えてみる。自分なりの解釈を生み出す。そうしたプロセスが自分の中に生まれることを目指しましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。具体的には、関心のある領域の美術について実はよくわからないなということなどを、作品を見ながら考えてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・美術の物語（E.H.ゴンブリッチ／ファイドン／／ISBN=9784902593556）
再版されるたびにすぐに絶版になってしまう本ですが、図書館などでは見つけられるのではないかと思います。美術史の本はたくさん出ていますが、この本をお勧めします。

【その他（特記事項）】
西洋美術についての「素朴な疑問」などについて考えておいて下さい。

科目コード	2691809
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**「英雄」論から見る近代日本思想**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ケンジョウ　テイジ 見城　悌治 千葉大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
近代国家は、国家形成を進めていく際に、その国家や社会の「理想」や「目標」を体現できる「国民」像を創り出していきます。その過程では、歴史人物や同時代の人物が「英雄」や「偉人」として発見・評価され、学校教育やメディアなどでアピールされていくことになります。
本講義では、近代日本で、評価されていった（されなかった）人物の変遷などを検討するなかで、「近代日本思想」の特質を考えていきたいと思います。
【到達目標】
歴史人物の評価は、とりわけ近代国家が形成される際の「あるべき国民像」と重ねられて創造されてきたことを理解することによって、歴史評価を柔軟に思考していく能力を身に付けることができる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに―近代日本は「近世（江戸時代）」をどう評価したのか
第2回 近世と近代の「英雄／偉人」評価の変転―佐倉惣五郎評価を事例として
第3回 内村鑑三『代表的日本人』にみえる「英雄」像／近現代の「二宮尊徳」「西郷隆盛」「豊臣秀吉」評価とも関連させて
第4回「義士」評価は国境を越えるか―赤穂義士と植民地朝鮮の「義兵」たち
第5回 大正デモクラシー期における三宅雪嶺の「非英雄的英雄論」とは？
第6回「郷土の英雄」創出の奨励とその困難―千葉県と大原幽学
第7回 代表的偉人像形成の考察―聖徳太子、水戸黄門、「女性偉人」などを事例に
第8回 まとめ　渋沢栄一はなぜ有名でないのか―近代日本における実業家の偉人・英雄像
【学生へのメッセージ】
NHK大河ドラマで、「渋沢栄一」が主人公になると報じられた時、「定番の『英雄』物語がよいのに・・」、また1万円札の肖像が、渋沢に変えられると聞いた時に、「こんな知らない人が、なぜ！？」と言う声があがったようです。
渋沢の周知度はさておき、本講義の趣旨目的は、現在、一般的に「英雄／偉人」と称されている人物が、「どれだけ、立派で偉かったか」を学ぶ授業ではありません（この点、十分にご理解、ご注意ください）。私は、皆さんとともに、ある歴史人物の評価というものが、時代時代の社会状況の中で、褒められたり、逆に批判されるような変遷をしていった背景を、近代日本の思想史の流れの中から、考えていきたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
授業で取り上げる予定の歴史人物の「略歴」を人名辞典などで調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・渋沢栄一（評伝・日本の経済思想）（見城悌治／日本経済評論社／¥2,750／ISBN=4818820245）
最終回の授業で扱う、渋沢栄一に関する参考文献（講師の著作）です。

科目コード	2691817
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**神道思想史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	イトウ　サトシ 伊藤　聡 茨城大学
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
神道は、素朴な自然崇拝ではない。在地信仰と、仏教・儒教・道教などの外来の思想・信仰が融合しつつ歴史的に構築された宗教である。本授業では、特に神道の思想的な展開に焦点を当て、上代から近現代までの流れを辿る。
【到達目標】
日本固有の宗教とされる神道の文化的多様性と、その歴史的展開を理解することができる。
歴史・文学資料や思想・宗教文献の読解能力を身につけることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 神（カミ）と神道
第2回 神仏習合と本地垂迹説
第3回 神国思想の系譜
第4回 中世神道と神本仏迹説
第5回 儒家神道
第6回 国学
第7回 復古神道と水戸学
第8回 国家神道
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689499
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**画像生成AIのしくみ**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アサイ　キクオ 浅井　紀久夫 放送大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
画像生成AIの技術的仕組みを体系的に解説します。画像生成AIは2020年以降爆発的な進化を遂げ、単なるツールの枠組みを超え、クリエイティブ産業やビジネスプロセスを根本から変えつつあります。この講義は理論と応用とから構成されます。理論部では画像を生成するメカニズムを導入します。応用部では社会実装に向けた技術の高度化を説明し、動画生成への展開や実務への統合、そして著作権とリスクまでを網羅します。画像生成AIの技術と応用を通してAIとの共生を考えます。

【到達目標】
・画像生成AIの技術的進化の流れを理解し、「なぜ絵を描けるのか」を技術的な視点から説明できる。
・イメージに近い画像を生成するために必要な指示やパラメータ調整について説明できる。
・著作権やフェイク画像のリスクを把握した上で、生成AIの活用への可能性を展望できる。

【授業テーマ】
第1回 画像生成AI概論
第2回 拡散モデルの仕組み
第3回 プロンプト・エンジニアリングの基礎
第4回 生成画像の制御と修正
第5回 一貫性の保持と追加学習
第6回 動画生成と3Dへの展開
第7回 活用事例
第8回 倫理・著作権・法規制と未来

【学生へのメッセージ】
生成AIを利用するだけではなく、その仕組みを理解しましょう。

【受講前の準備学習等】
画像生成AIの基礎知識と活用事例について、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691825
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**きのこの観察**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ネダ　ヒトシ 根田　仁 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
「野外におけるきのこの生態の観察」、「きのこの肉眼的・顕微鏡的形態の観察」を行い、きのこの栄養の取り方、きのこの構造について実物をもとに観察し、きのこについての知識を得ます。

【到達目標】
きのこの形態・生態を観察することで、生物としての特徴と生態系におけるきのこの役割を知り、自然界の仕組みについての理解を深めることができる。

【授業テーマ】
第1回 きのこの生態（腐生性および菌根性）について解説します。
第2回 野生きのこの観察方法について解説します。
第3回 放送大学構内または周辺で野生きのこの観察を行います。
第4回 野生きのこの特徴（肉眼的形態および生態的性質）のまとめ
第5回 きのこの顕微鏡的特徴について解説します。
第6回 きのこの分類・同定方法について解説します。
第7回 きのこの顕微鏡観察を行います。
第8回 きのこの顕微鏡的特徴のまとめ

【学生へのメッセージ】
きのこは、食材としても利用される生物ですが、生態系で落葉、倒木などの有機物の分解、植物の根と共生し、植物に水、無機養分を供給するなど、重要な役割を果たしています。その生態について学び、自然についての理解を深めていただければと思います。

【受講前の準備学習等】
・以下の参考書で自己学習に努めてください。どちらかでも構いません。
根田仁・伊沢正名「きのこ博士入門」全国農村教育協会
佐久間大輔「きのこの教科書 観察と種同定の入門」山と渓谷社
・野生のきのこを授業に持参していただければ、教材に使います。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・野外観察と顕微鏡観察を行いますので、汚れても良い服装で参加してください。
・きのこを拡大して観察しますので、ルーペまたは虫眼鏡を持っている方は、持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・きのこ博士入門（根田仁・伊沢正名／全国農村教育協会／¥1,870／ISBN=4881371207）
　きのこの基礎的知識について写真で解説されています。
・きのこの教科書　観察と種同定の入門（佐久間大輔／山と渓谷社／¥2,420／ISBN=4635580415）
　きのこの観察と種同定の方法について、初心者にもわかりやすく解説されています。

【その他（特記事項）】
・野外での観察、試薬・刃物の使用により、怪我をする可能性もあります。必ず学生保険に加入してください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691833
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**原子核から 物質の起源を探る**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イイダ　ケイ 飯田　圭 放送大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
現在自然界に存在する物質は実に多彩です。一方、物質を細かくとらえると、物質を構成する共通要素である原子核に行きつきます。ここでは、原子核の基本性質を学びつつ、多種多彩な原子核が自然界において合成される様子を論じることにより、現代物理学の一端に触れていただきます。
【到達目標】
・量子力学、熱統計力学の観点から原子核の示す多彩な性質を理解できる。
【授業テーマ】
第1回 原子核物理学のなりたち
第2回 素粒子
第3回 原子核の質量・結合エネルギー
第4回 原子核の質量・結合エネルギー（続）
第5回 原子核の大きさ
第6回 核崩壊概論
第7回 超新星の不思議
第8回 超新星の不思議（続）
【学生へのメッセージ】
量子力学、熱統計力学の知識は前提となります。
【受講前の準備学習等】
宇宙初期や天体における元素合成など、原子核にまつわる具体的なトピックスを調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・素粒子・原子核物理入門　改訂新版（B. ポッフ　他／丸善出版／¥5,720／ISBN=9784621061343）

科目コード	2691841
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**数理の目で見る 地球科学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イズミ　ケンタロウ 泉　賢太郎 千葉大学准教授
日程 実施時間	11月6日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
地球で起こる自然現象について、数理の観点から現象の原理や素過程を紹介する。高等学校において地学（あるいは地学基礎）未履修者が多いと想定されるため、地球で起こる自然現象を網羅的・博物学的に紹介するような授業ではなく、イメージしやすい現象をいくつか選定し、数学や理科他3科目といった高等学校での既習知識（＋α）に基づき現象の本質的な理解を目指す。
【到達目標】
・地球で起こる自然現象について、その概要を理解できる。
・地球で起こる自然現象について、その原理や素過程を数式表現を交えて理解できる。
・地球表層で起こる自然現象について、基礎的なデータ解析を実行することができる。
【授業テーマ】
第1回 地球の大気組成と温室効果
第2回 地球の大気組成の時間的変遷
第3回 海洋における有機物の生産と輸送
第4回 海洋堆積物中における有機物の動態
第5回 粒子の運搬作用と侵食・堆積
第6回 地層の形成と年代測定
第7回 山脈の寿命とアイソスタシー
第8回 衝突型造山帯の成長
【学生へのメッセージ】
・数式表現を多用します。
・課題については、PCを用いてグラフやレポートを作成し、電子ファイルで提出するという方法を念頭に置いています。
・指定のテキストを教科書として利用します。
【受講前の準備学習等】
・地球科学に関する書籍（専門書でなくても構いません）を読むなどして、地球科学に関する基礎的知識の習得や興味の所在を認識していただくとスムーズかと思います。
・ExcelやPythonなどグラフを描画できるソフトウェアの使い方に不安がある場合は、インターネットや書籍などで調べていただくとスムーズかと思います。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・筆記用具
・ノート
・指定のテキスト
・授業時間内にレポート課題に関連した説明を行う予定ですので、ノートPCをご持参いただけるとよりスムーズかもしれません。ただしノートPCも準備は必須ではなく、またご持参いただいた場合にも全ての時限で必ず使用するとは限りませんので、ご留意いただければ幸いです。
【教科書】
・数理の目で見る地球科学（泉賢太郎／丸善出版／¥3,300／ISBN=9784621312346）

科目コード	2691850
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**銚子ジオパークと町おこし**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	アンドウ　タカオ 安藤　生大 跡見学園女子大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	この授業は、【11月8日（日）のみ★銚子周辺（千葉県銚子市)】で行います。

授業概要

【授業内容】
この授業では、千葉県で唯一、日本ジオパークネットワーク（JGN）の正会員に認定されている「銚子ジオパーク」について、その概要を説明し、学校教育や風力発電等の活用事例について前半の4回の講義で解説します。そして、後半の4回分では、実際に銚子ジオパークの現地見学を行います。本講義では、地形や地質の理解だけでなく、ジオパークを使った地域活性化の取り組みについての理解を目的とします。
【到達目標】
ジオパークと町おこしの関係を理解するために、千葉県銚子市周辺地域を対象として、その自然環境や経済・社会的な状況について理解し、地域の持続性の条件を的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション、銚子ジオパークの紹介
第2回 銚子の地質、地形、歴史
第3回 地域のライフサイクル思考
第4回 銚子ジオパークと地域活性化の取り組み
第5回 銚子ジオパークの見学１
第6回 銚子ジオパークの見学２
第7回 銚子ジオパークの見学３
第8回 まとめ・グループディスカッション
【学生へのメッセージ】
２日目の現地見学は、現地集合、現地解散になります。現地での移動には別途交通費がかかります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目の野外見学（銚子）では、動きやすく汚れてもよい服装で参加してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2691868
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**街なか樹木学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	イイジマ　アキコ 飯島　明子 神田外語大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20
実施会場	この授業は、【★１日目は千葉学習センターと浜田川沿岸、２日目は長作市民の森（千葉市美浜区、千葉市花見川区)】で行います。

授業概要

【授業内容】
千葉学習センター近傍の土地は、海を埋め立てて1980年までに造成されました。46年後の今、この地域には人間の意図と無関係に生えてきた樹木が多く見られます。これらの樹木はどこから来たのでしょうか。
2日にわたる実習の１日目には、浜田川沿いの植栽の合間やアスファルトの隙間からたくましく育つ樹木を観察して樹種を同定します。２日目には埋立地ではない陸地（長作市民の森。京成実籾駅近く）で雑木林の樹木を観察して同定し、浜田川沿いの樹種と比較検討します。

【到達目標】
・埋立地と内陸の雑木林の両方で樹木を調べることを通して、植物の種子散布戦略について理解できるようになる。
・図鑑を使って多数の植物を同定する体験を通して、生物多様性について理解を深められるようになる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンスとフィールドワーク1（浜田川の樹木観察と採集）
第2回 採集した枝を用いた樹種の同定とスケッチ（その1）
第3回 採集した枝を用いた樹種の同定とスケッチ（その2）
第4回 同定結果のまとめ、２日目についての説明
第5回 フィールドワーク2（長作市民の森での樹木観察と採集）
第6回 採集した枝を用いた樹種の同定とスケッチ（その3）
第7回 採集した枝を用いた樹種の同定とスケッチ（その4）
第8回 同定結果のまとめ、クラス内での情報共有

【学生へのメッセージ】
自然度の高い山や海で野生生物と触れ合うことは素晴らしい体験ですが、実は身の回りにも驚くほどいろいろな生物が息づいています。街なかで樹木を調べる体験を一緒に楽しんでもらえたら幸いです。

【集合場所】
１日目：千葉学習センターの教室（実習室）
２日目：京成線実籾駅改札外

【雨天時】
小雨決行です。大雨の場合はあらかじめこちらで準備した枝を教室（実習室）内で調べます。

【受講前の準備学習等】
植物に関する以下の用語について図鑑やインターネット等で調べ、どのようなものか確認しておいてください。
用語：対生（たいせい)、互生（ごせい)、葉縁（ようえん)、鋸歯（きょし)、全縁（ぜんえん)、主脈（しゅみゃく)、側脈（そくみゃく)、冬芽（とうが、あるいはふゆめ)、鱗芽（りんが)、裸芽（らが)、芽鱗（がりん)、葉痕（ようこん)、維管束痕（いかんそくこん)、皮目（ひもく）

【成績評価の方法】
成績評価は、授業時間内で実施する実習課題（成果物）により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆またはシャーペン、消しゴム。野外に出るため、動きやすい服装と歩きやすい靴で来てください。雨にそなえてレインウェアや折りたたみの傘も持ってきてください。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・フィールド・ガイド22　葉で見わける樹木（増補改訂版）（林将之／小学館／¥1,925／ISBN=4092080220）
　購入の必要はありません。授業時間中、貸し出します。
・葉でわかる樹木 625種の検索（馬場多久男／信濃毎日新聞社／¥3,520／ISBN=478409850x）
　購入の必要はありません。授業時間中、貸し出します。
・冬芽でわかる落葉樹　419種の検索（改訂版）（馬場多久男／信濃毎日新聞社／¥2,750／ISBN=9784784071982）
　購入の必要はありません。授業時間中、貸し出します。
・冬芽ハンドブック（広沢毅・林将之／文一総合出版／¥1,320／ISBN=9784829911747）
　購入の必要はありません。授業時間中、貸し出します。何か１冊購入したいのであれば、これは最もお勧めです。

【その他（特記事項)】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象とします。未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691876
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**動物達の世界：適応、知能、社会**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	キクチ　トモノリ 菊地　友則 千葉大学海洋バイオシステム研究センター准教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
人間とともに地球上に住みながら、人間とは異なる世界観を持つ動物達の生活を理解することを目的とします。授業の前半では、動物達が環境に適応してきたそのメカニズムについて学びます。授業後半では、動物達が環境の中でどのように判断し振る舞うのか、また動物社会と人間社会の相違についても学んでいきます。本講義を通じて、知っているようで知らない隣人達の不思議な世界について考える契機になることを願っています。
【到達目標】
人間とは異なる世界観をもつ動物たちが如何にして環境に適応しているのか学ぶことから、問題解決における多様なアプローチ、視点の重要性を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 適応進化メカニズム（自然選択）
第2回 適応進化メカニズム（性選択）
第3回 適応進化メカニズム（血縁選択）
第4回 動物の意思決定メカニズム
第5回 動物達のコミニュケーション
第6回 集団行動と自己組織化
第7回 動物社会の秩序維持
第8回 人間と動物の関わり合い
【学生へのメッセージ】
動物世界の興味深い事象できるだけ皆さんにお伝えしたいと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691884
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**新・数式のいらない物理学1**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	エビハラ　トオル 海老原　亨 千葉大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
長年、「数式のいらない物理学」として日常生活で経験するさまざまな現象を扱ってきました。が、今回、装いを新たにし「新・数式のいらない物理学１」として開講をします。身近な運動から潮汐現象、衛星の運動さらにはブラックホールまで大きな世界から原子の運動のようなミクロな世界までの力学的な見方を学習します。この授業では数学の言葉を使わずに、言葉で概念を説明し理解するすることを主とします。ときには数学的な表現があるかもしれませんが、それは計算のための処方箋ではなく、考え方を助けるのが目的です。自然の法則を知れば知るほどまわりの世界がいっそうよく理解できるようになるでしょう。
【到達目標】
物理法則を理解し、身近にある力学的な物理現象に対して説明できるようになる。また、ただ法則を丸暗記するのではなく、どのような論理や根拠で結論が導かれるのかについて考え、批判的に現象を考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 運動～静止状態とは？
第2回 運動の法則～力が釣り合っていなければ
第3回 直線運動と運動量～衝突の物理
第4回 重力と衛星の運動
第5回 重力の法則で宇宙をのぞく
第6回 回転運動と角運動量
第7回 円運動と宇宙旅行、そして原子の世界
第8回 世界は回る
【学生へのメッセージ】
物理に興味はあるのだけれど数学がネックとなって勉強に取りかかれない人にはお勧めです。また、物理を一通り勉強した人でも、計算ではなく、数式を用いずに物理現象を説明することが、意外と難しいことがわかると思います。この機会に数式なしの物理にチャレンジし、物理の理解を深めてみましょう。
【受講前の準備学習等】
事前に、手元にある物理学の本（特に、力学）に目を通しておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、事後には授業で学修した内容や演習問題（Quiz）などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（携帯電話等に付属するものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2691892
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**ジオロジー入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	20名
担当講師	オオモリ　ソウイチ 大森　聡一 放送大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:05 試験・レポート等　17:05～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:20 試験・レポート等　15:20～15:35 第4時限　15:50～17:05 試験・レポート等　17:05～17:20
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

基盤科目や導入科目の関連授業を受講された方で、ジオロジーに興味を持たれた方を主な対象とします。ジオロジーの研究史と方法、全地球ダイナミクスと地球システム、および最近の知見について掘り下げます。また、講義の内容に合わせて、実習を行い理解を深めます。
【到達目標】
私たちの暮らす地球についての理解を深めるために、ジオロジー研究の原理について理解し、地球史を俯瞰的に見ることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 導入：ジオロジーとは何か
第2回 地層を解読する（1）：いつ・どこで・どのように？
第3回 地層を解読する（2）：層序と地質図
第4回 地層を解読する（3）：実習（レポート課題有）
第5回 システムを拡げる（1）：「環境」の情報
第6回 システムを拡げる（2）：全地球ダイナミクス
第7回 システムを拡げる（3）：実習（レポート課題有）
第8回 システムを拡げる（4）：実習（レポート課題有）
【学生へのメッセージ】
導入科目「ダイナミックな地球」履修済み程度の基礎知識を前提とします。
【受講前の準備学習等】
・導入科目程度の基礎知識を前提としますので、予習しておいてください。
・授業で学修した内容を活用してジオロジーに関する記事などを読み解き、理解を深めてください。
・インターネットへの接続と電子メールが必要です。学習センターのネットワークを利用する場合は、事前に無線LAN（WiFi-houdai）の利用登録が必要です。登録方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。PCの基本操作、Webブラウザと表計算ソフトの操作方法は習得済みとして実習を行います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
2．OSの指定
　Windows または MacOSが必要です（現在サポートされているバージョンに限る）。
3．ソフトのインストール
　ブラウザを使用します（Chrome、Edge、Safari推奨）。
　電子メールを使用します。
　表計算ソフトが必要です。Excelをインストールして使用可能な状態にしておいてください
　（互換ソフトを利用する場合の使用法はご自身で確認してください）。
4．その他
　ソフトのバージョン指定はありません。ただし、あまり古いと画面上で操作が異なる場合があります。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
（履修制限）2022年度第２学期ライブweb授業「ジオロジー入門」の単位を修得済みの方は登録できません。
ライブweb授業「ジオロジー入門」とほぼ同内容となります。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2691906
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**ジオラボ ―鉱物と結晶、宝石―**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	セイケ　カズマ 清家　一馬 埼玉県立自然の博物館外部研究員 ヤスイ　マナ 安井　万奈 早稲田大学招聘研究員
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
人類は鉱物を原料や宝石として利用し、生活を豊かにしてきました。本講義では鉱物について、概要から分類と簡易的な鑑定方法を学びます。ほとんどの鉱物は結晶質物質ですので結晶構造の基礎的な説明から結晶模型の分類に挑戦してもらいます。また、身近な食品添加物で結晶成長の実験を行います。さらに、鉱物や宝石を分類するうえでよく使われる物性である屈折率と比重の計測を体験してもらいます。このように、簡単な工作や、化学実験、顕微鏡観察を行いますので、作業の支障にならないような服装でお願いします。なお、実験操作とデータの取得は数名のグループ作業となる場合が多くあります。この講義をきっかけに皆さんには鉱物をより身近に感じていただければと思います。

【到達目標】
実際の鉱物を数多く扱いますので、そこから鉱物の基本的な分類方法や見分け方を学び、実際の鉱物でも自分で実践できるようになる。さらに、結晶模型作成を行いますので、結晶面の意味や結晶系と対称要素の判別を通して、鉱物の自形形状の意味を理解できるようなる。身近な結晶質物質を扱いますので、これらを使った実験が自分でもできるようになる。

【授業テーマ】
第1回 鉱物概論・各論（清家・安井）
第2回 鉱物の屈折率（清家・安井）
第3回 鉱物の比重測定（清家・安井）
第4回 結晶の成長と観察（清家・安井）
第5回 結晶系と対称要素（清家・安井）
第6回 結晶系と鉱物（清家・安井）
第7回 鉱床・鉱山について（清家・安井）
第8回 鉱物標本の観察（清家・安井）

【学生へのメッセージ】
履修にあたっては高校教育課程の数学・物理・化学の知識があるほうがよいでしょう。調べてみたい鉱物・宝石があれば持参してもらって構いません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。鉱物や宝石に関する図鑑や著書は多数出版されているので、これらを読んでおくのもよいでしょう。また、講義期間中には、授業中に配布する講義資料での予習復習や出された宿題に取り組んでください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び内容の理解度をチェックするための課題テストの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、色鉛筆、作業しやすい服装（化学実験もあるので白衣などあれば持参するとよい）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・「岩石・鉱物・化石（小学館の図鑑NEO）」（萩谷宏・門馬綱一・大路樹生（監修）／小学館／¥2,640／ISBN=4092173180）
閲覧・貸出用を用意しています。当日購入も可能です。
・「もういちど読む数研の高校地学」（数研出版編集部（編）／数研出版／¥2,200／ISBN=4410139592）
・二訂版ニューステージ地学図表（浜島書店（編）／浜島書店／¥950／ISBN=9784834340181）
旧版については、人数分の閲覧・貸出用を用意しています。
・新版　火山灰野外観察の手引き（野尻湖地質グループ／地学団体研究会（地学ハンドブック）／¥400）
旧版については、人数分の閲覧・貸出用を用意しています。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691914	授業概要	**【授業内容】** 双眼偏光顕微鏡による岩石薄片の観察を通して、基礎的な岩石学・鉱物学を学びます。地球の大半は岩石でできています。岩石は鉱物の集合体であり、鉱物の結晶構造や構成元素には自然界のルールがあります。きれいな宝石になる鉱物や、工業製品に使われる鉱物だけでなく、生物の活動を含めた地表の物質循環において、鉱物の性質が元素の動きを支配しています。授業では厚み20～30ミクロン程度にすり減らした岩石薄片を自分の手で製作し、教材用薄片とともに偏光顕微鏡観察を行います。偏光顕微鏡下の美しい鉱物の姿から巨大な地球の動きを感じ取ってください。 **【到達目標】** 基礎的な造岩鉱物と岩石の組織について、偏光顕微鏡での識別方法を身につける。また、岩石薄片を実際に製作することで、岩石の調べ方の基本を身につけ、岩石の性質や成因について、ある程度推察できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 偏光の性質と光学的異方性（萩谷・安井） 第2回 岩石薄片をつくろうー片面研磨と接着（萩谷・安井） 第3回 造岩鉱物の種類と性質ー有色鉱物の識別（萩谷・安井） 第4回 造岩鉱物の種類と性質ー無色鉱物の識別（萩谷・安井） 第5回 岩石薄片を仕上げようー二次研磨（萩谷・安井） 第6回 岩石の組織が教えてくれること（萩谷・安井） 第7回 惑星物質を観察するー初期太陽系の化石＝隕石（萩谷・安井） 第8回 様々な岩石の観察（萩谷・安井） **【学生へのメッセージ】** 鉱物学・岩石学の講義と並行して、偏光顕微鏡を用いた岩石薄片の観察と岩石薄片の製作も行います。薄片にしたい岩石を持参することを勧めます。(2cm角程度) 単眼式ではなく双眼偏光顕微鏡を使って実習を行いますので、新規科目として開講します。 **【受講前の準備学習等】** 基本的な岩石の名称や分類、造岩鉱物の名前について、予習しておいてください。また、地震や火山とプレートテクトニクス、地球の歴史について、参考書などで一通りの理解をしておくことを勧めます。実験室に備え付けの参考書類を活用してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	千葉学習センター		
学習センターコード	12A		
クラスコード	K		
科目名	**地球科学実習 —双眼偏光顕微鏡**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ハギヤ　ヒロシ 萩谷　宏 東京都市大学准教授 ヤスイ　マナ 安井　万奈 早稲田大学招聘研究員		
日程 実施時間	12月12日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月13日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月19日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20 12月20日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	千葉学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、レンズ径の小さいデジカメまたはスマートフォン、色鉛筆（最終課題のスケッチ用） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・偏光顕微鏡と岩石鉱物（第二版）（黒田吉益・諏訪兼位／共立出版／¥6,490／ISBN=432004578） 千葉学習センターの実験室に備え付けのものが10冊あります。 ・岩石学Ⅰ（都城秋穂・久城育夫／共立出版／¥2,640／ISBN=4320001893） 千葉学習センターの実験室に備え付けのものが、岩石学Ⅱ・Ⅲとともに5冊ずつあります。 ・小学館の図鑑NEO〔新版〕岩石・鉱物・化石（萩谷・門馬・大路他／小学館／¥2,640／ISBN=4092173187） 千葉学習センターの実験室に備え付けのものが旧版を含め8冊あります。 ・ニューステージ地学図表（浜島書店／浜島書店／¥1,714／ISBN=4834340181） 千葉学習センターの実験室に、旧版が10冊、備え付けてあります。

科目コード	2691922
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**物理数学：ファインマン流解析術**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	330
定員	60名
担当講師	キシネ　ジュンイチロウ 岸根　順一郎 放送大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、ファインマンが大学院で行った「物理のための数学」の講義資料を学部向けに再構成し、常微分方程式、無限級数、積分の評価、フーリエ・ラプラス変換、複素変数の応用を学びます。理論を形式的に積み上げるのではなく、具体例と計算を重視する実践的な姿勢で進めます。物理で実際に活用できる計算力と応用力を養成します。

【到達目標】
学生は、常微分方程式の解法を用いて物理問題を解くことができ、無限級数やフーリエ・ラプラス変換によって関数を展開・変換でき、留数定理などを用いて積分を評価でき、複素解析の手法を具体的な物理問題に適用できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 常微分方程式の基本解法
第2回 級数解と近似解法
第3回 無限級数の収束と展開
第4回 積分の評価法
第5回 複素積分と留数定理
第6回 フーリエ級数とフーリエ変換
第7回 ラプラス変換と微分方程式
第8回 複素解析の応用と分散関係

【受講前の準備学習等】
本授業では、微分積分学（1変数・多変数の微分積分やテイラー展開)、基本的な常微分方程式の解法、複素解析の基礎（留数定理まで)、および学部レベルの力学・電磁気学の基礎を理解していることを前提とします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
本授業は、Jon Mathews, Robert Lee Walker, Mathematical Methods of Physics（W. A. Benjamin, 1964）を基礎とします。本書は、R. P. Feynman がコーネル大学大学院で行った講義を出発点として発展したものであり、理論物理の実践的精神を色濃く反映した内容です。なお、本書は現在入手が困難なため、授業で扱う範囲はすべて教員作成の配布資料によってカバーします。書籍の購入は不要です。

科目コード	2691930
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**砂の科学 ー湘南の砂・世界の砂**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ハギヤ　ヒロシ 萩谷　宏 東京都市大学准教授 セイケ　カズマ 清家　一馬 埼玉県立自然の博物館外部研究員
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【１日目★神奈川県藤沢市、２日目千葉学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
海岸の砂つぶを拡大して観察すると、さまざまな情報を読み取ることができます。この授業では、まず湘南海岸に行き、場所による砂の組成の違い、砂の動態や海岸の変化と砂の組成の関係を観察します。また、砂の供給源を学ぶために陸域の観察や博物館等の展示で河川や上流域の地質、沿岸流を学びます。
次に、学習センターで砂つぶを構成する造岩鉱物や岩石片、生物源粒子などの識別を学びます。日本各地の砂、世界各地の砂を観察することで、土地ごとの地殻の性質の違いや進化の程度、地表の条件を読み取ります。
【到達目標】
野外での観察を通して砂の組成変化や動態についてイメージをつかめるようになること。
実体顕微鏡での観察を通じて、砂の構成粒子を識別し、その変化を実感できるようになること。
これらの作業を通じて、地球表層での物質循環の一部としての、風化・浸食・堆積のプロセスと砂粒子の特徴を関連付けて理解できるようになること。
【授業テーマ】
第1回 湘南海岸の砂の観察：海岸侵食と有色鉱物・鉄鉱物の濃集（萩谷・清家）
第2回 湘南海岸の砂の観察：堆砂と生物源粒子・無色鉱物の濃集（萩谷・清家）
第3回 海岸の砂の動態－湘南海岸の砂の観察：砂の起源を探る（萩谷・清家）
第4回 湘南海岸の砂：河川上流域と海岸の地質を学ぶ（萩谷・清家）
第5回 砂を構成する粒子－造岩鉱物の識別と粒子構成、表面形態（萩谷・清家）
第6回 実体顕微鏡による観察－日本各地と湘南海岸の砂の比較（萩谷・清家）
第7回 世界の砂の観察－安定大陸と変動帯の違い（萩谷・清家）
第8回 世界の砂の観察－海洋島の砂、生物がつくる砂/レポート作成（萩谷・清家）
【学生へのメッセージ】
砂を手に取ってルーペで見たり、実体顕微鏡で拡大すると、遠くから見ているのとは全く違った世界がひろがります。宝石のような砂粒が、それぞれの来歴を語ってくれます。砂つぶの世界の不思議に触れてみましょう。
【受講前の準備学習等】
造岩鉱物や基本的な岩石の種類、海岸の生物について、簡単に調べておいておくことを勧めます。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
野外観察：動きやすい服装、歩きやすい靴、ルーペ（拡大鏡）。サンプル袋（チャック付きポリ袋を5枚程度）。移動の電車賃。当日の天気にもよるが防寒対策を十分にしてください。昼食は持参されることをお勧めします。（昼食休憩時間はとりますがあまり余裕はありません）
室内観察：筆記用具、デジタルカメラまたはスマートフォンなど。砂で汚れてもよい服装。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・砂と砂浜（木澤武司／リフレ出版／東京図書出版／¥1,980／ISBN=4866418303）
・砂の科学（レイモンド・シーバー著・立石雅昭訳／東京化学同人／¥4,950／ISBN=4807912283）
放送大学附属図書館には本部に一冊、埼玉と高知に各一冊あります。

【その他（特記事項）】
この授業では、第１日は野外での砂浜海岸の観察と、砂試料の採取を行います。
移動に公共交通（JR、江ノ電等）を使用しますので、各自で交通費の用意をお願いします。
第１日の集合時間・場所：10：10　片瀬江ノ島駅
解散時間・場所：16：30　平塚駅（予定）
＊集合・解散の場所と時間については、現地状況により変更する場合があります。履修確定後に文書で連絡します。
＊雨天の場合も実施します。その場合は雨具の用意をお願いします。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2691957
学習センター	千葉学習センター
学習センターコード	12A
クラスコード	K
科目名	**呼吸の科学と身体**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	25名
担当講師	モリタ　ミズオ 森田　瑞生 日産厚生会玉川病院呼吸器内科部長
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	千葉学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、呼吸を「空気の出入り」としてだけでなく、私たちの身体全体と深く関わるはたらきとして学びます。呼吸のしくみや肺の役割をわかりやすく解説するとともに、進化の歴史の中で呼吸がどのように変化してきたのかを紹介します。また、姿勢や運動、緊張やリラックスといった心の状態と呼吸の関係、病気のときにみられる呼吸の変化についても考えます。科学的な説明に基づいた簡単な呼吸の体験も行い、日常生活に役立つ理解を深めます。

【到達目標】
呼吸の基本的なしくみを理解し、呼吸が姿勢や感情、体調とどのように関係しているかを説明できるようになる。また、安全で無理のない呼吸の体験を通して、日常生活で呼吸を意識するための基礎的な知識を身につける。

【授業テーマ】
第1回 呼吸とは何か ― 私たちはなぜ呼吸するのか
第2回 呼吸のしくみ ― 肺と横隔膜のはたらき
第3回 進化からみた呼吸 ― 水中から陸上へ
第4回 姿勢と動きと呼吸 ― 身体の使い方との関係
第5回 心と呼吸 ― 緊張とリラックスの科学
第6回 病気と呼吸 ― 息切れはなぜ起こるか
第7回 文化の中の呼吸 ― 伝統的身体観と現代医学
第8回 明日からの呼吸 ― 日常に活かす呼吸の科学

【学生へのメッセージ】
呼吸は誰もが毎日行っている身近なはたらきです。本講義では難しい専門知識よりも、身体への気づきを大切にします。安心してご参加ください。

【受講前の準備学習等】
事前に「肺のしくみ」「横隔膜の役割」「自律神経とは何か」について、インターネットや一般向け書籍などで簡単に調べておいてください。また、ご自身の普段の呼吸の様子（早さや深さ、緊張時の変化など）を意識して観察してみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内容を踏まえたレポートにより行います。呼吸と身体の関係について、本講義の内容をもとに自らの理解を整理し、思考の筋道がわかる程度に論理的に記述してください。
文字数は2000字程度、レポート用紙2枚程度で作成してください。以下の問いを参考に書いてもよい。 例・呼吸は姿勢とどのように関係しているか・呼吸はなぜ感情と結びつくのか・横隔膜の特徴は身体理解をどう変えるか・呼吸は日常生活にどのように活かせるか

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。呼吸の体験を行うため、締め付けの少ない服装でご参加ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2691965
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ゼロからの統計学**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	78名
担当講師	コスギ　ノブコ 小杉　のぶ子 中央大学経済学部教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月6日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
近年、あらゆる分野において統計学の知識は重要となっています。本科目は統計学をはじめて学ぶ方を対象としており、基礎的な知識や概念について説明します。データの記述方法から始まり、データの特徴を表す指標となる平均や分散について学びます。統計学の基礎となる確率の概念や確率分布についても扱います。そして、母集団と標本の関係、ならびに標本平均、標本分散について学びます。最後に、2変量データの相関についても扱い、統計学の初歩的な内容について理解することを目標とします。
【到達目標】
統計学を理解するための基礎知識として、確率の性質や確率分布について学び、二項分布や正規分布について理解する。また、データの特徴を表す指標となる平均、分散について理解し、計算することができるようになる。さらに、母集団と標本の関係、ならびに標本平均、標本分散、不偏推定量について、用語の意味や定義を理解する。
【授業テーマ】
第1回 データの代表値と分散
第2回 確率とその基本性質
第3回 確率変数と確率分布
第4回 確率変数の期待値と分散
第5回 2変量データの相関
第6回 二項分布と正規分布
第7回 母集団と標本、標本平均と標本分散
第8回 標本平均の分布と中心極限定理
【学生へのメッセージ】
科目名にもあるとおり、本科目は統計学の中でも非常に初歩的な内容を扱っています。各回の授業テーマを見ると難しそうに思えるかもしれませんが、用語の意味を説明しながら進めていきますので安心してください。この授業を足掛かりとして、各専門分野に応じたより高度な統計学について興味を持ってもらえれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
「1次不等式」の解き方（計算方法のみで結構です）と中学校で習う「確率」について復習しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（授業の中で、データの平均や分散・標準偏差を計算してもらうことがあるので、四則演算以外にルート計算ができる電卓があった方が便利かと思います。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2691973	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** みなさんが持ち寄ったパソコンで、インターネット、特に放送大学の情報システム「WAKABA」を使えるようになることを目標とします。パソコンやインターネットをほとんど使ったことのない方向けに、「パソコンの電源オン・オフの仕方」「無線ネットワークへのつなげかた」「マウスのクリック」「キーボード入力」の練習から始めます。 **【到達目標】** 放送大学での学修に必要なパソコン・インターネットの利用方法について理解し、セキュリティに留意しながら実際に使いこなせるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 パソコンの基本操作に慣れる 第2回 パソコンの基本操作に慣れる 第3回 インターネットを使ってみる 第4回 インターネットを使ってみる 第5回 WAKABAを使いこなす 第6回 WAKABAを使いこなす 第7回 パソコン・インターネットを安心安全に使うために知っておきたいこと 第8回 アンケートやテストに答える **【学生へのメッセージ】** パソコン初心者の方を想定し、サポートしながらゆっくり進めます。安心してご受講ください。パソコンを日常的にお使いの方は、できるだけ受講をご遠慮ください（より専門的な科目の受講をお勧めします）。 **【受講前の準備学習等】** 教科書を一通り読んでおいてください（分からない箇所がたくさんあっても大丈夫です）。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び最終講義中に受けるオンラインテストの解答状況にて行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**ゼロからのPC：セキュリティ編**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	23名		
担当講師	ヨウ　トモヒデ 楊　智瑛 お茶の水女子大学情報基盤センター講師		
日程 実施時間	10月30日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月6日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月13日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月20日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 学生証、WAKABAにログインするためのIDとパスワード、教科書、筆記用具 （IDとパスワードが分からない方は、お持ち頂かなくて大丈夫です。講義中に説明（必要に応じて初期化）します。学生証は全員お持ちください。） 1．持参する端末 種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましいです）。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3．ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 **【教科書】** ・今すぐ使えるかんたん ぜったいデキます！ パソコン超入門 Windows 11 Copilot 対応 改訂新版（井上 香緒里／技術評論社／¥1,100／ISBN=9784297143015） ■電子版をご購入頂いても構いません。しかし、本科目はパソコン初心者の方向けですので、パソコンで電子版を購入できる方には、より専門的な科目のご受講をお勧めします。「スマホやタブレットでなら電子版を購入できるが、パソコンの使い方は分からない」という方は、ぜひ本科目をご受講ください。 ■シラバス執筆時点（2025年３月）の最新版を記載してあります。もし、授業開始日（2025年10月）までに更に改訂版が出た場合、どの版をご購入頂いても構いません（授業中に改訂内容について説明致します）。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2691981	授業概要	【授業内容】 ---------- **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** ---------- この授業は、パソコンにほとんど触ったことがない、インターネットを使うのはなんだかちょっと怖い、という方向けに、マウスクリックの練習から一緒に進めていきます。これまで慣れる機会が無かった方に、パソコンやインターネットの便利さを学んでもらえればと考えています。学習センターのPCでオンラインテスト（インターネット上で解答する試験）に解答できるようになっていただきたい、と考えており、目標としています。 （「ゼロからのPC:セキュリティ編」の姉妹講座です。両方受講して頂いて構いませんが、一部内容が重複することをご承知おきください。） 【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、WAKABA の主な機能など、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作に慣れる 第2回 インターネットを使ってみる 第3回 インターネットで検索してみる 第4回 色々なサービスを使ってみる 第5回 メールを使ってみる 第6回 WAKABAを使いこなす 第7回 アンケートやテストに答える1 第8回 アンケートやテストに答える2 【学生へのメッセージ】 パソコン初心者の方が安心して学べるよう、丁寧にサポートしながらゆっくり進めていきます。全体の進行を見ながら進めますので、講義中お待ち頂く可能性があることをご承知おきください。また、パソコンの基本操作ができる方は受講をご遠慮ください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 教科書を一通り読んでおいてください（分からない箇所がたくさんあっても大丈夫です）。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び最終講義中に受けるオンラインテストの解答状況にて行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**ゼロからのPC：メール編**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	23名		
担当講師	タマリ　マイカ 玉利　舞花 和洋女子大学家政学部服飾造形学科助手		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		【受講者が当日用意するもの】 1．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 2．OSの指定 Windows11もしくはMac 3．ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 Microsoft Office Word 2024を使用します。 4．その他 ・学生証、WAKABAにログインするためのIDとパスワード（IDとパスワードが分からない方は、お持ち頂かなくて結構です。講義中に説明（必要に応じて初期化）します。学生証は全員お持ちください。） 【教科書】 ・今すぐ使えるかんたん　ぜったいデキます！　インターネット＆メール超入門［Windows 10対応版］［改訂2版］（今すぐ使えるかんたんシリーズ）（門脇香奈子／技術評論社／¥1,408） 今後改訂版が発売された場合も、原則指定の教科書を中心に進めていきます。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 受講の際は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689014
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	23名
担当講師	ササガワ　アユミ 笹川　あゆみ 武蔵野大学非常勤講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。ご自身のノートパソコンを持参して、その操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 Wordによる文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
2．OSの指定
　Windows11が必要です。
3．ソフトのインストール
　Microsoft Wordを使用しますので、インストールしておいてください。
4．その他
　・USBメモリ（市販されている一番安価な物で結構です）
　・学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください）
　・イヤホン
　・マウス（任意）
【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　授業当日に配付します。
【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF）（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　ダウンロード方法は授業で説明します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
（履修制限）面接授業「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。（面接授業開設科目一覧P.7参照）
・『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。
・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
　端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
　なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2691990
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**イタリア語入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	ツツミ　ヤスノリ 堤　康徳 上智大学非常勤講師
日程 実施時間	10月23日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月30日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月6日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月13日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本科目では、イタリア語の発音と文法の基礎を学びます。イタリア語は、同じくラテン語から派生した言語であるフランス語やスペイン語と文法も語彙もよく似ています。イタリア語が実際に使用されている地域は、フランス語やスペイン語ほど多くありませんが、イタリアには、多様性に富む豊かな自然、美術、オペラ、食文化など、数々の魅力があります。イタリア文化への関心を深めるために、言葉の知識は必要だと思われます。また、簡単な会話を覚えて、旅行などで少しでも役立てていただければ幸いです。
【到達目標】
イタリア語の挨拶を学ぶ。イタリア語の初歩的な単語を覚え、正しく発音できるようになる。名詞の性と数の概念、基本的な動詞の現在形の人称変化を学び、活用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 アルファベットと発音、挨拶
第2回 名詞（男性名詞と女性名詞）
第3回 冠詞
第4回 動詞essereとavere
第5回 規則動詞（1）
第6回 規則動詞（2）、不規則動詞
第7回 形容詞、数詞
第8回 復習
【学生へのメッセージ】
予備知識は必要ありません。イタリアに関心のある方はどなたでも参加できます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・イタリア語のABC（改定版）（長神悟／白水社／¥3,080）
・イタリア語のドリル　基礎力養成問題集（森田学／白水社／¥1,870）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692007
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**タガログ語入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	ナガヤ　ナオノリ 長屋　尚典 東京大学人文社会系研究科准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
タガログ語（フィリピン語・フィリピノ語）はフィリピン共和国で話される言語です。フィリピン共和国で使用されるだけでなく、日本を含む世界各地のフィリピン人コミュニティで話されています。この講座ではそのようなタガログ語を全くの初歩から勉強します。授業の特徴としては、我々のよく知る日本語や英語の文法とはかなり異なるタガログ語の文法を中心に解説しながら、基礎的な語学力を身につけます。タガログ語で自己紹介ができるようになり、簡単な文なら（英単語を使いながらも）作れるぐらいのレベルを目指します。
【到達目標】
タガログ語の文法の基礎を理解し、簡単な会話や作文ができるようになる
【授業テーマ】
第1回 フィリピン共和国とタガログ語
第2回 タガログ語の発音とあいさつ
第3回 名詞述語構文（1）
第4回 名詞述語構文（1）（つづき）
第5回 名詞述語構文（2）
第6回 形容詞述語構文
第7回 mag- 動詞述語構文
第8回 会話でよく使われる表現
【学生へのメッセージ】
タガログ語はアジアの巨大言語の一つでありながら、勉強する機会があまりない言語です。この機会に、みなさんと楽しくタガログ語を勉強することを楽しみにしています。
【受講前の準備学習等】
授業用ウェブサイト（https://norinagaya.github.io/tagalog/）を参考にタガログ語とフィリピン共和国の基本情報を知っておいてください。ウェブサイト上にある資料を読み、予習をしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692015
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**「グローバル時代の英語」演習**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定員	20名
担当講師	ミヤモト　ヨウイチロウ 宮本　陽一郎 放送大学特任教授 オオハシ　リエ 大橋　理枝 放送大学教授 クリスティ　コリンズ Kristie Collins 麗澤大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は東京文京学習センターと東京多摩学習センターを Zoom で繋いで行うハイフレックス型の授業です。放送授業「グローバル時代の英語」を補完・発展する授業です。放送授業の主任講師3名が授業を担当し、グローバル英語を聞くこと、話すこと、そして書くことを重点に実習します。授業の教室で Zoom に繋いで実際のグローバル英語の使い手たちとのやりとりを行ったり、グローバル英語を用いてご自身で発信することなどを体験していただきたいと思っています。実習型の授業ですので、耳・口・手・目などを積極的に使って参加してください。

【到達目標】
・講義を聞き、その内容についてグローバル英語で質疑応答できるようになる。
・グローバル英語を用いてグループ討議を行い、その結果をグローバル英語でプレゼンテーションできるようになる。
・グローバル英語を用いてインタビューを行い、取材した内容をグローバル英語で記述できるようになる。
・グローバル英語を積極的に使う態度をもてるようになる。

【授業テーマ】
第1回 グローバル英語で紹介文を書いてみよう
第2回 グローバル英語で自己紹介や他己紹介をしてみよう
第3回 コリンズ先生のレクチャーを聞こう
第4回 グローバル時代の英語についてディスカッションをしよう
第5回 グローバル英語で3分間プレゼンテーションと質疑応答をしてみよう
第6回 ハーブ・フォンデヴィリヤ先生のレクチャーで質疑応答してみよう
第7回 ゲストにグローバル英語でインタビューしてみよう
第8回 グローバル時代の英語について語ろう

【学生へのメッセージ】
怖がらずに積極的に参加してください。英語を話すことが苦手だと感じている人や、英語を話す機会がいままで少なかった方の参加を特に歓迎します。

【受講前の準備学習等】
受講者は放送授業「グローバル時代の英語」を履修済みと想定して授業を進めます。履修されていない方は事前に放送授業のインターネット配信や印刷教材を利用して自習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みへの評価と、授業内で行うプレゼンテーションやレポート作成の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英英辞書、筆記用具、教科書、ノート

【教科書】
・グローバル時代の英語（宮本陽一郎、大橋理枝、クリスティ ・コリンズ／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595323584）
放送授業の印刷教材です。この面接授業でも使用します（必携）。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
受講者は放送授業「グローバル時代の英語」を履修済みと想定して授業を進めます。履修されていない方は事前に放送授業のインターネット配信や印刷教材を利用して自習しておいてください。授業のなかで、英語による自己紹介と「2030年の日本の英語教育」をテーマとした英語プレゼンテーションをしていただくので、準備をしておいてください。

科目コード	2692023	**授業概要**	**【授業内容】** アラビア語は、３億人以上の人々が日常的に話している言語で、北アフリカから中央アジアにいたる広い地域に話者が分布しています。そのため、方言差が大きく、お互いに理解できない方言も少なくありません。また、アラビア語は、母語として話している人が多いだけではなく、東南アジア、中央アジア、西アジア、そしてアフリカの多くの言語に外来語として多くの単語や表現が取り入れられている重要な言語です。この授業では、ニュースや新聞、メディアなどで使われる標準アラビア語に基づいて、①アラビア語を文字の読み書き、単語の読み書き、②単文を使った簡単な挨拶・自己紹介を学びます。 **【到達目標】** ・アラビア文字を読み書きできる。 ・外来語・外国人名をアラビア語で表記できる。 ・基本的な挨拶と自己紹介ができる。 ・日常生活に関する簡単なやり取りができる。 講座を通じてアラビア語の基礎を確実に習得します。 **【授業テーマ】** 第1回 アラビア語の紹介、アルファベットを導入（森山） 第2回 アルファベットの続き、読み書きの練習（森山） 第3回 アルファベットの続き、読み書きの練習（エバ） 第4回 アルファベットの続き、読み書きの練習、アルファベットの最終確認（エバ） 第5回 単語の読み書き、名詞文を学ぶ（森山） 第6回 自己紹介、初めて人と会った場面の会話、その練習（森山） 第7回 第三者（家族・友人）を紹介する場面の会話（エバ） 第8回 復習（エバ） **【学生へのメッセージ】** アラビア語は馴染みが薄くて難しい言語である、というイメージがありますが、読み書きや基本文は意外と単純です。ぜひ一緒に頑張りましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**アラビア語初歩：挨拶まで**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	43名		
担当講師	エバ　ハッサン エバ・ハッサン 慶應義塾大学専任講師 モリヤマ　アミーラ 森山　アミーラ 大東文化大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 鉛筆・ペン、ノート **【教科書】** ・今日からはじめる　みんなのアラビア語（大隼エヴァ ・ハッサン／白水社／¥2,200／ISBN=9784560089705） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692031
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	HK
科目名	**ナワトル語初歩：文法の基礎**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	ササキ　ミツヤ 佐々木　充文 東京科学大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

メキシコ先住民語の1つで、いわゆる「アステカ帝国」の言葉としても知られる、ナワトル語（古典ナワトル語）の基礎を学びます。ナワトル語は、発音も文法も比較的簡単ですが、日本語やおなじみの諸外国語とは、少しだけ違った原理で動いています。本授業では、具体的な語形や構文の学習に加え、そうしたナワトル語文法の基本原理を紹介することで、(1) 受講後、本格的な独習を始める方のための「入門キット」となること、(2) 人類の言語一般に関心のある方の探求心に応えることを目指します。

【到達目標】

・文法書などで使われるナワトル語のラテン文字つづりを、正しく読み書きすることができるようになる。
・動詞・名詞の語形変化の大略を理解し、辞書形から屈折形を、屈折形から辞書形を、それぞれ導けるようになる。また、簡単な文の構造を考察できるようになる。
・ナワトル語を学んだ経験から、言語一般に関する自身の今後の知的探求に益する洞察を得る。

【授業テーマ】

第1回 ナワトル語のあらまし・つづりと発音
第2回 音韻規則・動詞Ⅰ（項接辞）
第3回 動詞Ⅱ（時制）
第4回 名詞
第5回 所有表現・文の構造
第6回 汎述語性・場所の表現
第7回 動詞Ⅲ（使役・抱合）
第8回 動詞Ⅲ（敬語）・理解度確認

【学生へのメッセージ】

学習に際しては、ナワトル語特有の長い単語をどう組み立て、どこで区切って分解すればいいかを、パズルのように考えていくことになります。ブロック玩具で遊ぶ感覚で、手を動かし、いろいろな組み合わせを試してみましょう。

【受講前の準備学習等】

授業ではスペイン語風のつづり字を使います。スペイン語の子音字の読み方（特にc・z・quの使い分け）について、市販の語学書やインターネットなどで簡単に調べ、予習してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。試験の一部として、後日提出のオンラインフォームが含まれます。

【受講者が当日用意するもの】

・パソコンでノートをとる場合、Windows利用者の方は、あらかじめフリーソフト「WinCompose」をインストールしておくと、長音記号などの特殊文字が自在に入力できて便利です。Mac利用者の方は、入力ソース「ABC - Extended」で同じことができます。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・An Introduction to Classical Nahuatl（Michel Launey／Cambridge University Press／¥11,088／ISBN=9780521518406）
受講後、さらに学習を進めたい方におすすめの教科書です。洋書のため、購入元や時期により価格は変動します。電子書籍版は表示に問題があるため、入手の際は紙の書籍（ペーパーバック）版を推奨します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
本授業の試験は、(1) 授業内で行う理解度テストと、(2) 後日オンライン（Google Formsを予定）で提出していただく文法テストの両方を含みます。

科目コード	2692031
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	HL
科目名	**ナワトル語初歩：文法の基礎**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	ササキ　ミツヤ 佐々木　充文 東京科学大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

メキシコ先住民語の1つで、いわゆる「アステカ帝国」の言葉としても知られる、ナワトル語（古典ナワトル語）の基礎を学びます。ナワトル語は、発音も文法も比較的簡単ですが、日本語やおなじみの諸外国語とは、少しだけ違った原理で動いています。本授業では、具体的な語形や構文の学習に加え、そうしたナワトル語文法の基本原理を紹介することで、(1) 受講後、本格的な独習を始める方のための「入門キット」となること、(2) 人類の言語一般に関心のある方の探求心に応えることを目指します。
【到達目標】
・文法書などで使われるナワトル語のラテン文字つづりを、正しく読み書きすることができるようになる。
・動詞・名詞の語形変化の大略を理解し、辞書形から屈折形を、屈折形から辞書形を、それぞれ導けるようになる。また、簡単な文の構造を考察できるようになる。
・ナワトル語を学んだ経験から、言語一般に関する自身の今後の知的探求に益する洞察を得る。
【授業テーマ】
第1回 ナワトル語のあらまし・つづりと発音
第2回 音韻規則・動詞Ⅰ（項接辞）
第3回 動詞Ⅱ（時制）
第4回 名詞
第5回 所有表現・文の構造
第6回 汎述語性・場所の表現
第7回 動詞Ⅲ（使役・抱合）
第8回 動詞Ⅲ（敬語）・理解度確認
【学生へのメッセージ】
学習に際しては、ナワトル語特有の長い単語をどう組み立て、どこで区切って分解すればいいかを、パズルのように考えていくことになります。ブロック玩具で遊ぶ感覚で、手を動かし、いろいろな組み合わせを試してみましょう。
【受講前の準備学習等】
・授業ではスペイン語風のつづり字を使います。スペイン語の子音字の読み方（特にc・z・quの使い分け）について、市販の語学書やインターネットなどで簡単に調べ、予習してください。
・Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。試験の一部として、後日提出のオンラインフォームが含まれます。

【受講者が当日用意するもの】
・パソコンでノートをとる場合、Windows利用者の方は、あらかじめフリーソフト「WinCompose」をインストールしておくと、長音記号などの特殊文字が自在に入力できて便利です。Mac利用者の方は、入力ソース「ABC - Extended」で同じことができます。
・マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・An Introduction to Classical Nahuatl（Michel Launey／Cambridge University Press／¥11,088／ISBN=9780521518406）
受講後、さらに学習を進めたい方におすすめの教科書です。洋書のため、購入元や時期により価格は変動します。電子書籍版は表示に問題があるため、入手の際は紙の書籍（ペーパーバック）版を推奨します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
・本授業の試験は、(1) 授業内で行う理解度テストと、(2) 後日オンライン（Google Formsを予定）で提出していただく文法テストの両方を含みます。
・Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2692040
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**韓国語の初歩：基本表現編2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	オゴシ　ナオキ 生越　直樹 放送大学客員教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
「韓国語の初歩　基本表現編」を受講した人、またはそれと同等の知識を持っている人を対象とします。韓国語が全く初めての人は受講できませんので、注意してください。この授業では、日常よく使うヘヨ体の表現と連体形を学習することによって、より複雑な表現を使った会話ができることをめざします。
【到達目標】
ヘヨ体と連体形を使って、相手に応じて自分の言いたいことを伝えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 パンを食べます。(ヘヨ体で行動を言う1)
第2回 コーヒーを飲みます。(ヘヨ体で行動を言う2)
第3回 どこに行きましたか。(ヘヨ体で過去のことを言う)
第4回 どこに行かれますか。(ヘヨ体で目上の人と話す)
第5回 学校の前にある食堂（詳しく説明する1)
第6回 もう少し安い物（詳しく説明する2)
第7回 明日来る人（詳しく説明する3)
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
ヘヨ体の表現は日常生活で最もよく使われる表現ですから、この機会にしっかり覚えましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に務めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692058
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**中国語講読26B**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定員	43名
担当講師	ミヤモト　トオル 宮本　徹 放送大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
「中国語Ⅱ」に対応する授業です。「中国語Ⅰ」または「中国語入門Ⅰ」・「同Ⅱ」等未履修の方には適当ではありません。
近現代作家の作品を読みながら、現代中国語文の読み方を考えていきます（題材は未定。開講前にプリントを自宅宛に送付します)。授業は輪読形式で行います。「中国語講読」(2007－09、11、13、15～26年度）既修者・新規履修者ともに歓迎します。
【到達目標】
辞書・文法書等を用いながら、標準的な現代中国語の文章を正確に読解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・作品解説・現代中国語文の講読（1)
第2回 現代中国語文の講読（2)
第3回 現代中国語文の講読（3)
第4回 現代中国語文の講読（4)
第5回 現代中国語文の講読（5)
第6回 現代中国語文の講読（6)
第7回 現代中国語文の講読（7)
第8回 現代中国語文の講読（8)・まとめ
【学生へのメッセージ】
ご一緒に現代中国語の奥深い世界を探究しましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は授業時の発表内容等を勘案して総合的に判断します。

【受講者が当日用意するもの】
中型の中日辞典（任意）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・現代漢語八百詞（増訂本）(呂叔湘主編／商務印書館（北京）／¥6,468／ISBN=9787100021975)
価格は参考価格。中国語専門書店・ネット通販等で購入可能。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692066	授業概要	【授業内容】 イタリア語中級では、動詞の活用に知識を深め、定着させてゆきます。イタリア語では、動詞活用が多様かつ多数ですから、反復を厭わないでください。事前・事後学習のため、動詞活用に関する文法問題に加えて、やさしい作文などを、いわば宿題のように、渡す場合があります。 【到達目標】 「イタリア語中級」に参加する学生らが、重要な基本動詞の多様な活用の意味を理解し、コンテクストに適した形に変化させることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 初級で学習したことの確認問題、代名詞（直接補語、間接補語） 第2回 動詞piacereの用法、再帰代名詞と再帰動詞 第3回 直接補語代名詞と間接補語代名詞の組み合わせ、使役動詞fare、補語の強勢形および非強勢形 第4回 直説法近過去、受動態（直説法現在および近過去） 第5回 受け身のsi、非人称のsi、過去分詞の語尾について、補語代名詞の配置場所 第6回 直説法半過去および大過去、直説法未来 第7回 直説法前未来（未来完了）、代名詞の組み合わせに関する補足説明 第8回 形容詞の比較級および最上級、関係詞 【学生へのメッセージ】 授業内容にも書きましたが、動詞に関する知識を、しっかり記憶に定着させるべく、繰り返し練習してください。 【受講前の準備学習等】 第１日目授業の事前学習については、初級（入門）で学習されたことの復習（未履修者は相当する内容の学習）をお願いします。具体的には、発音（綴字の読み方）、冠詞、名詞、形容詞、動詞の直説法現在活用、冠詞と前置詞の合体形などです。第１日目以降はその日に学習したことを復習し、また、次の日に学習することを予習してください。4回の授業日の前に、それぞれ5時間程度学習することが望まれます。 【成績評価の方法】 第8回目の授業後に、知識の定着を確認するために、45分の試験を行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**イタリア語中級**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	43名		
担当講師	ウラ　カズアキ 浦　一章 東京大学名誉教授		
日程 実施時間	11月29日(日) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月6日(日) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月13日(日) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月20日(日) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		【受講者が当日用意するもの】 教科書、辞書、筆記用具、ノートなど。筆記用具とノートに関しては、ノート型パソコンを持参する方もあるでしょうから、一概には言えません。配布したプリントが完了していない場合は、次回も持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・イタリア語練習問題集（マリーサ・ディ・ルッソ、長神悟、西本晃二／白水社／¥2,640／ISBN=9784560085134） ・これからはじめるイタリア語入門（花本知子／NHK出版／¥2,200／ISBN=9784140351802）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 動詞活用と付き合うことは、根気と忍耐を必要としますが、身についた知識が新たな世界を開いてくれる喜びを考えて、学習に励んでください。

科目コード	2692074
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**英語を読んで理解する**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	130
定員	43名
担当講師	ニシムラ　ヨシキ 西村　義樹 元東京大学教授 アサオカ　ケンシロウ 浅岡　健志朗 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
大学（あるいは大学院）の入試問題に出てくる英語の単語や熟語と文法事項は身についているはずなのに英語の文章を読んでも（あるいは英語の講義などを聴いても）十分には理解できない気がすることはないでしょうか？この授業では、複数の分野から厳選した優れた英語の文章を適切に読む体験を重ねることを通して、このレベルの英語を速く深く正確に理解するために必要なスキルを身につけるにはどうすればよいのかを学んでいただきます。

【到達目標】
大学入試や大学院入試の英文和訳問題の良問と同レベルの、さまざまな分野から厳選された英語の文章を速く深く正確に読み解く力を身につける。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 文章（1）
第3回 文章（2）
第4回 文章（3）
第5回 文章（4）
第6回 文章（5）
第7回 文章（6）
第8回 総まとめ

【学生へのメッセージ】
英語で書かれた優れた内容の文章を速く深く正確に理解できるようになりたい人たちのために、辞書の（意外に知られていない）使い方や（言語学者の使う意味での）文法の重要性もお伝えできたらと考えています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
辞書（電子辞書や出版された辞書のアプリ版も可）、筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・英文の読み方（行方昭夫／岩波書店／¥902）
・翻訳教室（柴田元幸／朝日新聞出版／¥1,100）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692082
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ハワイ語入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	イワサキ　カナエ 岩﨑　加奈絵 東京農工大学工学研究院言語文化科学部門講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
日本でとても人気のあるハワイですが、ハワイで元来使用されていたことば、「ハワイ語」についての知名度はそれほど高くありません。その理由の一つは、現在のハワイでは、公用語に指定されているにもかかわらず、ハワイ語が日常的に使用されているとは言いがたいという事実です。この授業では、ハワイ語がどのような言語かについて、基本的な文法事項や語彙の学習を通して理解することを目指します。また、現在ハワイ語がどのような位置づけにあるのかについても少し触れる予定です。
【到達目標】
・言語としてのハワイ語の基礎知識を身に付け、代表的な文の読み・書きができるようになる
・ハワイ語の名詞文が作れるようになる
・ハワイ語の動詞文が作れるようになる
・基礎的なハワイ語の所有形式の使用規則を理解、運用できるようになる
・現在ハワイ語が置かれている状況を理解する
・講義言語である日本語とハワイ語の類似・相違点を挙げられるようになる
【授業テーマ】
第1回 ハワイ語の音と書き方、あいさつのことば
第2回 ハワイ語を取り巻く環境、代名詞
第3回 名詞文（1）私は学生です
第4回 名詞文（2）彼の名前はKimoです
第5回 動詞文 Leinaniは魚を食べます
第6回 所有形 私の親・私の子
第7回 所有の文 私は本を持っています
第8回 おさらいとさらなる学習のための文献紹介
【学生へのメッセージ】
予備知識は特に必要ありませんので、ハワイに関心がある方、フラなどを通してハワイ語・ハワイ文化に関心がある方、新しい言語に関心がある方など、ぜひ気軽に参加してください。言語の性質上、会話よりも文法的な特徴の説明が中心になりますが、簡単な挨拶などは紹介します。
＊基本的に初学者向けで実施しますが、万が一既修者が大多数である場合はステップアップのための付加的情報も資料・授業で随時伝えていきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ハワイ語文法の基礎（塩谷亨／大学書林／¥4,180）
・はじめてのハワイ語（木村由香／小学館／¥2,090）
・ハワイ語で話そう = E kama ʻilio pū kākou!（古川敏明, 土肥麻衣子／白水社／¥2,200）
・Hawaiian grammar（Samuel H. Elbert and Mary Kawena Pukui／University of Hawaii Press／¥5,220）
洋書のため金額＄30.00がレートにより変わりますのでご注意ください。
・Ka Lei Ha'Aheo: Beginning Hawaiian（Alberta Pualani Hopkins／University of Hawaii Press／¥6,465）
洋書のため金額＄34.00がレートにより変わりますのでご注意ください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692104
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ベトナム語初歩：病院編**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	アダチ　マユミ 安達　真弓 東京外国語大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
ベトナム語に初めて触れる人を対象とした授業です。まずは、文字や発音の習得に重点を置きます。次に、ベトナムの病院で診察を受けること、および日本でベトナム人が受診する際のサポートを行うことを想定しながら、日常生活において使用頻度の高い単語・構文を学習します。
【到達目標】
「クォックグー（国語）」と呼ばれる、アルファベットを基本とする現代ベトナム語の文字で書かれた平易な文（類別詞や指示詞、数詞を含んだ名詞文・形容詞文・動詞文）を母音・子音・声調に注意しながら発音し、その意味を理解できるようになる。加えて、ベトナムの医療事情や健康観、多文化共生の観点からの医療支援の概要についても理解する。
【授業テーマ】
第1回 ベトナムの医療事情の概要
第2回 文字と発音：母音・子音
第3回 文字と発音：声調
第4回 名詞文「私は医師です」
第5回 類別詞と指示詞「これはベッドです」
第6回 形容詞・動詞「薬を飲みたいです」
第7回 数字「38度あります」
第8回 便利な表現「痛いなぁ！」
【学生へのメッセージ】
ベトナム語の学習は何といっても、初めの音声の習得が肝要です。授業には毎回必ず出席し、発音のコツをつかんで、自宅で何度も練習してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692090
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**スピーチから学ぶ 英語基礎2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	43名
担当講師	スガワラ　アヤカ 菅原　彩加 早稲田大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
英語を学び直したいけれど問題集や参考書で勉強していると眠くなってしまう…そのような学習者の皆さんを想定した英語初級の授業です。学習の題材は、多くの人の心を動かし歴史に影響を与えたスピーチの一節を用意します。歴史上の偉人だけではなく、開講時に話題の人（スポーツ選手や俳優など）がいれば扱います。それらのスピーチの英語におけるニュアンス等を解説しながら、楽しく語彙や文法事項を学習します。
【到達目標】
・授業内で扱った文法事項について習得し、新しい文脈で理解・使用ができる。
・授業内で扱ったGeneral Service Listの語彙について意味を理解できる。
・授業内で扱った演説の一部を使って、英作文を創作できる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、理解度チェック、品詞や五文型の復習
第2回 スピーチ（1）ウィンストン・チャーチル
第3回 スピーチ（2）マーガレット・サッチャー
第4回 スピーチ（3）未定（開講時期に話題の人）
第5回 スピーチ（4）モハンダス・ガンディー
第6回 スピーチ（5）バラク・オバマ
第7回 スピーチ（6）未定（開講時期に話題の人）
第8回 総まとめ
【学生へのメッセージ】
それぞれのスピーチの持つメッセージを感じながら、トップダウンで英語の基礎事項や語彙を身につけていくことを目指します。スピーチに出てくる難しい単語は辞書を引きますので、英語のレベルは問いません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞典（電子辞書可）、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・21 Speeches That Shaped Our World（Chris Abbott／Rider／ISBN=9781846042720）
講義で扱うスピーチの一部はこの本で紹介されています。前期「スピーチから学ぶ英語基礎」の参考書と同じですが、扱うスピーチに重複はありません。洋書のためレートにより金額£14.99が変わりますのでご注意ください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
前期「スピーチから学ぶ英語基礎」の続きにあたる授業ですが、前提知識は想定せずに授業を進めますので、前期の授業を履修していなくとも構いません。

科目コード	2692112
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**からだ感じて生きる ー身体表現**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	120
定員	40名
担当講師	スズキ　タマキ 鈴木　瑛貴 植草学園大学講師 オカ　チハル 岡　千春 お茶の水女子大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
身体感覚と身体感情が十分に働いている人のからだは生き生きとしており、からだが生き生きしているからこそ世間や人々との関係をはっきり感じ取ることができ、豊かなコミュニケーションをはかることができます。この身体感覚、身体感情を意識的に働かせての活動、それが狭義の身体表現です。この活動の基盤となるのは、運動ー感情ー呼吸の関係です。ここでは、講義と実践を内容としてこの三つの関係の体験的理解を目標にしています。
【到達目標】
身体表現の基本的な理論および臨床における実践について、講義と体験を往還しながら体験的に理解することができる。また、それらを踏まえてグループワークに取り組み、運動ー感情ー呼吸の関係を感じ取り、生き生きと表現することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス／身体は情報の発信、受信の基地
第2回 動く・感じる・対話する
第3回 様々な場での創造的な身体表現１
第4回 様々な場での創造的な身体表現２
第5回 心身のウォーム・アップ
第6回 現在（いま）、この瞬間を生きるからだ
第7回 まるごとのからだで共に創り踊る
第8回 拓かれたからだで響きあう／まとめ
【学生へのメッセージ】
自分のからだがどんな格好ができて、どんなふうに動けるのか、その時どのような気持ちがするのか知っていますか？日常の動きを入り口として、非日常の世界へと誘うこの活動は、すべての人にひらかれています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
授業内の提出物やグループワークの取り組み、グループで行う最終発表によって評価します。

【受講者が当日用意するもの】
動きやすい服装（ジーンズ不可）、運動靴（体育館シューズ、ダンスシューズなど）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・臨床舞踊学への誘い　身体表現の力（柴眞理子／編著／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623082421）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2692120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**地域母子保健と子育て支援**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	43名
担当講師	サカキバラ　ヒサコ 榊原　久子 鎌倉女子大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
妊娠期から乳幼児期の子どもと家族を対象とした支援について学びます。
子ども基本法の理解と併せて、地域母子保健、保育、地域子育て支援に関連する制度と事例を概観し、子ども子育て家庭を包括的に理解することを目指します。
乳幼児の心身の発達については、発達科学的な視点から理解を深めていきます。
支援の実際については、対人援助技術を踏まえた演習を多く取り入れて研鑽を深めます。

【到達目標】
1．地域母子保健と子ども子育て支援に関する基礎知識を理解できる。
2．日本の母子保健・子ども子育て支援の現状と動向を理解できる。
3．日本の母子保健・子ども子育て支援にかかる行政の仕組みや施策、地域で生活する母子及び家族のサポートシステム、支援サービスについて理解できる。
4．地域で生活する母子及び家族を支援する専門職の役割、地域で活動する他職種や組織との連携、協働について理解できる。
5．対人援助に必要な基本的技術について理解できる。

【授業テーマ】
第1回 子ども基本法と子ども施策の理解～子ども基本法、はじめの100か月の育ちビジョン（子ども大綱）
第2回 令和の時代の妊娠・出産・子育ての現状を理解する
第3回 胎児期からの乳幼児ケアの重要性～発達科学的な視点から
第4回 産後の家族を支える子育て支援
第5回 子どもの権利とマルトリートメントの予防について
第6回 多様なニーズをもつ子育て家庭への支援
第7回 乳幼児期のジェンダーと包括的性教育について
第8回 対人援助の基本～対話的相談支援とは

【学生へのメッセージ】
本講義では、ディスカッション及びロールプレイを多く取り入れます。
ご承知おきください。

【受講前の準備学習等】
ご自身が在住している自治体で行われている母子保健事業、子育て支援事業、産前産後ケアについて情報を収集しておいてください。
テキストは、講義当日にプリントにて配布します。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692139
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**初歩の臨床心理学**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	210
定員	140名
担当講師	マツウラ　ショウイチ 松浦　正一 帝京平成大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
臨床心理学は心理学の一分野で、心理臨床を実践するための基本的な学問です。臨床心理学の入門編である本講義では、発達や心理療法の代表的な理論を学びます。またさまざまな発達段階における心理的課題や心理的支援を要する精神疾患について理解していきます。自分自身、もしくは、自分の身近な人々のこころの健康を促進させるための、基本的な知識や技法を知ってもらうことを目的としています。

【到達目標】
・臨床心理学という学問の成り立ちについて説明することができる。
・心理アセスメントの種類とその特徴について説明することができる。
・代表的な心理療法の理論や手法について理解して、その特徴や問題点について説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 臨床心理学の基礎知識について
第2回 臨床心理学で扱う心の理論
第3回 心の状態を診ていくアセスメント①発達段階と発達課題
第4回 心の状態を診ていくアセスメント②心理アセスメント
第5回 深層心理学に基づく心理療法
第6回 行動療法と認知行動療法
第7回 来談者中心療法と家族療法
第8回 心理療法の一般的プロセス

【学生へのメッセージ】
臨床心理学の初学者を対象とした授業です。臨床心理学の基本である深層心理や心理アセスメントと心理療法を非専門家としての支援という視点から学び、自分自身や周囲の人々への援助方法について考えてもらいます。
また授業内でグループディスカッションや簡単な面接トレーニング（ロールプレイ）を行うことを予定しています。

【受講前の準備学習等】
シラバスに記載した各回のテーマをもとに参考書等を活用して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・面白いほどよくわかる！臨床心理学（下山晴彦　監修／西東社／¥1,540／ISBN=4791618874）
内容的にも分かりやすく書かれているので入門書としては手頃な書籍だと思います。参考書ですし，お住まい近くの図書館などで蔵書としてあれば，まずはそちらを借りて読んだり，予習に取り組んでもらえたら良いだろうと思います。当日は配布資料があるので購入の必要はありません。
・臨床心理学　改訂版（丹野義彦・石垣琢麿・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子／有斐閣／¥4,730／ISBN=9784641053908）
読み物としては面白いのですが，あくまでも参考書なので，お住まいの図書館などで蔵書としてあれば，まずはそちらを借りたり，読んだりしてみることをお薦めします。高額な書籍ですし当日は配布資料があるので購入の必要はありません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692147
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**国際政治の新しい形**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	43名
担当講師	オザワ　トモヒロ 小沢　知裕 （一社）先端技術安全保障研究所所長
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
コンピュータ・ネットワーク技術やロボット技術の進歩によって、近年の国際紛争のあり方は大きく変化しています。この変化は、冷戦終結後の社会変化と重なり合って、さらに複雑な様相をみせています。本講義は無人航空機による攻撃や、民間軍事警備会社（PMSC）の台頭、サイバー空間を巡る紛争、ロボットの軍事利用などを概観し、変わりつつある国際政治の姿を提示しようと図るものです。その新しさを際立たせるために、まず伝統的な戦争の形を振り返ります。そして最後に、戦争は今後も続いていくのかを考えます。

【到達目標】
伝統的な国際紛争の在り方やその変化を踏まえた上で、無人航空機やロボット、AI技術の軍事利用、サイバー空間の発展、エネルギー技術の進歩、民間軍事警備会社（PMSC）の台頭といった技術の進歩や社会の変化に伴い変化する国際紛争の在り方を理解できる。また、これらを踏まえた上で、今後の国際政治、国際紛争の在り方に関する様々な議論を理解できる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション / 古い「新しい戦争」
第2回 無人航空機の戦争
第3回 ロボットの戦争
第4回 民間企業と戦争
第5回 サイバー空間と国際政治（1）
第6回 サイバー空間と国際政治（2）
第7回 エネルギーと国際政治 / 戦争は続いていくのか？
第8回 まとめ / 質疑応答

【学生へのメッセージ】
社会科学は生活の変化と共に日々変化しています。特に国際政治は技術進歩の影響を多大に受けてきました。最新の変化を感じ取ってください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、関連する内容の新聞記事、インターネット記事、書籍の閲読、テレビ番組の視聴などを行ってください。その際、関連したテーマ（サイバー、ドローン、ロボット、AI、エネルギーと国際政治、民間軍事会社等）を取り上げたものを、シラバス掲載の参考文献に限らず、お選びください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
少量の好奇心と多量の忍耐心

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・サイバースフィア創刊号 Vol.1 April 2020（高橋和夫・小沢知裕・牧田純平／先端技術安全保障研究所／¥1,760）
以下サイトにて販売いたしております。
https://giest.base.shop/
「補論：徘徊型兵器ハーピーとはなにか」をお読みください。
・サイバースフィア Vol.2 September 2020（高橋和夫・小沢知裕・川井大介／先端技術安全保障研究所／¥1,760）
以下サイトまたはAmazonにて販売いたしております。
https://giest.base.shop/
「パンデミックと偽情報の国際政治」をお読みください。
・「無人航空機と変容する兵士像」(1)～(7)（小沢知裕／先端技術安全保障研究所）
以下サイトに掲載いたしております。
https://giest.or.jp/author/ozawa/
・サイバースフィア Vol.3 May 2021（高橋和夫・小沢知裕・牧田純平／先端技術安全保障研究所／¥979）
以下サイトまたはAmazonにて販売いたしております。
https://giest.base.shop/
「流通する無人攻撃機」をお読みください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692155
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ディズニーランドの経済学**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	140名
担当講師	ヤマサワ　ナリヤス 山澤　成康 跡見学園女子大学マネジメント学部教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、ディズニーランドという素材を使って、経済学を理解するのが目的です。東京ディズニーリゾートは新型コロナウイルスの感染拡大で大きな苦境を経験しましたが、なお根強い人気を誇っています。その人気の秘密を、レイアウト、サービス、価格戦略などから探っていきます。さらに、ディズニーランドのキャラクターの人気の秘密や、世界のディズニーランド、ほかのテーマパークとの比較などを通じて、経済や社会への理解を深めていくようにします。参考書に沿って授業を進めますが、経済学のDVD教材も使う予定です。
【到達目標】
１日目：トレードオフ、機会費用など基本用語について説明できる。需要・供給と価格の関係について説明できる。家計の効用最大化、企業の利益最大化について説明できる。
２日目：人的資源管理の変遷について説明できる。経済の国際的な動きについて説明できる。戦後日本経済の歴史について説明できる。ジェンダーバイアスについて説明できる。
【授業テーマ】
第1回 経済学とは（イントロダクション）、レイアウトの工夫
第2回 値上げや割引はどのように決めるのか（市場と価格戦略）
第3回 消費行動の分析（家計は効用を最大化する）
第4回 企業行動の分析（企業は利益を最大化する）
第5回 東京ディズニーランドのサービス（人的資源管理）
第6回 ディズニーランドの歩み（日本経済）
第7回 世界のディズニーランド（国際経済）
第8回 ディズニープリンセス（ジェンダー論）
【学生へのメッセージ】
経済学としては初歩的な内容です。ディズニーやディズニーランドに興味がないと面白くないと思いますが、マニアの人には物足らないかもしれません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を参考にして、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
参考書「新ディズニーで学ぶ経済学」があれば、学びやすいです。授業で使うパワーポイントは、山澤研究室（http://www2.mmc.atomi.ac.jp/web13/index.shtml）のホームページの右の列「ディズニーランドの経済学」にあります。授業当日にも配付します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新ディズニーで学ぶ経済学（山澤成康／学文社／¥2,750／ISBN=9784762034060）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692163
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**AI時代の外国語学習**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	78名
担当講師	ハヤシ　トオル 林　徹 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー／放送大学名誉教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
母語は自然に話せるようになったのに、外国語（母語以外の言葉）は長い間努力しても母語のように話すのは困難です。外国語の学習がなぜそんなに難しいかを理解した上で、外国語学習に割くことのできる労力や時間により、現実的な目標を設定することについて考えます。また、言葉の働きには、AIで置き換えることのできる部分とできない部分があることを確認し、外国語を学ぶ意味は何か、そもそも自ら学ぶ必要があるのかどうかを、それぞれが考える手がかりを提供します。

【到達目標】
外国語の習得における難しさとそれを乗り越える手段、さらに外国語の習得が果たす社会的機能について理解し、今後の自分の外国語学習について適切な判断ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回「外国語」とは？：様々な世界の言葉の特徴
第2回 外国語の壁（1）：意味と発音の偶然の関係、見えない構造
第3回 外国語の壁（2）：乏しい入力、音声器官の過剰性能
第4回 壁を乗り越える手段（1）：論理（理屈）・知識・文脈
第5回 壁を乗り越える手段（2）：AI（過去の用例）の活用
第6回 規則と用例：人の限界とAIの限界
第7回 排除と受け入れ：言葉が果たす社会的機能
第8回 まとめ：私たちは外国語を学び続けるだろうか？

【学生へのメッセージ】
外国語はAIに任せて勉強しなくてもいいと考えている人、外国語学習への興味を断ち切れない人、日本語や外国語を教えたいと思っている人などに参考になれば幸いです。なお、グループワークや発表等はありません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
インターネットに接続可能なスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれか。アンケートに回答したり、２日目に行う試験を受験する際に使用します。ただし、持参しない（したくない、できない）場合は、代替措置（紙による提出）も可能ですので、事前に学習センターにその旨を連絡してください。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
東京文京学習センターで2022年度まで開講していた面接授業「外国語を学ぶのための基礎知識」と「音声学入門」と部分的に重なる内容があります（特に第１回から第４回）。また、講師はAIによる自然言語処理や自動翻訳の専門家ではありません。

科目コード	2692171	**授業概要**	**【授業内容】** あなたは人の話をきちんと聴いて、理解していますか？何時間も会話していたのに、後で振り返ると何も残っていなかった経験はないでしょうか。相手の話の中身を理解して対話するということは、容易にはいかないことです。この講義では、放送における番組制作でのインタビュー手法を用いて、人の話を正しく理解するための聴く力、さらに相手の考えを引き出す力を養います。授業はワークショップ形式で行います。録音や録画を利用して、自分の聞き方や話の引き出し方のチェックも行います。 **【到達目標】** 決められた時間内で、テーマに即したインタビューができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス 第2回 なぜ、聴くことに“つまずき”が出るかを考える 第3回 相手の話を引き出すために必要な準備と姿勢 第4回 実践①　話を聞く 第5回 流れを考えて、話を聞く―核心に迫るには 第6回 実践②　流れを考えて、話を聞く 第7回 実践③　流れを考えて、話を聞く 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 聴く力、話を引き出す力をつけることはコミュニケーション力向上にも役立ちます。初対面の人の前だと緊張してしまう方から、もっと相手の核心に迫りたいと考える方まで、是非一緒に学びましょう！ **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業時間中に実施する実習課題の達成状況及びグループワークでの成果（提出物）により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**“聴く力・引き出す力”を養う**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	サジ　マキコ 佐治　真規子 アナウンサー／ディレクター		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 録音・録画機能のついたスマートホンやタブレット、またはICレコーダーとイヤホンを持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・NHK ことばのハンドブック 第2版（NHK放送文化研究所／NHK出版／¥2,090／ISBN=9784140112182） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692180
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**カトリック教会と音楽**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	100名
担当講師	ナガハラ　ケイゾウ 永原　恵三 お茶の水女子大学名誉教授
日程 実施時間	12月17日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月18日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は音楽学（民族音楽学）の観点から、カトリック教会とそこで用いられる音楽について、考察します。宗教観的な問題ではなく、ミサなどの典礼において音楽がどのような役割を持っているかを、ミサの構造や楽譜、公文書などから考えます。日本の学校教育の中で教えられてきた「音楽」とは全く異なった学問的なアプローチをします。また、1960年代に開催された第二バチカン公会議を取りあげ、典礼に関する考え方の転換が起き、音楽も大きく変化したことを、現在の典礼音楽を通じて考察します。

【到達目標】
1）カトリック教会のミサなどの典礼に用いられる音楽について理解し、その役割を的確に判断できるようになること。
2）第二バチカン公会議における典礼の変化を理解し、現在の典礼が持つ新たな意味を説明できること。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクションおよびグレゴリオ聖歌概説（楽譜と歴史）
第2回 典礼におけるグレゴリオ聖歌の役割とその歌唱技術（楽譜から読み取る歌い手たちのわざ）
第3回 カトリック教会の典礼暦とミサ曲
第4回 カトリック教会のミサと典礼音楽
第5回 トレント（トリエント）公会議とミサの音楽
第6回 第二バチカン公会議と『典礼憲章』（ミサにおける音楽の役割）
第7回 第二バチカン公会議後の音楽と言葉（日本のカトリック教会の典礼聖歌）
第8回 民族音楽学と教会音楽（まとめ）：儀礼と音楽の関わりを音楽学（民族音楽学）から考える

【学生へのメッセージ】
本授業では、キリスト教を信仰するかどうかは一切関係ありません。音楽学という学問的観点から、カトリック教会の事例を通じて、音楽の役割を考えていただきたいと思います。五線譜が読めたほうがよいですが、高校や中学までの音楽の基礎知識があれば大丈夫です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。インターネットの「カトリック中央協議会」のサイトで、カトリック教会やバチカンのこと、聖書や聖歌集のことなどについて、わかることだけでよいので、調べておいてください。実際に、四ッ谷のサンパウロ書店などに行って、実際に書籍等を手に取ってみるのもよいでしょう。また、実際にカトリック教会（東京カテドラル聖マリア大聖堂、四ッ谷の聖イグナチオ教会や身近な教会）を訪問するのもよいです。ただし、礼儀を忘れないようにしましょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具（ノートパソコンも可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
この授業は高校までの音楽の授業で行なわれていたような音楽鑑賞の授業ではありません。音楽について様々な観点から考えることを目的としています。

科目コード	2692198
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**物理数学基礎演習15**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	78名
担当講師	コマタ　シロウ 小又　志郎 放送大学東京文京学習センター客員准教授
日程 実施時間	10月22日(木) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 10月29日(木) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月5日(木) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月12日(木) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
古典的な教科書をじっくり読みながら、問題演習を通して古典電磁気学の初歩を学びます。具体的には、電磁気学の基礎方程式であるマクスウェル方程式に基づいて、電磁波を導出します。また、電磁波としての光の性質を解析します。あわせて、ベクトル解析やフーリエ解析などの必要な数学についても適宜扱います。物理や数学の本の読み方を学ぶとともに、典型的な応用場面での計算力を養うことに主眼を置きます。

【到達目標】
古典電磁気学の基礎事項について、物理的意義を理解し、電磁気学の基礎方程式であるマクスウェル方程式から電磁波の波動方程式を導出することができる。電磁波としての光の性質を説明することができる。電磁気学で用いられるベクトル解析やフーリエ解析に習熟し、電磁気学で現れる式を自由に操作することができる。

【授業テーマ】
第1回 波動方程式
第2回 平面波
第3回 単色平面波
第4回 ドップラー効果
第5回 スペクトル分解
第6回 部分偏光
第7回 幾何光学とその限界
第8回 場の固有振動

【学生へのメッセージ】
教科書に指定した本はやや難しいとの評価もありますが、ゆっくり丁寧に読んでいきましょう。放送大学教材等に現れる多少複雑な式変形もできるようになることを目標にします。疑問があればどんどん質問してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・力学・場の理論　ランダウ＝リフシッツ物理学小教程（L.D.ランダウ／E.M.リフシッツ／筑摩書房（ちくま学芸文庫）／¥1,760／ISBN=9784480091116）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692201
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**光とあそぶ**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	24名
担当講師	コウノ　タカノリ 河野　能知 お茶の水女子大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
「光」は身近な存在ですが、その本質を考える機会はあまりありません。この科目では簡単な実験によって光の波としての性質（回折・干渉）や偏光の性質を調べます。そして、観測される興味深い現象がなぜ起こるのかを考えることによって、普段見過ごしていた光の本質について理解を深めます。実験では、レーザー光の美しい干渉縞や偏光の不思議な振る舞いを観察するなどして、光とあそぶという楽しい体験をすることができます。
【到達目標】
光が直進・反射や屈折することは日常生活でも体験することだが、光を細いスリットやピンホールに通すと干渉パターンが現れることを体験する。また、光を複数の偏光板を通したときの光の強度が変わる様子を観察する。これらの現象が光の波としての性質（2種類の横波）によって説明されることを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 授業全体の概要と１日目の実験内容の説明
第2回 空気中及び水中における光の波長の測定
第3回 スリットによる回折と干渉を調べる
第4回 ピンホールによる回折と干渉を調べる
第5回 ２日目の実験内容の説明ならびに反射光の偏光特性の観察
第6回 偏光子を透過する光強度の偏光角依存性の測定
第7回 方解石による複屈折の観察
第8回 セロハンテープによる色偏光の観察
【学生へのメッセージ】
光の性質から導かれる定量的な予測と実験で得られた結果との一致を確認することによって光の本質を理解することになります。この体験を通して、実験によって自然の本質を理解する方法を学んでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
実験ノート（データ記録用）、電卓、動きやすい服装と靴。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
（履修制限）面接授業「光の不思議を探る」の単位を修得済みの方は登録できません。
（面接授業開設科目一覧P.７参照）
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2692210
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**鏡の向こうの物理学 ～力と対称性**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	43名
担当講師	チョウ　ギチョル 曺　基哲 お茶の水女子大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
モノはどうやって動くのでしょう？この問に答えてくれるのが運動方程式です。モノは何故動くのでしょう？この問に答えてくれるのが「力の法則」です。物体の運動や力の法則を調べると見えてくるのが「対称性」という性質です。物体の運動はどんな法則に支配され、どんな対称性を持っているのでしょう。この授業では物体の運動を扱う、物理学の法則についてマクロなスケールからミクロなスケールに渡り、トピックスを選んで紹介し、解説します。
【到達目標】
対称性（不変性）という概念と、物理法則との関係について理解し、物理法則が持つ対称性の帰結としてどういう保存則が成り立つのかについて説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 物体の運動とその記述
第2回 力の法則、惑星の運動
第3回 相対性理論
第4回 エネルギーとその保存則
第5回 ミクロの世界の物理学～量子論の入り口
第6回 原子核
第7回 素粒子の世界の対称性
第8回 自然法則と対称性の破れ
【学生へのメッセージ】
物理学に関心はあっても接する機会が多くなかった方を想定しています。細かい計算はあまり気にせず、どういうことが物理における関心事であり、問題視されているのか、に触れていただければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692228
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**衣服繊維の科学実験**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	アメミヤ　トシコ 雨宮　敏子 お茶の水女子大学助教
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちが日常着衣したりファブリックとして使用している繊維製品は、多くの繊維で構成されています。近年は、さまざまな機能をもつ新しい繊維が市場に出て、特徴的な繊維の性能を発揮しています。ここでは、衣服を作る繊維を、顕微鏡、燃焼、染色により識別する方法を学習します。また、繊維の混用率を溶解法で求めるなど、繊維の種類と性質を詳しく調べ、生活に資する力を養います。最終回には、オパール加工について実習します。

【到達目標】
身近な繊維の種類を識別する種々の実験を通して、各繊維の性質を理解し、衣服をはじめとする繊維製品の適切な選定や取り扱いに役立つ知識を身につけることができる。

【授業テーマ】
第1回 実験の説明
第2回 顕微鏡による繊維の観察
第3回 繊維の種類と染色性
第4回 繊維の種類と燃焼性
第5回 繊維の薬品による溶解性
第6回 繊維の混用率の測定
第7回 繊維の加工（オパール加工）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
衣服材料の性質を、実験を通して学ぶ入門の授業です。実験に不慣れな方も歓迎いたします。普段着用している衣服や布を構成する繊維の性質を実感をもって理解し、日常生活に活かしてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
白衣または汚れてもいい服装、動き易い靴

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・生活科学テキストシリーズ　衣服材料学実験（松梨久仁子、平井郁子　編著／朝倉書店／¥2,750／ISBN=9784254606348）
・生活科学テキストシリーズ　衣服材料学（平井郁子、松梨久仁子　編著／朝倉書店／¥2,970／ISBN=9784254606355）

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2692236	**授業概要**	**【授業内容】** 超高齢社会を迎えた現代において、高齢者の心身の変化とそれに伴う課題を理解することの重要さは増しています。現代社会の多岐に渡る課題を乗り越えるために老年学という学際的な学問が生まれました。ここでは老年学の1つの領域である心理学について学びます。この授業では、心理学という領域がどのようなアプローチで老年学の一端を担っているかを、主に基礎的な研究知見から学び、日常生活にどのようにいかせるかを考えていきます。 **【到達目標】** 本科目は、高齢者の心理学領域における基礎的、応用的な知見を学び、それを日常生活に結び付けることができるようになることを到達目標とする。たとえば、高齢者の記憶機能の特徴について学んだのであれば、実際に接する場合に、どのようなことを忘れやすいのか、どのようなフォローを行うのかなどを具体的に考え、実践することができるようになることを目指す。 **【授業テーマ】** 第1回 高齢者と社会 第2回 高齢者の記憶機能 第3回 高齢者の注意機能 第4回 高齢者の感情・パーソナリティー 第5回 高齢者の加齢との向き合い方 第6回 高齢者の社会との関わり 第7回 高齢者の介護 第8回 高齢者の心理評価方法 **【学生へのメッセージ】** 「どのように生活にいかすか」ということがキーワードです。授業内で随時この点について考える時間を設けます。ディスカッションの予定はありませんが、授業内（レポート時間以外）で他者と相談することは妨げません。レポートでは問題の主旨に沿って回答することが求められます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**高齢者心理学概論**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	140名		
担当講師	オガワ　ススム 小川　将 東京都健康長寿医療センター研究所研究員		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 授業当日にプリントを配付します。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	オウ　ショウホウ 王　小鳳 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究３つ（対人魅力、ミュラー・リヤー錯視、情報伝達）を取り上げます。
受講生の皆さんは、３つの実験に、実験者（および／あるいは）参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。
授業を通して、心理学の仮説設定から、実験実施、データ整理、レポートの書き方まで、心理学実験の一連の流れを体験し、理解することを目指します。
受講生の皆さんは、原則８回の授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学研究法・レポートの書き方
第2回 心理学研究法・レポートの書き方　データ分析について
第3回 対人魅力実験　実験と解説・データ整理
第4回 対人魅力実験　レポート執筆指導
第5回 ミュラー・リヤー錯視実験　実験と解説・データ整理
第6回 ミュラー・リヤー錯視実験　レポート執筆指導
第7回 情報伝達実験　実験と解説・データ整理
第8回 情報伝達実験　レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
３種の実験すべてに参加し、３つのレポートをまとめる作業が必要です。
実験の実施、データの整理（グラフ作成を含む）、レポート作成にPC（WordやExcelなど）の操作が必要になります。
この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．USBメモリ
２．鉛筆
３．消しゴム

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。
　表計算ソフトが必要です。Excelが必要です。
４．その他
　マウスを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	オオツボ　カイ 大坪　快 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験1実施（印象形成）
第3回 実験1の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験2実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験2の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験3実施（要求水準）
第7回 実験3解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）が、授業中の解説はWindowsで行いますので、お持ちの方はWindowsを推奨します。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　Wordが必要です。
　Excelが必要です。
４．その他
　マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	タシロ　モエ 田代　萌 千葉大学医学部附属病院カウンセラー
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説をした上で、実際に３つの心理検査を体験し、それぞれについて、レポート（目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート）にまとめていただきます。
さらに、各種心理検査の特徴とその限界を理解するとともに、検査結果の解釈から自己理解を深めることも、この授業の目的です。
受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション　心理検査の意義　心理検査の種類
第2回 検査実習１　YG性格検査
第3回 検査実習２　Big Five尺度
第4回 心理尺度の作り方（信頼性・妥当性）実習１、２のレポートの書き方
第5回 検査実習３　バウムテスト　実習３のレポートの書き方
第6回 投影法（ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、P-Fスタディ）とは
第7回 知能検査（集団式、WISCなど）とは
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）、倫理的問題、まとめ
【学生へのメッセージ】
心理検査を実施して、ご自身の結果を解釈してレポート（目的・方法・結果・考察を含む標準的なレポート）を提出してもらいます。この授業が、ご自身のことを振り返るきっかけとなれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．HBの鉛筆２、３本
２．消しゴム
３．赤のボールペン
４．定規（短いものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	L
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	イトウ　コウキ 伊藤　晃碧 東京都健康長寿医療センター研究所協力研究員
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を3つ行います。学生の皆さんは、それらの実験に、実験者（及び／あるいは）参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則８回の授業全てに出席する必要があります。また後日、３つの実験それぞれについて、目的・方法・結果・考察を含む標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験１実施（印象形成）
第3回 実験１の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験２実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験２の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験３実施（要求水準）
第7回 実験３解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用します。よって、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを強く望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、セキュリティソフト等も適切に更新してください。
基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．２日目の実験で割り箸を使用するため、新品の割り箸を１膳持参してください。
２．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
３．OSの指定
　種類は問いませんが、WindowsもしくはmacOSを推奨します。
４．ソフトのインストール
　WordとExcelが必要です。授業中にWordとExcelのファイルを配布しますが、Googleスプレッドシート等では使用できませんのでご注意ください。
５．その他
　マウスの持参を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	サカイ　ゴウ 坂井　剛 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月23日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月30日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験を通して、手法の特徴を学ぶことを目的とします。
理論の説明に加え、結果を分析する上での留意点についても説明し、実習する３種類の「短期記憶検索」、「ヒューリスティック判断」、「ストループ効果」を実施して、レポートにまとめます。
受講生は、原則８回の授業、３種類全ての実験に参加し、３種類の実験レポートを提出する必要があります。
なお、一部の実験については、結果をMicrosoft社のExcelにて処理します。Excelの使用についての最低限の知識を習得した上で履修することを求めます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方
第2回 記憶の理論、短期記憶の役割
第3回「記憶システムと情報検索」短期記憶検索実験
第4回 短期記憶検索実験の結果整理
第5回「問題解決」ヒューリスティック判断実験
第6回 ヒューリスティック判断実験の結果整理
第7回「認知処理と視覚の干渉」ストループ効果実験
第8回 ストループ効果実験の結果整理
【学生へのメッセージ】
実際に実験を実施する、または参加者として実験を体験するという経験に重要な意味があるので、全ての実習に積極的に参加することを求めます。
受講にあたっては、パソコンの基本的な操作、統計法の初歩を理解していることが望ましいです。
とりわけ、一部の実験結果を表計算ソフト上に出力しますので、Microsoft社のExcelの基本的な操作をできることを求めます。
【受講前の準備学習等】
受講にあたり、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
パソコンの基本的な操作は身につけておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを用意し、持参してください。
2．OSの指定
　指定しませんが、講師はMacの知識を持ち合わせず、フォローできないため、Windowsを推奨します。
3．ソフトのインストール
　表計算ソフトが必要ですので、Microsoft Excelをインストールしてください。
4．その他
　一部の実験はブラウザを用いて行います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文　松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420）
・三訂版　心理学論文の書き方　卒業論文や修士論文を書くために（松井豊／河出書房新社／¥2,145）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2692244
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**社会心理学の基礎**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	シミズ　ユウホ 清水　佑輔 成城大学社会イノベーション学部専任講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
社会心理学は、心理学のなかでも、主に他者と個人の関係や集団と個人の関係に焦点を当てた学問です。本講義では、社会心理学の基本的内容について、社会的認知、自己、対人関係、文化などの分野から講義します。また、社会心理学と関連する消費者心理学や、工学との協働研究といったテーマについても扱います。
キーワードは、他者に対する態度、自己認知、対人葛藤、心の文化差、リーダーシップ、ステレオタイプ、偏見、プロスペクト理論、スマートシティなどです。初学者にもわかりやすいよう、社会現象と研究知見を関連づけて紹介します。
また、社会心理学の研究知見を理解する上で、実験や調査という研究方法、およびデータの分析方法を学ぶことは必須です。よって本講義では、心理統計や心理学研究法に関する基礎的事項についても扱います。
【到達目標】
本講義の到達目標は、以下の3点です。
(1) 日常のあらゆる出来事や社会問題について、社会心理学的な立場から論理的に考えることができる。
(2) それらの考えを自分の生活に応用し、問題解決を図ることができる。
(3) 社会心理学に関する代表的な研究について理解し、自ら研究計画を立てるために基礎的な知識・技能を活用できる。
【授業テーマ】
第1回 社会心理学の古典研究
第2回 心理学研究法・心理統計の基礎、心理実験の簡単な体験
第3回 自己と対人関係
第4回 ステレオタイプ、偏見、態度
第5回 バイアスと消費者心理学
第6回 文化と高齢者心理学
第7回 ウェルビーイング、工学との協働
第8回 研究計画の立案と演習問題
【学生へのメッセージ】
社会心理学を学ぶのが初めてという方、一通り基礎知識は身につけている方、どちらも歓迎いたします。日常生活で起こる出来事と社会心理学の知見を結びつけて理解することを目指すと、楽しく学習できると思います。
【受講前の準備学習等】
事前学習として、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。例えば、図書館などで参考書や社会心理学関連の書籍を眺めておくと良いでしょう。また、心理統計に関する科目を受講した経験がある方は、その内容を簡単に復習しておくと良いでしょう。
事後学習として、１日目の授業終了後に、講義資料などを活用して復習を行い、理解度を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノートなどメモが取れるもの、学生証
(本講義ではスライド資料を印刷して配布します。講義内容のメモが取れるようにしてください)
※パソコンの持ち込みは必須ではありません。ただし、パソコンを持参してメモを取ったり、授業内容についてインターネット検索をしたりしても構いません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・社会心理学（補訂版）(池田謙一・唐沢穣・工藤恵理子・村本由紀子／有斐閣／¥3,520／ISBN=9784641053878)

科目コード	2692252	授業概要	**【授業内容】** **----------** **この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。** **科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。** **HK　→　学習センター** **HL　→　自宅等（Zoom）** **※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。** **----------** 第三段階教育（tertiary education）は中等教育（secondary education）の次の段階の教育のことを指す言葉です。この教育段階はこれまで、大学を中心とした高等教育（higher education）として理解されてきましたが、多様な背景、多様な学習目的を持つ、幅広い年代の高等教育への参入が進む中で、非大学型の高等教育機関を含んだ第三段階教育という言葉でこの教育段階を理解しようとする動きが出ています。非大学型高等教育は文字通り「大学ではない」「大学ではできない」高等教育のことですが、それは一体どういう意味なのでしょうか。本授業では、中等教育修了後の教育段階について、この第三段階教育の視点から理解を深め、次の「高等教育」の姿を考えていきます。 **【到達目標】** (1) 高等教育と第三段階教育に関する考え方の違いについて、説明することができる (2) 非大学型高等教育を含む、国内外の第三段階教育の基本的な事柄について、説明することができる。 (3) (1) (2) を踏まえながら、これからの第三段階教育のあり方について、説得的に提示することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション：何故、第三段階教育か？ 第2回 諸外国の第三段階教育：国際教育標準分類（ISCED）2011と学校体系図を使って 第3回 我が国の第三段階教育（1）：専修学校専門課程（専門学校） 第4回 我が国の第三段階教育（2）：短期大学 第5回 我が国の第三段階教育（3）：高等専門学校 第6回 国際的に見た第三段階教育の展開：非大学型高等教育の登場と大学への接近 第7回 第三段階教育の視点から見た大学 第8回 総括：第三段階教育の未来 **【学生へのメッセージ】** 本授業は、次の「高等教育」のありようを考える授業です。覚えるというよりも、考える時間にしてください。 **【受講前の準備学習等】** 受講前に、①高校卒業（中等教育修了）後に進む非大学型（大学・大学院以外）の高等教育機関に関する記事があれば読んでおいてください。また、②放送大学の概要（創立年や創立の経緯、学生数の推移など）も確認してみてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	HK		
科目名	**第三段階教育論**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	330		
定員	20名		
担当講師	イネナガ　ユキ 稲永　由紀 筑波大学講師		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、（できれば）調べもの用のタブレット端末（ノートパソコン、スマートフォンなど） **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・図表で見る教育：OECDインディケーター（2025年版）（経済協力開発機構（OECD）／明石書店／¥8,600／ISBN=9784750360508） 原文（OECD at a Glance 2025）は、過年度版を含めて、OECDウェブサイトからPDF版ダウンロード可。 ・大学事典（児玉善仁　ほか／平凡社／¥27,500／ISBN=9784582121025） ウェブ版あり：コトバンク「大学事典」 https://kotobank.jp/dictionary/daigaku/ ・Non-University Higher Education in Europe（James S. Taylor, José Brites Ferreira, Maria de Lourdes Machado, Rui Santiago／Springer Dordrecht／／ISBN=9781402083341） ・高等教育研究　第27巻（日本高等教育学会（編）／玉川大学出版部／¥2,970／ISBN=9784472180545） うち、特集「第三段階教育というダイナミズム」が参考書の範囲。本文はJ-Stageから閲覧可。 ・世界の高等教育4　OECD教育政策分析（OECD／明石書店／¥4,180／ISBN=9784750334875） 原文（Education Policy Analysis 2004）はOECDウェブサイトから閲覧可。

科目コード	2692252
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	HL
科目名	**第三段階教育論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	330
定員	10名
担当講師	イネナガ　ユキ 稲永　由紀 筑波大学講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

第三段階教育（tertiary education）は中等教育（secondary education）の次の段階の教育のことを指す言葉です。この教育段階はこれまで、大学を中心とした高等教育（higher education）として理解されてきましたが、多様な背景、多様な学習目的を持つ、幅広い年代の高等教育への参入が進む中で、非大学型の高等教育機関を含んだ第三段階教育という言葉でこの教育段階を理解しようとする動きが出ています。非大学型高等教育は文字通り「大学ではない」「大学ではできない」教育のことですが、それは一体どういう意味なのでしょうか。本授業では、中等教育修了後の教育段階について、この第三段階教育の視点から理解を深め、次の「高等教育」の姿を考えていきます。
【到達目標】
(1) 高等教育と第三段階教育に関する考え方の違いについて、説明することができる。
(2) 非大学型高等教育を含む、国内外の第三段階教育の基本的な事柄について、説明することができる。
(3) (1) (2) を踏まえながら、これからの第三段階教育の在り方について、説得的に提示することができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：何故、第三段階教育か？
第2回 諸外国の第三段階教育：国際教育標準分類（ISCED）2011と学校体系図を使って
第3回 我が国の第三段階教育（1）：専修学校専門課程（専門学校）
第4回 我が国の第三段階教育（2）：短期大学
第5回 我が国の第三段階教育（3）：高等専門学校
第6回 国際的に見た第三段階教育の展開：非大学型高等教育の登場と大学への接近
第7回 第三段階教育の視点から見た大学
第8回 総括：第三段階教育の未来
【学生へのメッセージ】
本授業は、次の「高等教育」のありようを考える授業です。覚えるというよりも、考える時間にしてください。
【受講前の準備学習等】
受講前に、①高校卒業（中等教育修了）後に進む非大学型（大学・大学院以外）の高等教育機関に関する記事があれば読んでおいてください。また、②放送大学の概要（創立年や創立の経緯、学生数の推移など）も確認してみてください。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。
Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、（できれば）調べもの用のタブレット端末（ノートパソコン、スマートフォンなど）
マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・図表で見る教育：OECDインディケーター（2025年版）（経済協力開発機構（OECD）／明石書店／¥8,600／ISBN=9784750360508）
原文（OECD at a Glance 2025）は、過年度版を含めて、OECDウェブサイトからPDF版ダウンロード可。
・大学事典（児玉善仁　ほか／平凡社／¥27,500／ISBN=9784582121025）
ウェブ版あり：コトバンク「大学事典」
https://kotobank.jp/dictionary/daigaku/
・Non-University Higher Education in Europe（James S. Taylor, José Brites Ferreira, Maria de Lourdes Machado, Rui Santiago／Springer Dordrecht／／ISBN=9781402083341）
・高等教育研究　第27巻（日本高等教育学会（編）／玉川大学出版部／¥2,970／ISBN=9784472180545）
うち、特集「第三段階教育というダイナミズム」が参考書の範囲。本文はJ-Stageから閲覧可。
・世界の高等教育4　OECD教育政策分析（OECD／明石書店／¥4,180／ISBN=9784750334875）
原文（Education Policy Analysis 2004）はOECDウェブサイトから閲覧可。

【その他（特記事項）】
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。
受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	M
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	ツカダ　カノン 塚田　花音 東京都健康長寿医療センター研究所非常勤技術員
日程 実施時間	10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を3つ行います。学生の皆さんは、それらの実験に、実験者（及び／あるいは）参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則８回の授業全てに出席する必要があります。また後日、３つの実験それぞれについて、目的・方法・結果・考察を含む標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験1実施（印象形成）
第3回 実験1の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験2実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験2の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験3実施（要求水準）
第7回 実験3解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用します。
よって、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを強く望みます。
【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）が、授業中の解説はWindowsで行いますので、お持ちの方はWindowsを推奨します。
3．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　文書作成ソフトとしてWord、表計算ソフトとしてExcelを必要とします。
4．その他
　マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	L
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オザワ　エミコ 小沢　恵美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業の目的は、心理学の基礎的な実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することです。行う実験は「ミュラー・リヤーの錯視」「心理尺度」「情報伝達」の３つです。実際に実験者と実験協力者の立場を経験しながら、実験の手続き、条件設定、実験を行う時の注意点などを体験的に学んでいきます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。実験はペアやグループで実施します。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 ミュラー・リヤーの錯視（1）：実験（ペア作業あり）
第3回 ミュラー・リヤーの錯視（2）：解説、データの整理
第4回 心理尺度（1）：実験（ペア作業あり）
第5回 心理尺度（2）：解説、データの整理
第6回 情報伝達（1）：実験（グループ作業あり）
第7回 情報伝達（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方の説明、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
受講者同士での相談の時間も取りながら授業を進めることがあります。実験、データ整理はパソコンは使わず、手作業で行っていきます。パソコンを使わないから簡単ということではありません。細かい作業の上に作業量も多くなります。また授業終了からレポート提出のスケジュールがタイトになるかと思いますが、ぜひ頑張ってほしいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、20cm程度が測定できる定規、電卓、ハサミ（ミュラー・リヤーの錯視）必須ではありませんが、プリントが多くなるのでクリアファイルなどがあると便利だと思います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	アベ　トモノリ 阿部　朋典 電気通信大学障害学生支援室チーフコーディネーター
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 触２点閾（1）：実験
第3回 触２点閾（2）：解説、データの整理
第4回 SD法（1）：実験
第5回 SD法（2）：解説、データの整理
第6回 社会的判断（ヒューリスティック判断）（1）：実験
第7回 社会的判断（ヒューリスティック判断）（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	L
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マルヤマ　ジュンイチ 丸山　純一 文星芸術大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、実際に心理検査を行うという体験を通して、理解を深めることを目的としています。特に、検査者や被検査者双方の体験を通して、検査を行うことの意義を学ぶことが中心となります。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の意義　心理検査の種類　検査倫理
第2回 検査実習１　YG性格検査
第3回 検査実習２　ローカス・オブ・コントロール尺度
第4回 テストの信頼性・妥当性　レポートの書き方
第5回 検査実習３　バウムテスト
第6回 主な投影法（ロールシャッハテスト、TAT、SCTなど）について
第7回 知能検査（集団式、WISCなど）について
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー） まとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、検査者や被検査者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査の体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容や配布資料などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．鉛筆２、３本（4Bが望ましいが、HB程度でも可）
２．消しゴム
３．赤のボールペン
４．定規（短いものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
「検査実習３　バウムテスト」後にグループ・ディスカッションを行います。

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	M
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	サカイ　ゴウ 坂井　剛 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月6日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月13日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験を通して、手法の特徴を学ぶことを目的とします。
理論の説明に加え、結果を分析する上での留意点についても説明し、実習する３種類の「短期記憶検索」、「ヒューリスティック判断」、「ストループ効果」を実施して、レポートにまとめます。
受講生は、原則８回の授業、３種類全ての実験に参加し、３種類の実験レポートを提出する必要があります。
なお、一部の実験については、結果をMicrosoft社のExcelにて処理します。Excelの使用についての最低限の知識を習得した上で履修することを求めます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方
第2回 記憶の理論、短期記憶の役割
第3回「記憶システムと情報検索」短期記憶検索実験
第4回 短期記憶検索実験の結果整理
第5回「問題解決」ヒューリスティック判断実験
第6回 ヒューリスティック判断実験の結果整理
第7回「認知処理と視覚の干渉」ストループ効果実験
第8回 ストループ効果実験の結果整理
【学生へのメッセージ】
実際に実験を実施する、または参加者として実験を体験するという経験に重要な意味があるので、全ての実習に積極的に参加することを求めます。
受講にあたっては、パソコンの基本的な操作、統計法の初歩を理解していることが望ましいです。
とりわけ、一部の実験結果を表計算ソフト上に出力しますので、Microsoft社のExcelの基本的な操作をできることを求めます。
【受講前の準備学習等】
受講にあたり、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
パソコンの基本的な操作は身につけておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを用意し、持参してください。
2．OSの指定
　指定しませんが、講師はMacの知識を持ち合わせず、フォローできないため、Windowsを推奨します。
3．ソフトのインストール
　表計算ソフトが必要ですので、Microsoft Excelをインストールしてください。
4．その他
　一部の実験はブラウザを用いて行います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文　松浦均／ナカニシヤ出版／¥2,420）
・三訂版　心理学論文の書き方　卒業論文や修士論文を書くために（松井豊／河出書房新社／¥2,145）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	P
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	ツカダ　カノン 塚田　花音 東京都健康長寿医療センター研究所非常勤技術員
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を3つ行います。学生の皆さんは、それらの実験に、実験者（及び／あるいは）参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則８回の授業全てに出席する必要があります。また後日、３つの実験それぞれについて、目的・方法・結果・考察を含む標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験1実施（印象形成）
第3回 実験1の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験2実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験2の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験3実施（要求水準）
第7回 実験3解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用します。
よって、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを強く望みます。
【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）が、授業中の解説はWindowsで行いますので、お持ちの方はWindowsを推奨します。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　文書作成ソフトとしてWord、表計算ソフトとしてExcelを必要とします。
４．その他
　マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	M
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カジハラ　ナオキ 梶原　直樹 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査（テスト）は、人によってさまざまに異なる知能や性格を客観的かつ正確に示そうとするものです。ただ、知能や性格には実体がないので、身長や体重のようにそれ自体をじかに測ることはできません。この授業では、そのような対象をどのように考えることで正確に測ろうとしているのかを、実際の検査をとおして学びます。実施する検査は、矢田部ギルフォード性格検査、主要5因子性格検査、バウムテストの３種類です。
単位修得には、原則として8コマすべてに出席することと、授業終了後にすべての検査についてレポートを提出することが必要になります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の基礎と倫理
第2回 検査のための知能と性格の基礎
第3回 検査1　矢田部ギルフォード性格検査
第4回 検査の種類とテスト・バッテリー
第5回 検査2　主要5因子性格検査
第6回 よい検査の条件ー妥当性、信頼性、効率性
第7回 検査3　バウムテスト
第8回 レポートの書き方
【学生へのメッセージ】
巷にはいろいろな心理テストが出まわっていますが、ほとんどはお遊びのものです。そのようなものと、学問的なものとの根本的なちがいをしっかり理解しましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
心理統計の基本として、平均値と標準偏差との関係を確認しておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．HBから2B程度の濃さの鉛筆を２、３本（２日目のみ）
２．消しゴム（２日目のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・樹木画テスト（高橋雅春・高橋依子／北大路書房／¥1,870）
・性格を科学する心理学のはなし（小塩真司／新曜社／¥2,420）
・臨床心理アセスメントハンドブック（三訂）（村上宣寛・村上千恵子／北大路書房／¥2,970）
絶版（出版社HP）

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	V
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	イトウ　コウキ 伊藤　晃碧 東京都健康長寿医療センター研究所協力研究員
日程 実施時間	11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を3つ行います。学生の皆さんは、それらの実験に、実験者（及び／あるいは）参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則８回の授業全てに出席する必要があります。また後日、３つの実験それぞれについて、目的・方法・結果・考察を含む標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験１実施（印象形成）
第3回 実験１の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験２実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験２の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験３実施（要求水準）
第7回 実験３解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の　計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用します。よって、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを強く望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、セキュリティソフト等も適切に更新してください。
基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．２日目の実験で割り箸を使用するため、新品の割り箸を１膳持参してください。
２．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
３．OSの指定
　種類は問いませんが、WindowsもしくはmacOSを推奨します。
４．ソフトのインストール
　WordとExcelが必要です。授業中にWordとExcelのファイルを配布しますが、Googleスプレッドシート等では使用できませんのでご注意ください。
５．その他
　マウスの持参を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	M
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	カジハラ　ナオキ 梶原　直樹 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、心理学の基礎的な実験を通じて、実験心理学の基本的な方法と考え方を学びます。皆さんは、実験者や実験参加者として実験に参加するだけでなく、そこで得られたデータを処理しレポートにまとめることを、各実験について行います。つまり、単なる実験の体験ではなく、心理学における研究法としての実験について学びます。実施する実験は、ミュラー・リヤーの錯視、概念学習、対人魅力の３種類です。
単位修得には、原則として８コマすべてに出席することと、授業終了後にすべての実験についてレポートを提出することが必要になります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の意義
第2回 ミュラー・リヤーの錯視1　実験
第3回 ミュラー・リヤーの錯視2　データの処理
第4回 ミュラー・リヤーの錯視3　レポートの書き方
第5回 概念学習1　実験
第6回 概念学習2　データの処理とレポートの書き方
第7回 対人魅力1　実験
第8回 対人魅力2　データの処理とレポートの書き方
【学生へのメッセージ】
この授業では、実験データの処理（計算）や実験レポートの書き方に多くの時間が割かれます。そのため、実験心理学の概論程度の知識があることと、統計の基礎をある程度理解できていることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
心理統計の基本として、平均値と標準偏差との関係を確認しておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・電卓（１日目のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学ー実験・研究レポートの書き方（B. フィンドレイ／北大路書房／¥1,430）
・理科系の作文技術（木下是雄／中央公論新社（中公新書624）／¥924）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	P
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	アベ　トモノリ 阿部　朋典 電気通信大学障害学生支援室チーフコーディネーター
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 触２点閾（1）：実験
第3回 触２点閾（2）：解説、データの整理
第4回 SD法（1）：実験
第5回 SD法（2）：解説、データの整理
第6回 社会的判断（ヒューリスティック判断）（1）：実験
第7回 社会的判断（ヒューリスティック判断）（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	P
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マエシロ　カズミ 眞榮城　和美 白百合女子大学准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説をした上で、実際に３つの心理検査を体験し、それぞれについて、レポート（目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート）にまとめていただきます。さらに、各種心理検査の特徴とその限界を理解するとともに、検査結果の解釈から自己理解を深めることも、この授業の目的です。
受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション　心理検査の意義　心理検査の種類
第2回 検査実習１　YG性格検査
第3回 検査実習２　自尊感情尺度　レポートの書き方
第4回 心理尺度の作り方（項目分析、因子分析法） 実習１、２のレポート執筆指導
第5回 検査実習３　バウムテスト　実習３のレポート執筆指導
第6回 投影法（ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、P-Fスタディなど）とは
第7回 知能検査（集団式、WISCなど）とは
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）、倫理的問題　まとめ
【学生へのメッセージ】
心理検査を実施して、ご自身の結果を解釈してレポート（目的・方法・結果・考察を含む標準的レポート）を提出してもらいます。この授業が、ご自身のことを振り返るきっかけとなれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．HBの鉛筆２、３本
２．消しゴム
３．赤のボールペン
４．黒のボールペン
５．定規（短いものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692260
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	HK
科目名	**学生支援論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワン ジェ 王　杰 慶應義塾大学特任准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

大学等において、学生に対する各種支援が大幅に拡充されています。本授業では、まず学生支援の充実が求められる社会的背景として、高等教育の拡大、大学間の競争、大学教育の質保証の影響などを概観します。続きは、大学ガバナンスと学生発達の関連理論を紹介し、政府部門の推進プログラムや大学の教育現場が取り組んでいる修学支援、経済支援、キャリア支援等の状況を考察します。大学職員の視点を用いた研究書、日本学生支援機構が実施した調査報告書、一部の大学が公開した教育達成度調査の報告書を活用する予定です。

【到達目標】

本授業の履修を通して、学生支援に関する考え方・理論を理解し、高等教育機関における各種学生支援の目的、仕組み、方法、および役割を包括的に学ぶことができます。また、関連制度の在り方、支援者に期待される役割や力量形成のあり方について議論する機会を得られます。

【授業テーマ】

第1回 大学の発展と組織的特性、学生支援が拡充される社会的背景
第2回 学生発達の関連理論、多領域対応の学生支援組織の設置
第3回 修学支援の取り組み実態 - 履修指導、グループ指導、個別指導、単位認定
第4回 キャリア支援 - 正課教育と正課外活動との連携
第5回 経済的支援の取り組み実態 - 支援目的、公的支援の拡充、大学独自の支援など
第6回 その他の支援-学生相談、課外活動支援、海外留学支援、留学生支援など
第7回 ケーススタディ ：学生生活/卒業時調査からみた学生発達と学生支援の現状
第8回 学生支援の理想と現実課題を考える、グループディスカッション、レポート作成

【学生へのメッセージ】

ダウンロードできる文献は、あらかじめお手元に届くようにします。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、文献を事前に読んでおいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・大学SD講座2　大学教育と学生支援（中井俊樹　編著／玉川大学出版部／¥2,200／ISBN=9784472405525）

科目コード	2692260
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	HL
科目名	**学生支援論**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ワン　ジェ 王　杰 慶應義塾大学特任准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

大学等において、学生に対する各種支援が大幅に拡充されています。本授業では、まず学生支援の充実が求められる社会的背景として、高等教育の拡大、大学間の競争、大学教育の質保証の影響などを概観します。続きは、大学ガバナンスと学生発達の関連理論を紹介し、政府部門の推進プログラムや大学の教育現場が取り組んでいる修学支援、経済支援、キャリア支援等の状況を考察します。大学職員の視点を用いた研究書、日本学生支援機構が実施した調査報告書、一部の大学が公開した教育達成度調査の報告書を活用する予定です。

【到達目標】
本授業の履修を通して、学生支援に関する考え方・理論を理解し、高等教育機関における各種学生支援の目的、仕組み、方法、および役割を包括的に学ぶことができます。また、関連制度の在り方、支援者に期待される役割や力量形成のあり方について議論する機会を得られます。

【授業テーマ】
第1回 大学の発展と組織的特性、学生支援が拡充される社会的背景
第2回 学生発達の関連理論、多領域対応の学生支援組織の設置
第3回 修学支援の取り組み実態 - 履修指導、グループ指導、個別指導、単位認定
第4回 キャリア支援 - 正課教育と正課外活動との連携
第5回 経済的支援の取り組み実態 - 支援目的、公的支援の拡充、大学独自の支援など
第6回 その他の支援-学生相談、課外活動支援、海外留学支援、留学生支援など
第7回 ケーススタディ ：学生生活/卒業時調査からみた学生発達と学生支援の現状
第8回 学生支援の理想と現実課題を考える、グループディスカッション、レポート作成

【学生へのメッセージ】
ダウンロードできる文献は、あらかじめお手元に届くようにします。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、文献を事前に読んでおいてください。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。
Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・大学SD講座2　大学教育と学生支援（中井俊樹　編著／玉川大学出版部／¥2,200／ISBN=9784472405525）

【その他（特記事項）】
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。
受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	X
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	イトウ　コウキ 伊藤　晃碧 東京都健康長寿医療センター研究所協力研究員
日程 実施時間	11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を3つ行います。学生の皆さんは、それらの実験に、実験者（及び／あるいは）参加者として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則８回の授業全てに出席する必要があります。また後日、３つの実験それぞれについて、目的・方法・結果・考察を含む標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・統計に関する基礎知識の解説
第2回 実験1実施（印象形成）
第3回 実験1の解説・レポートの書き方解説
第4回 実験2実施（自由再生による記憶の系列位置効果）
第5回 実験2の解説・レポートの書き方解説
第6回 実験3実施（要求水準）
第7回 実験3解説・レポートの書き方解説
第8回 実験の計画立案・まとめ
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用します。よって、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを強く望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、セキュリティソフト等も適切に更新してください。
基本的なパソコン操作（Word、Excel等）を習得しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．２日目の実験で割り箸を使用するため、新品の割り箸を１膳持参してください。
２．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
３．OSの指定
　種類は問いませんが、WindowsもしくはmacOSを推奨します。
４．ソフトのインストール
　WordとExcelが必要です。授業中にWordとExcelのファイルを配布しますが、Googleスプレッドシート等では使用できませんのでご注意ください。
５．その他
　マウスの持参を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2692279
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**心理統計学：基礎演習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	310
定員	23名
担当講師	タカハシ　ヒデアキ 高橋　秀明 放送大学教授
日程 実施時間	11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月27日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学研究では、実験や調査で得られたデータを分析するために、心理統計学の知識と技術が必要となります。本授業では、心理統計学の基礎を実習形式で学びます。受講生は、認知心理学の実験に参加し、個人のデータを収集します。その個人のデータの整理からはじめ、受講生全員のデータを取りまとめ、集団のデータの分析へ進み、得られたデータの性質を集約し、記述統計に進みます。
【到達目標】
心理統計学の内、記述統計に関する基礎的な知識と技術を理解し、データ分析の基本的な実務を習得することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、個人データの収集
第2回 個人データの整理（1）目視による吟味
第3回 個人データの整理（2）分布
第4回 個人データの整理（3）要約統計量
第5回 個人データの取りまとめと集団データの整理
第6回 集団データの分析（1）度数分布表
第7回 集団データの分析（2）記述統計：代表値と散布度
第8回 集団データの分析（3）記述統計：相関、まとめ
【学生へのメッセージ】
本授業はグループ学習で進めますので、受講生同士で助け合って、授業に参加してください。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。ディスプレイの大きさは10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上としてください。
2．OSの指定
種類は問いませんが、できるだけ最新のOSを使用されることが望ましいです。
3．ソフトのインストール
ブラウザを使用しますが種類は問いません。文書作成ソフトが必要です（WordやGoogleドキュメント等種類は問いません）。表計算ソフトが必要です（ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません）。
4．その他
システムWAKABAにログインしますので、IDとパスワードを確認しておいてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	P
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オザワ　エミコ 小沢　恵美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業の目的は、心理学の基礎的な実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することです。行う実験は「ミュラー・リヤーの錯視」「心理尺度」「情報伝達」の３つです。実際に実験者と実験協力者の立場を経験しながら、実験の手続き、条件設定、実験を行う時の注意点などを体験的に学んでいきます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。実験はペアやグループで実施します。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 ミュラー・リヤーの錯視（1）：実験（ペア作業あり）
第3回 ミュラー・リヤーの錯視（2）：解説、データの整理
第4回 心理尺度（1）：実験（ペア作業あり）
第5回 心理尺度（2）：解説、データの整理
第6回 情報伝達（1）：実験（グループ作業あり）
第7回 情報伝達（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方の説明、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
受講者同士での相談の時間も取りながら授業を進めることがあります。実験、データ整理はパソコンは使わず、手作業で行っていきます。パソコンを使わないから簡単ということではありません。細かい作業の上に作業量も多くなります。また授業終了からレポート提出のスケジュールがタイトになるかと思いますが、ぜひ頑張ってほしいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、20cm程度が測定できる定規、電卓、ハサミ（ミュラー・リヤーの錯視）必須ではありませんが、プリントが多くなるのでクリアファイルなどがあると便利だと思います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2689189	授業概要	【授業内容】 心理検査は、パーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説をした上で、実際に３つの心理検査を体験し、それぞれについて、レポート（目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート）にまとめていただきます。 さらに、各種心理検査の特徴とその限界を理解するとともに、検査結果の解釈から自己理解を深めることも、この授業の目的です。 受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション　心理検査の意義　心理検査の種類 第2回 検査実習１　YG性格検査 第3回 検査実習２　Big Five尺度 第4回 心理尺度の作り方（信頼性・妥当性）実習1、2のレポートの書き方 第5回 検査実習３　バウムテスト　実習３のレポートの書き方 第6回 投影法（ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、P-Fスタディ）とは 第7回 知能検査（集団式、WISCなど）とは 第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）、倫理的問題、まとめ 【学生へのメッセージ】 心理検査を実施して、ご自身の結果を解釈してレポート（目的・方法・結果・考察を含む標準的なレポート）を提出してもらいます。この授業が、ご自身のことを振り返るきっかけとなれば幸いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	V		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	タシロ　モエ 田代　萌 千葉大学医学部附属病院カウンセラー		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35		
実施会場	東京文京学習センター		【受講者が当日用意するもの】 １．HBの鉛筆２、３本 ２．消しゴム ３．赤のボールペン ４．定規（短いものでよい） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	V
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	カジハラ　ナオキ 梶原　直樹 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、心理学の基礎的な実験を通じて、実験心理学の基本的な方法と考え方を学びます。皆さんは、実験者や実験参加者として実験に参加するだけでなく、そこで得られたデータを処理しレポートにまとめることを、各実験について行います。つまり、単なる実験の体験ではなく、心理学における研究法としての実験について学びます。実施する実験は、ミュラー・リヤーの錯視、概念学習、対人魅力の３種類です。
単位修得には、原則として８コマすべてに出席することと、授業終了後にすべての実験についてレポートを提出することが必要になります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の意義
第2回 ミュラー・リヤーの錯視1　実験
第3回 ミュラー・リヤーの錯視2　データの処理
第4回 ミュラー・リヤーの錯視3　レポートの書き方
第5回 概念学習1　実験
第6回 概念学習2　データの処理とレポートの書き方
第7回 対人魅力1　実験
第8回 対人魅力2　データの処理とレポートの書き方
【学生へのメッセージ】
この授業では、実験データの処理（計算）や実験レポートの書き方に多くの時間が割かれます。そのため、実験心理学の概論程度の知識があることと、統計の基礎をある程度理解できていることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
心理統計の基本として、平均値と標準偏差との関係を確認しておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・電卓（１日目のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学ー実験・研究レポートの書き方（B. フィンドレイ／北大路書房／¥1,430）
・理科系の作文技術（木下是雄／中央公論新社（中公新書624）／¥924）

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	V
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オザワ　エミコ 小沢　恵美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業の目的は、心理学の基礎的な実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することを学ぶことです。
行う実験は「触２点閾（針状の器具で皮膚に刺激を与える）」「SD法」「社会的判断（ヒューリスティック判断）」の３つです。実際に実験者、実験協力者両方の立場を経験しながら、実験の手続き、条件設定、実験を行う時の注意点などを体験的に学んでいきます。受講生の皆さんは原則８回の授業全てに出席する必要があります。実験はペアで実施するものもあります。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
また触２点閾は指先や手のひらなどに針状のもので刺激を与える（刺激は複数回）実験です。その点をふまえて受講してください。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 触２点閾（1）：実験（ペア作業あり）
第3回 触２点閾（2）：解説、データの整理
第4回 SD法（1）：実験
第5回 SD法（2）：解説、データの整理
第6回 社会的判断（ヒューリスティック判断）(1)：実験
第7回 社会的判断（ヒューリスティック判断）(2)：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方、全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
受講者同士での相談の時間も取りながら授業を進めることがあります。実験、データ整理はパソコンは使わず、手作業で行っていきます。パソコンを使わないから簡単ということではありません。細かい作業の上に作業量も多くなります。また授業終了からレポート提出のスケジュールがタイトになるかと思いますが、ぜひ頑張ってほしいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、20cm程度が測定できる定規、電卓
必須ではありませんが、プリントが多くなるのでクリアファイルなどがあると便利だと思います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	X
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マルヤマ　ジュンイチ 丸山　純一 文星芸術大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、実際に心理検査を行うという体験を通して、理解を深めることを目的としています。特に、検査者や被検査者双方の体験を通して、検査を行うことの意義を学ぶことが中心となります。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の意義　心理検査の種類　検査倫理
第2回 検査実習１　YG性格検査
第3回 検査実習２　ローカス・オブ・コントロール尺度
第4回 テストの信頼性・妥当性　レポートの書き方
第5回 検査実習３　バウムテスト
第6回 主な投影法（ロールシャッハテスト、TAT、SCTなど）について
第7回 知能検査（集団式、WISCなど）について
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）　まとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、検査者や被検査者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査の体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容や配布資料などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．鉛筆２、３本（4Bが望ましいが、HB程度でも可）
２．消しゴム
３．赤のボールペン
４．定規（短いものでよい）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「検査実習３　バウムテスト」後にグループ・ディスカッションを行います。

科目コード	2692287
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**道徳性心理学と犯罪心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	140名
担当講師	アベ　ヨウコ 阿部　洋子 元跡見学園女子大学心理学部教授／跡見学園女子大学名誉教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
道徳的に悪いことと、犯罪は同じことではありません。
けれども、非行や犯罪は、その社会や文化において大切にされている道徳や社会的慣習が抑止力となっていることにお気づきでしょう。
そこで、道徳性と非行や犯罪について、精神分析学、社会心理学、発達心理学などの側面からなされている研究を紹介し、非行や犯罪がなぜ起こるのか、起こらないのか。また、非行や犯罪、道徳性の発達において、男女差があるのかどうかなどについて検討していきたいと考えています。
【到達目標】
道徳的な行動の獲得のために、情緒・行動・認知的側面の研究について理解し、何が必要かを説明することができるようになる。
犯罪・非行の抑止のために、道徳意識の発現が有効であるかどうかを理解すると共に、矯正教育プログラムとして何が有効であるかについて説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 1990年代以降の犯罪の特徴
第2回 少年犯罪、触法精神障害者の事件、発達犯罪学、自己統制力
第3回 犯罪心理学と被害者学
第4回 犯罪者にならないのは何故か？　残虐になるのは何故か？
第5回 道徳性心理学の研究領域、正当化と大胆化の心理
第6回 超自我と良心、自己調整機能の不活性化
第7回 故意と過失の発達心理、普遍的な道徳性発達段階はあるのか？
第8回 思いやりの心理（向社会的行動）、道徳性診断テスト
【学生へのメッセージ】
心理学だけでなく、広い視野から犯罪、非行、道徳、ルールとは何かなどについて考えながら受講して頂きたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中に得た学習内容および自己学習により得た内容を元に作成したレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・道徳性心理学　道徳教育のための心理学（日本道徳性心理学研究会編著／北大路書房／¥4,271）
・少年非行の世界　空洞の世代の誕生（有斐閣選書）（清永賢二編／有斐閣／¥1,760）
・家裁調査官レポート　心理臨床からみた少年事件と家族の深層（桑原知子、辻村徳治編／日本評論社／¥1,870）
・犯罪行動の心理学（J.ボンダ＆D.A.アンドリュース著/原田隆之訳／北大路書房／¥7,150）
・「被害者意識」のパラドックス（村尾泰弘著／明石書店／¥3,520）

科目コード	2689120
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	X
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	劉（リュウ）　艷艷（エンエン） 慶應義塾大学教学マネジメント推進センター助教
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究３つ（対人魅力、ミュラー・リヤー錯視、情報伝達）を取り上げます。受講生の皆さんは、３つの実験に、「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定から、実験実施、データ整理、レポートの書き方まで、心理学実験の一連の流れを体験し、理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則８回の授業全てに出席し、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学研究法・レポートの書き方
第2回 心理学研究法・レポートの書き方　データ分析について
第3回 対人魅力実験　実験と解説・データ整理
第4回 対人魅力実験　レポート執筆指導
第5回 ミュラー・リヤー錯視実験　実験と解説・データ整理
第6回 ミュラー・リヤー錯視実験　レポート執筆指導
第7回 情報伝達実験　実験と解説・データ整理
第8回 情報伝達実験　レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
３種の実験すべてに参加し、３つのレポートをまとめる作業が必要です。
実験の実施、データの整理（グラフ作成を含む）、レポート作成にPC（WordやExcelなど）の操作が必要になります。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末：ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
2．OSの指定：Windows 11／macOS（最新版から2バージョン前まで）
3．ソフトのインストール：Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safariのいずれかのブラウザが必要です。なお、実験データの確認、グラフ作成、レポート作成のため、ExcelやWordを使用できる環境を準備してください。
4．その他：マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2692295
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**学校心理学演習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	カトリ　サナエ 香取　早苗 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
子どもを援助する際には苦戦状況のみならず、子どもの自助資源（いいところや得意なこと）や援助資源（問題解決に役立つ人や場所）をアセスメントし、教員、保護者、カウンセラー等援助者が援助方針を共有してチームで援助していくことが重要です。本授業では、学校心理学の考えに基づくチーム援助のコツを「援助シート」を活用した事例を通して実践的に学びます。また、子どもの援助に役立つカウンセリングの基本技法をロールプレイを通して学びます。

【到達目標】
①学校心理学の基本的な用語について説明することができる。
②苦戦している子どもの援助方針を立てることができる。

【授業テーマ】
第1回 子どもの苦戦状況
第2回 学校心理学とは
第3回 子どもとの出会いに役立つグループワーク体験
第4回 カウンセリングの基本技法
第5回 かかわりの難しい子どもへの援助
第6回 援助シートを活用した不登校のチーム援助
第7回 援助シートを活用した発達障害のチーム援助
第8回 振り返りとシェアリング

【学生へのメッセージ】
学生同士のワークやロールプレイを行う演習の授業です。学校心理学では保護者は「自分の子どもの専門家」で重要な援助者と考えます。子どもの援助に関心がある方は勿論のこと、保護者の方の受講も歓迎します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・新版　石隈・田村式援助シートによるチーム援助入門　学校心理学・実践編（石隈利紀・田村節子／図書文化社／¥2,750／ISBN=9784810087079）

【参考書】
・石隈・田村式援助シートによる実践チーム援助―特別支援教育編（田村節子・石隈利紀（著）／図書文化社／¥2,640／ISBN=9784810026184）

科目コード	2689162
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	X
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アリイズミ　ユカリ 有泉　優里 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月16日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月17日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験３種の実習を行います。各実習では、受講生の皆さんが実験参加者となった後、研究者の視点で実験を理解した上で、結果を基に考察を行います。その過程で、実験結果の分析方法や心理学実験レポート（問題と目的、方法、結果、考察）の書き方を学びます。最後の実験では実験者の役割も体験します。全実験実習への参加、及び、各実験についてのレポート作成・提出が必須です（計３種のレポート）。原則８回の授業全てに出席する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、実験１「逆向抑制」実施
第2回 実験１「逆向抑制」解説、心理学実験レポートの書き方
第3回 心理学実験法・統計の基礎
第4回 実験１「逆向抑制」結果・考察
第5回 実験２「囚人のジレンマ」実施・解説
第6回 実験２「囚人のジレンマ」結果・考察
第7回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」実施・解説・結果
第8回 実験３「社会的判断（ヒューリスティック）」考察、レポート執筆指導

【学生へのメッセージ】
遅刻しないように注意してください。第1回から通して出席しなければ実習課題は達成できません。中途出席者の実験参加は認められません。実習ではパソコンは不使用です。実験結果の算出は主に手計算（電卓）で行います。レポートの作成はパソコン・手書きのどちらでも可能です（郵送または窓口提出、レポート返却なし）。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 ('24)」、「心理学研究法 ('20)」、「心理学統計法 ('21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2692309
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**現代日本社会論**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	イシダ　ケンジ 石田　賢示 東京大学社会科学研究所准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この科目では、現代の日本社会を支える仕組みがどのように作り上げられてきたかを理解、説明し、その意義と将来への課題について筋道立てて議論できるようになることを目標にしています。そのための道具となる社会科学的視点、概念、データを紹介しながら、戦後から現在に至る日本社会の軌跡をたどってゆきます。戦後日本社会の通時的な理解を深めながら、同時に国際比較の視点も取り入れることで、日本が諸外国と同じ点や異なる点を知ることで、一歩引いたところから日本社会の姿について議論する視点、技法を獲得してゆきましょう。
【到達目標】
学生が以下の3点を実践できるようになることを本科目の目標とする。
(1) 現代の日本社会を支える仕組みを教育、雇用、家族制度の面から理解し、説明することができるようになること。
(2) 日本社会の仕組みに関する理解にもとづき、論点、課題、問題点について自らの意見を持ち、根拠を示しながら説明ができるようになること。
(3) 自らの意見や問題意識について検証可能な（科学的な）問いを立て、どのようなデータ、資料があればその真偽を確かめられるかについて説明できるようになること。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：後発産業化と近代日本
第2回 戦後の発展と「一億総中流」社会の出現
第3回 戦後日本の労働市場の制度化
第4回「非正規」雇用の拡大と若者のキャリア形成の揺らぎ
第5回 日本のジェンダー不平等
第6回 未婚化・少子化の現状
第7回 高齢社会化に伴う社会課題
第8回 移民受け入れと日本社会
【学生へのメッセージ】
この科目で取り上げるテーマは、いずれもわたしたちが何らかの形で当事者となっています。自分自身の言葉で社会について語ると同時に、「もし自分が○○だったら？」という思考実験にも一緒に取り組みましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
メモを取るための筆記用具などがあれば十分です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学（小熊英二／講談社現代新書／¥1,430）
・教育格差：階層・地域・学歴（松岡亮二／ちくま新書／¥1,320）
・縛られる日本人：人口減少をもたらす「規範」を打ち破れるか（メアリー・C・ブリントン／中央公論新社／¥990）
・移民と日本社会-データで読み解く実態と将来像（永吉希久子／中央公論新社／¥990）

科目コード	2692317
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**記録メディアの収集保存**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	ミゾウエ　チエコ 溝上　智恵子 筑波大学名誉教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
知識情報基盤としての記録メディアの変遷について学びます。記録メディアを収集・保存して知識の組織化を図ってきた図書館の歴史も併せて学びます。まず、粘土板やパピルスといった古代のメディアから、羊皮紙、活版印刷等に至るまでの記録メディアを概観し、続いて古代から近代に及ぶ図書館の歩みを、記録メディアの収集と保存の観点から学びます。講義では一部映像資料も使う予定です。
【到達目標】
・近代に至るまでの記録メディアの変遷について理解し、それぞれの特徴を説明することができる。
・記録メディアを収集・保存してきた図書館の歴史について説明できる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンスと記録メディアの発展１：粘土板とパピルスを中心に
第2回 記録メディアの発展２：羊皮紙とコデックスを中心に
第3回 記録メディアの発展３：紙を中心に
第4回 古代の図書館：アレクサンドリア図書館
第5回 中世の図書館と写本
第6回 活版印刷と宗教改革
第7回 近代の図書館
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
身近な社会教育施設である図書館を「記録メディアの収集と保存」という視点で捉え直すことで、新たな側面を発見してください。なお、テーマによっては、予定回の次の回も延長して扱うことがあります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況および試験（資料持ち込み可）の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692325
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**日本と中東の国際関係史**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ミズグチ　アキラ 水口　章 敬愛大学名誉教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、日本の死活的利益と深くかかわる中東地域との歴史的関係について学びます。第3回授業までは日本人の対外認識を中心に解説し、第4回以降は国際情勢の変化の中で日本と中東地域がどのようにかかわってきたのかについて説明します。
【到達目標】
歴史的日本人の対外認識の変遷と、中東地域が日本にとって死活的利益にかかわるようになった国際情勢の変化を踏まえ、日本の中東外交について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 対外行動について：日本の対外認識と外交
第2回 日本の古代・中世と中東地域：東西交易から見る結びつき
第3回 日本の近世と中東地域：鎖国下の日本と対外交流
第4回 幕末期から明治時代の対中東交流：西洋使節団と条約改正
第5回 1990年代前半の日本とイスラム諸国関係：パリ講和会議と大東亜共栄圏
第6回 第2次世界大戦後の日本と中東との関係：エネルギー危機と対中東ビジネス
第7回 日本の国際貢献と中東との関係：湾岸戦争とイラク戦争
第8回 今日の日本の対中東政策：脱炭素化への協調
【学生へのメッセージ】
初日の1時限目に課題レポートについて説明します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本外交史講義　新版（井上寿一／岩波書店／¥2,970／ISBN=9784000289115）

科目コード	2692333
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**2040年を 幸せに生きるために**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	スミ　ヨシヒコ 鷲見　芳彦 夢マネジメント代表／元北海道大学特任教授
日程 実施時間	11月22日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
近未来の2040年を幸せに生きるために、今できること今すべきことを考えます。私たちは各人様々なこだわりを持って生きています。得意なこと、やりたいことも違います。自分について知ることからスタートします。キャリア形成やビジネス推進に必要な能力・技能（スキル）として、「コミュニケーション」「マネジメント」「プレゼンテーション」「リーダーシップ」の４つを取り上げます。さらに、自分のこれからのキャリアにとって、今は持っていないが今後必要となるスキルとその獲得方法についても考えます。
これらを小冊子「キャリアパスポート」にまとめます。
【到達目標】
・これからの生き方・キャリアを考える上で、自分自身のこだわりや、得意なこと、やりたいことを把握する。
・どのような環境、職場、生活でも必要で役立つ４つのスキルについて、理解し活用できるようになる。
・これから自分に必要となる新たな知識やスキルで、今持っていないものを、どのようにして学び獲得するかを判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 幸福について　2040年の社会を予測する
第2回 自分自身を知る（私のこだわり、私のスキル）
第3回 コミュニケーション（対異文化・対異分野・対AI）
第4回 マネジメント（必要なスキル、役立つ道具、企画書）
第5回 プレゼンテーション（言語で伝える、非言語で伝える）
第6回 リーダーシップ（八甲田遭難事例）
第7回 キャリアのデザインと学び直し（リスキリング）
第8回 キャリアパスポートを作ろう
【学生へのメッセージ】
仕事経験の有無、職種、年齢を問わず、どなたにも理解していただけるように進めます。事例研究やグループワークも行います。
自分のキャリアは自分で考え創るもの。今後の指針となるキャリアパスポートを造ります。
【受講前の準備学習等】
あなたは、どんなことにこだわって生きていますか？
あなたの得意なことは何ですか？
これから先、やりたいことは何ですか？
あらかじめ、ご自身で考えてきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・指揮官の決断（山下康博／中経出版（文庫）／¥607／ISBN=9784806129271）

【その他（特記事項）】
グループワークや演習を取り入れ、授業の参加者との間のコミュニケーションも取れるようにします。参加者の考えを聴き、自分の考えを伝えましょう。

科目コード	2692341
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**観光研究入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	78名
担当講師	カワムラ　ゴロウ 河村　悟郎 大阪観光大学講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
観光は、現代社会の余暇活動を代表するものですが、観光を「研究する」とは一体どのようなことなのでしょうか?この授業では、観光（研究）の歴史を振り返りながら、観光を構成する様々な要素に注目することで、観光研究の入門講座となることを目指します。前半の講義では、観光について「知る」ことをメインテーマとしますが、後半の講義では、主に時刻表を用いて観光を「創る」体験もしてもらいます。観光は時代を映す鏡ですが、未来の観光（研究）についても考えていきましょう。

【到達目標】
・観光の歴史を踏まえて観光研究の系譜を理解し、オリジナルな視点から観光現象について分析できるようになる。
・観光に関する知識を活かし、時刻表を用いて充実した観光計画を立てることができる。

【授業テーマ】
第1回 観光とは何か：観光の歴史
第2回 観光の形態：観光研究の歴史
第3回 観光と文化：メディアから紐解く異文化
第4回 With感染症時代の観光：持続可能な観光と「避密ツーリズム」
第5回 観光とスポーツ：サッカーツーリズム
第6回 観光と経営：現代人が観光に求めるもの
第7回 鉄道観光論（1）時刻表を眺める
第8回 鉄道観光論（2）時刻表を操る

【学生へのメッセージ】
観光とは本来「楽しい」ものであるはずなので、観光研究も「楽しむ」ことが基本です。ぜひみなさんの観光経験についてもお聞かせください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
時刻表1冊（交通新聞社の『JR時刻表』、JTBパブリッシングの『JTB時刻表』のいずれか）を教科書に指定します。大型版でもコンパクト版でも構いませんが、レポート作成の都合上、大型版（B５サイズ）をおすすめします。基本的に何月号でも構いませんが、できるだけ最新の情報が掲載された時刻表（目安は2026年6月以降に発売されたもの）を推奨します。

【教科書】
・時刻表（B5版）（交通新聞社もしくはJTBパブリッシング／¥1,500）
両日とも使用しますが、12月20日のレポートでは必ず使用します。

科目コード	2692350	**授業概要**	**【授業内容】** 自分の話し方や声を、じっくりと確認したことがありますか？聞く人に、あなたの思いはちゃんと伝わっているでしょうか。スピーチの力は生まれつきのものではなく、訓練によって確実に上達する能力です。他者とコミュニケーションを図るための重要なスキルでもあります。授業では、「人前で話すスピーチスキル」の向上を第一にめざします。 録音や録画を活用して自身の話し方を客観的に分析し、伝わりやすい話の組み立て方、スピード、声のトーンなどについて学びます。また、授業期間中に、自身のスピーチ録音を書き起こして分析するリポートを課します（1回のみ）。 **【到達目標】** 言葉の選択や話の組み立て方、音声表現をどう工夫すればより相手に伝わるのかを論理的に学ぶとともに、録音・録画を活用し、自身の話し方を客観的に分析・考察できるようになる。さらにクラスメートとの協働学習を通して、「聞く力」の向上を目指す。 **【授業テーマ】** 第1回 まずは基礎力のチェック！発声＆呼吸法 第2回 自分自身を知ろう！印象的な自己紹介とは 第3回 わかりやすい話し方① 第4回 わかりやすい話し方② 第5回 表現力を磨こう！情景描写と言葉の選び方 第6回 思い出を語る① 第7回 思い出を語る② 第8回 最終スピーチとまとめ **【学生へのメッセージ】** この授業では“聞く力”を育むことも重要なポイント。クラスメートのスピーチを聞き互いに評価することが、それぞれのスピーチ力向上に役立ちます。聞く力、伝える力を磨きましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 授業中の学習状況およびレポートの評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**スピーチとコミュニケーション**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	エンダ　ケイコ 遠田　恵子 フリーアナウンサー／ フェリス女学院大学他非常勤講師		
日程 実施時間	10月17日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 10月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 10月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～14:50 試験・レポート等 14:50～15:35		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** スマートホン、ICレコーダーなど、音声を録音できるもの。イヤホン。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・自分を伝える話し方（遠田恵子／枻出版社／¥1,540） **【その他（特記事項）】** 自分の声を録音し、それを書き起こすという作業をします。スマートホンなど、録音音声を入れるものと、イヤホンを必ずお持ちください。

科目コード	2692368
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**仏教思想ー原典に学ぶー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	ミノワ　ケンリョウ 蓑輪　顯量 立正大学教授 イワガミ　カズノリ 石上　和敬 武蔵野大学教授 タカハシ　コウイチ 高橋　晃一 東京大学大学院人文社会系研究科教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、仏教思想について専門の講師3名が順次講義します。仏教思想を探るには、仏教の原典をとおして学び、考察する必要があります。仏典はインドから内陸アジア、さらに中国へ伝来し、その後朝鮮半島を経て日本に伝来しました。それらの仏典はやがて一切経という膨大な聖典になります。この授業では、これらの仏典の中から、『悲華経』、『倶舎論』、『唯識三十頌』さらに中国・日本において大きな影響を与えた羅什訳『法華経』を読みながら、仏教思想を説明します。
【到達目標】
仏教の伝えた思想が実は歴史的に変遷してきたこと、また実践と深く結びついて生まれてきたことを理解し、自らの言葉で説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回『唯識三十頌』に学ぶ（1）（高橋）
第2回『唯識三十頌』に学ぶ（2）（高橋）
第3回『倶舎論』に学ぶ（1）（高橋）
第4回『倶舎論』に学ぶ（2）（高橋）
第5回『法華経』に学ぶ（1）（蓑輪）
第6回『法華経』に学ぶ（2）（蓑輪）
第7回 インド・中国・チベットにおける仏典の編集（石上）
第8回『悲華経』に学ぶ（石上）
【学生へのメッセージ】
2500年ほどの歴史をもつ仏教の思想は幅が広く、また奥深くもあります。虚心坦懐に原典に向き合って学び、思索をめぐらし、原典それぞれの醍醐味を味わってみてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・仏教入門（高﨑直道／東京大学出版会／¥2,860／ISBN=9784130130110）
・岩波仏教辞典（第三版）（中村元・末木文美士他編／岩波書店／¥9,900／ISBN=9784000803236）
・仏典解題事典（第三版）（斎藤明・蓑輪顯量・高橋晃一他編／春秋社／¥8,250／ISBN=9784393101735）

科目コード	2692376
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**西洋美術史概説２**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	カナザワ　フミオ 金沢　文緒 岩手大学教育学部教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
ヨーロッパを中心とした西洋美術の流れを概観します。第２学期はバロックからポスト印象派までを扱います。絵画、彫刻、建築など、ヨーロッパの美術の歴史的展開に重要な役割を果たした作品を取りあげ、その特徴を解説し、当時の時代背景に個々の作品を位置づけます。
【到達目標】
西洋美術の歴史的な流れを説明できるようになる。また、各種視覚教材を通して多くの作品を鑑賞することで、自身で作品を観察する力を身につける。
【授業テーマ】
第1回 バロック美術①
第2回 バロック美術②
第3回 ロココ美術
第4回 新古典主義
第5回 ロマン主義
第6回 写実主義
第7回 印象派
第8回 ポスト印象派
【学生へのメッセージ】
授業では視覚教材を通して多くの作品を鑑賞します。そのなかで自分で作品を観察する力を身につけ、ぜひ様々な美術館や展覧会に直接足を運んでもらえればと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
本年度第1学期の科目「西洋美術史概説１」の続きとなりますが、本科目を単独で受講することは可能です。

科目コード	2692384
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ドイツ近現代史2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ソウマ　ヤスオ 相馬　保夫 東京外国語大学名誉教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
19-20世紀ドイツの歴史的歩みは、ヨーロッパ近現代の歴史の縮図であるとともに、日本やアジアとの世界史的な比較の対象としても興味深いものです。ここでは、第一次世界大戦から1990年のドイツ再統一までの激動の現代史について、主にドイツ地域の歴史的な歩みを、ヨーロッパおよび世界と比較しながらたどり、この地域が抱え、現代に連なる国際的・国内的諸問題について、ヴィジュアルな資料も用いながら歴史的に考察しようと思います。

【到達目標】
第一次世界大戦から1990年のドイツ再統一までの激動のドイツ近現代史を、ヨーロッパおよび世界と比較しながら理解し、この地域が抱え、現代に連なる国際的・国内的諸問題について的確に判断することができるようになります。

【授業テーマ】
第1回 ドイツの現代と世界戦争の勃発
第2回 第一次世界大戦とヴェルサイユ条約
第3回 ヴァイマル共和国の興亡
第4回 ヒトラーの権力掌握：独裁国家の成立
第5回 第二次世界大戦とホロコースト
第6回 戦後占領とドイツの分裂
第7回 分断国家ドイツと冷戦
第8回 ドイツ再統一への道程

【学生へのメッセージ】
ドイツやヨーロッパの歴史に関心のある人に向けた入門的な講義です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況および最後の授業時間内に書かせるレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・近代ドイツの歴史―18世紀から現代まで（若尾祐司・井上茂子編著／ミネルヴァ書房／¥3,520）

科目コード	2692392
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ロシアの社会と芸術文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	カナザワ　トモオ 金沢　友緒 電気通信大学講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、近代ロシアの芸術文化に注目します。他のヨーロッパ諸国に比して文化的にもやや遅咲きであったロシアにおいて、今日世界的な知名度を誇る芸術家達が数多く輩出されたのは、主に19世紀です。彼らの活動は、ロシア社会の近代化を目指す同時代の動きと連動していました。講義では、美術・音楽・文学の各領域で活躍した創作家の活動を紹介し、彼らと同時代のロシア社会の結びつきを確認していきます。具体的には、レーピン、シーシキン等の画家、ラフマニノフ、リムスキー・コルサコフ、チャイコフスキー等の音楽家、プーシキン、ドストエフスキーやトルストイ等の作家を取り上げる予定です。一部、視聴覚教材を使用します。

【到達目標】
・18、19世紀のロシアの代表的な芸術家の活動を理解し、同時代のロシア社会の文脈の中で捉えられるようになる。
・美術・音楽・文学の各ジャンルにおける表現スタイルの特徴や、その変遷についての大まかな知識を得て、作品理解に反映できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 ロシアの社会と芸術文化
第2回 ロシアの美術
第3回 ロシアの音楽1
第4回 ロシアの音楽2
第5回 ロシアの文学1
第6回 ロシアの文学2
第7回 ロシアの文学3
第8回 20世紀ロシアの芸術文化

【学生へのメッセージ】
ロシアの美術・音楽・文学等の芸術文化に関心のある方であれば、予備知識がなくても講義への参加を歓迎します。本講義を通じて、皆さんのロシア文化体験が少しでも豊かになればと思います。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・シラバスに名前が挙げられている芸術家の作品（音楽、絵画、詩・小説等）に、可能な範囲で触れてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業当日にプリントを配付します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ロシア・ロマノフ王朝の大地（土肥恒之／講談社／¥1,496／ISBN=9784062923866）
・ロシア啓蒙主義の迷景 エカチェリーナ二世時代の官僚作家が目指した「近代」（金沢友緒／群像社／¥4,070／ISBN=9784910100340）

科目コード	2692406
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**経済思想史2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	オノヅカ　トモジ 小野塚　知二 東京大学特任教授／名誉教授
日程 実施時間	10月28日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
過去から現在にいたる普通の人びとが、何を考え、何を目指して、生きてきたのかについて考えてみましょう。この講義では、偉人･賢人･学者の思想よりも、普通の民衆によって実際に行われ、生きられた思想や、彼らの日々の生活･労働･売買に影響を与えた規範を、さまざまな記録から炙り出すことに眼目をおきます。
むろん、そうした意味での経済思想は時代により、また国や地域により異なりますし、同じ時代･地域でも職業や立場によって違います。そうした相違を浮き彫りにすると同時に、各時代の特徴をも明らかにすることで、いま、わたしたちが生きている思想を相対化し、わたしたちの特質や特殊性を描き出します。
この講義は第１学期の「経済思想史１」に引き続き、そこでは充分に論じられなかった近代･現代の２世紀半の経済思想を跡付けるとともに、日本の近現代150年間の経済思想における「民富思想の薄弱さ」が、「失われた35年間」を制約し続けてきた根本的な原因であったとの仮説を提示します。
【到達目標】
近代の普遍主義的で主意主義的な経済思想、殊に古典的自由主義に代表される「努力すれば報われる、正義は勝つ、愛は通ずる」などの教条の特徴と限界を認識できるようになる。
近代末期（19世紀末～20世紀初頭）に古典的自由主義の不可能性が判明した事情を理解し、素朴な「自助」思想や「自己責任論」の無理を指摘できるようになる。
現代（≒20世紀）の経済思想、なかんづく介入的自由主義の特徴を認識し、それがいつ、どのようにして終焉を迫られるようになったのか、それにもかかわらずいまも終わることができずに、現代がいまも継続している理由を説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 Ⅰ 導入：保護と自由、前近代･近世･近現代、民富
第2回 Ⅱ-1 「自由な諸個人間の契約関係」の実態と虚構性
第3回 Ⅱ-2 年齢別･性別の私的保護･後見
第4回 Ⅱ-3 工場法：私的保護･後見の及ばない領域での公的保護
第5回 Ⅱ-4 社会主義：もう一つの近代的欲望解放の道筋
第6回 Ⅲ-1 近代末期の人間観の転換：「失敗」と「貧困」の新しい認識
第7回 Ⅲ-2 現代（≒20世紀）：介入的自由主義･福祉国家･フォーディズム、第一のグローバル経済の中の被害者意識と猜疑心
第8回 Ⅳ 現代の終焉：保護と自由の新たな組み合わせ、あるいは、より陰気な可能性
【学生へのメッセージ】
思想とは特別なことではなく、人の日々の生活を支え、そのあちこちに表れ、また、そこで迷ったり、選んだりすることです。思想のない人はいませんし、特定の思想と関わりなく「自然に生きる」人もいません。「自然体で生きる」ことなど不可能です。では、わたしたちは、当の自分の思想や相手の思想をどのようにとらえ、理解したらよいのか、そこを考えてください。
【受講前の準備学習等】
教科書を読み、余裕があれば参考文献にも目を通してください。
【成績評価の方法】
講義内容に関わることで、各自が関心をもったことについて、自ら問い（主題）を設定し、それについて、調べ、考えたことをふまえて、論理的かつ実証的に答えを出し、また完全には答えきれないどのようなことが残ったかを、概ね3,000～4,000字程度のレポートに書き記して期日（授業中に提示します）までに提出してください。設定された問いそのものも採点の対象となります。
レポートの本文冒頭に、レポートの題目（主題－副題）、ご自分の氏名、提出年月日、学籍番号を明記してください。
レポートはpdfファイルの形式に変換して、ファイル名を「ご自分の氏名_提出年月日(yyyymmdd)」として、放送大学東京文京学習センターの指定する場所にアップロードしてください。

【教科書】
・経済思想史：生きられ、行われた思想の系譜（小野塚知二／日本経済評論社／¥3,300）
2026年5月刊行予定
【参考書】
・経済史：いまを知り、未来を生きるために（小野塚知二／有斐閣／¥4,400／ISBN=4641165157）
第10刷が望ましい。
・自由と公共性：介入的自由主義の時代とその思想的起点（小野塚知二／日本経済評論社／¥3,520／ISBN=4818820547）
・共同体の基礎理論 他六篇（大塚久雄著／小野塚知二編･解説／岩波書店／¥1,276／ISBN=9784003415221）
第２刷が望ましい。
・歴史研究からみる労働と生活の規範形成（小野塚知二／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=4623094264）
『社会政策』第14巻第１号所収、社会政策学会／ミネルヴァ書房、2022年６月、pp.5-23. 以下で閲覧･ダウンロード可能。
https://doi.org/10.24533/spls.14.1_5

科目コード	2692414
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**西洋バロック期の音楽と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	100名
担当講師	ナガハラ　ケイゾウ 永原　恵三 お茶の水女子大学名誉教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月30日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この講義では、音楽学の一分野である音楽史の観点から、西洋（ヨーロッパ）のバロック期（1600年頃～1750年頃）における音楽について考えます。従来のように器楽曲や鍵盤音楽を中心にした考え方ではなく、声楽曲を軸にした見方を取ることによって、この時期の音楽の特徴、音楽的思考、そして文化との関わりなどを考察します。西洋音楽はJ.S.バッハから始まるのではなく、それ以前の音楽の集大成がバッハであることを理解していただきたいと思っています。

【到達目標】
西洋バロック期の音楽について、器楽からではなく声楽から考えることで、その音楽的特徴を的確に把握できること。
西洋音楽の原点にはJ.S.バッハよりも以前の多くの重要な作曲家が存在し、かつ演奏の方法や楽器も近代とは異なった演奏慣習に基づくことを理解し、その違いを説明することができること。

【授業テーマ】
第1回「バロック」という概念とバロック期の音楽概観
第2回 モノディから総合的舞台音楽へ：モンテヴェルディのオペラ《オルフェオ》
第3回 世俗歌曲にみる言葉と音楽の関係：モンテヴェルディのマドリガーレ
第4回 宗教曲の巨大化：ヴィヴァルディ《グローリア》
第5回 フランスの宮廷文化と芸術：リュリ、ラモー、クープランなどの宮廷音楽家
第6回 大都市ロンドンの音楽文化：パーセルからヘンデルへ
第7回 教会音楽家としてのJ.S.バッハの仕事：カンタータと受難曲
第8回 まとめ：声楽曲から見えるバロックの音楽と文化

【学生へのメッセージ】
バロック音楽と一口に言っても、地域ごとに言語も音楽も異なっていますので、その多様性を理解していただければと思います。英独仏伊羅の各国語が出てきますが、説明しますのでご安心ください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
YouTubeで「オランダバッハ協会（Netherlands Bach Society）」の演奏を聴いてみることをお勧めします。また、グラウト・パリスカの『新西洋音楽史』（中）、あるいは、放送大学教材『西洋音楽史』（津上・赤塚編）のバロック音楽の記述に目を通しておくのもよいです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具等（ノートPC可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
バロック音楽は華やかで軽快な器楽演奏が印象に残っていると思いますが、他方で音楽は声楽（つまり歌）が大きな役割をもっています。ルネサンス時代から継承される歌唱の技術に加えて、演劇の要素がオペラの成立へと導きます。16世紀から17世紀、18世紀にかけての美術の歴史にも、少し視野を広げておくとこの時代がよくわかります。

科目コード	2692422
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**イタリア文学：主題の伝承と変奏**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ウラ　カズアキ 浦　一章 東京大学名誉教授
日程 実施時間	11月1日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
イタリア文学の代表的な作家らが、どのようなテーマを継続的に扱い、そのテーマに変奏を加えたのかを、テクスト（和訳）を用いて読み比べて行きます。テクストを「味読」すること―まさに「味わって読む」こと―が、この授業で行うことです。扱うことになる作家たちの略歴や代表作についても、簡略な導入を行います。
【到達目標】
参加する学生は、文学を「読む」ということが、「比較」の作業に基づいていることを理解できるようになる。また、「比較」は同じテーマを扱った作品を並べてみることによって、実行でき、効果を発揮することも理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 南仏詩人の「伝記」に生じた変貌（1）（ボッカッチョの場合）
第2回 南仏詩人の「伝記」に生じた変貌（2）（ロマン派詩人らの場合）
第3回「詩人と鳥」の主題と変奏（1）（ペトラルカ以降）
第4回「詩人と鳥」の主題と変奏（2）（レオパルディを中心に）
第5回「貴婦人の会釈」の主題と変奏（ダンテおよび同時代人らを中心に）
第6回「黄金時代」の主題と変奏（タッソおよびグワリーニを中心に）
第7回「航海（＝人生）」の主題と変奏（ペトラルカおよびタッソを中心に）
第8回「変身」の主題と変奏（ダンテと古典詩人らの関係）
【学生へのメッセージ】
翻訳を用いて行いますので、イタリア語の理解力を前提とはしません。なるべく短い作品を読み比べることを目的に、講義は構成しましたが、時にはやや長くなることも避けられませんでした。それゆえ、読むこと、読んで楽しむことを心がけてください。
【受講前の準備学習等】
講義資料として配布されるものをよく読み、読み比べてみてください。そして、その感想を自分なりにまとめてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
講義資料として配布するもの。携帯できる百科事典などを持ち込んで下されば、それも歓迎します。携帯型コンピュータにより検索できる方は、それも問題ありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
なるべく講義時間内に話がまとまるように進行して行きますが、場合によっては、次回に持ち越すことになるかもしれません。その場合には、前回の配布講義資料を持参してください。

科目コード	2692430
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ピアノ音楽の演奏と解釈**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	330
定員	80名
担当講師	オオタケ　ノリコ 大竹　紀子 東京音楽大学教授
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
ピアノのための音楽は、クラシックの中でも私たちに特に身近なジャンルなのではないでしょうか。それは多くのピアニストたちが研鑽を積んで演奏することにより、社会に伝えてきた成果でもあります。この授業では、現役音大生の演奏を生で聴き、ピアノ作品の響きを体感できるようにします。そして各作品の歴史的背景などを解説し、曲の感じ方や解釈の可能性について論じていきます。教員と演奏学生の対話から実際のレッスンを覗き見るような感覚も味わえるでしょう。
【到達目標】
・クラシック系ピアノ音楽の歴史的背景を理解できるようになる。
・ピアノ作品の作曲者や内容について知識を深めることができる。
・ピアノ音楽が演奏によってどのように伝わっているのか実感できるようになる。
・ピアノ音楽の解釈にどのような可能性があるのか知ることができる。
【授業テーマ】
第1回 ピアノ音楽の歴史について
第2回 バロック時代の鍵盤作品（演奏と解説）
第3回 古典期のピアノ作品（演奏と解説）
第4回 ロマン期のピアノ作品（演奏と解説）
第5回 ロマン期のピアノ作品２（演奏と解説）
第6回 近代のピアノ作品（演奏と解説）
第7回 現代のピアノ作品（演奏と解説）
第8回 ピアノ音楽と解釈～まとめとディスカッション
【学生へのメッセージ】
演奏については専門的な内容も出てきますが、専門用語を理解できなくても問題ありません。ピアノの響きからそれぞれの時代を感じ取れるようにしましょう。
【受講前の準備学習等】
可能な範囲で西洋音楽史（バロック時代～近現代）について調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
第２回～第７回の授業で演奏される曲目は、演奏する学生のレパートリーにより変更する場合があります。

科目コード	2692449
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**「偶然」の思想**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	ババ　トモミチ 馬場　智理 共立女子大非常勤講師
日程 実施時間	11月5日(木) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月12日(木) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月19日(木) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月26日(木) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
人類は、自然や人間のあり方を理解するために、必然的な（必ずそうである、必ずそうなるという）見方を築きあげてきました。しかし、現実の世界では、こうした必然的理解から外れる「偶然」の出来事が生じることも避けられません。このような現実を少しこだわって考えてみると、自然や人間はどこまで必然的なあり方をするのか、あるいは、人間はどこまで必然的に理解できるのか、むしろ、それらは偶然的ではないのか、といった疑問が生じてきます。本授業では、主に哲学という学問を軸に、これまで重視されてこなかった「偶然」の意義について、あらためて考えます。

【到達目標】
・「必然」、「偶然」という見方への理解を深めることを通して、人間や自然に対する洞察力を涵養することができるようになる。
・一般的な見方から距離を置き、自分なりの観点からものごとを思考することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：なぜ「偶然」が問題となるのか？
第2回「必然」、「偶然」概念の哲学的検討
第3回 必然的見方①：目的的必然と偶然
第4回 必然的見方②：因果的必然と偶然
第5回 必然と偶然の止揚①：確率
第6回 必然的見方③：人間の世界における目的的必然と偶然
第7回 必然と偶然の止揚②：運命
第8回 日本思想における必然と偶然

【学生へのメッセージ】
受講に際して特別な知識は必要ありませんが、授業中に発言を求めることがありますので、授業への主体的、積極的な参加を期待します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・偶然性の問題（岩波文庫）（九鬼周造／岩波書店／¥1,353／ISBN=9784003314630）
・偶然性とは何か　その積極的意味（岩波新書新赤版）（竹内啓／岩波書店／ISBN=9784004312697）
出版社 品切れ
・偶然性と運命（岩波新書赤版）（木田元／岩波書店／ISBN=9784004307242）
出版社 品切れ

科目コード	2692457
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**鎌倉幕府の裁許状を読む 15**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	コンドウ　シゲカズ 近藤　成一 放送大学特任教授
日程 実施時間	11月6日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月13日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月20日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月27日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
鎌倉幕府が発行した裁許状（判決書）は約700通ほどが遺っていますが、鎌倉時代の社会の様相を知るための史料として不可欠のものです。たとえば曽我兄弟の仇討事件は土地をめぐる一族間の紛争が背景にありましたが、同じような事件は鎌倉時代にはゴマンとありました。それらの事件の具体像を史料から直接読み解くことによって、同時代の社会の様相を知ることができます。現代とはまったく異なる社会のしくみと人間の考え方に接するとともに、意外にも私たちと同じ感情が鎌倉時代の人びとのなかにもあったことを発見するかもしれません。
【到達目標】
鎌倉幕府の裁許状を使って鎌倉時代の社会を知るために、裁許状の構成を理解し、裁許状に何が書かれているかを的確に判断できるようにする。
【授業テーマ】
第1回 正安２年８月18日六波羅裁許状・正安２年８月23日六波羅裁許状を読む
第2回 正安３年５月12日六波羅裁許状・正安３年５月22日六波羅裁許状を読む
第3回 正安３年11月７日六波羅裁許状・嘉元２年９月20日六波羅裁許状を読む
第4回 嘉元２年12月16日六波羅裁許状・嘉元２年12月24日六波羅裁許状を読む
第5回 嘉元３年６月12日六波羅裁許状・嘉元４年11月７日六波羅裁許状を読む
第6回 徳治２年３月12日六波羅裁許状を読む
第7回 徳治２年４月２日六波羅裁許状を読む
第8回 徳治２年12月23日六波羅裁許状を読む
【学生へのメッセージ】
同じ題目で15回目の授業ですが、内容はまったく異なります。ライブWebで開講する「鎌倉幕府裁許状を読んでみよう11」、千葉で開講する「裁判から読み解く中世日本社会８」、東京足立で開講する「鎌倉時代の古文書を読む７」とも異なる内容で行います。はじめての方でもわかるように、やさしく講義します。以前の講義を受講した方もさらに楽しめるように努力します。
【受講前の準備学習等】
授業そのものは、予備知識がなくても理解し、楽しめるように進めますので、自己学習としては、授業から触発された興味を発展させて自らいろいろ調べてみる方向で進めてください。授業で取り上げた内容からどのように問題が発展するのかについて、授業のなかでどんどんお話しますので、それをヒントに自らの学びを進めてください。大学での授業は与えられた課題を消化するものではなく、みずから課題をみつけ、みずから学びを進めていくものです。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
3色ボールペンなどで記号やメモを書き込みながら受講することをお勧めします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新版　古文書学入門（佐藤進一／法政大学出版局／¥3,630／ISBN=9784588320118）
どうしても自習したい方のためにお示しします。受講するのに必須ではありません。
・鎌倉幕府と朝廷（近藤成一／岩波書店／¥902／ISBN=9784004315803）
岩波新書「シリーズ日本中世史」全4冊の2冊目。第5章「裁判の世界」で鎌倉幕府の裁判制度と裁許状について概説しています。ただし受講の前提ではありませんので、読んでこなくて大丈夫です。

科目コード	2692465
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ロシア近現代史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	トヨカワ　コウイチ 豊川　浩一 明治大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
現在のロシアは、国際的にはウクライナとの戦争、国内的には強権的政治の展開などさまざまな問題を抱えている。その原因を19世紀から現在までの歴史的経緯に沿って考える。
【到達目標】
現在のロシアの状況を正しく理解でき、ロシアについて自分の考えを公正に伝えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ロシアの「近代化」と危機の到来
第2回 戦争とレーニンの革命
第3回 ソヴェト社会主義共和国連邦の成立
第4回 スターリンの「帝国」
第5回 第二次世界大戦（「大祖国戦争」）と戦後における「冷戦」
第6回 フルシチョフによるスターリン批判とブレジネフの時代
第7回 ゴルバチョフのペレストロイカとソ連邦の解体
第8回 プーチンの「帝国」
【学生へのメッセージ】
高校程度の世界史の知識を持っていてください。
【受講前の準備学習等】
土肥恒之『ロシア・ロマノフ王朝の大地』（講談社学術文庫）などの概説書を読むなどして、19世紀から現代に至るまでのロシア史に関する知識をもっていてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
とくにありません。こちらでレジュメなどを用意します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『ロシア・ロマノフ王朝の大地』（土肥恒之／講談社（学術文庫）／¥1,496／ISBN=9784062923866）

科目コード	2692473
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**太宰治と近代の作家たち**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	アンドウ　ヒロシ 安藤　宏 東京大学名誉教授
日程 実施時間	11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
開設科目「太宰治の文学」に関連する授業ですが、内容は異なる別科目で、初めての受講者も気軽に参加することが出来ます。太宰治と近代の作家たち、特に芥川龍之介、川端康成、井伏鱒二、佐藤春夫、志賀直哉らとの関係を個別に考察し、日本の近代文学の特色について理解を深めていきます。
【到達目標】
太宰治を視点に、他の作家との比較考察を通して、日本の近代小説の特色について、文学史的、表現史的な観点から理解を深め、その時代の社会と言語表現との有機的な関係を説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 太宰治文学の特色
第2回 太宰治と芥川龍之介
第3回 太宰治と川端康成
第4回 太宰治と井伏鱒二（その１）
第5回 太宰治と佐藤春夫
第6回 太宰治と志賀直哉
第7回 太宰治と井伏鱒二（その２）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
作家相互の個々のエピソードの背後にある、より本質的な文学表現の課題、文学史の状況にまで目配りする姿勢が求められます。
【受講前の準備学習等】
太宰治の代表作、あるいはテーマとして取り上げる作家の代表作に、可能な範囲で構わないので触れておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。授業は主に配布のプリントを用いて行います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本近代小説史（安藤宏／中央公論新社／¥1,870／ISBN=9784121101105）
・「私」をつくる　近代小説の試み（安藤宏／岩波書店／¥836／ISBN=9784004315728）
・太宰治論（安藤宏／東京大学出版会／¥13,200／ISBN=9784130800686）
・太宰治　弱さを演じるということ（安藤宏／岩波書店／¥1,190／ISBN=9784006023775）
・近代小説の表現機構（安藤宏／筑摩書房／¥1,600／ISBN=9784480513281）

科目コード	2692481	**授業概要**	**【授業内容】** 18世紀半ばにドイツにおいて、美・芸術・感性を主題とする学問として誕生した「美学」が19世紀末に日本に導入されて以来、日本の美学者は西洋の美学を学びつつ、それと対決し、固有の美学を、あるいは美学的概念を構築してきました。このことは、「引き際の美学」（『広辞苑』）といった独自な表現が生じたことにもよく現れています。本講義では近代日本の代表的思想家の著作を取り上げ、私たちの中に生きる「美学」について改めて考察してみましょう。 **【到達目標】** 近代日本の美学者の残した理論的著作の読解を通して、近代日本の美学の特質について、近代西洋の美学との聯関を踏まえつつ、理解できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 近代日本の美学（導入） 第2回 美的生活 第3回 芸道 第4回 汎律性（パントノミー） 第5回 型 第6回 気 第7回 自然 第8回 展望 **【学生へのメッセージ】** 「美学」は「哲学」「論理学」「形而上学」「倫理学」「宗教学」などの仲間ですが、日常言語においても用いられるという点で特異な性質を持っています。今回の授業では、その背景を探ってみましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、かつて、「美学から見た日独交渉史：グローバル化の三段階」という論文を書いたことがあります。 https://researchmap.jp/read0050596/published_papers/41041111 この講義の背景をなすものですので、できれば予め読んでおいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京文京学習センター		
学習センターコード	13B		
クラスコード	K		
科目名	**近代日本の美学**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	140名		
担当講師	オタベ　タネヒサ 小田部　胤久 元東京大学教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京文京学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** プリントを配布します。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・西洋美学史（小田部胤久／東京大学出版会／¥3,080／ISBN=4595324553）

科目コード	2692490
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**続・死生学入門（インド宗教論）**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	オオシマ　チセイ 大島　智靖 東京大学研究員
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
死生学とは文字通り人間の死と生を扱う学問ですが、ひとつの専門分野を指すわけではなく、文理問わず各方面の基礎学問の成果を総合し、いま誰もが直面している人生の諸問題に立ち向かうための智恵を探求する知的活動といえるでしょう。本授業は１学期の「死生学入門（インド仏教篇）」の続編となります。そこで扱わなかった資料を基に、歴史・文献・宗教学的に、より古代インドの叡知を深掘りしていきます。時系列的には同じなので、ある意味「オルタナティブ篇」といえます。東アジア死生学の精神基盤として、ヴェーダ及び仏教が果たす役割を検討していきます。
【到達目標】
学生は、古代インド宗教及び日本人の死生観を、原典を中心とした解説と自己学習の補填を通じて理解する。その知識に基づいて、東アジアの死生学を意識しつつ、自身の死生観を再点検し、今後の遺された人生の指針あるいは一助としてそれらを活かすことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：宗教と死生学
第2回 リグヴェーダの世界―世界の創造―
第3回 ウパニシャッド前史―秘儀と“神秘”思想：インドの「ハレ」と「ケ」―
第4回 仏教の諸問題ⅰ―初期韻文の世界
第5回 仏教の諸問題ⅱ―『ミリンダ王の問い』から①―
第6回 仏教の諸問題ⅲ―『ミリンダ王の問い』から②―
第7回 仏教の諸問題ⅳ―初期大乗経典から―
第8回 続きとまとめ―インド宗教と日本人
【学生へのメッセージ】
原典の日本語訳を使用します。１学期同様、内容は難解にして明快な理解に至りがたいものが多いです。「インド哲学らしさ」の味がさらに増しますので、覚悟してください。勿論、いかに古代の遺産を保持しつつ現代に落とし込むべきかという気持ちで解説に努めます。
【受講前の準備学習等】
ヴェーダ、パーリ仏教、インド大乗仏教の基本的な事柄について、参考書やインターネットを利用して自己学習に努めてください。参考書は1学期の「死生学入門（インド仏教篇）」で挙げたものが同様に有用です。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『授業から得た死生観について』です。感想や意見を交えて比較的自由に記述してもらって構いません。

【受講者が当日用意するもの】
アップロードした資料（プリントアウト、タブレット等各自の受講スタイルに応じて）、筆記用具等。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新訳ミリンダ王の問い（宮元啓一／花伝社／¥3,520／ISBN=4763409980）
　中村元・早島鏡正『ミリンダ王の問い』全3冊、平凡社、1963、1964が先行する翻訳書です。
・インドの夢・インドの愛―サンスクリット・アンソロジー（上村勝彦、宮元啓一（編集）／春秋社／／ISBN=9784393132692）
・古代インドの神秘思想：初期ウパニシャッドの世界（服部正明／法蔵館／¥1,210／ISBN=9784831826707）
　法蔵館文庫として再販。
・スッタニパータ（荒牧典俊・本庄良文・榎本文雄／講談社学術文庫／¥1,353／ISBN=4062922894）
・インド思想史　上（吉水清孝／春秋社／¥3,850／ISBN=9784393108314）
　下巻は3月中旬発売。

【その他（特記事項）】
１学期の死生学入門（インド仏教篇）の続編（いわばオルタナティブ篇）ですが、未受講の参加者も想定して解説を加えます。

科目コード	2692503
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ドゥルーズ＆ガタリの哲学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	スズキ　イズミ 鈴木　泉 東京大学大学院人文社会系研究科教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
20世紀後半のフランスを代表する哲学者ジル・ドゥルーズ＆フェリックス・ガタリ（以下、ドゥルーズ＆ガタリ）の哲学を概観します。精神分析批判を遂行しつつ壮大な世界史を展開する『アンチ・オイディプス』、欲望を構成する、より微細な次元にまで分析が及ぶとともに、分子生物学から言語学、地質学から国家論、音楽論・文学論・絵画論等々と、宇宙論的な規模の素材が取り上げる『千のプラトー』を代表とするその思索は、20世紀後半の最大の哲学的事件でした。その詳細を丁寧に概観します。

【到達目標】
学生は、20世紀後半のフランスの哲学者ドゥルーズ＆ガタリの哲学を学ぶことによって、常識に囚われることなく批判的に思考する哲学の特質を身につける。また、現代フランス哲学の諸思潮をも背景として学ぶことによって、現代哲学の基礎的素養を身につけ、哲学の基礎概念の幾つかを自ら用いることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 ドゥルーズ＆ガタリの出会いとその著作群
第2回『アンチ・オイディプス』紹介
第3回『アンチ・オイディプス』1：精神分析批判の意義
第4回『アンチ・オイディプス』2：「欲望する機械」と世界史
第5回『千のプラトー』紹介
第6回『千のプラトー』1：「生成変化」と「器官なき身体」
第7回『千のプラトー』2：「リトルネロ」
第8回『千のプラトー』3：「戦争機械」

【学生へのメッセージ】
西洋哲学に関する特別な知識は必要ありません。ドゥルーズ＆ガタリは独自の概念を無数に作り上げましたが、それらを出来るだけかみ砕き、事柄として何を意味しているのか説明したいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692511
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ことばの「意味」について考える**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	マツダ　シュンスケ 松田　俊介 東京大学文学部助教
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
外国語を学んだことがある人は「先生、chienってどういう意味ですか？」などと尋ねたことがあると思います。ではここにおける「意味」とは一体どういうものでしょうか。
この講義では、日本語・英語・フランス語などを題材にして、「意味」の意味について考えます。「意味」をどのようなものとして捉えるかは理論によって様々ですが、この講義では認知言語学（の一翼を担う認知文法）という理論が採用する意味観―百科事典的意味観―を紹介し、その妥当性を様々な事例に基づいて検討します。なお、この授業ではグループワークを行いますので、積極的な参加をお願いします。

【到達目標】
様々な言語を題材にして、認知言語学の基本的な考え方を学び、自分でことばの意味分析ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 言語学とは？
第2回 ことばの「意味」とは何か：認知言語学の視点
第3回「鳥らしい鳥」と「鳥らしくない鳥」：カテゴリー化
第4回 武将の「首」ってどこ？：比喩
第5回 先生のどこが「甘い」のか：多義
第6回 雨に降られて、ニキビに出られて…？：受動文
第7回 orange cat は何色か？：言語相対論
第8回 拾うべきか捨てるべきかそれが問題だ：翻訳のあれこれ

【学生へのメッセージ】
予備知識（例えばフランス語に関する知識）はいりません。ことば（の意味）に関心がある人すべてを歓迎いたします。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・手の言語学（松田俊介／左右社／¥2,420／ISBN=9784865285116）

科目コード	2692520
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**ことばを考える（4）**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	43名
担当講師	モリ　ヨシキ 森　芳樹 東京大学名誉教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月12日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月19日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月26日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
ことばの骨組み、葉脈に当たるのが言語だとしましょう。この授業では、知っている言葉を持ち寄って、言語について学ぶ、ということを体験してもらいます。なかでも文の組み立て方や意味の理解の仕方に関心を向けていきますが、「言語」を理解するには言語横断的な見方ができるようになることがとても有益です。使う人との関連でしか考えていない言葉が、社会の側に成り立つ「ことば」と認知の側に成り立つ「言語」の結び目に成り立っている様を、ドイツ語、英語、日本語などの具体例を通して見ていきます。現象としては情報構造を取り上げる予定ですが、参加者と最初の授業で決めたいと思います。

【到達目標】
高校までで言語学に触れることは少ないと思いますが、漠然と「文法」として学ぶ文の組み立て方（統語論）や意味の理解の仕方（意味論）を言語横断的に考え直し、また漠然と「語学」として学ぶ語や言葉の使い方（語用論）を抽象的に把握することができるようになります。言語構造と論理的体系の関係を説明したり、文や語にまつわる推論に様々な種類があることを説明できるようになります。

【授業テーマ】
第1回 ドイツ語と英語（1）
第2回 ドイツ語と英語（2）
第3回 ヨーロッパの言語（1）
第4回 ヨーロッパの言語（2）
第5回 日本語とヨーロッパの言語（1）
第6回 日本語とヨーロッパの言語（2）
第7回 意味と実用の関連
第8回 補足とまとめ

【学生へのメッセージ】
基盤科目の外国語で学んだ言葉が、ヨーロッパの言葉の中でどのような位置取りをしているのか、日本語と対照比較することでそれぞれの言葉が（文法と関連している「言語」の側面で）どのように特徴づけられるのかを考えていこうと思います。それぞれの言葉で、抽象的な言語の姿も、その言語と日常のことばとの関係も違っていると思います。トピックを選んで、そのことを伝えられるような授業にしたいと思います。講師の専門上、英語、ドイツ語、日本語が中心になりますが、それに限りません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。習った外国語の復習をお願いします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
自分が習った外国語の辞書、教科書

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ドイツ語Ⅰ（'19）（森芳樹／放送大学教育振興会／¥4,400／ISBN=9784595319693）
・ドイツ語Ⅱ（'19）（森芳樹／放送大学教育振興会／¥4,400／ISBN=9784595319709）

科目コード	2692538
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**基礎から学ぶ音声学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ウメタニ　ヒロユキ 梅谷　博之 武蔵野大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、音声学の中でも「調音音声学」と呼ばれる分野の基礎を学習します。はじめに、音声産出に関わる諸部位（口の内部の上側や舌など）の名称を学習します。その後、私たちが音声を発する際に口の中でどの部位がどのように動いているか（音声の産出メカニズム）を理解します。
講義に加え、実習を多く取り入れます。積極的に音声を発したり、聞き取り練習に参加したりすることが求められます。

【到達目標】
・音声産出のメカニズムを理解できるようになる。
・様々な子音や母音を発音したり聞き取ったりすることができるようになる。
・発音記号と実際の音声の対応関係を理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 音声器官、子音と母音
第2回 国際音声字母、子音を記述する際の観点、破裂音１（両唇音～軟口蓋音）
第3回 破裂音２（口蓋垂音、声門音）、調音と発声のタイミング
第4回 摩擦音１（両唇音～硬口蓋音）
第5回 摩擦音２（軟口蓋音～声門音）
第6回 破擦音、鼻音、接近音
第7回 はじき音、側面音、母音を記述する際の観点
第8回 代表的な母音

【学生へのメッセージ】
前提知識は不要です。日本語教育や外国語学習に関心のある方など、幅広い受講生を歓迎します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692546
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**古代アジアと日本雅楽**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	ミタ　ノリアキ 三田　徳明 三田徳明雅楽研究会会長／ 東亜宮廷伝統楽舞国際研究会副会長 ミタ　ハルミ 三田　晴美 三田徳明雅楽研究会理事 スズキ　ヨシエ 鈴木　祥江 三田徳明雅楽研究会理事
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
雅楽は平安貴族にとって必須の教養であったことから、これを「日本固有の伝統芸能」と考える方が多いことと思われます。しかしその実態は古代アジア諸国・諸地域の音楽・舞踊の集大成、古代シルクロード文化の結晶でもあるのです。本講義ではこうした視座から受講生とともに日本雅楽を見直し、その特質を明らかにするとともに雅楽の過去・現在そして未来を展望して参りたいと考えています。講義の中には舞楽の実体験も含まれます。これまで雅楽に触れた経験の少ない方はもちろん、実際に雅楽を実演している方も、この講義を日本文化再発見のきっかけとしていただければ幸いです。

【到達目標】
・日本雅楽を古代アジア諸国との関連の中で捉えることができるようになる。
・舞楽体験を通じて、雅楽の身体表現の特徴を理解できる。
・日本雅楽が内包する現在・未来の問題点を知ることを通じ、文化継承の意義を理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 雅楽概説・雅楽の楽器①篳篥（三田徳明）
第2回 雅楽の楽器②　笙・楽箏（三田晴美）
第3回 雅楽の楽器③　横笛・琵琶（鈴木祥江）
第4回 中国・臺灣・東南アジアと日本雅楽（三田徳明）
第5回 高句麗・新羅・百済・匈奴・渤海と日本雅楽（三田徳明）
第6回 南アジア・西アジアと日本雅楽[舞楽実技体験]（三田徳明・三田晴美・鈴木祥江）
第7回 外来学舞の受容と平安期に於ける雅楽の展開（三田徳明）
第8回 雅楽ミニコンサート（三田徳明・三田晴美・鈴木祥江）

【学生へのメッセージ】
日本人・外国人・大人・子供の別なく、多くの人にとって雅楽は未知の領域です。受講にあたっての特別な音楽的知識・舞踊の経験などは一切不要です。本講義を通じて「アジアの中における日本文化」の存在価値を再発見していただければ幸いです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
第6講で動きやすい服装・汚れてもいい靴下（滑り止めのないもの）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・伝統芸能の教科書（藤澤茜・三田徳明他／文学通信／¥2,090／ISBN=9784867660102）

科目コード	2692554
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**神道と神社信仰を学ぶ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	70名
担当講師	フジモト　ヨリオ 藤本　頼生 國學院大學神道文化学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この面接授業では、日本固有の宗教である神道を理解するうえで欠かすことのできない古典である『古事記』の上巻部分を講読するとともに、『古事記』に登場する日本の神々とその神々を祀る神社とのかかわりについて講義します。神道を学ぶ上で、代表的な古典とされる『古事記』の読み解き方を通じて、日本人の思想・行動様式の根底にある日本神話についてより深く学ぶとともに、神々が祀られる神社とのかかわりも少し触れることで、神社・神道に関する基礎知識を習得することを目的とします。

【到達目標】
＜知識・理解＞
・『古事記』神代巻の講読を行った箇所に登場した主要な神名について、どんな働きをなした神であるか、説明ができる。
＜思考・判断＞
・『古事記』を素材として、講読した箇所の内容をもとに神道のアウトラインを説明することができる。
＜関心・意欲＞
・現代社会のなかに息づく日本人の行動様式や文化、事象がどのように伝承されてきたのか、古代の文献である『古事記』を通じて興味・関心を持ち、考えることができる。
＜技能・表現＞
・『古事記』の物語を、現代の「語り部」として、他の人々にわかりやすく語りおろすことができる。

【授業テーマ】
第1回 神道の古典とは何か―『古事記』についての基礎知識を学ぶ
第2回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その１）
第3回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その２）
第4回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その３）
第5回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その４）
第6回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その５）
第7回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その６）
第8回 神道の古典を学ぶ―『古事記』上巻を読む（その７）

【学生へのメッセージ】
この授業は、神社・神道の基礎的な知識となる神道古典（『古事記』）について、その講読・解釈から、本文中にあらわれる日本の神々の事績について学ぶことを主とするものですが、受講生それぞれが自身の関心に引きつけながら受講することで、日本人の思考や文化、行動様式の基盤にある考え方や、神道と神社の信仰について新たな視点や発見と出会うことを期待しています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、それぞれ自己学習に努めてください。参考書として掲げた図書などを購入して一読されるとより理解が深まりますので、ぜひ取り組んでみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、筆記具およびメモなどが取れるノート等（なお、ipadなどのタブレット型のデジタル端末でのノート・メモについては、試験では持ち込み不可としますので、その点、ご注意ください）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・古事記（倉野憲司／岩波書店／¥1,210）
・神社と神様がよーくわかる本（藤本頼生／秀和システム新社／¥1,540）
・現代「神道」講座　寛容と共生のこころ（藤本頼生／皎成出版社／¥1,980）

【その他（特記事項）】
本授業は、『古事記』と古典に登場する日本の神々を中心に学ぶものです。同じく東京文京学習センターで行われる面接授業にて開設されている神社・神道についての基礎知識にかかる科目の授業とは、その内容はおのずと異なります。その点、ご留意ください。
また、授業の内容については、『古事記』の講読（読解）を主として、神社とのかかわりを学ぶものですので、授業のなかで、特定の神社について紹介、由緒の一部に触れることはありますが、個別の神社そのものについて詳しく講義することはありません。その点ご了承ください。
また、成績評価はレポート等ではなく、最終講義時に試験（ペーパーテスト）を行いますので、その点も御留意ください。

科目コード	2692562
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**近現代民衆音楽史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	140名
担当講師	オノヅカ　トモジ 小野塚　知二 東京大学特任教授／名誉教授
日程 実施時間	12月23日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月24日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
この講義では近現代約250年間の民衆音楽の土着性と国際性、自然発生性と商業的流通といったさまざまな二面性をとらえ、現在のわたしたちの音楽的環境の来歴を辿ります。
近代・現代になると世界各地でなされていたさまざまな民衆音楽が相互に結び付くようになります。特に19世紀末から20世紀前半の世界の社会主義運動や国際労働運動は意識的に国境の壁を越えようとしました。また、第一次世界大戦後になるとレコード、ラジオ、有声映画などの普及にともなって商業化されたポピュラー音楽も民衆音楽の国際性を担うようになります。音源・画像・動画を用いながら民衆音楽の変容の姿と現地点を確認してみましょう。

【到達目標】
(1) 近現代民衆音楽を特徴づけたさまざまな二面性を、実際の音を聴きながら理解できるようになる。
(2) その過程で社会主義運動や労働運動、また愛国主義や帝国主義が果たした役割を知ることから、音楽がすぐれて政治的かつ社会的な営みであることを理解できるようになる。
(3) 現在のわたしたちの身の回りの音楽環境は、民衆音楽史の観点からは、どのような特徴をもっているのかを知り、太古以来の民衆音楽のあり方が大きく変容し、何に置き換えられようとしているのかを考える手掛かりをつかめるようになる。

【授業テーマ】
第1回 導入：伝統的民衆音楽と近代的民衆音楽の起点
第2回 国歌・軍楽の系譜
第3回 抵抗や異議申し立ての歌の系譜
第4回 民衆による意識的な歌の国際化
第5回 両大戦で引き裂かれた国際性
第6回 20世紀の商業音楽の国際性
第7回 民衆音楽の満面開花状況：20世紀後半
第8回 民衆音楽の現在：民衆音楽は今後も続きうるか

【学生へのメッセージ】
クラシック音楽も、いわゆるポピュラー音楽（直訳するなら民衆音楽ですが）も、その広い裾野には民衆音楽の基盤があります。民衆音楽は歌と踊りをともなって、祭事、祝い事、葬儀などに用いられる実用性もありましたし、仕事をしながら口ずさむ歌や恋の歌など、普通のひとびとの生活に密着した性格もあります。それが近現代にはどのように国家・政治に利用され、また逆に音楽が国家・政治を利用したのか、具体的諸相を眺めてみましょう。

【受講前の準備学習等】
(a) 古い民衆音楽でどのようなものを知っているか、それはいま自分たちの歌であるかどうか、それがいまや歌われず踊られないのはなぜかを考えてみてください。
(b) わたしたちの知っている音楽の中にどれくらい外国起源のものがあるか考えてみてください。もし可能なら、それらがいつごろ、どのようにして伝わったのか調べて見てください。
(c) 地域社会、学校教育、職場、軍隊がどのようにして音楽の場になっているか／いないか考えてみてください。

【成績評価の方法】
講義内容に関わることで、各自が関心をもったことについて、自ら問い（主題）を設定し、それについて、調べ、考えたことをふまえて、論理的かつ実証的に答えを出し、また完全には答えきれないどのようなことが残ったかを、概ね3,000～4,000字程度のレポートに書き記して期日（授業中に提示します）までに提出してください。設定された問いそのものも採点の対象となります。
レポートの本文冒頭に、レポートの題目（主題ー副題）、ご自分の氏名、提出年月日、学籍番号を明記してください。
レポートはpdfファイルの形式に変換して、ファイル名を「ご自分の氏名_提出年月日(yyyymmdd)」として、放送大学東京文京学習センターの指定する場所にアップロードしてください。

【教科書】
・『嗜好品文化研究』 第２号（2017年） 特集「音楽と嗜好品」（嗜好品文化研究会／嗜好品文化研究会）
非売品ですが、以下で全文を閲覧できます。特に小野塚知二「音楽的嗜好の伝播と横領：近代日本の民衆音楽の経験に注目して」を予め読んでおいて下さい。
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/shikohinbunka/spenum/2017/0/_contents/-char/ja
・ヨーロッパ統合の社会史；背景・論理・展望（永岑三千輝、廣田功、Kaelble Hartmut、Coriat Benjamin、雨宮昭彦、小野塚知二、Merler Alberto、新原道信／日本経済評論社）
同書所収の小野塚知二「ナショナル・アイデンティティという奇跡：二つの歌に注目して」をお読み下さい。以下で閲覧できます。
https://www.emp.u-tokyo.ac.jp/onozukat/National%20identity%20and%20two%20songs_Onozuka_2004.pdf
※同書の購入は必須ではありません（参考：定価6,860円、ISBN=4818815772）
・作曲家アラン・ブッシュとイギリス労働者音楽協会の設立--音楽の国際性と「人民戦線」（小野塚知二／横浜市立大学／）
『横浜市立大学論叢（人文社会科学系列』第60巻第３号、2010年６月、103-136頁所収。以下で閲覧できます。
https://researchmap.jp/search_Tomo/published_papers/31547822/attachment_file.pdf

科目コード	2692570
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**アフリカ地域研究**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	43名
担当講師	ミヤウチ　ヨウヘイ 宮内　洋平 立教大学兼任講師
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
グローバリゼーションの荒波に飲み込まれるように、不条理と難題に直面しているアフリカですが、これらを乗り越える術を探求してきました。本授業ではこうしたアフリカの潜在力から何を学べるかを考えます。
【到達目標】
現代アフリカ社会で生じている諸事象の背景と要因を理解し、世界の構造的不正義を第三者に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 アフリカの食と農
第2回 土地収奪と牧畜民
第3回 資源と紛争
第4回 感染症と病
第5回 アフリカの都市化
第6回 廃棄物とエネルギー
第7回 アートによる都市再生の限界
第8回 SNSの可能性
【学生へのメッセージ】
アフリカ地域の課題を、「アフリカ問題」とせずに、同時代に生きる私たち自身の問題として捉えられるようになるきっかけとなることを望みます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
アフリカに関連する本や資料、ニュースに触れて、各自の関心を深めておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・アフリカを学ぶ人のために（松田素二／世界思想社／¥2,750／ISBN=9784790717829）
・世界地誌シリーズ8 アフリカ（島田周平・上田元／朝倉書店／¥3,740／ISBN=9784254169287）
・ようこそアフリカ世界へ（遠藤貢・阪本拓人／昭和堂／¥2,640／ISBN=9784812221280）

科目コード	2692589
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**吟遊詩人**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	78名
担当講師	アガリオ　シンヤ 上尾　信也 桐朋学園大学特任教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
文学史、音楽史、演劇史、歴史学でそれぞれ議論されていた中世ヨーロッパの「吟遊詩人」について、①文芸や音楽の創作者・技芸者として、②技芸のみならず情報の媒介者として、③近代の歴史観・芸術観では毀誉褒貶の社会的存在として考察していきます。
【到達目標】
・ヨーロッパ中世の吟遊詩人に関する研究の成果を俯瞰し読解できる。
・概要で提示したテーマやキーワードを通して、時間軸を超えた問題意識を提示できる。
【授業テーマ】
第1回「吟遊詩人」の歴史―トルバドゥールとミンネジンガーの伝説
第2回 史料―ダンテ『神曲』、「ヴィダス」(伝記)、マネッセ歌謡写本
第3回 トルバドゥールの歌、十字軍の物語
第4回 ミンネジンガーの調べ、マイスタージンガーの結社
第5回 聖母マリアのカンティーガス―地中海世界の交差
第6回 遊芸人の系譜ージョングルール
第7回 ジョングルールの声―「よき音」と「甘き調べ」
第8回 中世の音は聞こえない？―五感の音楽史
【学生へのメッセージ】
人と人を繋ぐ吟遊詩人についての著作『増補改訂版吟遊詩人』を使って授業します。できればお読みいただくと理解が深まります。
【受講前の準備学習等】
事前学習として、教科書を予習してください。事後学習として、参考文献や授業内で示した資料・映像で関心のあるものについては試聴・読修してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、レジュメなど
【教科書】
・吟遊詩人　増補改訂版（上尾信也／新紀元社／¥2,800／ISBN=9784775322680）
2026年4月13日発売

科目コード	2692597
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**日本倫理思想の考え方**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	43名
担当講師	ヨリズミ　ミツコ 頼住　光子 駒澤大学教授／東京大学名誉教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義は、日本の土着の信仰や思想とはどのようなものか、さらに、外来の思想・文化として伝えられた仏教や儒教から人々とは何を学び、どのようにして世界観や人間観の新たな次元を切り拓いていったのかを、多面的多角的に検討する。
授業の方法としては、基本的には講義形式をとるが、リアクションペーパーなどの活用により双方的な授業も取り入れる。
【到達目標】
本講義を通じて、仏教、儒教、神道の基本的な考え方がどのようなものか、また、それぞれが日本の思想・文化の形成にどのような影響を与えたのかを理解することができる。また、日本人の伝統的な世界観や人間観の諸特徴を理解する。
【授業テーマ】
第1回 日本の思想・信仰の原型とは～折口信夫の思想を手掛かりに～
第2回 仏教の基礎：インドから日本への仏教史の概略・仏教思想の基礎
第3回 儒教の基礎：儒教の基本思想、日本の儒教の発展について
第4回 神道の基礎：神道の定義や特徴、各時代における発展について
第5回 神道の定義や特徴について
第6回 日本思想における究極的存在：仏教、儒教、神道の比較
第7回 日本思想における救済：日本の仏教、儒教、神道の比較
第8回 日本思想の世界観：仏教、儒教、神道の比較
【学生へのメッセージ】
なるべく分かりやすく日本人の倫理観を形作った伝統思想の諸相について説明します。
【受講前の準備学習等】
指定された教科書のコラムを読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・日本倫理思想の考え方（頼住光子／山川出版社／¥2,090／ISBN=4634591545）

科目コード	2692600
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**情報セキュリティ概論**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	78名
担当講師	ニシカワ　ヨシキ 西川　賀樹 東京大学大学院人文社会系研究科講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
インターネットが普及して様々なものをネットワークに接続するようになり、また近年はDXが推進されてさらなる情報化が進んでいます。そういった中で情報セキュリティの重要性はますます高まっています。本講義ではマルウェアや不正アクセス、情報漏洩といったインターネットにおけるセキュリティ問題を取り上げ、事例の紹介や具体的な対策方法について解説します。
【到達目標】
サイバー犯罪の手口やその対策について具体的に理解し、生活や仕事において情報セキュリティを確保・維持することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 マルウェア
第3回 ボットネット
第4回 メールとセキュリティ
第5回 標的型攻撃
第6回 ビジネスメール詐欺
第7回 ネットワークとセキュリティ
第8回 認証
【学生へのメッセージ】
セキュリティ対策の必要性を感じてはいるけれど具体的にどういった対策をしてよいかわからないという方も多いと思います。この講義ではサイバー犯罪の手口やその対策について具体的に説明し、本講義で学んだ内容が生活や仕事におけるセキュリティ対策に役立てられるようにと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692619
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**身近な視点からの細胞と生物学3**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ノダ　ナオキ 野田　直紀 日本大学医学部准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
お風呂に入って指で体をゴシゴシとこすってみると、ポロポロとあかが出てくる。あかの正体はなんなの？この授業の目的は、こんな身近な視点から、これまで日常生活の中では気にならなかったことに疑問をもってもらうことです。そのために、自分の体や、手軽に入手できるものを題材に、それと関連する生物学の基本事項をピックアップして学びます。授業を終えたあとの日常生活の中で、いろんな疑問を抱いてもらい、その疑問に対して、授業で扱った内容や、自分で学んだことを手がかりに自分なりの説明を考えてもらえるようになることを目標にします。
【到達目標】
生命現象の基本事項を理解し、その情報・知識を応用して、自身の生活に関係する科学的な疑問をもつことができるようになる。
自らがもった疑問に対して、自分なりの説明を加えることができる。
【授業テーマ】
第1回「細胞と細胞のなかみ、それらを研究する技術」1
第2回「細胞と細胞のなかみ、それらを研究する技術」2
第3回 細胞膜
第4回 タンパク質と酵素
第5回 皮膚：体を守る最前線
第6回 血液：流れる細胞
第7回 食べること：口から肛門までは1本のトンネル？！
第8回 傷と再生：体はどうやって修理されるのか
【学生へのメッセージ】
授業中に生じた受講生の皆さんの疑問にフィードバック、対話しながら授業を進めていきます。授業で取り扱う内容に関連する簡単な演示実験なども取り入れる予定です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具、もっていれば虫めがね（ただし購入する必要はない）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2024年度12月、2025年度12月に放送大学東京文京学習センターで開講した「身近な視点からの細胞と生物学1、2」の続編です。後半は、わたしたちの体に焦点を当て身近な視点から細胞と生物学を学ぶことにチャレンジします。

科目コード	2692627
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**超伝導の物理**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ツボクラ　ユウイチ 坪倉　祐一 学習院大学非常勤講師
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
超伝導は、物質がもつ電流の流しにくさを表す電気抵抗がゼロになる現象として約100年前に発見され、現在においても基礎面、応用面共に研究は発展を続けています。そしてリニアモーターカーや医療機器のMRIなどに応用されており、身近な現象となりつつあります。この講座は超伝導の入門的講座として位置付け、この機会に物理学に触れてみようという方も歓迎します。日常では経験することができない、超伝導体の作成や作成した試料での超伝導性の確認などを行います。また、液体窒素を用いた様々な実験も取り入れ、極低温の世界を垣間見ます。
【到達目標】
超伝導が物理的にどういう現象であるかを理解し、我々の生活の中で超伝導がどのように役立っているかを理解できる。また、授業で行う実験を他の受講生と協力して正確に遂行できる。
【授業テーマ】
第1回 超伝導とは・酸化物超伝導体の作成－試薬の秤量（実験）
第2回 酸化物超伝導体の作成－焼成（実験）
第3回 超伝導の様々な性質
第4回 超伝導物質の作成－試料の成形と焼結（実験）
第5回 超伝導になる物質・超伝導の応用
第6回 液体窒素を用いて観察できる様々な現象（実験）
第7回 超伝導体の電気抵抗測定（実験）
第8回 作成した超伝導体でのマイスナー効果の確認（実験）
【学生へのメッセージ】
実験の都合上、遅刻をすると実験ができなくなりますので必ず時間までにお越しください。試料合成では化学の知識を、試料の測定では物理の知識を使います。それらの準備が整えば、低温物理の代表的な現象である超伝導に触れることができます。
【受講前の準備学習等】
超伝導とは低温で電気抵抗がゼロになる現象として知られています。以下のことを調べておいてください。
(1) 物理学で用いる絶対温度とは何か
(2) 超伝導は低温で実現されるが、その温度はどのくらいか
(3) 物質がもつ電気抵抗とは何か、実験では電気抵抗をどのような方法で求めるか
その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2692635
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**身の周りの細胞生物学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	43名
担当講師	ホソヤ　ヒロシ 細谷　浩史 放送大学客員教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業は、「細胞」についての理解がより深まる事を目標として企画されました。授業の初めに、細胞生物学の基礎を概説します。その後、私たちの身の周りに普段存在する生き物、またマスコミ等で報道される生物学の話題に注目し、特に細胞に関わるテーマを取り上げて、その内容をわかりやすく解説していく予定です。

【到達目標】
本講義の受講により、受講生が、ヒトの体を構成する基本単位である「細胞」をより深く理解できる様になる。
そのために、我々の身の周りの生き物を構成する細胞の構造や機能について理解し、我々多細胞生物を構成する多数の細胞間の情報伝達メカニズムを説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 細胞生物学の基礎
第2回 身の周りの生き物に関する細胞生物学Ⅰ
第3回 身の周りの生き物に関する細胞生物学Ⅱ
第4回 報道される細胞生物学Ⅰ
第5回 報道される細胞生物学Ⅱ
第6回 ヒトの暮らしと細胞生物学Ⅰ
第7回 ヒトの暮らしと細胞生物学Ⅱ
第8回 授業のまとめと演習

【学生へのメッセージ】
本講義に出席し受講していくうちに生じた疑問について、授業中に挙手し積極的に質問する事が大切です。質問をする事により、理解の足りない点、より理解が進んだ点を、明確に自身で意識できるようになります。積極的な姿勢で受講する事、これが一番大切です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
本講義では、受講生が特に興味を持った各種生物、あるいは、随時マスコミ等で報道される生物に注目し、フレキシブルに講義を進めていく予定です。

科目コード	2692643
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**実験で知ろう、ミドリゾウリムシ**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ホソヤ　ヒロシ 細谷　浩史 放送大学客員教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
皆様がお馴染みのゾウリムシの仲間は、一般に「原生生物」と呼ばれています。多くの原生生物は、れっきとした単細胞性の動物細胞です。しかし中には、体内に緑藻が共生しており、この共生藻のおかげで太陽エネルギーを利用できる、いわば「植物のような動物細胞」と呼べる細胞も存在しています。我々哺乳類が不可能な太陽エネルギーの利用がなぜ原生生物で可能になったのか？　本実験では、顕微鏡による観察をもとに、原生生物の不思議を解き明かしてみようと思います。

【到達目標】
受講生が、地球上に存在する生物が極めて多種多様となった背景を体系的に理解できるようになる。そのために、多種多様な生物、とりわけ原生生物に注目し、原生生物の生存戦略の共通性、多様性を学習し、原生生物を取り巻く環境への優れた対応能力を理解することを目標とする。

【授業テーマ】
第1回 原生生物とは何か？
第2回 原生生物はどこにいるのか？
第3回 原生生物を顕微鏡で観察してみよう（1）　ー大きさ、体内の構造物ー
第4回 原生生物を顕微鏡で観察してみよう（2）　ー細胞内小器官、原形質流動ー
第5回 原生生物を顕微鏡で観察してみよう（3）　ー繊毛・鞭毛の動きー
第6回 原生生物を顕微鏡で観察してみよう（4）　ー電場への反応ー
第7回 原生生物を顕微鏡で観察してみよう（5）　ー光への反応ー
第8回 原生生物について顕微鏡で観察した各事項の纏め、考察

【学生へのメッセージ】
原生生物の観察を通じて、自分自身でやってみたいという実験アイデアがありましたら、実験中に随時提案してください。予定された実験時間内に実施可能な場合は、実験室に準備されている器具等を用いてできる限り対応したいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
「細胞生物学」に関する授業（複数開講されています）をどれか受講しておくと、各実験手順の理解がよりスムーズになります。ただし、本講義受講にあたり、必須ではありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害障害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2692651
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**実験表面化学 ーシャボン玉**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	モリ　ヨシヒト 森　義仁 お茶の水女子大学名誉教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
球状の液体の膜であるシャボン玉は身近で不思議な物質の存在形態で、そのキーワードは界面活性剤という物質と、液体と気体が接する境界に発生する表面張力で、これら二つの関係を実験で調べます。液滴の表面張力を測定する、液体膜の表面張力で物体を飛ばす、応用として樟脳を燃料とするボードを作成しその運動について調べます。
【到達目標】
学生は、実験や観測を通じて自然現象を結果と原因の関係で説明するという科学的方法を、気液の表面で起こる現象を通じて、経験することができ、この経験をもとにして、他の自然現象にも科学的方法を応用することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに
第2回 液滴の表面張力①
第3回 液滴の表面張力②
第4回 液体膜と表面張力①
第5回 液体膜と表面張力②
第6回 樟脳ボート（運動の制御）①
第7回 樟脳ボート（運動の制御）②
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
表面張力と界面活性剤の実験はキッチンで生まれ、現在も多くの研究者が魅せられ、遊び心を加えると面白い実験が生み出されています。この表面張力の不思議さをぜひ楽しんで欲しいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具、電卓、白衣または汚れてもよい服装
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2692660
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**素数のふしぎ**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	330
定員	43名
担当講師	コヤマ　シンヤ 小山　信也 東洋大学教授
日程 実施時間	12月20日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月23日(水) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月25日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月26日(土) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
素数はどれだけたくさんあるか，素数の出現に規則性はあるのか，といった問題は，古代から人々を惹きつけ，現代の数学研究においても主要な未解決問題となっています．この講座では，素数の量的な分布を表す「素数定理」から，素数の不規則さを表現する「算術級数定理」，そして2023年の私自身による最先端の研究成果「素数の偏り」までを解説します．素数の理論は，通常は複素関数論を用いて解説されますが，本講座では独自の方法により，実数の解析のみを用いた初心者向けの解説を試みます．高校レベルの数学の知識があれば理解が可能です．
【到達目標】
高校数学の「極限値」の概念を用いて「素数定理」「算術級数定理」「素数の偏り」を説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 素数の起源・素数はどれだけたくさんあるか・ユークリッドの定理
第2回 オイラーの発見・アーベルの総和公式と素数定理
第3回 素数の不規則さと種々の未解決問題（双子素数予想・ゴールドバッハ予想など）
第4回 ディリクレの算術級数定理と，素数のランダム性
第5回 ラマヌジャンの発見～高次のオイラー積と，意外な素数の一面
第6回 知られざる素数の顔・素数の全貌は見えるのか？
第7回 1853年以来の謎「チェビシェフの偏り」とリーマン予想
第8回 深リーマン予想と「偏りの解明」
【受講前の準備学習等】
高校で習う数式の計算（数列の和や極限値を求めること）を多用しますので，高校の復習をしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・誰も知らない素数のふしぎ（小山信也／講談社／¥1,210／ISBN=4065368472）
【参考書】
・素数って偏ってるの？（小山信也／技術評論社／¥2,750／ISBN=4297137615）
・「数学をする」ってどういうこと？（小山信也／技術評論社／¥2,080／ISBN=4297121131）
・リーマン教授にインタビューする（小山信也／青土社／¥1,980／ISBN=4791770633）
・数学の力～高校数学で読み解くリーマン予想（小山信也／日経サイエンス社／¥2,200／ISBN=4532520797）
・笑わない数学２（NHK著／KADOKAWA／¥1,980／ISBN=ISBN=4046069015）

科目コード	2692678
学習センター	東京文京学習センター
学習センターコード	13B
クラスコード	K
科目名	**染色とそれをめぐるデザイン**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	24名
担当講師	ナカガワ　ルナ 中川　るな 桑沢デザイン研究所非常勤講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京文京学習センター

授業概要

【授業内容】
私達の身近にある布、そのデザインや制作技法は世界各地域においてその時代や文化と関わりを持ちながら創り出されてきました。染織文化の中で特に染色に焦点を当て、その背景をさぐると共に実習を通してその奥深さに触れ、さらなる興味への入口へとつなげてゆきます。(実習中心の授業です)

【到達目標】
講義においての染色の歴史や仕組みなどを踏まえ、防染法、直接法それぞれの特色を理解し、その特色を生かした作品制作ができる。デザイン性、創作性が加味されればなお良い。制作過程におき用具、材料の扱いを理解し正しく扱いができ、積極的に制作を進めることができる。

【授業テーマ】
第1回 ・防染のデザインについて−正倉院から続く染色と世界の染め
　　・実習器具説明、材料の準備など
第2回 実習−絞り染め（Tie dye）デザイン
第3回 実習−絞り染め（Tie dye）染め
第4回 実習−染めと仕上げ　・実習器具などの片付け・型染めの準備について
第5回 捺染（プリント）について−日本と世界のプリントデザインについて・実習器具、材料の準備
第6回 実習−型染め（Stencil）デザインと型製作
第7回 実習−型染め（Stencil）刷り込み=彩色
第8回 実習とまとめ　・作品仕上げ、実習器具などの片付け

【学生へのメッセージ】
日本及び世界の染色とその文化や歴史的背景を紹介しつつ、実習を通して防染法と直接法で布の制作を体験します。短い時間でワークショップ的な体験ですが、楽しんで制作していただければと思います。
実習作品のデザイン（後半の型染め＝ステンシルの絵柄）についてオリジナルものが可能であればお持ちください。後半部分なので前半授業にて説明もします。こちらで型染めデザインの本や参考図案も用意しますのでそれを参考にすることもできます。
講座の内容を踏まえて身近にある染織品、布製品の色柄や素材にあらためて気をつけてみてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
授業内での取り組み、実習課題（制作物）を主とし、レポートを加味します（制作物はカラーコピーでの提出、実際の制作作品は返却します）

【受講者が当日用意するもの】
汚れてもよい服装（エプロン、作業着など)、筆記用具（定規、ハサミ、カッター含む、あればマッキーなどの油性ペン）
絞り染めに使用する針と糸（カタン糸などの強めに引っぱっても切れにくい強さの縫い糸、細いミシン糸、しつけ糸は不可）　＊こちらでも用意いたします
割り箸（3、4膳、丸タイプでないものが良い)、輪ゴム（10本位)、作品持ち帰り用ビニール袋
あると良いもの（貸出可）　チャコペン、カッター（デザインナイフ）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
・染料、薬剤を使います。臭いのする物もありますので臭気、肌荒れなど（ゴム手袋使用可）気になる方はお気をつけください。コンロの火、熱湯を使いますので使用時の安全にご協力ください。
・器具や材料の準備、片付けは講義の一貫として共同で行いますのでご協力をお願いします。
・実習時は作業工程により休憩時間など授業時間の多少のずれが生じる場合があることがあります。ご了承ください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2692686	授業概要	【授業内容】 韓国語の基礎文型を習得する授業です。2025年２学期で行った「続・韓国語初級」に引き続き進める予定です。この授業のテキストである『できる韓国語初級Ⅰ』の中で、使用頻度の高い文型をいくつか取り上げ復習しながら、新しい文型も学習します。もう一度基礎を確認したい方も受講可能です。この授業は、日常でよく使う基本文型を覚え、練習することで韓国語で会話が出来ることを目標とします。ペアワークやロールプレイを通して会話力を身につけると共に韓国語の基礎をしっかり踏まえることで、実際に使える韓国語にステップアップしていきましょう。 【到達目標】 希望の表現や理由の表現など日常でよく使うさまざまな基本文型を覚えることで、初級レベルの韓国語での表現及び理解ができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス、敬語の過去表現の復習（教科書：第13課） 第2回 希望表現の復習（教科書：第15課） 第3回 理由の表現と不規則活用の復習（教科書：第16課） 第4回 許可を求める表現の復習（教科書：第17課） 第5回 勧誘表現の復習（教科書：第18課） 第6回 丁寧な依頼の表現について（教科書：第19課） 第7回 可能と不可能の表現について（教科書：第20課） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 この授業は韓国語の文字（ハングル）が読める方を対象にします。発話を伴う授業内のワークに積極的に取り組みましょう。最終日には小テストを実施します。 ◎指定の教科書は各自、事前に購入し、当日ご持参ください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**続・韓国語初級（復習編）**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	イ　セジン 李　世珍 東京都立大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月6日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 11月13日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 11月20日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05		
実施会場	東京足立学習センター		【受講者が当日用意するもの】 指定の教科書、ノート、筆記用具 【教科書】 ・できる韓国語初級Ⅰ＜新装版＞（李志暎／DEKIRU出版／¥2,200／ISBN=9784872177237） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692694	授業概要	【授業内容】 この授業は、中国語の発音や挨拶、簡単な構文を学んだことがある人を対象に、会話文や文章の読解を通して中国語の基礎的な力を伸ばすことを目標にします。発音・挨拶・数字・簡単な構文の復習からはじめて、辞書を活用しながら短い文章の読解と音読を試みます。 【到達目標】 ・中国語の基礎的な文法を理解し、短い文章を読解できる。 ・中国語の発音を身につけ、短い文章を発音することができる。 【授業テーマ】 第1回 発音の復習 第2回 挨拶や数字表現 第3回 基本文型 第4回 文章読解①：短文を読んでみましょう 第5回 文章読解②：自己紹介文を読んでみましょう 第6回 文章読解③：会話文を読んでみましょう 第7回 文章読解④：説明文を読んでみましょう 第8回 総復習 【学生へのメッセージ】 発音の復習から始めますので、初めて中国語を学ぶ方の受講も可能ですが、進度が早く設定されているため注意してください。 最初から授業で扱う文章を100%理解できる必要はありません。音読の時間を設けますので、たくさんの文章を声に出して読み、中国語力を伸ばしましょう。 【受講前の準備学習等】 機会があれば、ぜひ中国語のニュース、ドラマや映画、音楽などを通じて中国語の雰囲気を体感しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は総合的な学習状況のほか、テストの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**中国語初級編**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	イチハラ　ヤスヒサ 市原　靖久 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科助教		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート類、中国語の辞書（中日辞典） ※中国語の辞書は紙、スマホアプリ、電子辞書等なんでも構いません。当日はスマホがあれば使えるサイトを紹介しますので、辞書がなくても受講は可能です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・中国語はじめの一歩（新版）（木村英樹／筑摩書房／¥1,320／ISBN=9784480097644） ・中国語のしくみ（新版）（池田巧／白水社／¥1,980／ISBN=9784560086636） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692708
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**英語再入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	25名
担当講師	ヨシカワ　ジュンコ 吉川　純子 日本女子大学／法政大学／ 中央大学　非常勤講師
日程 実施時間	11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:55 試験・レポート等　12:55～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:10 試験・レポート等　17:10～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:55 試験・レポート等　12:55～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:05 試験・レポート等　17:05～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
英語が聞き取れて、場面に応じた会話ができるようになれば、世界が広がります。この授業では、中高の英語教育とは違う観点から、リスニングと会話のトレーニングを行います。8回の授業で「聞き取れる喜び」、「話せる楽しさ」を感じてください。

【到達目標】
英語の日常会話が聴き取れるようになる。英語らしい発音ができるようになる。場面に応じた英語表現ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 英語聴き取りのポイント概説　子音（1）
　　会話　初めての人に話しかける
第2回 聴き取り　子音（2）
　　会話　ほめてみよう
第3回 聴き取り　子音（3）
　　会話　わからないときは聞き直そう
第4回 聴き取り　子音（4）
　　会話　もう一言加えてみよう
第5回 聴き取り　音のつながり（1）
　　会話　あいづちを打とう
第6回 聴き取り　音のつながり（2）
　　会話　相手に興味を示そう
第7回 聴き取り　音のつながり（3）
　　会話　お礼の言い方を覚えよう
第8回 聴き取り　音のつながり（4）
　　会話　上手に苦情を言ってみよう

【学生へのメッセージ】
内容はやさしいので、積極的に声を出して参加してください。毎回の授業の最後に小テストを行います。第8回の講義後も同様です。
◎指定の教科書は、プリントで配布しますので購入する必要はありません。

【受講前の準備学習等】
参考書に挙げた本を読んで文法の復習をしてから授業に臨んでください。
参考書は、授業に持参する必要はありません。

【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、小テストの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞典　筆記用具　ノート

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・読むだけ　なるほど！英文法（南谷三世／学研教育出版／¥1,430／ISBN=9784053041913）
　英文法の復習をしたい方にお勧めしますが、授業時に持参する必要はありません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2692716	授業概要	【授業内容】 我々は栄養素的にみるとどのような食生活になっているのでしょうか。食生活の現状を振り返った後、ヒトはなぜ食べるのかを自然科学的に考えます。この授業では食べ物の基本を科学的な視点から学びます。食品成分と栄養素、おいしさと栄養、成分の化学、加工や貯蔵による物質変化、食品の安全性の基本などを学びます。 【到達目標】 食品成分と栄養素、おいしさと栄養、食品成分の化学、加工や貯蔵による物質変化、食品の安全性などを学ぶことで、食べ物や食生活を科学的な視点から把握することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 現代日本の食生活（1） 統計データからの振り返り 第2回 現代日本の食生活（2） 栄養素摂取クイズ 第3回 ヒトはなぜ食べるのでしょう（1）食物とカロリー（エネルギー）、糖質、脂質 第4回 ヒトはなぜ食べるのでしょう（2）食物と栄養素、アミノ酸、タンパク質、ビタミン 第5回 おいしさと栄養 第6回 加工と貯蔵や食の安全性 物質変化 第7回 加工と貯蔵や食の安全性 食中毒 第8回 加工と貯蔵や食の安全性（続き） 【学生へのメッセージ】 食べ物の基本を自然科学的に学びます。化学と生物学を使います。小試験を2回（初日、２日目）行います。 【受講前の準備学習等】 高校レベルの有機化学（生体成分）と生物学（代謝）を分かっていた方が講義の理解が進みますので、シラバスを見てその辺を事前に復習しておきましょう。また、事前にご自分の食生活を振り返ってみるとともに、授業後は学習した内容を活用して自分の食生活について再度考えてみて下さい。 【成績評価の方法】 成績評価は、２回の小試験の評点と総合的な学習状況により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**食べ物の科学の基本**		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ムラタ　マサツネ 村田　容常 お茶の水女子大学名誉教授		
日程 実施時間	11月6日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 試験・レポート等 14:05～14:20 第３時限 14:20～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:50 試験・レポート等 16:50～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具（鉛筆、消しゴム、答え合わせ用の赤ペンなど） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・食品加工貯蔵学（第２版） 新スタンダード栄養・食物シリーズ7 （本間清一、村田容常編／東京化学同人／¥3,080／ISBN=9784807916856） 食品がどう作られるかを基礎的に勉強したい人に役立ちます。 ・基礎化学 新スタンダード栄養・食物シリーズ19（村田容常、奈良井朝子編／東京化学同人／¥2,750／ISBN=9784807916825） 食品学や栄養学を勉強したい人が化学の基礎を学ぶのに役立ちます。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692724	**授業概要**	**【授業内容】** 人とペットの出会いから別れ（ペットロス）、ペットロスの対応、人とペットの歴史や関係（子どもから高齢者まで）、動物福祉や動物虐待について、心理学や獣医学を基に説明します。さらに、ペットの力を活用した動物介在サービス（いわゆるアニマルセラピー）、人の暮らしをサポートする犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）についても概説します。また、関連する映像資料の考察を行ったり、ペットに関連する体験談を共有したりして知識を深めます。 **【到達目標】** ・人とペットの関係の基礎について心理学的観点から理解できる。 ・日常場面の人とペットの関係について、グループワークで議論できる。 **【授業テーマ】** 第1回 人とコンパニオンアニマル（ペット）の関係 第2回 コンパニオンアニマル飼育の効果 第3回 ペットロス 第4回 人の暮らしをサポートする犬（盲導犬・介助犬・聴導犬） 第5回 動物福祉、動物虐待 第6回 動物介在サービス1（動物介在活動） 第7回 動物介在サービス2（動物介在教育） 第8回 動物開催サービス3（動物介在療法） **【学生へのメッセージ】** 人とペットの関係に興味がある人が受講してください。日常場面で自分なりに関連テーマの問題意識を持って参加してください。授業中のレポートで評価します。 ◎指定の教科書は各自、事前に購入し、当日ご持参ください。 **【受講前の準備学習等】** 日常場面で、自分なりに関連テーマの問題意識を持ったことに関連する本を読んで調べておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**人とペットの関係の心理学**		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ハマノ　サヨコ 濱野　佐代子 日本獣医生命科学大学教授		
日程 実施時間	11月26日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月27日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 指定の教科書 **【教科書】** ・人とペットの心理学；コンパニオンアニマルとの出会いから別れ（濱野佐代子／北大路書房／¥2,530／ISBN=9784762830969） **【参考書】** ・「ペットロス」は乗りこえられますか？心をささえる10のこと（濱野佐代子／KADOKAWA／¥1,760／ISBN=9784041149263）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 2018年度２学期の面接授業「人と動物の関係学」と一定程度内容の重複がありますので、受講者はこの点を理解の上受講してください。

科目コード	2692732
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**現代世界の戦争と平和**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	コバヤシ　マコト 小林　誠 お茶の水女子大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
現代世界は暴力に満ちています。戦争に象徴される赤裸々な暴力が後を絶たないし、冷戦の終焉で全面核戦争の危険が下がったとはいえ、緊張緩和も軍縮もスムーズに進んでいません。他方、国際法の整備が進み、国際機関の機能も高まり、NGOなどの活動も進んだことで、平和的な多元的共存を進める仕組みも強まったことも事実です。ウェストファリア体制と呼ばれる現代国家の基本構造がグローバリゼーションで変容し、国家単位で安全保障を守る制度はどのように変化しているのでしょうか。人権、民主主義、自由、平等、環境保護といった世界的規範はどこまで強まっているのでしょうか。ウクライナ戦争は世界大戦に拡大するのでしょうか。身近な生活と世界のできごとを関連させながら、世界の戦争と平和について考察しましょう。
【到達目標】
戦争がなぜ起こり、これを予め食い止めたり中止させる方法にはどのようなものがあるか。これをさまざまな観点から理解することができるようになります。同時に、戦争がかつてのような古典的な国家間戦争から新しい不正規戦と呼ばれる組織的暴力に拡散していることにも注目できる能力を培います。
【授業テーマ】
第1回 私たちにとってそもそも平和とは何か、戦争とは何か
第2回 人間性の中に暴力は埋め込まれているのか
第3回 他者をどのように排除するのか：オリエンタリズムとポストオリエンタリズム
第4回 私たちはどのように結集するのか：ネイション（民族）とレイス（人種）
第5回 平和を築く文化、戦争を導く文化
第6回 他国を脅威と見るか、共存のパートナーとして見るか：リアリズムとリベラリズム
第7回 国際機関と世界市民社会は平和をどう築くか
第8回 まとめ：21世紀の平和への構想をどのように組み立てるか
【学生へのメッセージ】
戦争は日本からすると、海の遠くのできごとに見えるかもしれませんが、現代日本は、戦争を制度として内在するウェストファリア体制の中に存在します。どこかの紛争に日本は直結しています。テロリズムなどの新しい脅威も高まっています。そもそも平和とは何なのか。戦争がなくなればいいのか（差別や貧困は残ってもしかたないのか）なども考えてみましょう。
【受講前の準備学習等】
日々接する世界情勢のニュースに目配りするようにしてください。国際紛争だけに限らず、経済問題、環境問題、人的移動、文化摩擦などの争点にも注意してください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。レポートの提出方法・期限は、受講時に指定します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・平和をめぐる14の論点（日本平和学会編／法律文化社／¥2,530／ISBN=9784589039545）
・国際紛争（原書第10版）（ジョセフ・ナイ／有斐閣／¥3,300／ISBN=9784641149175）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692740
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**少子高齢社会を支える身近な制度**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	スズキ　ヨウコ 鈴木　陽子 三菱ＵＦＪリサーチ&コンサルティング株式会社主任研究員
日程 実施時間	11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
少子高齢化が進み、人口が減少する社会へと転じる中、人々の意識やライフスタイルは大きく変化しています。本講座では、こども・子育て、高齢者・介護、仕事・キャリア形成など、生活に身近なテーマに焦点を当てて、少子高齢社会の中で、私たちの希望の実現や、課題解消のために、支えとなっている各種制度について、その背景などとともに学びます。グループワークも取り入れ、制度への理解を深めるとともに、これからの社会にどのような制度があったらよいか、皆で考えていきます。
【到達目標】
少子高齢社会を支える各種制度について、自身の生活と結びつけて、制度の趣旨や意義を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス・自己紹介、データでみる少子高齢社会、意識等の変化
第2回 少子高齢社会とこども・子育てに関する制度
第3回 少子高齢社会と高齢者・介護に関する制度
第4回 少子高齢社会と仕事・キャリア形成に関する制度
第5回 前回講座の振り返り、事後学習（自身の身近な制度について）の共有
第6回 グループワークと講義：少子高齢社会を支える身近な制度について考える①
第7回 グループワークと講義：少子高齢社会を支える身近な制度について考える②
第8回 まとめ：これからの社会に向けて
【学生へのメッセージ】
少子高齢社会を支える各種制度の意義や目的、内容をその背景とともに理解を深めることで、その制度が皆さん自身の生活の支えになったり、生活の充実につながることがあるかと思います。ディスカッションも行いながら一緒に考え、学んでいきましょう。
【受講前の準備学習等】
こども・子育て、高齢者・介護、仕事・キャリア形成などに関する制度について、関心のあるテーマや分野で、自治体や職場等にどのようなものがあるのかを情報収集し、その制度の役割・効果、課題について考えを整理してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692759
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**クラシック音楽鑑賞へのいざない**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	60名
担当講師	ニシムラ　ユウ 西村　祐 音楽評論家／川崎市立看護大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
近ごろメディアなどで、日本人のクラシック音楽の演奏家を見かけることが多くなりました。それに伴ってクラシックの「さわり」を聴く機会は増えてきたようにも感じますが、作品本来の姿にじっくり耳を傾けることにはつながらないのが現状です。この授業では、クラシック音楽に興味はあるけれど、入口がどこにあるのか困っている初心者の方を主な対象に、音楽や映像を鑑賞しつつ、演奏家出身の講師ならではの視点で「聴く・観る楽しみ方」をお伝えしたいと思います。すでにクラシック好きとおっしゃる方も歓迎です。
【到達目標】
授業を通して、クラシック音楽鑑賞に対するハードルを下げ、気軽に、しかし真摯に味わうことができるようになる。
音楽を「人間の営み」として受け止めることができるようにし、その捉え方を美術や舞台芸術など他のジャンルにも援用できるようにする。
【授業テーマ】
第1回 クラシック音楽はムズカシクない
第2回 クラシック音楽を楽しむための基礎知識
第3回 楽器について①鍵盤楽器
第4回 楽器について②弦・管・打楽器など
第5回 聴き比べの楽しみ～演奏による違いについて
第6回 ラスト・パフォーマンス～演奏家の晩年
第7回 日本の演奏家たち
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
音楽を「聴く」「観る」時間が多くなりますので、慣れないと疲れが出てしまいます。ぜひリラックスできる服装でお越しください。なお、この授業では声楽曲・オペラは扱いません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。日頃から「クラシック音楽らしきもの」「クラシックの音楽家」を見かけたら、曲名や演奏家名などをなんとなく覚えておいていただけたらいいかもしれません。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692767
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**「ことば」の文化人類学**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	タナハシ　サトシ 棚橋　訓 お茶の水女子大学名誉教授／ 東京都立大学客員教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
ホモ・ロクエンス（homo loquens）としてのヒトの存在は、音声言語だけではなく、機械言語、サイン言語、身振り、手振り、さらには身体装飾など多様な表示行為で構成される「ことば」とともにあります。本科目では、「ことば」とヒトをめぐる諸問題に接近を試みる「ことば」の文化人類学に関する入門の講義を行います。「ことば」と文化、道具としての「ことば」、資源としての「ことば」、「ことば」と環境、「ことば」がつむぐ関係性の世界など、なるべく広い視点と素材から「ことば」とヒトの問題をとりあげて、21世紀の今と将来を考える重要な鍵として「ことば」の存在について考えていきましょう。

【到達目標】
文化としての「ことば」を捉えるための基礎的な視座及び、今後「ことば」をめぐる現代世界の諸問題に対して具体的な説明や実証的な分析を行うために必要な基礎知識を身につけることができる。

【授業テーマ】
第1回「文化」とは？　「ことば」とは？
第2回 エティック（etic）とエミック（emic）：「ことば」をめぐる２つの視点
第3回 カテゴリー化、環境、言語相対論
第4回 コミュニケーションの理論
第5回「ことば」の直接機能性：社会化、同化、結集、差別をめぐって
第6回「ことば」と政治過程
第7回「ことば」の風景：言語景観研究
第8回 言語の保全と環境の保全

【学生へのメッセージ】
「ことばとは何か」を問うことは「ヒトとは何か」を問うことなのだ・・・と意識して受講してみてください。第8回講義終了後当日に試験（講義資料の持込参照可）を実施しますので、必ず受験してください。

【受講前の準備学習等】
受講者確定後の11月初旬に講義資料をネット上にアップロードし、本科目の受講登録者に対してのみメールで講義資料を掲載したURL情報を事前通知します。事前学習として講義資料を精読したうえで面接授業を受講してください。なお、教室では講義資料のプリント配付は行いません。受講者は必ず各自で講義資料のデータないしプリントアウトを準備して教室に持参してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。講義資料一式のデータないしプリントアウトしたもの（教室では講義資料のコピー配付は行いませんので、必ず各自で準備して教室に持参してください）。講義資料一式をデータで持参する場合には、それを受講時に閲覧するためのノートPCやタブレットなどを持参することも忘れずに。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・ことばと文化（鈴木孝夫／岩波新書（岩波書店）／¥1,012／ISBN=9784004120988）
・言葉とは何か（丸山圭三郎／ちくま学芸文庫（筑摩書房）／¥1,056／ISBN=9784480091451）
・言語の本質－ことばはどう生まれ、進化したか（今井むつみ、秋田喜美／中公新書（中央公論新社）／¥1,056／ISBN=9784121027566）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692775	**授業概要**	**【授業内容】** ピューリツァー賞やトニー賞を受賞した20世紀から21世紀のアメリカ演劇作品を取り上げ、作品とその時代背景を照らし合わせながら、アメリカの文化・社会・歴史への理解を深めます。演劇は娯楽にとどまらず、さまざまな社会問題を映し出す文化的フォーラムです。本場のセリフの抜粋（日本語訳付き）を読みながら、演劇を通してアメリカの諸相に触れてみませんか。 **【到達目標】** 20世紀から現代にかけて、アメリカの演劇とアメリカの社会背景について、理解を深めることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 2000年以降：最新演劇とミュージカルに見られる多様性の傾向 第2回 1920～30年代：恐慌、資本主義、女性のキャリア（ライス・ヘルマン） 第3回 1940年代：アメリカン・ドリームの陰、家族劇と不安（オニール、ウィリアムズ） 第4回 1940年代：世界大戦の影響と不安（ウィリアムズ、ミラー） 第5回 1950年代：赤狩りとカウンターカルチャー（ミラー、ハンズベリー、オールビー） 第6回 1960～70年代：フェミニズムの背景とベトナム戦争（サイモン、レイブ） 第7回 1980年代：異文化との相克、白人中心主義の陰り（ゴタンダ、マメット、シェパード） 第8回 1990年代：ポストレイシズムと多文化社会（ウィルソン、クシュナー、レント） **【学生へのメッセージ】** 本講義は、アメリカ演劇作品を通じ、作品の本質であるアメリカ社会や文化の諸相をより深く知ることを目的としています。また台詞を音読し、感情移入したり対話のリズムに触れます。日本語訳も用意しますので、英語が苦手な方も、安心して参加できます。作品の背景や内容について解説しますので、セリフの意味や雰囲気をつかむことができると思います。また、作品やアメリカ文化・社会に関する意見交換を行います。 ◎参考書は図書館等でも入手可能ですが、当日にコピーを配付します。 **【受講前の準備学習等】** ・最新のアメリカ演劇の受賞作品について調べておくと授業の理解に役立ちます。 ・余裕があれば、アメリカ演劇の重要な作品についてあらすじなどを確認してみてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は学習状況と、レポートの評価点により総合的に行います。 レポートは、分量、内容、テーマの把握を中心に評価します。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**演劇とアメリカ文化**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	マツモト　ミチヨ 松本　美千代 関東学院大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・ドラマで観るアメリカ社会（現代演劇研究会（著）松本美千代／新水社／¥2,200／ISBN=9784883851485） ※入手が困難なため、当日は「配付資料」を用いて授業を行います。 図書館等で入手ができる場合がありますが、持参しなくても問題ありません。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692783
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**身近な日本語を深く学ぼう**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	ホシノ　ユウコ 星野　祐子 十文字学園女子大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちにとって無意識的な存在である日本語を、客観的に観察・分析することで、普段は意識していない日本語の規則や表現工夫を探っていきます。小説、映画、マンガ、アニメ、歌詞など、身近な例を扱いながら、日本語の工夫やしくみを解き明かしていきましょう。日本語学の入門に相当する授業です。
授業内では、身近な資料を使って表現の工夫を調査し、受講生同士が話し合う時間を設けます。それぞれが発見した日本語の工夫を、日本語学の理論や知識を活かして伝え合ってみましょう。

【到達目標】
普段意識することのない日本語のしくみや表現特徴を理解し、「日本語らしさ」を指摘することができる。
授業中に取り上げたトピックに関して、具体的な言語資料を収集し、分析することができる。

【授業テーマ】
第1回 日本語学への誘い―日本語を客観的にとらえるということ―
第2回 日本語の音声について考える
第3回 日本語の語彙と表記に工夫を探る
第4回 日本語らしい表現とは
第5回 日本語文法は知れば知るほど面白い
第6回 日本語の変化と多様性に迫る
第7回 日本語学の研究方法を知る
第8回 日本語学の研究を深める

【学生へのメッセージ】
２日目の後半は、身近な資料を使って日本語学的な研究を行います。そこでの学びを活かして、レポートを作成します。

【受講前の準備学習等】
身近な日本語について、興味・関心を持ってみましょう。また、日本語について取り上げた新聞記事やインターネットの記事に積極的に目を通してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、グループワークを含む総合的な学習状況のほか、授業中に作成するレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692791	**授業概要**	**【授業内容】** パソコンを使いこなすための基本的な操作方法を学びます。パソコンの効率的な入力方法やインターネットの活用、Wordを利用した文書作成、Excelを利用した表計算、プレゼンテーション実習など、基本的な操作方法を演習形式で幅広く学習できます。この授業に参加してパソコンを楽しく使いこなせるようになりましょう。 **【到達目標】** 本講座を受講した学生は、パソコン本体の仕組みを理解し、インターネットの効果的な活用方法および情報セキュリティの基本知識を習得できる。また、MicrosoftOfficeのアプリケーション（Word、ExcelおよびPowerPoint）を自力で利用できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 パソコンの基本知識：キーボード入力、ファイル操作等 第2回 インターネットの活用：ブラウザ、クラウドの活用 第3回 ワードを利用した文書作成 第4回 放送大学におけるICTの紹介 第5回 エクセルの活用（基本操作） 第6回 エクセルの活用（表計算、グラフ作成） 第7回 情報管理のマナーと対策 第8回 パワーポイントを利用したプレゼンテーション実習 **【学生へのメッセージ】** これまで自己流でパソコンを使っていた方は、基礎からしっかり学び直しをすることで上達が早くなります。正しく早く入力する方法をはじめ、日常生活をより便利にさせるためのパソコン操作を幅広く紹介します。この機会にパソコンを使いこなすスキルを身につけ、皆さんの生活向上にお役立て下さい。分からないことがあれば随時サポートを得られますので、安心してご参加頂けます。 **【受講前の準備学習等】** パソコンに長期間触れていない方は、授業前に一度は文字入力等を試してみましょう。その他はシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は総合的な学習状況のほか、テストの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**パソコン基礎講座**		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	サノ　ヒトミ 佐野　仁美 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 【USBメモリ】市販されている一番安価な物で結構です。 【学生証】授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。 ※ノートパソコンの持参は不要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 放送大学のシステム環境（システムWAKABA）にログインするためのIDとパスワードが必要です。授業までに確認をしておいてください。

科目コード	2692791
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	L
科目名	**パソコン基礎講座**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	15名
担当講師	サノ　ヒトミ 佐野　仁美 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
パソコンを使いこなすための基本的な操作方法を学びます。パソコンの効率的な入力方法やインターネットの活用、Wordを利用した文書作成、Excelを利用した表計算、プレゼンテーション実習など、基本的な操作方法を演習形式で幅広く学習できます。この授業に参加してパソコンを楽しく使いこなせるようになりましょう。
【到達目標】
本講座を受講した学生は、パソコン本体の仕組みを理解し、インターネットの効果的な活用方法および情報セキュリティの基本知識を習得できる。また、MicrosoftOfficeのアプリケーション（Word、ExcelおよびPowerPoint）を自力で利用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本知識：キーボード入力、ファイル操作等
第2回 インターネットの活用：ブラウザ、クラウドの活用
第3回 ワードを利用した文書作成
第4回 放送大学におけるICTの紹介
第5回 エクセルの活用（基本操作）
第6回 エクセルの活用（表計算、グラフ作成）
第7回 情報管理のマナーと対策
第8回 パワーポイントを利用したプレゼンテーション実習
【学生へのメッセージ】
これまで自己流でパソコンを使っていた方は、基礎からしっかり学び直しをすることで上達が早くなります。正しく早く入力する方法をはじめ、日常生活をより便利にさせるためのパソコン操作を幅広く紹介します。この機会にパソコンを使いこなすスキルを身につけ、皆さんの生活向上にお役立て下さい。分からないことがあれば随時サポートを得られますので、安心してご参加頂けます。
【受講前の準備学習等】
パソコンに長期間触れていない方は、授業前に一度は文字入力等を試してみましょう。その他はシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、テストの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
【USBメモリ】市販されている一番安価な物で結構です。
【学生証】授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。
※ノートパソコンの持参は不要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
放送大学のシステム環境（システムWAKABA）にログインするためのIDとパスワードが必要です。授業までに確認をしておいてください。

科目コード	2692805
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**臨海生物リアル体験**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	15名
担当講師	キヨモト　マサト 清本　正人 お茶の水女子大学教授 モガミ　ヨシヒロ 最上　善広 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月23日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月24日(土) 第１時限 9:15～10:45 第２時限 11:00～12:30 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限 9:15～10:45 第２時限 11:00～12:30
実施会場	この授業は、【★お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所（千葉県館山市香１１）】で行います。

授業概要

【授業内容】
教科書でしか見たことのない、ウニの発生を、採卵と受精から幼生の孵化、さらに後期発生から変態までをリアルタイムで体験します。併せて、磯に棲息する動物を採集・観察し、生物の多様性の理解を深めるとともにそれを支える海浜環境の保全について考えます。

【到達目標】
海浜に棲息する動物の生態のリアル体験を通して、生物の多様性とその維持に欠かせない、海浜環境の保全の重要性を理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 実習のガイダンスと機器の準備（最上）
第2回 ウニの人工授精と初期発生の観察（最上）
第3回 フィールドワークその１（磯採集の準備と実施）（清本）
第4回 フィールドワークその２（磯採集及び採集動物の搬送と保存）（清本）
第5回 動物の系統分類その１（採集動物の種の特定）（最上）
第6回 動物の系統分類その２（採集動物の多様性と系統の理解）（清本）
第7回 フィールドワークの纏めと海浜環境の保全（清本）
第8回 棘皮動物の後期発生と変態、レポートの纏め（清本）

【学生へのメッセージ】
教科書などでは知っているが、実際にはよく知らないウニの受精や発生、磯の動物群の実態を、自分の目で確かめてリアルタイム体験してもらいます。この授業は、お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所（https://www.cf.ocha.ac.jp/marine/index.html）で実施します。現地集合、現地解散です。宿泊は研究所に隣接する宿泊施設を利用します。２泊３日の宿泊と食事にかかる費用（一人約7,700円）と交通費（東京駅からのアクアライン経由の高速バスの場合、往復で約6,300円）は各自で負担いただきます。費用や研究所へのアクセスについては受講者が決定次第、詳細をお知らせします。
※実習先の指針に則り、適切な感染予防対策をお願いすることがあります。
※荒天などによりフィールドワークが行えないこともあります。その場合は、前もって採集していた試料等をもとに観察や系統分類の実習を行います。

【受講前の準備学習等】
受講にあたっては、「細胞のダイナミクスを覗く（東京足立学習センター面接授業科目）」等を受講し、顕微鏡の操作に習熟していることが望ましいです。実習内容を深く理解していただくために、関連資料を、キャンパスメール等で事前にお送りする予定ですので、それを読んで自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、実験の成績・内容の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具（スケッチ用色鉛筆など）、レポート用紙

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
感染防止措置や野外活動の安全対策はお茶の水女子大学湾岸生物教育研究所の指針に従って行います。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入者の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））

科目コード	2692813
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**基本統計学 ー理論と分析実習ー**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	オオタニ　ヒロキ 大谷　洋貴 大妻女子大学講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

国勢調査などをはじめとして、統計情報は古くから扱われていました。現在では、統計学は心理学、教育学、社会学、経済学、経営学、政治学など、ほとんどあらゆる学問分野において重要な分析手法の一つとなっており、情報化の進展や情報公開が進む中で、統計情報を電子データとして誰でも簡単に手に入れられるようになっています。
本授業では、統計学の基本的な知識、とりわけ区間推定と仮説検定のアイデアの理解を目指します。具体的には、標準正規分布を用いた統計的推測のしくみを理解することを目指して、適宜実験や簡単な演習を取り入れながら進めます（そのため、相関分析のような記述統計の内容はほとんど取り扱うことができません）。標準的な表計算アプリケーション「Microsoft Excel」の関数を用いて、計算処理をコンピュータで代替することについても部分的に取り扱います。
【到達目標】
標準正規分布を用いた統計的推測のしくみを理解し、簡単な仮説検定や区間推定ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ゲームと確率１：二項分布
第2回 ゲームと確率２：期待値と分散
第3回 統計的推測のアイデア１：仮説検定の考え方
第4回 統計的推測のアイデア２：推定の考え方
第5回 母集団と標本１：標本分布
第6回 母集団と標本２：中心極限定理
第7回 標準正規分布を用いた統計的推測
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
統計学の基本的なアイデアや統計処理の方法について、実験活動を通して学習します。特に区間推定と仮説検定のアイデアに焦点を当てるため、記述統計に関する内容はあまり取り上げられません。また、受講生の状況を踏まえて、高等学校数学を適宜復習しつつ進めます。
なお、本授業ではMicrosoft Excel等の表計算ソフトを部分的に使用します。タブレットでも受講できますが、ノートPCの利用を推奨します。PCの基本的なスキルを事前に修得していることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
演習で使用するExcelファイルを配布するため、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。その際、OS等のセキュリティ修正プログラムの適用とウイルス定義ファイルの更新をしてください。
中学校・高等学校の数学の教科書等を用いて、統計的内容、組み合わせ計算、確率、総和記号（Σ）による計算などの復習をしておいていただけると、学習内容をより理解しやすくなると思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　Microsoft Excel等の表計算ソフトを使用することのできるノートパソコンまたはタブレットを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません。ただし、授業ではWindowsOSでの操作を例示するため、他のOSを使用する場合にはサポートが難しいことをご承知おきください。
３．ソフトのインストール
　表計算ソフトが必要です。ただし、授業ではMicrosoft Excelでの操作を例示するため、他のソフトを使用する場合にはサポートが難しいことをご承知おきください。
４．その他
　Excel 2007以上を対象としています。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・基本統計学[第3版]（豊田利久、大谷一博、小川一夫、長谷川光、谷﨑久志／東洋経済新報社／¥3,080／ISBN=9784492470831）
　参考書ですので、購入必須ではありません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2692821
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**小さな素粒子、大きな宇宙**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	チョウ　ギチョル 曺　基哲 お茶の水女子大学大学院教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
我々の身の回りの「もの」を構成する最も小さな単位が素粒子です。とっても小さな素粒子の世界は、普段我々が住む世界とはまったく異なったルール（物理法則）に支配されています。また、我々が住むこの広大な宇宙を形作るのに、素粒子は極めて重要な役割を果たしています。とても小さな素粒子と、とても大きな宇宙がどのように関係づいているのか、現代物理学の発展と共に紹介し、解説いたします。

【到達目標】
素粒子と宇宙という、スケールがかけ離れた２つの対象が物理学においていかに関連するのかを定性的に説明できるようになる。またその背景となる物理学の基本知識、特に特殊相対性理論と量子論について、それらが登場するに至った当時の時代背景と共にその概要について説明することができる。授業内で扱う現在の素粒子物理および宇宙物理におけるいくつかの未解決問題について、何が問題視されているのかを理解できる。

【授業テーマ】
第1回 素粒子～ものを形作る最小単位～
第2回 量子論～小さな世界を支配する物理法則～
第3回 相対論入門～超高速の世界～
第4回 素粒子の世界のルール
第5回 謎の粒子ニュートリノ
第6回 素粒子の世界の探り方～高エネルギー加速器実験～
第7回 宇宙の誕生と進化～ビッグバン理論～
第8回 宇宙の謎と素粒子の役割

【学生へのメッセージ】
なるべく数式の扱いを少なくして、素粒子と宇宙の世界を定性的に眺めていきたいと思います。肩の力を抜いて、参加してください。各回で扱った内容をおさらいする形で小テストをいたします。

【受講前の準備学習等】
素粒子や宇宙に関する「興味・関心」さえあれば、特別な予備知識は前提としません。したがって準備学習の指定は特になく、シラバスや授業テーマから関心に応じて自己学習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、小テストの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692830
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**リセット・サイエンス**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	ホッタ　ノゾミ 堀田　のぞみ 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、理科でつまずいた経験や「自分には向いていない」と感じた記憶をいったん手放し、科学をゼロベースで見つめ直します。正解を急ぐのではなく、疑問を持つことや考えるプロセスそのものを楽しみながら、科学との新しい関係を築いていきます。

【到達目標】
科学を「考える道具」として、学んだ知識や技能を授業での活動や課題に活かすことができる。

【授業テーマ】
第1回 科学とは何かー最近の不思議な出来事を思い出してみる
第2回 見えないものをどう捉えるか（分子模型）ー目に見えないものを思い浮かべてみる
第3回 関係を伝えるための工夫（回路図）ー身近な仕組みの関係を描いてみる
第4回 変化を可視化する（グラフ）ー変化するものを簡単に整理してみる
第5回 数式はなぜ生まれたのかー日常で気づく比例や比率を考えてみる
第6回 同じ現象を多様に表すー身近な現象を言葉や図、数式で表してみる
第7回 モデルの限界を知るー不完全でも役立つモデルを思い浮かべる
第8回 あなたならどう表現するか（最終発表）ー身近な現象や授業で扱った例から選ぶ

【受講前の準備学習等】
事前学習として、各回のテーマについて気になった点や疑問点を授業内で課題に取り組む準備として、整理しておいてください。
本面接授業では、実験や観察においてグループで協力し、問題解決や試案の創出に取り組みます。課題にしっかり取り組み、復習を行ってください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
レポート用紙
汚れても良い服装

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692848
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**科学と言葉**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	ホッタ　ノゾミ 堀田　のぞみ 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、「科学」と「言葉」という二つの営みを手がかりに、私たちがどのように世界を理解し、他者と関わっているのかを考えます。
科学は世界を「分かる」ための方法であり、言葉は他者と意味を共有し、世界と「生きる」ための手段だといえるでしょう。しかし、説明したはずなのに伝わらない、正しいはずなのに納得してもらえない、といった経験は誰にでもあります。本授業では、そうした身近な経験を出発点に、科学的知識と言葉の働きの違いを具体的な事例を通して探究します。
【到達目標】
・科学的な知識と自分の言葉の間に立ち、両者を理解しながら考えることができる。
・科学のテーマにおいて、他の人の意見や考えを聞きながら、自分なりに整理して考えることができる。
・科学的知識と言葉を組み合わせて、自分の考えをわかりやすく説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 科学の言葉とは何か ― 特別か、身近か
第2回「科学的」という言葉の意味を考える
第3回 科学語の成り立ちと難解さを読み解く
第4回 科学の客観性とは何か
第5回 科学と言葉の比喩的表現を考察する
第6回 科学的問いの立て方と日常の問い
第7回 専門語を自分の言葉として使う
第8回 科学と言葉の学びを振り返り未来へ
【受講前の準備学習等】
事前学習として、各回のテーマについて自分なりに関心を持った点や疑問に思ったことを考え、簡単に書き留めておいてください。
本面接授業では、実験や観察においてグループで協力し、問題解決や試案の創出に取り組みます。課題にしっかり取り組み、復習を行ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
レポート用紙
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692856
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**植物生理学入門**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	カトウ　ミサコ 加藤　美砂子 お茶の水女子大学理事・副学長
日程 実施時間	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
「植物がうまく生きていくしくみを知ること」が植物生理学の原点です。陸上植物は動物と違い、動くことができません。そのため、環境に適応するための多彩なしくみを発達させました。それだけでなく、植物は光合成によって光エネルギーを用いて二酸化炭素と水から有機物（炭素を含む化合物）を合成することができます。光合成は動物が行うことができない植物特有のしくみです。この講義では、植物特有のさまざまなしくみをわかりやすく解説します。さらに植物と昆虫などの他の動物との関係についても紹介します。
【到達目標】
・生物としての植物の特徴を理解し、動物や微生物との違いを説明することができる。
・植物が生きるしくみについて理解し、科学的な知識を用いて説明することができる。
・植物と他の生物との関係について理解し、化学物質を介したコミュニケーションについて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 植物とはどのような生き物か
第2回 植物の分類
第3回 植物の形と細胞
第4回 光合成のしくみ
第5回 植物がつくるさまざまな物質
第6回 植物の中で物質を輸送するしくみ
第7回 私たちの生活から考える植物の二次代謝
第8回 植物と他の生物との関係を考える
【学生へのメッセージ】
ふだん、何気なく目にする植物ですが、皆さんの知らない驚くべき能力を備えています。この講義を通じて、ぜひ、植物に興味を持っていただきたいと思います。植物に関して疑問に思っていたことがあれば、積極的に質問してください。第８回の講義の後に、レポートを書いて提出していただきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・植物生理学（加藤美砂子／裳華房／¥2,970／ISBN=9784785352394）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692864
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**健康関連体力**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	フナト　カズオ 船渡　和男 東京都立大学客員教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
Health-related fitnessとは、アメリカ疾病管理予防センター（CDC）が健康を保持増進するために提示した用語で、日本語では健康関連体力と訳されます。体力要素のうち健康の維持や増進にとって特に重要とされる次の５つの項目から構成されます。(1）身体組成、(2）筋力、(3）筋持久力、(4）柔軟性、(5）心臓呼吸器系体力。これらは特に近年のCOVID-19による身体運動量の低下によりダメージを受けやすい体力要素ともいえます。講義ではこれらの定義と測定の意義及び測定方法を紹介します。加えて歩く、走る、跳ぶなどの動きのしくみを生理学、解剖学及び力学的学問から学びます。

【到達目標】
・健康を保持、増進あるいは回復するために、健康応用科学やスポーツ科学に関する学問を理解し、心身の健全な状態に関するリテラシーを習得できるようにする。

【授業テーマ】
第1回 体力とは、健康関連体力とは
第2回 身体の形態・形状の測定・評価
第3回 身体組成の測定・評価
第4回 筋力・筋持久力の定義と測定・評価
第5回 柔軟性の定義と測定・評価、心臓呼吸系体力の定義と測定・評価
第6回 歩行分析（実習）
第7回 歩・走動作のバイオメカニクス
第8回 健康関連体力に関連する事項、まとめ

【学生へのメッセージ】
平均寿命と健康寿命（心身ともに自立し健康的に生活できる期間）において、日本は世界において長寿国で､人生100年時代などともいわれています｡一方で近年では､特に子ども、中学高校生あるいは女性の体力低下が指摘され、加えて肥満や糖尿病などのメタボリックシンドロームと言われる運動不足が主要因である不健康が社会問題ともなっています。さらに2020年からのCOVID-19は、我々の身体活動を余儀なく制限したために、更なる悪影響を及ぼしています。このような健康や体力に関心があり、知識や体力つくりのトレーニング方法を学びたいと思う方は履修してください。
受講者自身が被験者となって、通常歩行中の1足歩の距離、頻度及び歩行速度の測定実習を行いますので、第２日目は動きやすい服装と靴を着用してご参加ください。

【受講前の準備学習等】
参考書等を活用し、スポーツ科学の基礎内容について情報を収集しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況、実習への参加状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
動きやすい服装と靴（第２日目）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・トレーニング科学　健康・スポーツ科学テキスト（北川薫　編集／文光堂／¥3,780／ISBN=9784830651649）
・スポーツサイエンス入門（田口貞善ほか　編集／丸善／¥3,190／ISBN=9784621082164）
・競技志向と健康志向のスポーツ科学（宮下充正／杏林書院／¥1,980／ISBN=9784764411067）
・基礎から学ぶスポーツリテラシー　改訂版（高橋健夫ほか　編集／大修館書店／¥2,200／ISBN=9784469268140）
・入門スポーツ科学（宮下充正／杏林書院／¥2,530／ISBN=9784764412279）

科目コード	2692872
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**老年社会学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	モリシマ　ユキコ 森嶌　由紀子 駒沢女子大学／津田塾大学　非常勤講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
老年社会学は、高齢者と社会との関係をとらえる学問です。そこで、日本で「年をとる（エイジング）」とはどのようなことなのか、その実情や課題を学びます。具体的には、日本社会における高齢者の位置づけの変化、日本の人口高齢化の推移や現状、高齢者の就労状況や年金などの経済生活、高齢者の余暇や生きがいと社会参加の実態、高齢者の家族規範や子ども世代との関係、介護保険による介護の社会化とその実情、高齢者が抱える様々な問題などを取りあげます。
【到達目標】
老年社会学という学問領域について理解し、日本の高齢者や高齢社会の抱える多面的な現状を把握したうえで、自らの関心と結びつけながら主体的に考えられるようになる。
【授業テーマ】
第1回 老年社会学とは
第2回 高齢者の社会的位置づけ
第3回 日本の高齢化の特徴
第4回 高齢者の就労と経済生活
第5回 高齢者の生きがいと社会参加
第6回 高齢者の家族関係と介護の社会化
第7回 関心テーマに沿ったグループディスカッション
第8回 グループ発表
【学生へのメッセージ】
「老い」とは何でしょうか。新聞記事や統計などの資料を用意しますので、老いの多様な面について考える機会にしてください。授業後半には、小グループに分かれてグループディスカッションと発表を行います。受講後、老年社会学で学んだことについてのレポートを提出していただきます。
【受講前の準備学習等】
関心あるテーマに沿ったグループディスカッションを行いますので、老いや高齢社会について自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、関心テーマに沿ったグループディスカッションへの貢献、レポートの評点により行います。レポートの提出方法・期限は、受講時に指定します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692880
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**現代の食生活の課題と対策**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定員	40名
担当講師	フクトメ　ナミ 福留　奈美 東京聖栄大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の日本の食生活にある課題は、個人の生活習慣に起因するものだけでなく、世界の食糧・栄養問題、環境問題に関連するものも多くあります。本講座では、日々の目前にある個人の食の課題とともに世界の食の課題を取り上げます。授業では、各回のテーマごとに社会的背景とその実態を把握し、課題解決に向けてのアイデアをどう行動変容につなげていくかを考えます。
【到達目標】
現代の日本人が抱える食生活の課題を具体的にあげ、その課題を取り巻く現状を説明し、解決するための方策を自分事として自らの関わりをもって論じることができる。
【授業テーマ】
第1回 新型栄養失調の危険性とフレイル対策
第2回 食事の見直しと運動を取り入れた骨粗しょう症対策
第3回 噛むことの重要性と野菜摂取量を考えた調理のコツ
第4回 うま味を生かした減塩食のすすめ
第5回 家庭内食の外部化と中食の発展について考える
第6回 食の画一化と生物多様性の尊重について考える
第7回 日本の食料生産とSDGsについて考える
第8回 食のサステナビリティとレスミート食のすすめ
【学生へのメッセージ】
食生活の改善は、自分の嗜好や習慣に合わせてひとりひとりに合った方法を考える必要があります。また、考えるだけでなく、今日から行動変容につなげるためにはどうすればいいのか、毎回の授業の中で自分なりの答えを見つけていきましょう。そのためのヒントが詰まった授業にしたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
・日々の食事内容を振り返り、自分なりに問題点と改善点を考えてきてください。
・便利な半調理済み食品や加工品、中食について調べ、可能な範囲で利用してきてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓（スマホの電卓機能可）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・食べ物と健康　食文化論／食育・食生活論（栄養科学シリーズNEXT）（濵口郁枝／冨田圭子／小野真実・編／講談社／¥3,080／ISBN=9784065341278）

科目コード	2689120
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カジハラ　ナオキ 梶原　直樹 放送大学埼玉学習センター客員准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、心理学の基礎的な実験を通じて、実験心理学の基本的な方法と考え方を学びます。皆さんは、実験者や実験参加者として実験に参加するだけでなく、そこで得られたデータを処理しレポートにまとめることを、各実験について行います。つまり、単なる実験の体験ではなく、心理学における研究法としての実験について学びます。実施する実験は、ミュラー・リヤーの錯視、概念学習、対人魅力の３種類です。
単位修得には、原則として８コマすべてに出席することと、授業終了後にすべての実験についてレポートを提出することが必要になります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の意義
第2回 実験1　ミュラー・リヤーの錯視（1）：実験
第3回 実験1　ミュラー・リヤーの錯視（2）：データの処理
第4回 実験1　ミュラー・リヤーの錯視（3）：レポートの書き方
第5回 実験2　概念学習（1）：実験
第6回 実験2　概念学習（2）：データの処理とレポートの書き方
第7回 実験3　対人魅力（1）：実験
第8回 実験3　対人魅力（2）：データの処理とレポートの書き方
【学生へのメッセージ】
この授業では、実験データの処理（計算）や実験レポートの書き方に多くの時間が割かれます。そのため、実験心理学の概論程度の知識があることと、統計の基礎をある程度理解できていることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
心理統計の基本として、平均値と標準偏差との関係を確認しておいてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（１日目のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学実験・研究レポートの書き方ー学生のための初歩から卒論まで（B・フィンドレイ／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465）
・理科系の作文技術（木下是雄／中央公論新社（中公新書）／¥924／ISBN=9784121006240）

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2692899	授業概要	【授業内容】 犯罪や非行の背景には、家庭や学校における逆境体験、貧困、依存症、メンタルヘルスなどの社会が抱える様々な問題があり、人が犯罪や非行に至る心理についても、多様な視点から理解していく必要があります。この授業では、犯罪や非行に関する理論や制度を紹介するほか、犯罪や非行からの離脱に効果的な処遇や支援の在り方等について、心理学の視点から幅広く取り上げます。授業で学んだ知識や技法等の具体的な活用方法については、仮想事例を織り交ぜながら考察するほか、ワークを通じて体験的に学ぶ機会を設けます。 【到達目標】 犯罪・非行の背景要因やそこからの離脱や予防について、幅広い観点から批判的に検討し、考察できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 犯罪者・非行少年とは 第2回 犯罪・非行を説明する理論① 第3回 犯罪・非行を説明する理論② 第4回 犯罪者・非行少年のアセスメント 第5回 犯罪者・非行少年への効果的な処遇・支援 第6回 実践的ワーク①（動機付け面接等） 第7回 実践的ワーク②（認知行動的介入、問題解決等） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 この授業では、犯罪や非行に至る心理やその背景要因、そして犯罪や非行から離脱するための支援について学びます。また、必ずしも正解があるとは限らない司法・犯罪領域における各種課題について、幅広い観点から検討していきます。講義後に提出いただくレポートでは、授業で学んだことを基に様々な意見や主張が創出されることを楽しみにしています。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**犯罪臨床心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ササキ　アヤコ 佐々木　彩子 矯正研修所・統括効果検証官		
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・更生に携わる人のためのコア・コレクショナル・スキル（イオアン・ドゥルネスク［著］／今福章二［監訳］・髙井文香・佐々木彩子［訳］／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=978-4-623-09978-8） 【その他（特記事項）】 一方的な知識付与型の授業ではなく、授業のテーマに沿った意見交換やワークの時間を積極的に設け、主体的・対話的な深い学びを目指します。

科目コード	2692902
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学実習B**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	オチ　エイタ 越智　栄太 埼玉医科大学病院　臨床心理士
日程 実施時間	11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
心理臨床において、心理アセスメントと心理療法は車の両輪にたとえられるように重要なものです。本講義では、それぞれについて概説し、いくつかを実際に体験していただきます。心理アセスメントは心理検査を中心に、心理療法については描画をはじめとした表現やイメージを用いたものを中心に考えてゆきたいと思います。心理アセスメントと心理療法、ならびにそれらの関係性についての理解を深めるとともに、実習での心の動きから自己理解・他者理解を深めてゆくことを目標とします。すべての課題についてレポートを作成していただきます。
【到達目標】
心理アセスメントと心理療法についてそれぞれ説明することができ、両者の関係性についても説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 心理アセスメントについて
第2回 心理検査実習（1）：知能検査（WISCなど）
第3回 心理検査実習（2）：パーソナリティ検査（TEGなど）
第4回 心理検査実習（3）：バウムテスト・風景構成法実習
第5回 心理検査実習（4）：その他の検査（ストループテストなど）
第6回 心理療法について（1）（精神分析・行動療法・来談者中心療法）
第7回 心理療法について（2）（表現やイメージを用いた心理療法）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
講義だけでなく、体験を通して心理臨床への理解を深めてゆくことを目標としますので、実習中に感じたこと、考えたことを大切にしていただければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
4B鉛筆・消しゴム・黒のサインペン・12色以上のクレヨン・A4ケント紙（5枚程度）
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・心理臨床の基礎（改訂版）（小野けい子／放送大学教育振興会／¥2,310／ISBN=9784595314674）

【その他（特記事項）】
臨床心理学実習A、B、Cは、難易度の違いによるものではありません。講師の違いによって、臨床心理学の関わりの多様性を学ぶことになります。
なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
（履修制限）面接授業「臨床心理学演習」の単位を修得済みの方は登録できません。（面接授業開設科目一覧P.7参照）

科目コード	2692910
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**カウンセリングとその周辺**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サカイ　シゲキ 酒井　茂樹 （社会福祉法人）むつみ会事務長
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
心理支援の中心であるカウンセリングとその周辺について考える授業です。フォーカシング指向心理療法の考え方を土台にしつつ、講義や体験活動を通して、新たな気づきを得たり理解を深める機会にしていただけたらと考えています。
【到達目標】
カウンセリングとその周辺について、体験的に理解することを通じて、その基本的な考え方を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 カウンセリング
第2回 コミュニケーション
第3回 フォーカシング
第4回 PCAGIP事例検討法～○○について考える会
第5回 チーム支援
第6回 生活支援
第7回 変化についての諸理論
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
人とかかわることに関心のある方、相談業務について振り返りたいと考えている方、「カウンセリング」と「その周辺」について一緒に考え、体験し、普段の生活にも活かせるものを見出していただけたらと思います。グループワークにより、気付き、理解を深めます。全ての回への出席をお願いします。
【受講前の準備学習等】
ご自分の気に入ったものでよいので、カウンセリングや支援に関する書籍や論文を読んで、「話をきくこと」「語ること」について、自分なりの考えをまとめてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・フォーカシングで身につけるカウンセリングの基本：クライエント中心療法を本当に役立てるために（近田輝行／コスモス・ライブラリー／¥2,675／ISBN=9784434026409）
・こころの症状はどう生まれるのか―共感と効果的な心理療法のポイント（古宮昇／岩崎学術出版社／¥2,530／ISBN=9784753310210）
・ころんで学ぶ心理療法：初心者のための逆転移入門（遠藤裕乃／日本評論社／¥2,090／ISBN=9784535561830）
・その島のひとたちは、ひとの話をきかない――精神科医、「自殺希少地域」を行く（森川すいめい／青土社／¥1,980／ISBN=9784791769315）
・今すぐできる心の守りかた　フラッシュバック・ケア（服部信子／KADOKAWA／¥1,650／ISBN=9784046070456）

【その他（特記事項）】
動きやすい服装・履物で受講してください。グループでの活動がありますので、香水・アクセサリーは最小限でお願いします。

科目コード	2692929	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、発達心理学の観点から人間の心理や行動の原理を学びます。日々の営みを通して、生涯にわたる発達のメカニズムを紹介し、発達がどのように促進されるのか、またどのような課題が生じるのかを考察していきます。具体的には、乳幼児期の認知発達から、青年期のアイデンティティ形成、成人期のキャリアと家庭生活のバランス、老年期に訪れる心身の変化まで、あらゆるライフステージにわたる発達課題を具体的な事例とともに解説します。 **【到達目標】** 人間の生涯発達を科学的に捉えることができる。 各段階の発達について理解し、それぞれの特徴と関連する概念を説明することができる。 発達心理学の視点から自分の人生を振り返り、その知見を自己や周囲との関わりに活かせるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス、発達の捉え方 第2回 遺伝と環境 第3回 胎児期・新生児期の発達 第4回 認知発達 第5回 自己の発達 第6回 成人期以降の発達 第7回 日常における発達 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 人間が生まれてから死に至るまでの時間の流れの中で、心身がどのように影響を受け、どのように形成・変化していくのか、そのプロセスを学んでいきます。日常生活の出来事を中心に発達を扱うため、特別な専門知識は必要ありません。授業で得た知見を実践的に理解・応用できるため、最後にレポートを書いていただく予定です。 **【受講前の準備学習等】** 発達と聞いて思い浮かべる事柄について、日常の経験から考えておいてください。その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**人間発達の心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カン　ユキ 韓　雪 中京大学講師		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具（ノートPCなども可） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・生活のなかの発達 現場主義の発達心理学（外山紀子・安藤智子・本山方子／新曜社／¥2,420／ISBN=9784788516236）

科目コード	2692937	**授業概要**	**【授業内容】** 認知行動療法の理論と基本的技法を理解し、医療領域をはじめ様々な領域において、認知行動療法や認知行動療法の考え方に基づいた支援を行えるようになることを目標とします。認知行動療法の理論に関する説明に続き、行動活性化、認知再構成法、問題解決技法、アサーションなど認知行動療法の各技法について、実習を通して学んでいきます。なお、すべての実習課題についてレポートを作成していただきます。 **【到達目標】** 実生活のなかで認知行動療法を活かしたストレス対処ができるようになる。そして個々の症例に応じた適切なスキルを用いて、クライエント自身が問題解決に取り組めるよう認知行動療法を行えるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 認知行動療法の理論 第2回 面接時のコミュニケーションスキル1 第3回 面接時のコミュニケーションスキル2 第4回 認知行動療法の進め方・症例の概念化・認知行動療法の導入 第5回 行動活性化 第6回 認知再構成法 第7回 問題解決技法 第8回 アサーション、終結、様々な領域における認知行動療法の応用 **【学生へのメッセージ】** 実践的な内容で参加型の授業になります。このため授業への意欲的な取り組みを期待します。認知行動療法をすでに実施している方も、初めて学ぶ方も参加できます。講義後のレポートは当日回収いたします。 **【受講前の準備学習等】** ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・授業で学習した内容や配布資料、ワークシートなどを活用して復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**臨床心理学実習C**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	コバヤシ　ユキ 小林　由季 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	東京足立学習センター		**【その他（特記事項）】** 臨床心理学実習Ａ、Ｂ、Ｃは、難易度の違いによるものではありません。講師の違いによって、臨床心理学の関わりの多様性を学ぶことになります。 なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2689146
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ソノダ　アキヒト 園田　明人 静岡県立大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に、「実験者」及び「被験者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、３つの実験すべてについて、問題と目的、方法、結果、考察を含む「標準的レポート」を、授業終了後に作成して提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学と実験について
第2回 実験１「要求水準」の実施（実験者と被験者）
第3回 実験１の解説とデータ集計
第4回 統計解析の基礎とレポート作成について
第5回 実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施（被験者）
第6回 実験２の解説とデータ集計
第7回 実験３「運動技能学習におけるフィードバックの効果」の実施（実験者と被験者）
第8回 実験３の解説とデータ集計
【学生へのメッセージ】
授業時間外にも各自で集計・分析し、後日、３本のレポートを提出してもらいます。
一部の実験では、パソコンのキーボードで文字を入力し、素早く漢字変換できる必要があります。また、教室の大型スクリーンに投映される実験の刺激材料（黒文字）を視認できる必要があります。
基本的なパソコン操作（word, excel等）は習得されていることが望ましいでしょう。
第４回の講義時間（90分）と第８回の講義時間（45分）を均等配分（70分と65分に）する場合があります。
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続ができる方が望ましいです（実験ではネットは使いませんが、統計解析をする際に、インターネットへの接続が必要です）。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと、後日提出のレポートの評点により行います。
レポートは、Windowsで読み込めるWord形式のファイルで作成し、電子メールに添付し提出してもらいます。なお、レポートは、希望がある場合、気がついた点にコメントを付けて返却します。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
・端末にUSB Type-Aの差込口が必要です（変換アダプタでも可）。
２．OSの指定
・OSの種類は問いませんが、キーボードで日本語の入力（漢字変換）ができる必要があります。
３．ソフトのインストール
・Microsoft Excelが必要です。
・Microsoft Wordが必要です。
・PDFファイルを閲覧できるソフトウェアが必要です。
４．その他
・【アイマスク】実験で目隠しをするのに使用します。目隠しができるものを用意してください。
・USBメモリー（Type-A）で、Excelの集計用ファイルを配布します。
・マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	イコマ　シノブ 生駒　忍 川村学園女子大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD: Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種（鏡映描写、奥行き知覚、囚人のジレンマ）を行います。皆さんは原則として8回すべてに出席し、これらの実験に「実験者」及び「実験参加者」として参加します。そして、すべての実験に対して、それぞれレポートを作成し提出することになります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、心理学実験とは
第2回 心理学実験レポートの概説
第3回 鏡映描写（1）
第4回 鏡映描写（2）
第5回 奥行き知覚（1）
第6回 奥行き知覚（2）
第7回 囚人のジレンマ
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実習課題の内容については、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・レポート提出は電子メールで行います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学レポート・論文の書き方―演習課題から卒論まで（板口典弘・山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	イコマ　シノブ 生駒　忍 川村学園女子大学非常勤講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD: Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種（鏡映描写、奥行き知覚、囚人のジレンマ）を行います。皆さんは原則として8回すべてに出席し、これらの実験に「実験者」及び「実験参加者」として参加します。そして、すべての実験に対して、それぞれレポートを作成し提出することになります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、心理学実験とは
第2回 心理学実験レポートの概説
第3回 鏡映描写（1）
第4回 鏡映描写（2）
第5回 奥行き知覚（1）
第6回 奥行き知覚（2）
第7回 囚人のジレンマ
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実習課題の内容については、あらかじめ調べておく必要はありません。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・レポート提出は電子メールで行います。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・心理学レポート・論文の書き方―演習課題から卒論まで（板口典弘・山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2692317	授業概要	【授業内容】 知識情報基盤としての記録メディアの変遷について学びます。記録メディアを収集・保存して知識の組織化を図ってきた図書館の歴史も併せて学びます。まず、粘土板やパピルスといった古代のメディアから、羊皮紙、活版印刷等に至るまでの記録メディアを概観し、続いて古代から近代に及ぶ図書館の歩みを、記録メディアの収集と保存の観点から学びます。講義では一部映像資料も使う予定です。 【到達目標】 ・近代に至るまでの記録メディアの変遷について理解し、それぞれの特徴を説明することができる。 ・記録メディアを収集・保存してきた図書館の歴史について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンスと記録メディアの発展１：粘土板とパピルスを中心に 第2回 記録メディアの発展２：羊皮紙とコデックスを中心に 第3回 記録メディアの発展３：紙を中心に 第4回 古代の図書館：アレクサンドリア図書館 第5回 中世の図書館と写本 第6回 活版印刷と宗教改革 第7回 近代の図書館 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 身近な社会教育施設である図書館を「記録メディアの収集と保存」という視点で捉え直すことで、新たな側面を発見してください。なお、テーマによっては、予定回の次の回も延長して扱うことがあります。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況および試験（資料持ち込み可）の評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**記録メディアの収集保存**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ミゾウエ　チエコ 溝上　智恵子 筑波大学名誉教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692945	授業概要	【授業内容】 企業が成長戦略を実現する手法として企業買収・合併・提携（M&A）が注目されて久しいですが、講師（大手法律事務所、総合商社、ファンド傘下の事業会社）の経験を踏まえて、その全体像を平易に解説いたします。M&A現場の面白さとダイナミズムを少しでも体感いただくことを目指しており、（難解な専門知識の習得よりも）交渉術・コミュニケーション等のソフトスキルに重点を置きつつ、ロールプレイ・グループディスカッションなどを活用して受講生の皆様と一緒に作り上げていく授業にできればと考えておりますので、積極的に参加いただける方のご検討をお待ちしております。国際舞台で海外のプロフェッショナルと対峙していくために何ができるか、みんなで話し、考えてみましょう。 【到達目標】 ①海外企業とのM&Aを中心に、その全体像を理解することで、経済ニュース、企業分析などの理解を深めることができる。 ②海外企業との交渉、コミュニケーションに臨む際のフレームワークの基本を身に付けることができる。 【授業テーマ】 第1回 M&Aの全体像（海外企業とのM&Aを中心に） 第2回 M&Aのプロセス①（全体プロセス、デューデリジェンス、企業価値評価等） 第3回 M&Aのプロセス②（全体プロセス、デューデリジェンス、企業価値評価等） 第4回 M&Aの交渉①（交渉のフレームワーク、価格交渉、契約交渉等） 第5回 M&Aの交渉②（交渉のフレームワーク、価格交渉、契約交渉等） 第6回 M&A実行後の世界（PMI、合弁会社の経営等） 第7回 クロスボーダーM&Aを巡る諸論点 第8回 クロスボーダーM&Aを巡る諸論点、全体統括 【学生へのメッセージ】 特に海外企業とのM&Aに興味がある方は勿論、企業戦略をM&Aの観点から考えてみたい方、M&Aを切り口に海外のビジネスニュースをより理解したい方、海外企業との交渉スキルを上げたい方、知的好奇心が旺盛な方など歓迎です。 【受講前の準備学習等】 ご自身で興味がある企業を選んでいただき、その企業が海外でどのようなM&Aをしているか（日本企業が海外で行うM&Aに加えて、海外企業同士のM&Aでも構いません）、その背景は何か、どのような形で実行されたか、そのM&Aは成功したのかなどについて事前に調べて自分なりに考えてみてください。また、M&Aに関連して自分の興味があるトピックについて、事前にインターネット等で調べたり、書籍を読んでいただければと思います（参考図書に記載されたフレームワークは授業で適宜紹介いたします）。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**国際ビジネス （M&A入門）**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヤマダ　タカシゲ 山田　敬重 (株）ジャムコ　執行役員 Head of Global M&A		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・異文化理解力―相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養（エリン・メイヤー／英治出版／¥1,980／ISBN=9784862762085） ・ハーバード流交渉術 必ず「望む結果」を引き出せる!（ロジャー ・フィッシャー／三笠書房／¥1,430／ISBN=9784837957324） ・話す技術・聞く技術: ハーバードネゴシエーション・プロジェクト 交渉で最高の成果を引き出す「３つの会話」（ダグラス ストーン／日経BPマーケティング／¥1,760／ISBN=9784532318420）

科目コード	2692953
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**ドイツ文学と音楽2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ジロウマル　トモキ 次郎丸　智希 フェリス女学院大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
ドイツ、オーストリアの文化・歴史、文学者・作曲家の生涯に触れながら、芸術歌曲をはじめとする、ドイツ音楽と文学の魅力をひもときます。詩に内在するリズムや情感が、音楽の旋律、和声、リズムとどのように連関しているか、文学・音楽両面から解説します。少し朗読や演奏も体験していただき、実践と体感をともないながら学んでいきます。
【到達目標】
学生が、西洋音楽史・世界史の流れをふまえた上で、ドイツ文学と音楽の関係について例を挙げて説明・考察ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 中世ドイツの吟遊詩人　ミンネゼンガーからマイスタージンガーへ
第2回 ルターからバッハへ　宗教改革と受難曲の歴史
第3回 オラトリオの系譜　メサイアから天地創造へ
第4回 文豪ゲーテとドイツ音楽　　『ファウスト』の世界
第5回『少年の不思議な角笛』 ロマン派と民謡
第6回 詩人アイヒェンドルフ　ドイツの森と古城の風景
第7回 交響詩　『ツァラトゥストラはかく語りき』 ニーチェと音楽
第8回 メルヘンオペラ　『ヘンゼルとグレーテル』 の魅力
【学生へのメッセージ】
ドイツ語についての言及はしますが、特別な語学の知識は必要ありません。演奏される方、聴くのが好きな方、興味がある方、よくわからないけど気になる方、どなたでも受講歓迎です。
【受講前の準備学習等】
シラバス内容を基に、自分なりに音楽や文学全般に関心を広げ、最後のレポートに備えて授業の学修内容を消化し、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692961
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**フランス文学とキリスト教**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タナカ　タクゾウ 田中　琢三 お茶の水女子大学准教授
日程 実施時間	10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
フランスは伝統的にカトリックの国であり、中世から現代に至るまでキリスト教はフランス文学の重要なテーマのひとつであり続けています。キリスト教への理解なしにフランス文学を読むことは難しいと言っても過言ではないでしょう。本授業では、フランス文学の歴史をたどりながら、文学と宗教がどのような関係を取り結んできたのかを、政治面・社会面・思想面などさまざまな観点から考えたいと思います。
【到達目標】
フランス文学とキリスト教の関係について、政治面・社会面・思想面などさまざまな観点から説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：キリスト教とフランス文化
第2回 中世文学における信仰と恋愛
第3回 宗教改革とルネサンスの文学
第4回 古典主義文学における神
第5回 啓蒙思想家とカトリック教会
第6回 リアリズム文学における科学と宗教
第7回 20世紀の文学とキリスト教
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
フランス文学やフランス語に関する予備知識は特に必要ありません。授業を通じてキリスト教をひとつの土台とするフランスの文化に対する理解を深めてほしいと思います。第8回の講義後に簡単なレポートを作成・提出してもらいます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692970
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**しきたりの民俗学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ミヤウチ　タカヒサ 宮内　貴久 お茶の水女子大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
民俗学は、人々が伝承してきた生活文化を扱う学問です。民俗学の基礎的な知識や方法論を学んでいきます。また、通過儀礼と呼ばれる人生の節目に行われる産育、葬送儀礼を考察します。さらに墓と祖先祭祀を通じて、日本人の世界観を考察していきます。
【到達目標】
日本の人生の節目に行われる産育儀礼、葬送儀礼などさまざまなしきたりについて、その儀礼の意味を理解し説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 民俗学の位置づけ
第2回 国民文化と民族
第3回 山と海の生産
第4回 正月と盆
第5回 誕生儀礼
第6回 葬送儀礼
第7回 墓と祖先祭祀
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
民俗学の基礎的な知識と考え方を学んでください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
なお、これまで経験した年中行事や、初誕生、七五三、結婚式、葬式なども思い出してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本民俗学概論（宮田登・福田アジオ／吉川弘文館／¥2,640／ISBN=9784642071949）

科目コード	2692988
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**キリスト教音楽入門**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ナガハラ　ケイゾウ 永原　恵三 お茶の水女子大学名誉教授
日程 実施時間	11月19日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
この講義は、西洋音楽史の流れの中で、一つの大きな柱となっている、キリスト教の音楽について、典礼暦（教会暦）やカトリック教会のミサなどの基本的な知識を押さえながら、その多様な姿を考察します。次に、グレゴリオ聖歌の基本的知識を踏まえて、言葉と音との関係を考えます。続いて、16世紀のルネサンス様式、17世紀から18世紀のバロック様式、そして20世紀におけるキリスト教音楽について、カトリック教会を中心にして考えます。
【到達目標】
西洋音楽史の理解において重要な核となっているキリスト教音楽を、とくにカトリック教会の音楽の典礼暦やミサの流れについて理解し、楽曲の様式の側面からそれぞれの時代の音楽表現のあり方の違いを、言語表現によって的確に説明することができること。
【授業テーマ】
第1回 キリスト教の典礼暦（教会暦）
第2回 カトリック教会のミサ聖祭とミサ曲の構成
第3回 グレゴリオ聖歌の楽譜と演奏（基礎）
第4回 ルネサンス様式を代表する二人の作曲家：ジョスカン・デ・プレとパレストリーナのミサ曲
第5回 J.S.バッハによる二つの受難曲：《マタイ受難曲》と《ヨハネ受難曲》
第6回 G.F.ヘンデルの《メサイア》の全体構成とテキストにみる「死と復活」の考え方
第7回 20世紀フランスの作曲家デュリュフレの教会音楽とグレゴリオ聖歌
第8回 カトリック教会における第二バチカン公会議（1962～65）と教会音楽の変化
【学生へのメッセージ】
キリスト教を宗教的にどう考えるかは別として、人間の思考としての西洋音楽を考える場でありたいと思います。ラテン語、ドイツ語を習得している必要はありません。音楽については、日本の小中学校で学んだ程度の知識があれば十分です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。カトリック教会やキリスト教の基本的考え方は、「カトリック中央協議会」のサイトを活用してください。西洋音楽史については放送大学教材で津上、赤塚編『西洋音楽史』や、グラウト、パリスカ編『新西洋音楽史』（上中下）などを参考にしてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具など、ノートPCでもよい。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2692996	授業概要	【授業内容】 生と死に寄りそう歩みとは。人は「死」へ向かって生きる存在ですが、日常的に自覚することはあまりないかもしれません。しかし、誰しもに訪れる「死」の現実に、病気や愛する者との死別、介護、医療の場などで直面することがあります。「死」と向き合うことは、身体、心、他者との関係性など、個人のすべてに関わる作業です。講義では、それぞれのテーマの概念や論点を説明すると共に、具体的な事例を豊富に紹介します。 【到達目標】 自分らしく生き、死を迎えるために、死生学などの知識を得て、それぞれの死生観について知見を広げることができる。 【授業テーマ】 第1回「いのち」をどう考えるかー死生学とは 第2回 当事者であること 第3回 死への準備 第4回 看取りの哲学 第5回 終末期と宗教 第6回 自死をめぐって 第7回 悲嘆の作業（グリーフ・ワーク） 第8回 傷つきを語ることの意味と聴くことの経験 【学生へのメッセージ】 講義の最後に、講師との自由な討議の時間を設けます。出席者からの発言と共に作り上げていきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**生と死に寄りそう ー死生学の試み**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	マスダ　コト 増田　琴 日本キリスト教団主任牧師		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693003	授業概要	【授業内容】 歌舞伎は江戸時代に完成され、人形浄瑠璃や能・狂言など他分野から貪欲に題材を取り込みながら発展し、今日まで人気を集めてきました。男性が女性を演じる女方など、独自の進化を遂げた演技形態や演目の幅広さ、ストーリーの奇想天外さ、俳優の持つ卓越した技術など魅力は尽きません。この授業では歌舞伎の面白さを様々な角度から検証、提示していきたいと思います。 【到達目標】 歌舞伎の歴史を概観し、芸、俳優、戯曲の魅力を理解し、なぜこれまで広い範囲の人々に愛されてきたかを理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 歌舞伎の始まり（阿国歌舞伎から野郎歌舞伎へ） 第2回 役柄と演技（江戸歌舞伎と上方歌舞伎） 第3回 時代物と世話物 第4回 立役と女方 第5回 江戸時代の歌舞伎作者（鶴屋南北、河竹黙阿弥など） 第6回 新歌舞伎とはなにか（明治以降の作者たち・岡本綺堂、真山青果、坪内逍遥など） 第7回 俳優群像（江戸時代） 第8回 俳優群像（明治から現代まで） 【学生へのメッセージ】 歌舞伎は江戸時代の大衆芸能です。その楽しさを知っていただきたいと考えています。学んだ中から基礎的なところを中心にクイズのような形で小テストを行いたいと思います。 【受講前の準備学習等】 歌舞伎観劇の機会を、なるべく多く持ってください。劇場へいらっしゃれない方は、テレビの劇場中継などをご覧ください。 【成績評価の方法】 成績評価は総合的な学習状況のほか、小テストの評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**歌舞伎を極める**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コダマ　ショウコ 小玉　祥子 演劇評論／元毎日新聞社専門編集委員		
日程 実施時間	11月26日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月27日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693011
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**クラシック・ さらなる扉の中へ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ニシムラ　ユウ 西村　祐 音楽評論家／川崎市立看護大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
一口に「クラシック音楽」と言ってもその範囲は膨大で、人によって好きなジャンルや演奏家も様々です。しかし、好みの作品や演奏家のすぐ隣にも同じように素晴らしいものが存在し、それを知ることによってさらに音楽の世界が広がることがあります。この授業では、有名作品や演奏家ばかりではなく、その周辺の扉を開けて、音楽鑑賞の新しい部屋を探訪するための鍵を提示します。
授業はあえて専門的な領域には踏み込まず、深く楽しむ／知るための「入口」の提示です。専門的な知見を得ようとする場合は、別の機会を捉えるようにしてください。
【到達目標】
耳にしたり目にしたりしやすい音楽、自分の好みにこだわった作品だけでなく、その裏側や周辺に目を向けることで、閉鎖的にならずに音楽鑑賞の楽しみを広げることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 音画～「想像」させる音楽
第2回 室内楽の愉悦
第3回 作品における多様性～シリアス、遊び、引用
第4回 クラシック音楽にとっての編曲という概念
第5回 初めと終わり①～作曲家編
第6回 初めと終わり②～演奏家編
第7回 他の音楽ジャンルとの融合あるいは競合
第8回 おわりに
【学生へのメッセージ】
音楽を聴く／映像を観る時間が多くなります。慣れないと疲れが出てしまいますので、楽な服装でリラックスして受講してください。
【受講前の準備学習等】
楽器や声楽を習っていた、学生時代に吹奏楽を経験したことがあるなど、音楽の知識が少しでもあった方がより楽しめると思います。また授業内で質問にお答えする時間を多く取りますので、日頃から疑問に思っていることなどがあれば覚えておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出するレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693020	**授業概要**	**【授業内容】** 鎌倉幕府の出した裁許状（判決書）を中心に鎌倉時代の古文書を読みます。裁判となった紛争の具体像を分析することを通して、鎌倉時代の社会の様相を垣間見ることにしましょう。700年前の人びとの発想は今の私たちとはまったく異なりますが、意外に近しい面を発見するかもしれません。古文書を読むのが簡単とは申しませんが、どなたでも楽しめる授業をめざしています。予備知識は不要です。700年前の社会へのタイムトラベルを楽しんでください。 **【到達目標】** 鎌倉幕府の裁許状を使って鎌倉時代の社会を知るために、裁許状の構成を理解し、裁許状に何が書かれているかを的確に判断できるようにする。 **【授業テーマ】** 第1回 正和元年７月27日六波羅裁許状を読む 第2回 正和元年10月７日六波羅裁許状を読む 第3回 正和元年12月23日六波羅裁許状・正和２年２月２日六波羅裁許状を読む 第4回 正和２年５月27日六波羅裁許状を読む 第5回 正和２年７月27日六波羅裁許状を読む 第6回 正和２年８月７日六波羅裁許状を読む 第7回 正和２年12月２日六波羅裁許状を読む 第8回 正和３年８月27日六波羅裁許状を読む **【学生へのメッセージ】** 同じ題目で7回目の授業ですが、内容はまったく異なります。ライブWebで開講する「鎌倉幕府裁許状を読んでみよう11」、東京文京で開講する「鎌倉幕府の裁許状を読む15」、千葉で開講する「裁判から読み解く中世日本社会８」とも異なる内容で行います。はじめての方でもわかるように、やさしく講義します。以前の講義を受講した方もさらに楽しめるように努力します。 **【受講前の準備学習等】** 授業から触発された自己学習につとめてください。どのように自己学習を展開すればいいかは、授業のなかでいろいろお示しするようにいたします。ただし事前学習をしなければ理解できないような授業の展開の仕方はイタシマセン。その場で楽しめるように授業を展開します。そして授業に触発されて自分でいろいろ調べる楽しみを知ることによって、本当の学問が始まります。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**鎌倉時代の古文書を読む７**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	コンドウ　シゲカズ 近藤　成一 放送大学特任教授		
日程 実施時間	12月4日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月11日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月18日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月25日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具。３色ボールペンとかマーカーを用意していただくと便利かもしれません。必須ではありませんが。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・新版　古文書学入門（佐藤進一／法政大学出版局／¥3,630／ISBN=9784588320118） どうしても自習したい方のためにお示しします。受講するのに必須ではありません。 ・鎌倉幕府と朝廷（近藤成一／岩波書店／¥1,012／ISBN=9784004315803） 岩波新書「シリーズ日本中世史」全４冊の２冊目。第５章「裁判の世界」で鎌倉幕府の裁判制度と裁許状について概説しています。ただし受講の前提ではありませんので、読んでこなくて大丈夫です。

科目コード	2693038
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**ドイツ・ナチズムとホロコースト**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アナヤマ　アサコ 穴山　朝子 情報通信医学研究所主幹研究員
日程 実施時間	12月10日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月11日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
ドイツは政治、経済、文化分野で近代日本に大きな影響を及ぼしてきました。いまもドイツ哲学や音楽に親しみを抱く方は多いのではないでしょうか。しかしまたこの国は、20世紀の二度の世界大戦で主要な役割を演じ、その後も東西分断、再統一と困難な歴史をたどってきました。
本授業では、20世紀前半の「ナチズム」と、この独裁体制によるユダヤ人等大量虐殺「ホロコースト」、そしてそれが現在に至るまで国際社会に及ぼしてきた影響を考えつつ、ドイツ近現代史を体系的に学んでいきます。
【到達目標】
・現代社会でも度々議論の的となるドイツ・ナチズムについて、基礎的な知識を得ることができる。
・歴史的知識や歴史的観点を身につけることで、現代社会で起きている出来事やメディア情報について冷静な判断ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ドイツ近代社会と第一次世界大戦
第2回 1933年、ヒトラーの政権掌握について
第3回 ナチ政権下の人びととその日常生活
第4回 ナチズムの「人種主義」
第5回 第二次世界大戦への道
第6回 ユダヤ人問題の「最終的解決」
第7回 第二次世界大戦終結と二つのドイツ
第8回 戦後ドイツと現代世界の諸問題
【学生へのメッセージ】
・受講に際して特別な知識は必要ありませんが、本講義のテーマに真摯に向き合う姿勢を歓迎いたします。
・授業後に、授業で学んだ内容の中からお示しする論点について、レポートを作成して頂きます。
・本授業では戦争や暴力、テロに関する凄惨な場面を含む映像、音声、画像をお見せする場合があります。見ることは強制ではありませんし、都度必ず視聴前にお断りいたしますが、その点ご了承ください。
【受講前の準備学習等】
・現在、世界各地で起きている紛争や国際社会が直面している問題について、新聞やインターネット等メディアで流れる様々な報道を読み、国際情勢に関心を抱くよう心掛けておいてください。
・シラバスの内容をよく読んで頂ければと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693046
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**平安時代前期の政治と文化2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フルセ　ナツコ 古瀬　奈津子 お茶の水女子大学名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
近年、平安時代の歴史や文化に興味関心を持たれる方が増えているようです。平安時代というと、藤原道長に代表される摂関政治が思い起こされますが、それはどのようにして成立したのでしょうか。平安時代は約400年ありますが、本授業では、8世紀末から10世紀前半までのいわゆる平安時代前期の時代を取り上げて、政治の流れを追いながら、その仕組みや当時の社会や文化のあり方についても視野に入れ、日本という国の基盤がどのように築かれたのかを考察したいと思います。
【到達目標】
平安時代前期の歴史の流れと文化のあり方を理解し、それがどのように日本の社会や文化の基盤を形成したのかについて考察して説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 奈良時代から平安時代へ
第2回 嵯峨天皇と弘仁文化
第3回 天皇制の唐風化
第4回 文人派と平安前期の天皇
第5回 菅原道真と文人派の盛衰
第6回 蔵人所と内諸司使
第7回 藤原氏の后たちと摂関政治
第8回 摂関政治の開始
【学生へのメッセージ】
歴史学は暗記の学問ではありません。史料を読んで、自ら考察するものです。平安前期の史料を読んで、平安前期の政治や社会について考察し、歴史学の醍醐味を味わってください。また、授業終了後にはテストではなく、簡単なレポートを書いて後日提出していただきます（テーマや提出日等は授業の最終時間等にお知らせします）。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本古代王権と儀式（古瀬奈津子／吉川弘文館／¥15,400／ISBN=9784642042277）
・平安京遷都（シリーズ日本古代史⑤）（川尻秋生／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004312758）
・律令国家の転換と「日本」（日本の歴史05）（坂上康俊／講談社（学術文庫）／¥1,441／ISBN=9784062919050）

科目コード	2693054
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**明治期の〈毒婦物〉を読む**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タニグチ　サチヨ 谷口　幸代 お茶の水女子大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
仮名垣魯文の『高橋阿伝夜刃譚』（たかはしおでんやしゃものがたり）を例に取り上げ、明治文学における〈毒婦〉表象を読み解く授業です。幕末から明治期にかけて活躍した魯文は、〈毒婦〉と呼ばれた実在の女性犯罪者をモデルにこの作品を執筆しました。本授業では、初日は、魯文の経歴、題材となった事件の概要、当時のメディア状況、〈毒婦物〉というジャンルなど、『高橋阿伝夜刃譚』を読むための基礎的な事柄を学びます。二日目は、実際にテキストを精読し、本作で〈毒婦〉がどのように描かれたのか、ならびにその意味を考えます。
【到達目標】
仮名垣魯文の『高橋阿伝夜刃譚』の〈毒婦〉表象について、同時代のメディア状況や〈毒婦物〉というジャンルと関連づけて説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 仮名垣魯文の生涯
第2回 明治期のメディア状況
第3回〈毒婦物〉というジャンル
第4回 高橋阿伝の事件
第5回『高橋阿伝夜刃譚』(1)
第6回『高橋阿伝夜刃譚』(2)
第7回『高橋阿伝夜刃譚』(3)
第8回『高橋阿伝夜刃譚』(4)
【学生へのメッセージ】
筆記試験に際しては、講義中に各自が取ったノートと配布されたプリントのみ、持ち込み可とします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・明治戯作集（須田千里・岩田秀行校注／岩波書店／¥7,260／ISBN=9784002402093）
新日本古典文学大系 明治編９

科目コード	2693062
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**遊びを通して学ぶ 情報科学**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	40名
担当講師	ナカノ　ヨシアキ 中野　由章 電気通信大学大学院客員教授／ 工学院大学附属中学校・高等学校長
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【11月15日（日）第2時限のみ★学習センター付近の荒川河川敷（足立区千住）】で行います。

授業概要

【授業内容】
まず、パズルを解く感覚で「国際情報科学コンテスト ビーバーチャレンジ」の問題に挑戦してもらいます。次に、ニュージーランドのTim Bell博士らが考案し、世界中で実践されている「コンピュータ・サイエンス・アンプラグド」という教育手法に基づき、身体を動かしたりゲームをしてもらいます。これらの遊びを通してコンピュータの基礎となる情報科学を学びます。
２日目の最後に、大学入学共通テスト「情報」の一部を体験していただきます。（成績には反映しませんので安心してください）
なお、この授業では、コンピュータをまったく使いません。
【到達目標】
・情報科学のおもしろさを理解できる。
・情報科学の基本的な仕組みを理解できる。
・情報社会の基盤を理解できる。
・学ぶことの楽しさを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 国際情報科学コンテスト ビーバーチャレンジ
第2回 オセロ手品（エラー訂正）、点を数えろ（2進法）
第3回 メッセージ通信（文字表現）、FAXゲーム（画像表現）
第4回 ロボット操縦（プログラミング）
第5回 ロボット交番（支配集合）
第6回 宝島（状態遷移）
第7回 ジョニーを探せ!（情報量）
第8回 大学入学共通テスト「情報」に挑戦してみよう！
【学生へのメッセージ】
グループでゲームをしながら学習しますので、他の学生と積極的に交流することになります。
【受講前の準備学習等】
身の周りにあるコンピュータや情報システムの仕組みについて、不思議に思うことなどを具体的に考えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆（シャープペンシル）、消しゴム
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
座席は指定します。
他の学生とグループをつくって、ディスカッションしながら協働して課題に取り組んでいただきます。（講義を聴くという形式ではありません。）
体を動かすアクティビティがいくつもあります。また、屋外に出て活動するものもあります。動きやすい靴や服装で出席してください。「宝島（状態遷移）」は、学習センター近くの、荒川河川敷で行いますが、天候によっては実施時間帯を変更したり、場所を屋内に変更する場合があります。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入者の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧(P.5参照)）

科目コード	2693070
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**プログラミング言語 各種詰め合せ**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	ナカノ　ヨシアキ 中野　由章 電気通信大学大学院客員教授／ 工学院大学附属中学校・高等学校長
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

小学校からプログラミング教育が行われていることはご存知だと思います。また、大学入学共通テストでも「情報」が出題されています。そう、今、プログラミングはブームになっています！そのプログラミング言語にはさまざまなものがあります。この授業では、「アルゴロジック」「ヒトグラミング」「ピクトグラミング」「ドリトル」「Scratch（スクラッチ）」など、いろいろなプログラミング言語を体験します。
【到達目標】
・プログラミング言語の特徴を、自然言語と対比して理解できる。
・プログラミングの可能性と限界を理解できる。
・プログラミングによって、イメージしたものを具現化できる。
・プログラミングのおもしろさを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 アルゴロジック（プログラミング体験ゲーム）
第2回 ヒトグラミング（人の動きをプログラミングしてみよう！）
第3回 ピクトグラミング（人型ピクトグラムを動かそう！）
第4回 ピクトグラミング作品発表会
第5回 ドリトル（日本語オブジェクト指向プログラミング）
第6回 ドリトル作品発表会
第7回 Scratch（ゲームやアニメーションをつくってみよう！）
第8回 Scratch作品発表会
【学生へのメッセージ】
パソコンのキーボードで日本語入力ができることを条件とします。
レポートも課しますが、実習の取り組み状況と作品を中心に評価を行います。
プログラミングの楽しさを実感していただきたいと思っています。
【受講前の準備学習等】
パソコンのインターネット接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムは最新のものを適用してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコン（種類は問いません。タブレットの場合はキーボード必須。）
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）
3．ソフトのインストール
　ChromeやSafariやEdgeなどのwebブラウザが必要
4．その他
　最新バージョンのものを使用してください
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
座席は指定します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご注意ください。

科目コード	2693089
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**微分積分と差分和分**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イシザキ　カツヤ 石崎　克也 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
自然科学の中では微分方程式で記述される現象もあれば差分方程式で記述されるものもあります。しかしながら、差分法はあまり高等学校や大学初年時教育では登場しません。
この講義では、微分積分学で登場する基本的な公式から始めます。微分法の公式に対応させながら差分法の公式を学習していきます。差分法の逆演算として和分法を導入していきます。
これら知識から差分方程式が解けるようになると、数理モデルへ応用できるようになります。
【到達目標】
微分法・積分法の基礎を復習して、差分法・和分法が理解できるようになる。これらの知識を差分方程式の解法や離散数理モデルの取り扱いに応用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 微分積分の公式
第2回 数列の漸化式
第3回 差分の性質（一般論）
第4回 差分の性質（各論）
第5回 和分の性質（一般論）
第6回 和分の性質（各論）
第7回 差分方程式
第8回 数理モデルへの応用
【学生へのメッセージ】
微分法の学習では、まず極限の勉強からしました。微分係数の定義で必要とするからです。差分の定義ではそれを必要としません。できるだけわかりやすく解説をする予定ですので、一緒に勉強いたしましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具・ノートなど
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693097
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**健康を支える細胞**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ミヤモト　ヤスノリ 宮本　泰則 元お茶の水女子大学教授　放送大学客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
我々の体は、37兆２千億個もの細胞が集まり、我々の体を作り上げています。細胞は、コラーゲン・ヒアルロン酸などの体を支える物質を作ったり、病原菌などから我々の体を守っています。しかしその細胞も老化したり、“がん”になったり、病気を引き起こすことがあります。このようなはたらきを担う細胞がどのようなものかを理解するための顕微鏡観察の実習を行います。いかに細胞が動的なものであるかを実感していただければと思います。このような講義および実習を行い、細胞がどのように健康を支えているのかをわかりやすく学びます。
【到達目標】
我々の体を構成する細胞について、細胞を実際に観察することを通し、細胞がどのようなものかの知識を踏まえ、我々の健康を支えていることを的確に理解ができる。
【授業テーマ】
第1回 健康を支える細胞の姿
第2回 健康を支えるコラーゲン・ヒアルロン酸
第3回 細胞の形の変化を見る（実習）
第4回 細胞の形が変わるしくみ（実習・講義）
第5回 健康を守る免疫
第6回 がんと細胞
第7回 老化と細胞
第8回 健康を支える細胞（まとめ）
【学生へのメッセージ】
私たちを形作る細胞に関する現代生物学の基礎についてわかりやすく講義をしたいと思います。加えて、細胞を顕微鏡を用いて観察する実習を行います。細胞についての理解を深めていただければと期待しています。また、積極的な質問を歓迎します。第８回の講義後にレポート課題を出しますので、その場にてレポートを作成して提出していただきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
講義や実習に関する内容についての資料を配布しますので、筆記用具のみを用意してください。また、実習を行いますので、動きやすい服装、靴でお越しください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693100
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**微粒子の気候影響**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	モリ　タツヒロ 森　樹大 慶應義塾大学理工学部応用化学科専任助教／東京理科大学ウォーターフロンティア研究センター客員研究員
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

二酸化炭素などの温室効果気体の増加により地球の温暖化が進んでいるのはご存知だと思います。大気中には気体のほかに液体や固体の微粒子が浮かんでいます。よく知られているPM2.5も大気中に浮遊する微粒子ですが、これらの微粒子は健康に影響するだけではなく、気候へも影響します。この授業では、最新の観測データの紹介に加え、実験も取り入れながら、微粒子が気候に及ぼす影響について解説していきます。大気と微粒子について正しく理解し、微粒子の気候影響について一緒に学びましょう。
【到達目標】
地球の温暖化について現状、気象の基礎、微粒子の性質・気候影響、温暖化の対策について理解し、説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに　地球温暖化の現状
第2回 大気の組成と鉛直構造
第3回 大気の熱力学と放射
第4回 大気の力学と輸送
第5回 微粒子の物理と化学1
第6回 微粒子の物理と化学2
第7回 微粒子の気候影響
第8回 まとめ　私たちにできること
【学生へのメッセージ】
地球温暖化はとても関心のある話題だと思います。正しい知識を身につけ、どのような対策ができるか考えましょう。第2回、第4回、第6回の最後に、理解の確認のための小テストを行います。
【受講前の準備学習等】
日頃から、地球環境問題に関する情報を新聞やネットから得るように心がけましょう。
初日に講義資料を配布しますので、その日の復習と翌日の予習をしましょう。
本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
3．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・越境大気汚染の物理と化学　3訂版（藤田慎一、三浦和彦ほか／成山堂書店／¥3,300／ISBN=9784425513642）
・みんなが知りたいPM2.5の疑問25（畠山史郎、三浦和彦編著／成山堂書店／¥1,760／ISBN=9784425513710）
・雲の物理とエアロゾル（近藤豊、小池真／東京大学出版会／¥4,950／ISBN=9784130627313）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2693119
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**細胞を覗く：一歩踏み込む顕微鏡**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	モガミ　ヨシヒロ 最上　善広 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
細胞を覗くための道具となる光学顕微鏡について、その原理と操作法を確認するとともに、高度な光学技術を用いた顕微鏡について説明します。加えて、細胞内部の可視化向上を目指し、既存の顕微鏡のカスタマイズ（改造）を行い、通常では観察が難しい細胞の構造やダイナミクスを観察します。
※材料の都合により、実習内容が変更される場合があります。
【到達目標】
光学顕微鏡の原理と操作方法に習熟し、細胞内の構造やダイナミクスのより高精度での観察が可能となるようにカスタマイズができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 顕微鏡の機構と操作法の解説
第2回 色々な顕微鏡の紹介
第3回 偏光顕微鏡に改造
第4回 細胞内の結晶構造を見る
第5回 暗視野顕微鏡に改造
第6回 細胞内部のダイナミクスを見る
第7回 分解能の理解と偏射照明の導入
第8回 細胞微細構造の観察／授業レポート作成指導
【学生へのメッセージ】
生物学の基本ツールである顕微鏡をカスタマイズしてみましょう。その操作を通じて光学顕微鏡の理論やメカニズムのより深い理解を目指します。
【受講前の準備学習等】
受講にあたっては、「細胞のダイナミクスを覗く（東京足立学習センター開講の面接授業科目）」等を受講し、顕微鏡の操作を経験していることが望ましい。事前配布のテキストを読み、記載された専門用語への理解を深めておくこと。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業に先だってメール等で配付するテキスト（電子媒体か印刷媒体のいずれか）
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】
授業に先だってテキストをメール等で配付します。
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入者の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧 P.5参照)

科目コード	2693127
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**生物に学ぶものづくり**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	フジカワ　タロウ 藤川　太郎 東京電機大学准教授 カマミチ　ノリヒロ 釜道　紀浩 東京電機大学教授
日程 実施時間	12月4日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【12月5日（土）3、4時限のみ、★東京電機大学東京 千住キャンパス（東京都足立区千住旭町5番）】で行います。

授業概要

【授業内容】
身の回りには、生物のもつ構造や機能を取り入れた製品が数多く存在します。本講義では、その技術である「バイオミメティクス（生物模倣技術）」について学びます。前半は、実際の製品などを例に挙げ、生物のどのような構造・機能が応用されているのかを説明します。後半は、動物や昆虫などをモデルとした最新のロボット技術を紹介し、生物のもつ能力について工学的に明らかにしていきます。
【到達目標】
「バイオミメティクス」がどのような技術であるのかを理解し、説明できる。
生物の構造や動きを工学的な視点からみることができる。
【授業テーマ】
第1回 バイオミメティクス：生物の形や仕組み、動きに学ぶ新しい技術（釜道）
第2回 素材と構造：生物表面の機能性に学ぶ（釜道）
第3回 設計とものづくり：生物の構造やメカニズムに学ぶ（藤川）
第4回 ロボットへの応用１：生物の歩行、ほふく動作に学ぶ（釜道）
第5回 ロボットへの応用２：生物の遊泳、飛行動作に学ぶ（藤川）
第6回 知能と学習：生物の進化や生態に学ぶ（藤川）
第7回 東京電機大学のロボット系研究室見学（藤川）
第8回 生物とテクノロジーの未来（藤川）
【学生へのメッセージ】
生物を工学的な視点から眺めると新たな発見と技術が生まれます。本講義がこのような技術を学びはじめる際の一助となれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は総合的な学習状況のほか、レポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2017年度第２学期「バイオミメティクス」の内容と重複があります。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入者の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧 (P.5参照))

科目コード	2693135
学習センター	東京足立学習センター
学習センターコード	13C
クラスコード	K
科目名	**科学技術の失敗を考える**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	40名
担当講師	ジュラク　コウタ 寿楽　浩太 東京電機大学教授
日程 実施時間	10月22日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 10月23日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 11月13日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35
実施会場	東京足立学習センター

授業概要

【授業内容】
科学技術の歴史は失敗の克服の歴史でもあります。失敗から真摯に学ぶことが技術の展開、社会の発展の大きな原動力ともなってきたことは言うまでもありません。
他方で、同型の失敗が繰り返されたり、失敗により人命や健康、環境などに取り返しのつかない被害が生じたりすることは、誰もが避けたいと思うことです。
本科目では、主に工学と社会科学をまたぐ学際的な観点から、科学技術の失敗とそこからの学びの様々な側面について考えます。将来の失敗を防ぎ、あるいは失敗と向き合う術を見いだしていきましょう。

【到達目標】
・適切な「失敗からの学び」が科学技術と社会にとって持つ意義を踏まえ、工学と人文・社会科学にまたがる学際的なアプローチとその利害得失を説明できる。
・現代の科学技術の失敗が「事故」となった場合に生じる被害とそれが引き起こす社会的相克を緩和するため、当事者に寄り添いつつ「失敗からの学び」を果たすための具体的な配慮ができる。
・これらを活かして、社会の一員として科学技術の失敗の原因を見きわめ、解決するための具体的な方途を見い出すことができる。

【授業テーマ】
第1回「科学技術の失敗から学ぶ」ことの意義
第2回 あちらを立てればこちらが立たず：現代的な失敗の困難
第3回 何が科学技術の失敗を防ぐのか：組織文化への着目
第4回 防げる事故と防げない事故：「定常事故」論が教えること
第5回 よい人がつくる災厄：「逸脱の常態化」の怖さ
第6回 科学技術の事故からの学びと社会的相克
第7回 想定外をどうするか：「レジリエンス」の考え方
第8回 まとめ：これからの科学技術の失敗とどう向き合うか

【学生へのメッセージ】
◎指定の教科書を全員必ず各自で事前に入手し、授業に忘れずに持参してください。必須です。教科書を持参しないと授業中の学習に著しい支障を生じることになりますが、その場合でも特別な配慮はできません。
◎担当教員は、科学技術と社会の関係を考える「科学技術社会論」の研究に、特に社会学の見地から取り組んで来ました。本科目は、「科学技術の失敗」を切り口にしていますが、皆さんが広く科学技術と社会の関係全体を考えるきっかけになれば幸いです。
◎本科目は科目の性質上、事故や災害などの災厄を取り上げます。学習を通して触れる被害の実相に心を大きく揺さぶられることも考えられます。不安がある場合には担当教員に相談してください。

【受講前の準備学習等】
まず、事前学習として、指定教科書を通読して科目の学習全体のあらましを把握してください。
授業開始後も、事前・事後学習として、興味を持った事例や考え方については、教科書に挙示されている参考文献をはじめとする各種資料を参照するようにしてください。
また、科学技術の失敗は日々、様々な場面で生じ、報道や関係資料もたくさん出されています。それらに関心を寄せ、事例の詳細、原因の分析、なされた対策、そして人びとの反応などについて自ら調査することも有益な事前・事後学習となりますので、積極的に取り組んでください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
◎指定の教科書を全員必ず各自で事前に入手し、授業に忘れずに持参してください。必須です。教科書を持参しないと授業中の学習に著しい支障を生じることになりますが、その場合でも特別な配慮はできません。
○PCやタブレット端末、スマートフォンをお持ちの方は、持参すれば授業中の学習に役立ててもらえると思います。

【教科書】
・科学技術の失敗から学ぶということ：リスクとレジリエンスの時代に向けて
（寿楽浩太／オーム社／¥1,980／ISBN=9784274225666）
◎全員必ず各自で事前に入手し、授業に忘れずに持参してください。必須です。教科書を持参しないと授業中の学習に著しい支障を生じることになりますが、その場合でも特別な配慮はできません。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2693143	授業概要	【授業内容】 荒川は秩父山地から発し首都圏域に注ぐ、治水と利水の上で極めて重要な河川です。同時に荒川流域の自然環境は私たち人類の生活基盤であり、これを守っていく必要があります。本科目は、埼玉県内を流れる中流域をおもな対象として、ⅰ）治水の変遷、ⅱ）自然再生事業、ⅲ）市民・行政によるサクラソウ保全活動、ⅳ）水質状況を概説します。最後に、荒川とその流域をどのように関わるべきか、現在の環境・社会問題を背景に考えていきます。 【到達目標】 荒川中流域における治水の重要性を理解するとともに、持続的な流域環境保全の仕組みと課題について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 緒言および荒川流域概説 第2回 荒川中流部の治水の変遷 第3回 荒川中流部の自然環境および生態系 第4回 水質概説 第5回 自然再生事業 第6回 市民・行政・民間による保全活動 第7回 市民・行政・民間による保全活動 第8回 総合討論および課題 【学生へのメッセージ】 様々な視点から荒川を見つめます。治水事業と自然再生事業について紹介し、私たちが荒川流域とどのように向き合うかを考える機会となれば幸いです。最後にレポートを書いて頂きます。 【受講前の準備学習等】 事前学習：初回に「荒川のどういう部分に興味があるか」を尋ねます。 事後学習：荒川の総合治水や環境保全についてさらなる課題を見つけてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京足立学習センター		
学習センターコード	13C		
クラスコード	K		
科目名	**荒川流域の環境と保全・管理**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	410		
定員	40名		
担当講師	フジノ　タケシ 藤野　毅 埼玉大学教授		
日程 実施時間	11月5日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京足立学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2693151	**授業概要**	**【授業内容】** 主に初めてインドネシア語を学ぶ人を対象とした基礎的な会話の授業です。旅行や日常生活ですぐに使える簡単な会話表現を学びながら、インドネシア語の文の基本的な成り立ちを知り、同時に、人々の暮らしや社会の様子にも触れていきます。インドネシア語はローマ文字を用い、発音や文法も学びやすい言葉です。気軽に挑戦してみてください。 **【到達目標】** ・旅行や日常生活の場面で必要な基本的な挨拶や自己紹介ができる。 ・買い物や食事の場面で簡単なやり取りができる。 ・インドネシア語の短い文を作ることができる。 ・インドネシア語の発音規則を理解し、正しく発音できる。 ・授業で扱った会話表現を使い、ロールプレイで場面に応じたやり取りができる。 **【授業テーマ】** 第1回 インドネシア語の特徴、発音、あいさつ 第2回 挨拶と自己紹介 第3回 買い物の会話 第4回 食事の場面 第5回 道案内と交通 第6回 宿泊と旅行 第7回 日常生活の会話 第8回 まとめと文化理解 **【学生へのメッセージ】** 本授業は初学者対象の基礎的インドネシア語会話科目です。旅行や日常生活で役立つ表現を学びます。経験者は易しく感じる場合がありますが、初心者の学習を尊重し進度にご理解ください。 **【受講前の準備学習等】** ・事前学習として、授業で扱う会話場面（挨拶・買い物・食事など）に関連する基本語彙や表現をインターネットや参考書で調べ、予習に努めてください。 ・事後学習では授業内容を復習し、演習問題やロールプレイを繰り返し練習して理解を深め、次回授業に備えてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**インドネシア語初歩B：会話**		
科目区分	基盤科目：外国語		**【受講者が当日用意するもの】** 持っている参考書を持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	110		
定員	30名		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
担当講師	ミヤ・ドゥイ・ロスティカ ミヤ・ドゥイ・ロスティカ 大東文化大学准教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:00 試験・レポート等　13:00～13:05 第3時限　14:05～15:30 試験・レポート等　15:30～15:35 第4時限　15:50～17:15 試験・レポート等　17:15～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:15 試験・レポート等　11:15～11:20 第2時限　11:35～13:00 試験・レポート等　13:00～13:05 第3時限　14:05～15:30 試験・レポート等　15:30～15:35 第4時限　15:50～17:05 試験・レポート等　17:05～17:20		
実施会場	東京多摩学習センター		

科目コード	2693160
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**フランス語初歩A：言葉に出会う**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	カンダ　コウイチ 神田　浩一 一橋大学非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～12:55 試験・レポート等　12:55～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～12:55 試験・レポート等　12:55～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:55 試験・レポート等　16:55～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、初めてフランス語を学ぶ方、あるいは以前に学んだことはあるものの、その知識が忘却の彼方にある方を対象とします。フランス語文法の初歩を学びながら、フランス語の特徴とそれを生み出すフランス人の物の考え方を理解していきます。授業では、フランス語の音の特徴とそれをどのように表記していくかという規則から始まり、初歩的な文法知識を学んでいきます。フランス語の言葉の仕組みを学んでいきたいと思います。
【到達目標】
フランス語の初級文法の基礎を理解し、おおまかな見取り図が描けるようになる。また、つづり字と音の関係を理解し、正確に発音できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 耳をすませば。　フランス語の音の特徴
第2回 文字と音の複雑な関係。　あいさつしてみよう
第3回 なぜ女と男なのか？　名詞の性と数・冠詞
第4回 なぜ形を変えるのか？　厄介な形容詞
第5回 あるか？　持つか？　etreとavoir
第6回 パッカマラッド？　否定文の面倒臭さ
第7回 ３つの疑問の形。　疑問文について
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
フランス語の仕組み（文法）について学びます。なぜそのような規則になるのかを考えると身につきやすくなります。気になることは積極的に講師に質問を投げかけてください。
【受講前の準備学習等】
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！』という参考書がおすすめです。
フランス語の綴り字と発音の関係、名詞、形容詞、否定文、疑問文、動詞の活用について前もって学習しておいてください。少しでも予備知識があると余裕を持って受講できると思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートと筆記用具とフランス語を学ぼうという意欲。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！［改訂新版］（清岡智比古／白水社／¥1,760／ISBN=9784560088517）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
「フランス語初歩」は「言葉に出会う」「会話を楽しむ」「文化を旅する」の３科目で構成され、いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2692015	**授業概要**	**【授業内容】** この授業は東京文京学習センターと東京多摩学習センターを Zoom で繋いで行うハイフレックス型の授業です。放送授業「グローバル時代の英語」を補完・発展する授業です。放送授業の主任講師3名が授業を担当し、グローバル英語を聞くこと、話すこと、そして書くことを重点に実習します。授業の教室で Zoom に繋いで実際のグローバル英語の使い手たちとのやりとりを行ったり、グローバル英語を用いてご自身で発信することなどを体験していただきたいと思っています。実習型の授業ですので、耳・口・手・目などを積極的に使って参加してください。 **【到達目標】** ・講義を聞き、その内容についてグローバル英語で質疑応答できるようになる。 ・グローバル英語を用いてグループ討議を行い、その結果をグローバル英語でプレゼンテーションできるようになる。 ・グローバル英語を用いてインタビューを行い、取材した内容をグローバル英語で記述できるようになる。 ・グローバル英語を積極的に使う態度をもてるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 グローバル英語で紹介文を書いてみよう 第2回 グローバル英語で自己紹介や他己紹介をしてみよう 第3回 コリンズ先生のレクチャーを聞こう 第4回 グローバル時代の英語についてディスカッションをしよう 第5回 グローバル英語で3分間プレゼンテーションと質疑応答をしてみよう 第6回 ハーブ・フォンデヴィリヤ先生のレクチャーで質疑応答してみよう 第7回 ゲストにグローバル英語でインタビューしてみよう 第8回 グローバル時代の英語について語ろう **【学生へのメッセージ】** 怖がらずに積極的に参加してください。英語を話すことが苦手だと感じている人や、英語を話す機会がいままで少なかった方の参加を特に歓迎します。 **【受講前の準備学習等】** 受講者は放送授業「グローバル時代の英語」を履修済みと想定して授業を進めます。履修されていない方は事前に放送授業のインターネット配信や印刷教材を利用して自習しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みへの評価と、授業内で行うプレゼンテーションやレポート作成の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**「グローバル時代の英語」演習**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	130		
定員	15名		
担当講師	オオハシ　リエ 大橋　理枝 放送大学教授 ミヤモト　ヨウイチロウ 宮本　陽一郎 放送大学特任教授 クリスティ　コリンズ Kristie Collins 麗澤大学准教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京多摩学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 英英辞書、筆記用具、教科書、ノート **【教科書】** ・グローバル時代の英語（宮本陽一郎、大橋理枝、クリスティ・コリンズ／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595323584） 放送授業の印刷教材です。この面接授業でも使用します（必携）。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 受講者は放送授業「グローバル時代の英語」を履修済みと想定して授業を進めます。履修されていない方は事前に放送授業のインターネット配信や印刷教材を利用して自習しておいてください。授業のなかで、英語による自己紹介と「2030年の日本の英語教育」をテーマとした英語プレゼンテーションをしていただくので、準備をしておいてください。

科目コード	2693178
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**韓国の文化とコミュニケーション**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	オギノ　チヒロ 荻野　千尋 東京女子大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、韓国や韓国語への関心がある方なら誰でも受講できる教養講座です。具体的には、食文化の中でも「構内食堂」にフォーカスを当て、韓国で暮らす様々な立場の人々が、毎日どのようなものを食べているのかを映像や資料を通じて細かく見て行きます。「構内食堂」が持つ役割や食堂をとりまく人々の想いを目で見て感じてみましょう。韓国料理や食材等で使われる韓国語の語彙や表現等の学習ばかりでなく、韓国の食文化やことばの背景となる韓国社会への理解がより一層深まるかもしれません。
【到達目標】
・韓国で食事をする際、よく使われる簡単な挨拶表現を言えるようになる。
・基本的な韓国料理や食材に関する語彙や表現を理解し、実際の場面で使えるようになる。
・韓国料理や食文化に対する理解が広がるようになる。
【授業テーマ】
第1回 構内食堂①：一般企業の社員を支える韓国食
第2回 構内食堂②：公務員を支える韓国食
第3回 構内食堂③：肉体労働を支える韓国食
第4回 構内食堂④：スポーツ選手を支える韓国食
第5回 構内食堂⑤：施設の利用者を支える韓国食
第6回 構内食堂⑥：大学生を支える韓国食
第7回 まとめ①：韓国料理と現代の食文化
第8回 まとめ②：日本との比較
【学生へのメッセージ】
ハングル文字や韓国語の文法に自信のない方でも気軽に参加してみて下さい。韓国や韓国語への理解がより深まり、さらなる深い学びを続けたいという学習意欲が湧いてくると思います。
【受講前の準備学習等】
・韓国料理にはどんなものがあるのか、事前にインターネット等で調べておいてください。
・日本の食文化の中でも、「現代の食生活」について、自分の過去（給食の経験等）や現在の体験（普段の食生活）をもとに自分の考えを事前にまとめておいてください。
・授業で学修した内容、授業中に配布した講義資料を活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートや筆記道具（ノートパソコンやタブレット等も可）は各自持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693186	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、東南アジアのタイ王国で公用語として使用されているタイ語（中央タイ語・標準タイ語）を学びます。対象は、タイ語を初めて学ぶ方とします。基本的には、タイ文字ではなく発音記号を使用して、タイ語のかんたんな会話や文章を理解できるようにします。タイ文化、タイ社会、タイ文字についても、可能な範囲で概説する予定です。 **【到達目標】** 1．タイ語の基本的な発音と文法規則を理解する。 2．平易なタイ語の文を聞き取れるようになる（たとえば、挨拶、自己紹介、好きなものや希望を伝える、かんたんな疑問文など。以下同）。 3．平易なタイ語の文を自分で作れるようになる。 4．相手とともに平易なタイ語の会話を行うことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 タイ語の基礎、発音と声調、基本的な文の作り方 第2回 複合語、形容詞の使い方 第3回 好きなものを説明する 第4回 動詞と動詞句、希望を伝える 第5回 職業・状態などを伝える、名前を伝える、存在の動詞 第6回 数字、類別詞 第7回 時間・日付、予定を伝える 第8回 曜日、人を誘う **【学生へのメッセージ】** タイ語に限らず、語学の学習は蓄積がものを言います。お忙しいとは思いますが、復習として、教科書の練習問題をきちんと解いておくことと、音声を聴取して、リスニングと音読の練習をしておくことを強く推奨します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。教科書の該当範囲についてあらかじめ読んでおいていただけると、授業での理解が深まります。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**タイ語入門**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	フクトミ　ショウ 福冨　渉 青山学院大学／神田外語大学非常勤講師		**【受講者が当日用意するもの】** 教科書、筆記用具 **【教科書】** ・ひとりで学べるタイ語レッスン（中島マリン、ナタヤ・ヤマカノン・リンチ／めこん／¥2,750／ISBN=9784839603007） **【参考書】** ・改訂版 キクタンタイ語【入門編】（上原みどりこ／アルク／¥2,200／ISBN=9784757442955） 独習を進めたい方向けの単語帳です（講義では使用しません）。
日程 実施時間	11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月27日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 12月4日(金) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 授業の進度は、受講者の理解度にあわせて調整いたします。
実施会場	東京多摩学習センター		

科目コード	2693194
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**イタリア語初級：1歩前進**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	30名
担当講師	オカダ　ユミコ 岡田　由美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:25 試験・レポート等　15:25～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第2時限　11:35～12:55 試験・レポート等　12:55～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:10 試験・レポート等　17:10～17:20 12月12日(土) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:20 試験・レポート等　15:20～15:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
イタリア語の初歩から一歩前進して、動詞を使っていろいろな場面の会話を楽しむことを目指します。もちろん初めてイタリア語に触れる方も参加可能です。イタリア語の初歩をざっと復習してから、新しい表現を増やしましょう。
【到達目標】
日常の生活で使うイタリア語の表現を覚えて、様々な場面での会話ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 初歩の復習１：Unità 1 文字、発音、名詞単数形と性、あいさつ
Unità 2 ～である（動詞essere）
第2回 初歩の復習２：Unità 3 定冠詞と不定冠詞、名詞複数形
Unità 4 ～歳である（動詞avere）
第3回 Unità 5 自分について話そう：～に住んでいる（動詞abitare）、～で働いている（動詞lavorare）
第4回 Unità 5 自分について話そう：家族は～人いる
第5回 Unità 6 余暇の過ごし方：～と会う（動詞vedere）、読書する（動詞leggere）
第6回 Unità 6 余暇の過ごし方：～するのが好きだ（mi piace ～/ti piace ～）
第7回 Unità 7 週末について話そう：～に行く（動詞andare）
第8回 Unità 7 週末について話そう：～する予定だ（動詞dovere）
【学生へのメッセージ】
授業で習った表現が自然と出てくるように、繰り返し発音しよう。
休み時間にクラスメイトと会話しよう。
【受講前の準備学習等】
教科書の出版社ホームページで音声がダウンロードできるので、確認し、繰り返し発音してください。
授業で習った表現がすらすら言えるように復習をしてください。
スペルも間違えないように書き取りも行ってください。
【成績評価の方法】
授業2回目、4回目、6回目、8回目の終了時に各10分～15分間の小テストを行います。
成績評価は、小テストと授業中の学習状況により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、筆記用具
【教科書】
・Allora（鈴木マリア／白水社／¥2,420／ISBN=9784560017661）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693208
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**サンスクリット語初級B**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	30名
担当講師	ワダ　ユウゲン 和田　悠元 駒澤大学禅研究所研究員
日程 実施時間	12月11日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月18日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月25日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月8日(金) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業はインド哲学や仏教を始めとするインド思想の原典読解に必要不可欠な言語であるサンスクリット語（梵語）の初級篇「サンスクリット語初級A」の続篇として、サンスクリット語の動詞活用（conjugation）を学びます。またサンスクリット語読解において重要な要素である複合語（compound）についても概説します。教科書には巻末に簡易的な梵和辞典とも言うべき「語彙」を含む定評あるゴンダの『サンスクリット語初等文法』を用います。
【到達目標】
学生はサンスクリット語の適切な動詞活用、及び複合語の仕組みが理解出来るようになる。
【授業テーマ】
第1回 動詞概説
第2回 現在語幹
第3回 未来・アオリスト
第4回 完了・受動態
第5回 使役動詞・意欲動詞・強意動詞
第6回 準動詞
第7回 複合語
第8回 総復習
【学生へのメッセージ】
・本授業は「サンスクリット語初級A」を履修した方向けの授業です。未履修の方は教科書の音論（pp.9-20）及び名詞曲用（pp.21-45）に習熟している必要があります。
・サンスクリット語修得の道は容易ではありませんが、基礎的事項の着実な積み重ねてを通して会得を目指してください。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容や教科書の練習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。第3回・第5回・第7回では学習深度の確認のため、輪読形式あるいは小テストで予め指示した練習問題に解答してもらいます（履修者の人数による）。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・サンスクリット語初等文法（J・ゴンダ／春秋社／¥2,670／ISBN=9784393101087）
【参考書】
・サンスクリット文法（辻直四郎／岩波書店／¥3,520／ISBN=9784000202220）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693216	**授業概要**	**【授業内容】** 本講座は英語リスニングの基礎力養成を目的とします。英語を聴くのみならず、自らが発音練習に取り組み、さらには音読やディクテーション（聞こえた音を書き取る作業）といった練習も授業で取り組みます。リスニング力の向上には、語彙力の強化、英語特有の音を認識し、丁寧に聞くといった繰り返し作業が必要です。これから先、英語を学び続けていきたいという方々を対象とした授業です。また理解力を促進させるため、必要に応じて文法や語彙に関する説明をします。 **【到達目標】** ・短い英文を聞いて、主語・動詞・目的語の関係を理解できる。 ・リスニング中に、現在・過去・未来の区別ができる。 ・日常会話でよく使われる短縮形を聞いて、元の形が何かを理解できる。 ・会話フレーズを聞いて、意味が瞬時に分かるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス、英語特有の発音 第2回 変化音、短縮音、消える音、ディクテーション、音読 第3回 リズム、母音、子音、ディクテーション、音読 第4回 会話リスニング（実践編：日常の一言）、ディクテーション、音読　1 第5回 会話リスニング（実践編：日常の一言）、ディクテーション、音読　2 第6回 会話リスニング（実践編：旅行）、音読　1 第7回 会話リスニング（実践編：旅行）、音読　2 第8回 会話リスニング（実践編：旅行）、音読　3 **【学生へのメッセージ】** 英語を声に出すことにより学習効果も高まりますので、授業内のワーク等には積極的に参加してください。 **【受講前の準備学習等】** 短い英文を聞いたら、「主語・動詞・目的語をすぐに特定できるか」を意識して練習しましょう。 リスニング中に「時制*を意識して」聞き取り、「いつの出来事か？」を自分で整理する習慣をつけましょう。 ＊：現在形、過去形、未来形、進行形、現在完了形の区別ができると、「いつの話をしているのか」がわかりやすくなります。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**英語リスニングの基礎**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	サトリ　エイキ 佐取　永基 神田外語大学特任講師／ 東洋英和女学院大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月12日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月19日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月26日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 1月9日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京多摩学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 辞書、筆記用具、ノート、クラス内で配付された資料 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693224	授業概要	【授業内容】 「姿勢と栄養を知り、健康的な身体をつくる」をテーマにしています。私たちはどれだけ身体のことを知っているでしょうか？また、普段の姿勢や食事のことをどれだけ意識しているでしょうか？普段の姿勢や食事を見直すことは、健康づくりの土台だと考えています。当講座では、簡単にできるセルフケアを具体的に説明および実践していきます。身体のことを知り、自らケアできるようになることは重要です。姿勢と栄養を考え、健康になるために、自分自身でケアできることを目指していきましょう。 【到達目標】 健康的な身体をつくるために姿勢や食事が大事ということを理解し、セルフケアが実践できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 姿勢大切な5つの理由（茂木） 第2回 背骨の構造（茂木） 第3回 身体を動かすこと、現代と昔の暮らし（茂木） 第4回 筋骨格、生理学について（茂木） 第5回 姿勢に影響を与える栄養と解剖生理学的３要素（野口） 第6回 姿勢の矯正を妨げる手強い原因と栄養との関係（野口） 第7回 神経について（茂木） 第8回 まとめ（茂木） 【学生へのメッセージ】 解剖学や生理学を具体的な例を交えながら分かりやすく説明しますので、専門的な知識は不要です。セルフケアを各授業にあった内容で行います。その場でできる簡単なストレッチやエクササイズです。楽しみながら、実感しながら行います。「もっと健康になりたい」という学生の皆さんの受講を心からお待ちしています。 【受講前の準備学習等】 事前学習は、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 事後学習は、授業で学修した内容や体感による気づきをもとに、健康的な行動を習慣化していってください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**姿勢と栄養から考える健康学**		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	110		
定員	72名		
担当講師	モテギ　フミヒト 茂木　史仁 整体院まるも院長 ノグチ　ハヤト 野口　勇人 野口基礎医療クリニック院長		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	東京多摩学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。バスタオル（エクササイズに使用します）。体が動かせる服装。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 授業の理解を深めるために2人1組でのワークやコミュニケーションを取り入れながら講義を進めていきます。そうしたことが苦手な方は、受講をご遠慮ください。

科目コード	2691426
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**姿勢と健康**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	110
定員	72名
担当講師	マエダ　アキラ 前田　彰 アルテカイロプラクティック院長
日程 実施時間	12月16日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月17日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
「姿勢が悪いことは良くないこと」というのは多くの方が認識していることですが、「なぜ良くないのか？」「どんな悪影響があるのか？」ということについては、よく分からない方が殆どではないでしょうか？当講座では「悪い姿勢はなぜいけないのか」に始まり、姿勢が健康にどれほど深く関わっているかを具体的に説明します。理論だけでなく、姿勢改善体操や良い姿勢を保つコツを実践することにより実際に姿勢の良い人になることも目指していきます。

【到達目標】
姿勢が悪いことが「なぜ良くないのか？」「具体的にどんな悪影響があるのか？」という点について、身体的側面や精神的側面、並びにビジュアル的な観点から説明をすることが出来るようになる。
姿勢が悪い第三者に対し、上記の説明に加えて姿勢を改善するための運動面生活面両面からのアドバイスや指導を的確に行うことが出来るようになる。

【授業テーマ】
第1回 理想的な姿勢とは、理想的な姿勢の取り方
第2回 悪い姿勢はどうしていけないのか
第3回 姿勢から考える「肩こり・腰痛」について
第4回 どうして背すじを伸ばし続けるのは大変なのか
第5回 背骨の構造と働き、背骨と神経の関係
第6回 姿勢の問題点
第7回 背骨の歪みが引き起こす症状
第8回 姿勢と痛み・ストレスについて

【学生へのメッセージ】
筋肉や骨、神経といった解剖学の話も分かりやすく説明しますので、専門的な知識は不要です。「姿勢を良くしたい」という強い意欲を持った学生の皆さんの受講をお待ちしております。

【受講前の準備学習等】
【事前】
・「良い姿勢とはどんな姿勢か？」「悪い姿勢とはどんな姿勢か？」「悪い姿勢はどうしていけないのか？」の3点について、ご自身なりの意見をまとめておいてください。
【事後】
・授業中に使用した資料を何度も読み直して復習し、良い姿勢習慣を身につけてください。
・姿勢に関して友人や知人等に聞かれた際に、自信をもって説明出来るくらい復習をしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
4色程度のカラーペン。簡単なストレッチをするので、動きやすい服装。スカート、ハイヒールはご遠慮ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
授業の理解を深めるためにペアでの姿勢チェックなど、2人1組での作業も多く取り入れながら講義を進めて行きます。そうした作業を拒否される方は講義進行の妨げとなりますので、受講はご遠慮ください。

科目コード	2693232
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**薬用生物科学・応用**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	26名
担当講師	ヤマジ　セイイチ 山路　誠一 日本薬科大学／日本薬科大学大学院教授 オオタ　ミサト 太田　美里 名古屋市立大学大学院薬学研究科研究員
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 第3時限　13:20～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
人類が病と闘う武器「クスリ」は、植物や動物などの生物から得て、これらを商品として売買できるものへと昇華させました。第１学期の基礎に続き、薬用植物、天然物由来の生薬、そして用いた医薬品は、薬としてのみならず、生活の中に溶け込んでいます。当科目では、こうした実際の応用例を知り、理解するために、科学的な応用の端緒から、最新の知識に至るまで、広く学びます。

【到達目標】
本科目では医薬として取り扱われている生物・鉱石について、科学的な理解とその応用例を知り、医薬品のみならず食品にまで及ぶ天然由来の動植鉱物の実用例とその中身について科学的に理解でき、応用のために判断ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 薬用生物を用いる世界の伝統医薬学（山路）
第2回 伝統医薬学を知るための本草書の読み方（山路）
第3回 薬用生物を知るための化学（1）（山路）
第4回 薬用生物を知るための化学（2）（山路）
第5回 薬用生物を知るための化学（3）（山路）
第6回 薬用生物を使う～店頭で買える漢方薬・民間薬・生薬製剤（太田）
第7回 薬用生物の実際（1）におい・味と効能を知る（山路）
第8回 薬用生物の実際（2）漢方薬・民間薬の調製（山路）

【学生へのメッセージ】
面接授業『薬用生物科学・基礎』を受講している方に、特にお勧めします。過去の面接授業を受講された方も歓迎します（2025年度から、薬店で買えるお薬について新たに加えています）。

【受講前の準備学習等】
『薬用植物学』または『生薬学』のいずれでもよいので、両書の前半に書かれている総論部分を一読しておいてください。古書でも結構です。専門用語は『日本薬学会ホームページ』にある『薬学用語解説』（https://www.pharm.or.jp/words/）をご利用になり、事前に調べておくとよいでしょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記具は必須です。シャープペンシルの他、色分けして記述、描画するために３色以上使えるボールペンをお持ちください。板書やスライドを撮影される方を見掛けますが、基本は資料への「手書き」を勧めます。
最終日は実験室において漢方薬または民間薬の調製を行います。基本は台所で調理する要領とお考えください。このためティッシュペーパー、汚れても良い服装、エプロン（または白衣）、またご自身で使いこなせるカメラ・スマートフォンをお持ちください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・薬用植物学（水野瑞夫、木村孟淳、酒井英二、山路誠一／南江堂／¥4,400／ISBN=9784524403073）
本書は大学薬学部・薬科大学で永らく使われている書籍なので、旧版が古書市場に多く出回っており、安価に入手可能です。旧版はページ数が異なりますが、講義には十分使用できます（なるべく新しいものを推奨します）。
・新訂生薬学（木村孟淳、酒井英二、牧野利明／南江堂／¥5,390／ISBN=9784524404360）
本書は大学薬学部・薬科大学で永らく使われている書籍なので、旧版が古書市場に多く出回っており、安価に入手可能です。旧版はページ数が異なりますが、講義には十分使用できます（なるべく新しいものを推奨します）。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
薬用植物には、アレルギーの元となるものがあるため、不測の事態に備える必要があります。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693240	**授業概要**	**【授業内容】** 民主政治（デモクラシー）とは何でしょうか。どのような経緯で成立し、何を理念とし、どのような制度を設けているのでしょうか。本授業では、高校までに学んだ知識（「政治・経済」や「公共」など）を前提としつつ、大学レベルの政治学の基礎を学びます。教科書（川出良枝・谷口将紀編『政治学』）をもちいて体系的な知識を提供すると同時に、質疑応答や受講者の間での簡単な議論の時間を設けます。政治学を学び、それを実際に活かすことができるような内容を目指します。 **【到達目標】** 学問としての政治学の基礎を習得することにより、政治現象を的確に分析することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 民主政治のさまざまな仕組み（教科書第4章） 第2回 民主政治の起源と変容（教科書第1章、第2章） 第3回 福祉と政治（教科書第3章） 第4回 選挙と政党（教科書第5章、第6章） 第5回 世論とマスメディア（教科書第8章） 第6回 地方自治（教科書第9章） 第7回 グローバル化（教科書第10章） 第8回 民主政治の現在（教科書第11章） **【学生へのメッセージ】** 教科書をとおして着実に政治学の基礎を学び、その上で、「棄権するって悪いこと？」「全員に最低限の生活を保障する金額を分配する方がよいのでは？」「世界が一つの国家となるとどうなる？」といったテーマで気軽に議論しましょう。 **【受講前の準備学習等】** 指定した教科書に沿う形で授業を進めます。時間の関係上、教科書の第7章（政策過程と官僚・利益集団）は割愛します。受講前に教科書を通読し、わかりにくかった部分などをピックアップして、授業当日に質問してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**学んで活かす政治学**		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	46名		
担当講師	カワデ　ヨシエ 川出　良枝 放送大学教授		**【受講者が当日用意するもの】** 指定する教科書を必ず持参してください。 **【教科書】** ・政治学（川出良枝・谷口将紀／東京大学出版会／¥2,420／ISBN=9784130322355） 2022年に刊行した第2版を使用します。初版とは内容が異なる箇所があるのでご注意ください。
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	東京多摩学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2692147
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**国際政治の新しい形**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	46名
担当講師	オザワ　トモヒロ 小沢　知裕 一般社団法人先端技術安全保障研究所所長
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
コンピュータ・ネットワーク技術やロボット技術の進歩によって、近年の国際紛争のあり方は大きく変化しています。この変化は、冷戦終結後の社会変化と重なり合って、さらに複雑な様相をみせています。本講義は無人航空機による攻撃や、民間軍事警備会社（PMSC）の台頭、サイバー空間を巡る紛争、ロボットの軍事利用などを概観し、変わりつつある国際政治の姿を提示しようと図るものです。その新しさを際立たせるために、まず伝統的な戦争の形を振り返ります。そして最後に、戦争は今後も続いていくのかを考えます。

【到達目標】
伝統的な国際紛争の在り方やその変化を踏まえた上で、無人航空機やロボット、AI技術の軍事利用、サイバー空間の発展、エネルギー技術の進歩、民間軍事警備会社（PMSC）の台頭といった技術の進歩や社会の変化に伴い変化する国際紛争の在り方を理解できる。また、これらを踏まえた上で、今後の国際政治、国際紛争の在り方に関する様々な議論を理解できる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション / 古い「新しい戦争」
第2回 無人航空機の戦争
第3回 ロボットの戦争
第4回 民間企業と戦争
第5回 サイバー空間と国際政治（1）
第6回 サイバー空間と国際政治（2）
第7回 エネルギーと国際政治 / 戦争は続いていくのか？
第8回 まとめ / 質疑応答

【学生へのメッセージ】
社会科学は生活の変化と共に日々変化しています。特に国際政治は技術進歩の影響を多大に受けてきました。最新の変化を感じ取ってください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、関連する内容の新聞記事、インターネット記事、書籍の閲読、テレビ番組の視聴などを行ってください。その際、関連したテーマ（サイバー、ドローン、ロボット、AI、エネルギーと国際政治、民間軍事会社等）を取り上げたものを、シラバス掲載の参考文献に限らず、お選びください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
少量の好奇心と多量の忍耐心

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・サイバースフィア創刊号 Vol.1 April 2020（高橋和夫・小沢知裕・牧田純平／先端技術安全保障研究所／¥1,760）
以下より購入の上、「補論：徘徊型兵器ハーピーとはなにか」をお読みください。
https://giest.base.shop/
・サイバースフィア Vol.2 September 2020（高橋和夫・小沢知裕・川井大介／先端技術安全保障研究所／¥1,760／ISBN=9784991172205）
以下より購入の上、「パンデミックと偽情報の国際政治」をお読みください。
https://giest.base.shop/
・「無人航空機と変容する兵士像」（1）～（7）（小沢知裕／先端技術安全保障研究所）
https://giest.or.jp/author/ozawa/
・サイバースフィア Vol.3 May 2021（高橋和夫・小沢知裕・牧田純平／先端技術安全保障研究所／¥979／ISBN=9784991172212）
以下より購入の上、「流通する無人攻撃機」をお読みください。
https://giest.base.shop/

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693259
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**インド哲学入門**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	46名
担当講師	ワダ　ユウゲン 和田　悠元 駒澤大学禅研究所研究員
日程 実施時間	10月23日(金) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月30日(金) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月6日(金) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、古くヴェーダ文献をその淵源とし、深遠で多様な思惟体系の展開を見せたインド哲学の入門編です。インド哲学はヴェーダの権威を承認する正統派と承認しない非正統派に大別され、それぞれが独自の理論体系を構築しつつ多様な思想的発展を遂げました。本授業では主として仏教以外の諸宗教・諸思想の基礎的概念を概括的に講じます。
【到達目標】
学生はインド哲学の諸概念について理解を深め、基礎的術語を簡単に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 序論
第2回 ヴェーダとウパニシャッドの思想
第3回 反ヴェーダ的自由思想（1）
第4回 反ヴェーダ的自由思想（2）
第5回 サーンキヤ学派・ヨーガ学派の思想
第6回 ニヤーヤ学派・ヴァイシェーシカ学派の思想
第7回 ミーマーンサー学派・ヴェーダーンタ学派の思想
第8回 総復習
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容などを整理・活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・インド思想史（中村元／講談社学術文庫／¥1,353／ISBN=9784065345269）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693267
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**主題研究**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	26名
担当講師	アベ　ヒデユキ 阿部　英幸 武蔵野美術大学非常勤講師
日程 実施時間	10月28日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月29日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
絵画制作に於ける主題とは、作品の中心となる内容の事を指します。古典絵画の巨匠達の多くは、神話や聖書から主題を設定し、数々の傑作を生み出しました。インスピレーションの源泉を自身とせず､他（神話や聖書）に委ねたとも言えるでしょう。この授業では､かつて熟読し感銘を受けた文学作品を一つ挙げ､その作品世界（ストーリー、印象的な場面、思想性、等）を引用し、自由な解釈により展開、発展させて画面として描く事で、魅力ある絵画空間の創出を試みます。
【到達目標】
絵画制作に於ける主題について、その選択の影響による描画の連動と促進を体験、理解し、創造性豊かに描く事が出来るようになる。
【授業テーマ】
第1回 前提講義及びエスキース
第2回 エスキース
第3回 本制作（画面構成・明暗と色彩1）
第4回 本制作（画面構成・明暗と色彩2）
第5回 本制作（主題の明確化1）
第6回 本制作（主題の明確化2）
第7回 本制作（画面密度の深化・細部描写）
第8回 本制作及び講評
【学生へのメッセージ】
今回の主題研究は、入り口は引用、出口は創造を目指します。表情豊かに取り組んでみましょう。
【受講前の準備学習等】
・かつて読んだ本の中から対象となる文学作品を一つ選択して、再度読み込んで下さい。（もしくはこの授業のために新たに文学作品を一つ選択してもよい。）
・F６号以上のクロッキー帳（薄手の紙の物で可）に本制作画面に反映させたい項目、場面設定などを出来るだけ具体的に文章などで記述して於いて下さい。以上を制作ノートとします。
【成績評価の方法】
制作ノートへの取り組み及び、実技作品への積極的な取り組み（課題理解の描画への反映、描画密度等）

【受講者が当日用意するもの】
制作ノート、鉛筆、サクラクレパス20色セット、返却作品（四つ切り画用紙）持ち帰り用収納袋
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693275
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**伝統太極拳に学ぶ体の使い方**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	24名
担当講師	イシミズ　ムネコ 石水　極子 元東京大学非常勤講師／楊露禅直系正弟子
日程 実施時間	10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月30日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
伝統の太極拳（楊露禅からの正統に受け継がれた型）を題材として、根本哲理に基づいた身体技法を実習します。成り立ちは護身術ですが、その基礎基本は合理的な動きで、日常生活だけでなく様々な身体活動に活かせます。'健康で明るく穏やかな気持ちで、協調性を持って生きる' ための秘訣も込められています。

【到達目標】
私たちは、地球という自然～1Gの重力場～で生まれた生物種の一つであることを再認識し、身体を視点に生きる哲学を問い、自己、他己、社会と相互交流し、穏やかで豊かな生活基盤となる“体の使い方”を理解し、生活の中で活用・実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 伝統太極拳の概要について講義と体験
第2回 からだの気づきとほぐし 1) [骨盤]、太極拳第一
第3回 からだの気づきとほぐし 2) [脊柱]、太極拳第二
第4回 からだの気づきとほぐし 3) [股関節]、太極拳第三
第5回 からだの気づきとほぐし 4) [重力からの解放イメージ]、太極拳第四
第6回 からだの気づきとほぐし 5) [重心の上下左右の操作]、太極拳第五
第7回 からだの気づきとほぐし まとめ、太極拳第一 ～ 第五の復習
第8回 太極拳表演会

【学生へのメッセージ】
動きの洗練（調身）・こころの調整（調心）・呼吸法（調息）の三位一体を感じつつ、日常生活に活かせる合理的な身のこなしを理解し、実践できることを目指します。さらに、他者との穏やかなコミュニケーションにも活用しましょう。

【受講前の準備学習等】
これまでの印象に残るご自身の身体活動や怪我などをまとめておいてください。個々の違い（運動経験や現在の身体状況、例えば膝が痛いetc.）に配慮しつつ授業を進めたいと思います。また、教科書157～159ページを読んで概略を掴んでおいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、運動に適した服装（五本指のソックスが必要、運動靴は不要）、シート（例えばヨガマット、およそ身長サイズ必要。これは『からだの気づきとほぐし』の時に使用します。）

【教科書】
・教養としての身体運動・健康科学（東京大学身体運動科学研究室編／東京大学出版会／¥2,640／ISBN=9784130527040）

【参考書】
・身心一体科学　考え方と方法（跡見順子／東京大学出版会／¥6,160／ISBN=9784130664127）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693283
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**人工知能基礎**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	210
定員	46名
担当講師	マツダ　ユウコウ 松田　裕幸 東京大学非常勤講師
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
人工知能に関する歴史を振り返りながら生成AIまでを概観します。

【到達目標】
人工知能に関する技術的変遷を学ぶことで人工知能と社会との関わりあいについて議論できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 人工知能と自然言語の世界：なぜ「自然言語」が現代のAI研究・応用で重要なのかを理解する
第2回 自然言語処理（NLP）の基礎と応用：テキストの意味を解析し、利用する技術の基礎を学ぶ
第3回 人工知能の歴史と進化：AI研究の歩みを歴史的視点から振り返り、現在の技術との繋がりを考察する
第4回 対話システムと機械翻訳の技術：人とコンピュータの自然な対話を実現するために
第5回 生成AIの世界—言語生成とその可能性
第6回 画像生成AI—視覚表現の新たな可能性
第7回 AI利用の本質と未来—倫理、実践、展望
第8回 まとめとディスカッション

【受講前の準備学習等】
・授業内容に書かれた項目に関し、事前に調べられるものは調べておいてください。
・授業で学習した内容を加え、事前学習の内容をアップデートしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693291
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**武蔵野台地の自然史ー多摩**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	オダシマ　ノリヒロ 小田島　庸浩 多摩六都科学館学芸員 ニッタ　コズエ 新田　梢 麻布大学助教 ナカザト　リョウヘイ 中里　亮平 長野大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:45 試験・レポート等　12:45～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:40 試験・レポート等　12:40～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	この授業は、【11月7日（土）1～2時限は東京多摩学習センター、11月7日（土）3～4時限及び11月8日（日）1～4時限は★玉川上水・狭山丘陵周辺(予定)】で行います。

授業概要

【授業内容】
※長距離を歩きながら自然や文化的な施設を観察します。1日の歩行距離の目安は10kmです。
東京・多摩地域の大部分は、多摩川や富士山などの火山が何万年もの時間をかけて作った「武蔵野台地」上に位置しています。よく観察すると、武蔵野台地の発達の歴史を垣間見ることができる坂道や湧水、川、植物などの自然が残されています。
この授業では、「武蔵野台地」の地形・地質とその発達史や、「武蔵野」を構成する生物の特徴などを講義で学び、それを実際に野外で観察します。「立川断層」の痕跡を野外で観察し、地震活動の特徴や防災について考察します。また、この地域で見られる自然と、そこに暮らす人間の営みについても学びます。
【到達目標】
武蔵野台地地域の地質学、生物学、民俗学的な特色を理解し説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 武蔵野台地の地形・地質のなりたち（講義）（小田島・新田・中里）
第2回 武蔵野台地の動植物相（講義）（小田島・新田・中里）
第3回 多摩川と水の道（野外観察）（小田島・新田・中里）
第4回 武蔵野台地の雑木林の動植物（野外観察）（小田島・新田・中里）
第5回 立川断層のつくる地形（野外観察）（小田島・新田）
第6回 段丘の地形と地質（野外観察）（小田島・新田）
第7回 武蔵野台地の湧水（野外観察）（小田島・新田）
第8回 武蔵野の原風景を探る（野外観察）（小田島）
【学生へのメッセージ】
この面接授業では、実際に野外に出て、長距離を歩き、地形や地質、植物や昆虫、文化的な施設などの観察を行います。身近な土地のなりたちや生物に関心をもち、地域の自然史を知る重要性を学びます。
※1日の歩行距離の目安は10kmです。
【受講前の準備学習等】
・武蔵野台地について、参考書籍やインターネット等で調べておいてください。
・自分の住んでいる地域、または興味のある地域と武蔵野台地地域の類似点や相違点について考えておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・10km程度を歩けるよう体調を整えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
雨具、動きやすい服装（長袖・長ズボン）、歩きやすい靴、両手の空くバッグ（リュックサック等）、帽子、飲物、筆記用具、移動の公共交通費用（1000円程度）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・東京の自然史（貝塚爽平／講談社学術文庫／¥1,353／ISBN=9784062920827）
書店等で入手可能です。電子書籍版もあります。
・日本の地形４　関東・伊豆小笠原（貝塚爽平、小池一之、遠藤邦彦、山崎晴雄、鈴木毅彦編／東京大学出版会／¥7,700／ISBN=9784130647144）
本部図書館、東京多摩学習センターに1冊ずつあります。
・保全生態学入門【改訂版】（鷲谷いづみ、矢原徹一／文一総合出版／¥3,960／ISBN=9784829965344）
書店やウェブ通販等で入手可能です。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
玉川上水、狭山丘陵周辺で実施する予定です。経路の詳細は当日に説明します（2日目は現地集合）。実施時期の現地状況により、実習内容を変更することがあり得ます。また、急な天候の変化により、一部授業の変更をする場合もあります。安全な野外観察を行うため、動きやすい服装や靴、荷物の準備はもちろん、体調維持やケガ防止に注意してください。天候に問題がなければ１日目は約８km、２日目は約10kmの距離を歩きます。
※「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693305
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**健康長寿を目指す 口腔の健康管理**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	シモヤマ　カズヒロ 下山　和弘 東京医科歯科大学［現東京科学大学］ 名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
家族や友人との楽しい食事は人々の豊かな生活に欠くことができないものです。口腔の健康は食生活のみならず心身の健康に密接な関係があります。とりわけ歯周病と全身疾患との関係はよく知られています。高齢者の誤嚥性肺炎の予防には口腔の清掃（口腔ケア）が重要といわれています。口腔の健康の重要性と健康を保つ方法について講義を行います。
【到達目標】
1）全身の健康と口腔の健康の関連について説明できるようになる。
2）口腔機能について説明できるようになる。
3）口腔ケアについて説明できるようになる。
4）摂食嚥下機能とその障害について説明できるようになる。
5）摂食嚥下リハビリテーションについて説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 高齢者の置かれた状況と歯科
第2回 全身の健康と口腔との関連
第3回 口腔機能についての基礎知識
第4回 口腔機能低下症
第5回 口腔ケアの実践的な方法
第6回 摂食嚥下機能の障害とリハビリテーション1
第7回 摂食嚥下機能の障害とリハビリテーション2
第8回 摂食嚥下機能の障害とリハビリテーション3
【学生へのメッセージ】
口腔の健康の重要性を理解し、受講生本人の口腔ケアおよび要介護状態になった人に対する口腔ケアについての基本的知識を身につけてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。歯科に関する書籍などを読むことにより基本的な知識を学習しておいてください。また、糖尿病、誤嚥性肺炎、認知症など、全身的な疾患においても口腔の健康との関連が指摘されていますので、歯科のみならず幅広く学習してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
手鏡
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・基礎からわかる高齢者の口腔健康管理（下山和弘／医歯薬出版／¥4,840／ISBN=9784263444719）
書店にて取り寄せ
・カラー版やさしい歯と口の事典（下山和弘、秋本和宏、秋本紗恵子、稲場幸治、井上篤、岩佐康行、薄井康裕　ほか／医歯薬出版／¥8,580／ISBN=9784263445174）
公立図書館での蔵書検索、または書店にて取り寄せ

科目コード	2693313
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**身近な化学物質の分析**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	ナミキ　ヨウイチ 並木　陽一 NAMICOS技研代表
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
20世紀後半以降、数多くの化学物質が開発され工業や医療などが急速に進歩しました。しかし自然界に存在しなかった新しい化学物質は、素性をよく把握しないと有害なものにもなり得ます。そのため、化学物質を正しく分析する手段も同時に発達してきました。この授業では、「化学物質」の言葉の意味を考えたうえで、材料や医薬品などを開発するため、または不純物などを検出するために化学会社で一般的に行なわれる分析方法を紹介します。また、最新の分析機器を教室に持ち込み、受講者が持参する試料も使って分析の実習をする予定です。
【到達目標】
「化学物質」の正しい意味とその代表的な分析の技術に関して、新しく理解したことを他者に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 化学物質とは？・・・水も食塩も化学物質
第2回 生活に欠かせない様々な物質・・・人はなぜ合成品を恐れるのか？
第3回 化学物質の分析とは？・・・素性の探究、含有量の計測、形態の解析
第4回 分析実習（1）・・・走査電子顕微鏡（予定）
第5回 物質の性質に注目する分析　・・・熱分析、元素分析、化学構造解析
第6回 混合物の分離分析・・・物理的分離、化学的分離、数学的分離
第7回 分析実習（2）・・・フーリエ変換赤外分光光度計（予定）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
化学の予備知識は特に必要ありません。すべてを理解するのが目的ではなく、新しい見聞があったことがレポートで説明されていれば充分な学習をしたと判断します。他コースや全科履修生以外の方の受講も歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。次の3つについて何も調べずに、現在あなたが理解していることを簡単に（各5秒程度）説明できるように考えておいてください。（授業内で実際に説明していただくわけではありません。）①「化学物質」の定義、②有機栽培の利点、③「エコロジー」という語の意味。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目は、各自の実習用試料として繊維・プラスチックなど、どんな材料か知りたいものを持参してください。（必須ではありません。）大きさは数cmで十分です。一般的に金属は不適です。装置の構造や時間の制約で分析できない場合もあります。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693321
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**痛みと鎮痛のしくみ**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	55名
担当講師	シマダ　マサヒコ 嶋田　昌彦 東京医科歯科大学［現東京科学大学］ 名誉教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
痛みは誰にとっても不快な体験ですが、体の異常を知らせる警告であり生存に必要な感覚です。講義では、痛みの役割と意義、痛みの発生と伝わり方、生体内で痛みを調節するしくみ、心や身体の痛みなど痛みの種類について理解します。さらに痛みを取り除く方法としての麻酔法や様々な痛みの治療法について解説します。
【到達目標】
痛みの役割と意義、痛みの発生と伝わり方、生体内で痛みを調節するしくみ、心や身体の痛みなど痛みの種類について、さらに痛みを取り除く方法としての麻酔法や様々な痛みの治療法について理解し、その概略を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 痛みの役割と意義
第2回 痛みの発生と伝達経路
第3回 痛みを調節するしくみ
第4回 心の痛み、身体の痛み
第5回 神経障害性疼痛
第6回 麻酔と痛み
第7回 痛みの治療（1）
第8回 痛みの治療（2）
【学生へのメッセージ】
日常生活で痛みとは不快な体験ですが、その痛みの役割や発生と伝わり方を解説します。さらに、体の中で痛みを調整する様々なしくみについて理解します。また、痛みと麻酔との関係やいろいろな痛みの治療法についても解説します。痛みと鎮痛について、その歴史も含め学んでください。
【受講前の準備学習等】
痛みに関する日常的な話題に関心を持ち、テレビやラジオ、新聞や書物およびインターネットを用いて事前に痛みに対する理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693330
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**年金制度のいまとむかし**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	イシゲ　アキノリ 石毛　昭範 拓殖大学教授
日程 実施時間	12月24日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月25日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
昨今、年金をめぐる問題がマスコミでもよく取り上げられるようになり、年金制度に対する関心は非常に高まっています。しかし一部では、年金制度に対する誤解・曲解もあって、「年金不信」ともいうべき風潮が見られるのも事実です。この科目では、年金についてこれから学びたいという方のために、年金制度の歴史と現状を可能な限りやさしく解説していきます。

【到達目標】
社会保障・社会保険制度としての日本の年金制度について、しくみやこれまでの推移、現状とその問題点についての知識を身につけるとともに、今後どのように発展していくべきか、そのためにはどんな問題に取り組んでいかなければならないのか、といった点について、主体的に考えていくことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 年金制度の概要（1）：社会保険としての年金制度
第3回 年金制度の概要（2）：現在の年金制度（国民年金）
第4回 年金制度の概要（3）：現在の年金制度（厚生年金など）
第5回 年金制度の推移（1）：年金制度のスタートとその発展
第6回 年金制度の推移（2）：年金制度の再編と見直し
第7回 年金制度の将来：これからの年金制度はどうなっていくのか
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
年金についてほとんど知らないが、学んでおきたいという学生の受講を望みます。若い学生の皆さんも歓迎します。内容は初歩的ですので、この分野の知識のあまりない方でも差し支えありません。なお、個別の年金相談は原則としてお受けできません（相談できる機関の紹介等は行う予定です）。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。例えば、日本年金機構のホームページにある「パンフレット」、YouTubeにある映像資料（厚生労働省や日本年金機構が作成したものを強く推奨します）などをみて学ぶことが考えられます。これらの資料はほぼ毎年改訂されますので、最新のものに接する必要があります。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
過去開設の面接授業「年金制度いまむかし」「年金　初歩の初歩」「年金の初歩」と内容の一部が重複します。

科目コード	2689189
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	タケウチ　マスミ 竹内　真純 東京都健康長寿医療センター研究所 非常勤研究員
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティの個人差について測定する道具です。この授業では、様々な心理検査を紹介し、実際に体験していただいた上で、各心理テストの理論的背景についての解説を行います。各心理テストの特徴と限界を理解するとともに、ご自身の検査結果を解釈し、自己のパーソナリティについても考えていただきます。原則として8回の授業全部に出席し、全ての実習課題について、レポートの提出（4種類）が必要になります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに：心理検査とは
第2回 質問紙法：Big Five、レポートの書き方
第3回 質問紙法：CES-D
第4回 心理尺度の作り方
第5回 投影法：バウム・テスト
第6回 心理検査の信頼性と妥当性、テスト・バッテリー
第7回 作業検査法：内田・クレペリン作業検査
第8回 心理検査の倫理的問題

【学生へのメッセージ】
実習の都合上、各回授業の開始・終了時間が流動的に変更になることがあります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）とレポートの評点により評価を行います。

【受講者が当日用意するもの】
HBの鉛筆２、３本と消しゴム、赤のボールペン（または赤鉛筆）、定規、電卓（電卓は貸し出しもできます）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	スギハラ　ミツオ 杉原　光雄 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。皆さんはこれら全部の実験に参加しなければなりませんので、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。予定している実験は、鏡映描写、SD法、ストループ効果です。授業時間中にデータ整理を行い、３つの実験それぞれについて後日レポートを提出していただきます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の考え方・鏡映描写（実験の解説）
第2回 鏡映描写（実験の実施・データ整理）
第3回 鏡映描写（レポート執筆指導）
第4回 SD法（実験の解説・準備）
第5回 SD法（実験の実施・データ整理）
第6回 SD法（レポート執筆指導）
第7回 ストループ効果（実験の実施・解説）
第8回 ストループ効果（データ整理・レポート執筆指導）
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成などにパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを前提とします。
なお一部の実験（SD法）は、グループワーク形式で行う予定です。具体的には数人のグループを作り、研究テーマや測定項目の選択・アンケートの作成などの作業を自主的に行う形で実習を行います（アンケートはGoogle Classroomのアプリで作成しますが、予備知識は一切不要です）。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。特に心理学概論（'24）の第14回では鏡映描写実験が取り上げられていますので、事前の視聴をお勧めします。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください）。
　マウスを持参してください。
２．OSの指定
　WindowsまたはmacOS
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　授業ではワープロソフト（Wordなど）と表計算ソフト（Excelなど）を使用します（ソフトのバージョン指定はありません）。
　Word、Excelがない場合でも放送大学の学生は、Google Classroomにサインインすることでドキュメントとスプレッドシートを利用できます。
　ただし、データ整理の説明はExcelを用いて行いますので、Googleスプレッドシートを使う方は、事前に関数計算やグラフ作成などの操作をできるようにしておいてください。
４．その他
　授業ではGoogle Classroomを用いてデータ入力や資料の配布を行います（Google Classroomの基本的な使い方は、授業で説明します）。レポートはGoogle Classroomへのファイルのアップロード、紙媒体いずれかの形で提出してください。紙媒体で提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】
色識別を要する実験課題があります（ストループ効果）。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
持参した端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2693348
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**グローバル化と大学の国際化**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	オオタ　ヒロシ 太田　浩 一橋大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
グローバル化の進展とともに、高等教育の国際化が求められるようになり、多くの国々では、大学の国際化が教育政策を越えて省庁をまたぐ高次元の政策課題に位置付けられています。その結果、学生が国境を越えて学ぶことを政府と大学が推進し、世界中で700万を超える人たちが留学するようになりました。政府と大学は自国の学生だけでなく、外国から留学生を誘致して高等教育を施すのはなぜでしょう。さらに、自国学生の留学も推進し、学生への奨学金だけでなく、大学にも補助金を出して外国で学ぶ機会を増やそうとするのはなぜでしょう。高等教育はグローバルな視点で考えながら、自国民だけでなく、海外の人たちも対象に教育政策と実践を進めることがより重要になっているということを念頭におき、授業を進めます。

【到達目標】
1．高等教育をめぐる世界的な環境変化と高等教育の国際化に関する世界的な政策動向について理解し、国際的な学生の流動化のトレンドを留学生、大学、政府の視点から考察できるようになる。
2．主要留学生受入れ国の留学生政策について理解し、外国高度人材としての留学生と移民政策の関連を説明できるようになる。
3．日本の留学生政策と実践に関する現況と課題とについて理解し、そのあり方と高等教育機関での教育実践と大学運営について考察できるようになる。
4．日本の海外留学政策と実践に関する現況と課題いついて理解し、そのあり方と高等教育機関での教育実践と大学運営について考察できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 高等教育の変遷と留学（国際学生流動化）の動向：なぜ人は留学するのか、何が人を留学させるのか
第2回 留学生市場の拡大と米国の留学生受入れ政策：留学生受入れ大国の国家戦略なき戦略
第3回 英国の留学生受入れ政策と欧州の相互学生交流を軸とした地域化（国際化）
第4回 オーストラリアによる留学生受入れのビジネスモデル形成と移民政策
第5回 日本の留学生受入れ政策の振り返りと検証
第6回 日本から海外への留学の動向と政策的支援並びに大学での課題
第7回 日本の留学生40万人受入れ政策及びその課題と機会
第8回 まとめ：高等教育の国際化を考える：課題と展望

【学生へのメッセージ】
高等教育や大学の国際化、外国人留学生、海外留学に興味のある方の受講を歓迎します。共修生（聴講生）としてこの科目を受講される方も歓迎します。

【受講前の準備学習等】
以下のリンク先（J-STAGE）の小論を事前に読んでおいてください。
「高等教育の国際化をめぐる動向と課題」
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jies/22/0/22_1/_article/-char/ja/
事前配布資料を読み、予習をしておいてください。
事前配布資料はキャンパスメールアドレス宛に送付します。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教室にコンピュータやタブレットを持参したほうが授業を受ける際の利便性が高くなります。講師が受講生にメールで事前に資料を送り、それを受講者が自分で印刷して授業に出席するか、コンピュータ、タブレット、スマートフォンにダウンロードしてそれを持参したうえで受講することを想定しています。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・留学生受入れ支援方策の効果の検討に関する調査研究（白石勝己編著／アジア学生文化協会／）
以下のウェブサイトサイトからダウンロードできます。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1371457.htm
・海外留学がキャリアと人生に与えるインパクト（横田雅弘、太田浩、新見有紀子編著／学文社／¥3,850／ISBN=9784762028021）
https://www.gakubunsha.com/book/b358280.html
・2025年版 教育・科学技術イノベーションの現状と課題【世界と日本】 ―日本の凋落を止め再建を目指す―（科学技術国際交流センター／ジアース教育新社／¥4,620／ISBN=9784863717299）
・国際高等教育（花田真吾／明石書店／¥3,300／ISBN=9784750357935）

科目コード	2689146
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	スギハラ　ミツオ 杉原　光雄 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。皆さんはこれら全部の実験に参加しなければなりませんので、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。予定している実験は、自由再生における系列位置効果、集団の認知、パーソナルスペースです。授業時間中にデータ整理を行い、３つの実験それぞれについて後日レポートを提出していただきます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の考え方・自由再生における系列位置効果（実験の説明）
第2回 自由再生における系列位置効果（実験の実施・データ整理）
第3回 自由再生における系列位置効果（レポート執筆指導）
第4回 パーソナル・スペース（実験の説明・準備）
第5回 パーソナル・スペース（実験の実施）
第6回 パーソナル・スペース（データ整理・レポート執筆指導）
第7回 集団の認知（実験の説明・準備）
第8回 集団の認知（データ整理・レポート執筆指導）
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成などにパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることを前提とします。
なお一部の実験（パーソナルスペース）についてはグループワーク形式で行う予定です。具体的には数人ずつのグループを作り、グループごとに目的・手続きの立案や実験の準備・実施、データの分析などを自主的に行う形で実習を進めます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください）。
またマウスを持参することを推奨します。
２．OSの指定
WindowsまたはmacOS
３．ソフトのインストール
ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
授業ではワープロソフト（Wordなど）と表計算ソフト（Excelなど）を使用します（ソフトのバージョン指定はありません）。
Word、Excelがない場合でも放送大学の学生は、Google Classroomにサインインすることでドキュメントとスプレッドシートを利用することができます。
ただし、データ整理の説明はExcelを用いて行いますので、Googleスプレッドシートを使う場合は、事前に関数計算やグラフ作成などの操作をできるようにしておいてください。
４．その他
授業ではGoogle Classroomを使ってデータ入力や資料の配布を行います。またレポートはGoogle Classroomへのファイルのアップロード、紙媒体いずれかの形で提出してください。紙媒体で提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	スギハラ　ミツオ 杉原　光雄 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。皆さんはこれら全部の実験に参加しなければなりませんので、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。予定している実験は、ミュラーリヤー錯視・心理尺度・仮現運動です。授業時間中にデータ整理を行い、３つの実験それぞれについて後日レポートを提出していただきます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学的測定法の考え方・ミュラーリヤー錯視（実験の解説）
第2回 ミュラーリヤー錯視（実験の実施・データ整理）
第3回 ミュラーリヤー錯視（レポート執筆指導）
第4回 心理尺度（実験の解説・準備）
第5回 心理尺度（実験の実施・データ整理）
第6回 心理尺度（レポート執筆指導）
第7回 仮現運動（実験の解説・実施）
第8回 仮現運動（データ整理・レポート執筆指導）
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成などにパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得していることを前提とします。
なお一部の実験（心理尺度）はグループワーク形式で行う予定です。具体的には、数人のグループに分かれ、研究テーマの立案・測定項目の作成・アンケートの作成などを自主的に行う形で実習を行います（アンケートはGoogle Classroomのアプリで作成しますが、予備知識は一切不要です）。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください）。
またマウスを持参してください。
2．OSの指定
WindowsまたはmacOS
3．ソフトのインストール
ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
授業ではワープロソフト（Wordなど）と表計算ソフト（Excelなど）を使用します（ソフトのバージョン指定はありません）。
Word、Excelがない場合でも放送大学の学生は、Google ClassroomにサインインすることでGoogleドキュメントとGoogleスプレッドシートを利用することができます。
ただし、データ整理の説明はExcelを用いて行いますので、Googleスプレッドシートを使う場合は、事前に関数計算やグラフ作成などの操作をできるようにしておいてください。
4．その他
授業ではGoogle Classroomを用いてデータ入力や配布を行います（Google Classroomの基本的な使い方は、授業で説明します）。
またレポートはGoogle Classroomへのファイルのアップロード、紙媒体いずれかの形で提出してください。紙媒体で提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2693356
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学演習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ナカムラ　ユウイチ 中村　友一 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
子どものこころの世界をいかに理解し育むかについて臨床心理学の視点から考えます。子どもの心理社会的発達が促進されるためには、どのように子どもを理解し、関係を作り、支援をしていく必要があるのか、という点について講義と演習を交えて学習していきます。子ども理解の枠組み、遊びの意義、遊戯療法、発達障害、子どもとの関係性などをテーマにしていきます。

【到達目標】
・子どもの行動や世界観を知るためのポイントを理解する。
・自分の中にある「子どもの心」に目を向け、それを子どもとの関わりに活かすことができるようになる。
・子どもにとっての遊びの重要性、および、遊戯療法の枠組みを理解する。
・ワークを通して、発達障害の子どもが体験していることを理解し、その支援に役立てることができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション　～子どもを理解することについて
第2回 子どもの生きる世界・リアリティ
第3回 子どもと遊び
第4回 遊びの中で体験すること
第5回 子どもへの心理療法　～プレイセラピーの世界
第6回 発達障害児のこころの世界
第7回 発達障害児への関わりと支援
第8回 まとめ　～子どもに向き合うときの心構え

【学生へのメッセージ】
授業では受講者へ発言を求めたり、個人やグループでのワーク（ディスカッションを含む）を行ったりしますので、皆さまの積極的参加を求めます。日頃感じている疑問なども含めて、受講生の皆さまからの質問にはできるだけ丁寧に答えていきます。

【受講前の準備学習等】
・自らの幼少期の体験やその時の感情について振り返っておいてください。（特に遊びについて）
・子育て経験がある方は、育ててきた子どもの様子について振り返っておいてください。子育て経験がない方は、身近な子どもの様子を観察しておいてください。
・発達心理学や臨床心理学の入門書などに、可能な限り目を通しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
必ず用意してもらいたいもの：写真や絵が載っている雑誌やフリーペーパー（切り抜きが可能なもの）、はさみ、のり
任意で用意するもの：くれよん・クレパス・カラーサインペン・マスキングテープなど
※これらは主に２日目に用います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
（履修制限）面接授業「臨床心理学実習B」の単位を修得済みの方は登録できません。
（面接授業開設科目一覧P.7参照）

科目コード	2693364	**授業概要**	**【授業内容】** 私達の社会が所謂成長社会から持続可能社会への転換期にあると捉え、其れが建替喚起を糧とする社会から営繕を糧とする社会へ、建設から営繕への転換の契機になると考えています。この授業では、建設と営繕の関係を相違点の側から明らかにしつつ、建物の持続可能性を生活者目線で考えて行きたいと思っています。背景には、この転換が、専門家主導、正確にはインサイダー側の倫理観や制度改革だけでは難しく、生活者による検証と検討が不可欠であるとの認識があります。受講後、生活者目線で問題を捉えられるようになれば幸いです。 **【到達目標】** 各回の授業に関して、下記の点を理解できるようになる。 ・営繕と建設は、対立概念ではない事 ・利益と損害、可能性と瑕疵の両面を説明している事 ・一般に、実行可能なのは次善の策に過ぎない事 ・従って、選択を変更しなければならない場面が、屡々招来する事 ・営繕か建設かの選択は、焦燥感に弄ばれる事なく冷静に検討を重ねる必要がある事 **【授業テーマ】** 第1回 墓仕舞からアップサイクル迄　私の仕事･作品を通して紹介する 第2回 国際都市東京の現在　加藤周一著「東京･変わりゆく都市」より 第3回 電線 路上と埋設　両者の相違を明らかにし埋設について考える 第4回 住宅は機械か建築か　商品化住宅は既製品か建築かを考える 第5回 軽音楽と在来木造　伝統から在来への展開を音楽との比較で考える 第6回 在来木造の国際性　伝統から在来への展開を国際的な視点で考える 第7回 キャンパスの持続可能性　復興･増築･再開発と持続可能性を考える 第8回 営繕論･即日課題　質疑応答による確認と授業の再構成と成果の確認 **【学生へのメッセージ】** 建設は常に建替需要喚起します。持続可能社会は建設より営繕を重視します。一方、現代社会は建設から営繕への転換を要請されています。この授業が､皆さんにとって、生活者として問題を捉えるようになれば幸いです。 **【受講前の準備学習等】** 初日の準備としては、 【参考書】指定３冊の指定部分を読了される事を推奨します。 ２日目の準備としては、 初日に配付予定の資料を読了される事を推奨します。 **【成績評価の方法】** 第1回～第7回の到達目標に関する論述問題を第8回後半に課します。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**営繕論： その国際性と創造性**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	46名		
担当講師	ウチダ　ヨシオ 内田　祥士 建築家		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験･レポート等 16:35～17:20		
実施会場	東京多摩学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 初日は、参考文献をお持ちの場合は、ご持参ください。 二日目は、初日に配布した資料を読了のうえご持参ください。 尚、初日･二日共、筆記用具は、常にご持参ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・加藤周一 セレクション 3（加藤周一／平凡社／¥1,650／ISBN=9784582763188） 東京･変わりゆく都市　429–463頁 ・営繕論（内田祥士／NTT出版／¥2,860／ISBN=9784757160729） 第９章 保全性の現在　187-215頁 ・戦後空間史（青井哲人、市川紘司、内田祥士、中島直人、中谷礼仁、日埜直彦、松田法子／筑摩書房／¥1,980／ISBN=9784480017697） 第２章　技術・政策・産業化 一九六〇年代、住宅の現実と可能性　62-106頁

科目コード	2693372
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**インドネシア史B：現代**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	コウチ　カオル 高地　薫 神田外語大学准教授
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
太平洋戦争直後に独立を宣言したインドネシアが、その後現在まで辿った歴史を学びます。民族独立を果したインドネシアの経験を通史として学ぶとともに、政治経済、文化、宗教などの側面にも焦点を当てます。
【到達目標】
インドネシアの独立、国民国家形成、政治社会の発展とともに、それを通じて旧植民地国家が経験した困難を理解できる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：「インドネシア」独立までの軌跡
第2回 独立戦争：外交と闘争
第3回 独立後の困難：議会制民主主義から9月30日事件まで
第4回「国民」文化の創成
第5回 国民的悲劇と権力交替
第6回 スハルト新体制と開発独裁
第7回 民主化の時代：民主化、経済、宗教
第8回 質疑応答とまとめ
【学生へのメッセージ】
インドネシアという国の成り立ちだけではなく、近代国家のあり方について考えて欲しい。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、インドネシアの位置、あるいはインドネシアの現代史についてインターネット等で調べ、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693380
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**和菓子の歴史と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	70名
担当講師	アオキ　ナオミ 青木　直己 虎屋文庫顧問
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
古代以来、中国から伝来した羊羹や饅頭、ヨーロッパ菓子のカステラや金平糖など外国の影響を受けた和菓子。江戸時代の「鎖国」制のもと独自の発達をとげ和菓子が完成します。
日本文化を具象化した和菓子の歴史を学びます。現在注目を集めている食文化から捉えた日本の歴史です。
【到達目標】
和菓子の歴史を理解し、その発展過程を日本史のなかに位置づけて説明することが出来るようになる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス　古代の菓子1　縄文クッキーから果物・餅へ
第2回 古代の菓子2　奈良・平安時代の菓子　正倉院文書と王朝文学から
第3回 中世の菓子1　点心の到来　羊羹と饅頭
第4回 中世の菓子2　南蛮菓子の到来　ヨーロッパ食文化との接触
第5回 近世の菓子1　京菓子の誕生　17世紀京都の菓子状況
第6回 近世の菓子2　和菓子文化の爛熟
第7回 年中行事と菓子
第8回 まとめ　近代への展望
【学生へのメッセージ】
食文化を歴史的な視点でとらえる授業です。和菓子の発展段階と時代的、歴史的背景に十分留意してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を確認の上、自己学習に努めてください。
インターネットで「とらや」および虎屋文庫のページを簡単で良いので確認しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・図説和菓子の歴史（青木直己／筑摩書房（ちくま学芸文庫）／¥1,430／ISBN=9784480097927）
【参考書】
・地域名菓の誕生（橋爪伸子／思文閣出版／¥8,800／ISBN=9784784219001）
・ようかん（虎屋文庫／新潮社／¥2,530／ISBN=9784103529514）

科目コード	2693399
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**食文化からみる東南アジア**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	オガワ　ユウコ 小川　有子 拓殖大学非常勤講師 ジャクファル・イドルス Jakfar Idrus 国士舘大学准教授 ミヤ・ドゥイ・ロスティカ ミヤ・ドゥイ・ロスティカ 大東文化大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
近年、東南アジアの食文化はグローバル化の中で国境を越えて広がっています。日本でもおなじみとなったナシゴレンやフォー、マンダリンコーヒーの背後には、多様な自然環境、交易の歴史、植民地経験、宗教規範などが複雑に交差しています。食は単なる味覚ではなく、宗教儀礼や年中行事に代表される文化実践であり、その地域の社会秩序やアイデンティティを形成すると同時に、それらを制約する役割も担ってきました。本講義ではインドネシアとベトナムを中心に、身近な食を手がかりに東南アジア社会のダイナミズムを読み解いていきます。
【到達目標】
・東南アジアの自然環境のどのような要素が食文化に影響を及ぼしたのかを説明することができる。
・東南アジアの宗教儀礼や年中行事などの社会実践において食がどのように体現されているかを説明することができる。
・コーヒーを例として国際市場における東南アジアの農産物の状況を理解し、インドネシアとベトナムの位置づけを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 東南アジアの地理と食文化（小川）
第2回 東南アジアの歴史と食文化層（ジャクファル）
第3回 宗教・儀礼と食文化（ミヤ）
第4回 年中行事と食文化（小川）
第5回 民族世界と食文化（ジャクファル）
第6回 飲み物文化１（小川）
第7回 飲み物文化２（ミヤ）
第8回 グローバル化と東南アジアの食（ジャクファル）
【学生へのメッセージ】
誰しもに身近な食がテーマですので、特別な前提知識は必要ありません。また東南アジアについて知らない方にとっても、楽しく学んでいただける内容になっています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
東南アジアの地理（どの位置にどのような国があるか）を予め把握できるよう、東南アジアの地図を確認しておいてください。
どのような興味関心を持って授業に臨むのかを簡潔に他者と共有できるように、整理しておきましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693402
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**産業革命期ヨーロッパの社会**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	フクシマ　トモミ 福島　知己 帝京大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
イギリスを起点として18世紀頃からヨーロッパに起こった産業革命について、その前史となる諸変化も含めて解説するとともに、産業革命がもたらした社会的影響について考察します。産業革命は必然的なものだったのでしょうか、それとも偶然の産物だったのでしょうか。あるいはまた、産業革命はよいことだったのでしょうか、それとも悪いことだったのでしょうか。これらの問いに対して、受講生それぞれが自分の解答をもつことを目標にします。
【到達目標】
・産業革命の歴史について理解できるようになる
・産業革命について自分の意見を表明できるようになる
・産業革命について論じた文献に興味をもち、自ら調べる姿勢を身につける
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 産業革命の概要
第3回 産業革命はよいこと、悪いこと？①
第4回 産業革命はよいこと、悪いこと？②
第5回 産業革命の前史　産業革命は必然だったか
第6回 産業革命とヨーロッパ社会の変化
第7回 産業革命研究史の考察
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
18世紀から19世紀にかけて起きた産業革命は、今日のグローバル化やIT化のもとにおける変化とはもちろん異なるものです。しかし、過去の経験から私たちは何か学ぶことはないでしょうか。歴史的な見方が何に役立つかを探ることも講義の眼目のひとつです。
【受講前の準備学習等】
「産業革命」という言葉の意味を調べたうえで、次の5つの問いについて事前に自分の考えをまとめてください。「産業革命がなければ、世界はどうなっていたか」「産業革命がなければ、日本はどうなっていたか」「なぜ産業革命はイギリスで開始されたか」「イギリス以外で産業革命を開始することがありえたか」「なぜ産業革命は、イギリス以外でも行われたか」
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693410
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**近代ヨーロッパ宗教思想の変容**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	フカサワ　ヒデタカ 深澤　英隆 一橋大学名誉教授
日程 実施時間	11月8日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月15日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月29日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
近代ヨーロッパ世界は、中世に確立されたキリスト教の思想と文化が徐々に侵食され、相対化されてゆくという巨大な変動を経験した時代でした。伝統的なキリスト教思想は近代思想の挑戦を受け、激しい動揺のなかで新たな宗教思想のかたちを求めて苦闘しました。そしてこうしたプロセスは、今日でも続いているということができます。本講義では、以上のような時代背景を検討したのち、ドイツの社会学者であり、特異な思想家でもあるゲオルク・ジンメルの宗教論を取り上げ、近代ヨーロッパ宗教思想の変動のあり方を探ってみたいと思います。

【到達目標】
・近代ヨーロッパ社会の変容について、大局的な理解を獲得できる。
・近代ヨーロッパの宗教思想の概要について、十分な見通しを得ることができる。
・ゲオルク・ジンメルという思想家の宗教理解の概要を知ることができる。
・日本を含む現代社会が直面する課題と宗教との関係について、ヒントを得ることができる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに―問題の所在＋近代に至るヨーロッパ・キリスト教の思想と文化の概要
第2回 近代キリスト教社会の動揺と宗教状況の変容：啓蒙思想・近代科学・世俗化
第3回 近代におけるキリスト教世界への挑戦と思想界の変容
第4回 ゲオルク・ジンメルの思想の概要＋ジンメル宗教論講読1
第5回 ジンメル宗教論講読2
第6回 ジンメル宗教論講読3
第7回 ジンメル宗教論講読4
第8回 全体のまとめ―近代ヨーロッパ宗教思想の変容とジンメルの位置づけ

【学生へのメッセージ】
ジンメルという思想家は、時に理解の困難な思想家と言われることもあります。しかし読み込んでいきますと、十分理解が可能であり、また驚くほど現代的な内容を持っていることがお分かりいただけるものと思います。

【受講前の準備学習等】
受講前の準備学習としては、教科書に指定されている『ジンメル宗教論集』を入手し、関心のある論考から読み進めてください。また参考書などにもあたり、近代ヨーロッパという時代について予備知識を得てください。
事後学習としては、毎回の授業内容を確認し、また次の授業で指定されているジンメルの論考を読んでおいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ゲオルク・ジンメル『ジンメル宗教論集』を毎回ご持参ください。

【教科書】
・ジンメル宗教論集（ゲオルク・ジンメル／岩波書店（岩波文庫）／¥1,243／ISBN=9784003364468）

【参考書】
・ジンメル・コレクション（ゲオルク・ジンメル／筑摩書房（ちくま学芸文庫）／¥1,320／ISBN=9784480084651）
・ジンメル社会学を学ぶ人のために（早川洋行・菅野仁編／世界思想社／¥2,530／ISBN=9784790713722）
・ジンメル・つながりの哲学（菅野仁／NHK出版／¥1,067／ISBN=9784140019689）
・ヘーゲルからニーチェへ―十九世紀思想における革命的断絶・上（カール・レーヴィット／岩波書店（岩波文庫）／¥1,650／ISBN=9784003369326）
下巻は¥1,320円／ISBN＝9784003369333です。
・世俗の時代・上（チャールズ・テイラー／名古屋大学出版会／¥8,800／ISBN=9784815809881）
下巻は¥8,800円／ISBN＝9784815809898です。

科目コード	2693429
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**菅江真澄が描いた 江戸時代の日本**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	イシイ　マサミ 石井　正己 東京学芸大学名誉教授
日程 実施時間	11月19日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月20日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
江戸時代後期の紀行家・菅江真澄（1754～1829）は、今の北東北・南北海道をくまなく歩きました。それは、かつて教科書で勉強した松尾芭蕉の『おくのほそ道』を遥かに超える旅だったと言っていいでしょう。しかも、彼が書いた日記や地誌の中には、行く先々で描いた色鮮やかな図絵が数多く含まれています。それらを読み解くことによって、それまでにない江戸時代の日本を豊かに思い描くことができると思います。

【到達目標】
・菅江真澄の図絵がどのような意味を持つのかを知り、江戸時代の日本を思い描くことができる。
・菅江真澄の人生と記録の関係を知り、今後の生き方を考えるヒントをつかむことができる。

【授業テーマ】
第1回 菅江真澄の人生と作品
第2回 信濃の旅
第3回 蝦夷の旅
第4回 下北の旅
第5回 津軽の旅
第6回 秋田の旅①
第7回 秋田の旅②
第8回 図絵を読み解く意義を考える

【学生へのメッセージ】
菅江真澄の図絵を通して歴史や文学の見方を改め、そこから私たちが豊かに生きてゆくきっかけを探しましょう！

【受講前の準備学習等】
・秋田県立博物館菅江真澄資料センターのホームページを見て、菅江真澄の基礎を学んでください。
・事前にテキスト（教科書）を読んで、テーマとなる問題を探して受講してください。
・事後には、菅江真澄についての学習を深め、機会があれば図絵の場所を訪ねてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
テキスト（教科書）、ノート、筆記用具を用意してください。

【教科書】
・菅江真澄　図絵の旅（石井正己編・解説／角川ソフィア文庫／¥1,650／ISBN=9784044006792）

科目コード	2693437
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**伝統太極拳 ～身体術の基本その2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	イシミズ　ムネコ 石水　極子 元東京大学非常勤講師／楊露禅直系正弟子
日程 実施時間	11月19日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月20日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
伝統太極拳（楊露禅から正統に受け継がれた型）を題材として、根本哲理に基づいた身体術を実習します。伝統太極拳は護身術として編み出され定型化されましたが、その基礎は東洋医学に則り、健康に寄与し日常生活に生かせる合理的な身のこなしにも応用できることを学びます。その身体術には生命のホメオスタシス（恒常性）を尺度の基幹とし、穏やかに生きる秘訣を内在しています。その他の尺度の要素を取り上げ、実習により理解を深めます。さらに、特別番組「自分がわかる細胞健康科学」（跡見順子東京大学名誉教授）を手がかりに生命の基本単位《細胞》の理解へと繋ぎ、身体感覚を科学的視点で深化させ、からだの動き、感じること、科学の視点を融合させます。

【到達目標】
私たちは、地球という自然～1Gの重力場～で生まれた生物種の一つであることを再認識し、身体を視点に生きる哲学を問い、自己、他己、社会と相互交流する身体術尺度を理解する。『伝統太極拳において尺度の基幹は生命のホメオスタシス（恒常性）である』ことの意義を実習を通して認識し、心・身体・精神の平穏なバランスの基点（ニュートラル・ポジション）を体感し、日常生活で活用し実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 伝統太極拳の概要について～講義と体験～
第2回 からだの気づき12）身体術尺度①身体の構造（主に骨長）のテリトリー、伝統太極拳第十一
第3回 からだの気づき13）身体術尺度②視覚のテリトリー、伝統太極拳第十二
第4回 からだの気づき14）身体術尺度③触覚解剖学、伝統太極拳第十三
第5回 からだの気づき15）身体術尺度①②③まとめ、細胞の力学応答機構とスローエクササイズ効果
第6回 からだの気づき16）身体術尺度④心理的テリトリー、伝統太極拳第十四
第7回 からだの気づき17）身体術尺度の統合・調和、伝統太極拳第十五
第8回 総復習、伝統太極拳表演会

【学生へのメッセージ】
この実習を通して、伝統の身体術に馴染んでほしく思います。その身体観には《自分のからだを自身で管理するという意識》が含まれていますので、『からだのちょっとした使い方の工夫が、健康や護身に寄与できる』ことに気付くことが出来ます。全身を爽やかに動かしつつ、小さな動きの調整がさらに気持ち良さを導きますので、無理なく笑顔で参加しましょう。

【受講前の準備学習等】
これまでの印象に残るご自身の身体活動や怪我、手術などをまとめておいてください。個々人の違い（運動経験や現在の身体状況、例えば膝が痛いetc.）に配慮しつつ授業を進めたいと思います。また、教科書（p.157-159）を読んで概略を掴んでおいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況、及び、後日提出のレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、運動に適した服装、五本指のソックス（靴を履かず靴下で実習します。理由は足部の筋活動を確認する為です。但し、時節柄冷える場合は室内用運動靴を着用してください。）、シート（ヨガマットをお勧めします。およそ身長サイズ必要。これは『からだの気づき』の時に使用します。）、身体測定メジャー（一般のテーラーメジャー、肩幅などを計測します。）

【教科書】
・教養としての身体運動・健康科学（東京大学身体運動科学研究室 編／東京大学出版会／¥2,640／ISBN=9784130527040）

【参考書】
・身心一体科学　考え方と方法（跡見順子／東京大学出版会／¥6,160／ISBN=9784130664127）

【その他（特記事項）】
この科目は面接授業「伝統太極拳における身体術の基本」のその2にあたる授業です。過去に「伝統太極拳に学ぶ体の使い方」を受講し、すでに単位取得された方におすすめします。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693445
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**近代日本版画（1）**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	タキザワ　キョウジ 滝沢　恭司 新潟市美術館特任館長
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
まず西洋と東洋の版画史を概観したうえで、明治期終わりに登場した「創作版画」と呼ばれる近代日本版画の美術史的位置とその成立過程について解説します。そのうえで、江戸後期から昭和前期にかけての歴史を踏まえながら、時代ごとの作品にみられる表現の特質とその展開について、同時代の日本と西洋の芸術表現との関係のなかで考察していきます。近代日本版画は何を表現してきたかを考える授業になります。

【到達目標】
・版画の原理（版形式）と種類を理解し、説明できるようになる。
・東洋と西洋の版画史を比較しつつ、どの時代に如何なる版画家や作品が登場し、どのような作品が制作されたかを理解し、世界版画史の概要を説明できるようになる。
・江戸後期の浮世絵・銅版画から昭和前期の創作版画まで、各時代の文化芸術思潮を踏まえつつ表現動向と作品内容を理解し、説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 世界版画史のなかの近代日本版画
第2回 近世から近代へ　江戸後期の錦絵と洋風版画
第3回 明治の版画　錦絵・銅版画・石版画
第4回 表現の時代へ　創作版画登場とその背景
第5回 1910年代　ヒュウザン会・月映・仮面の版画
第6回 新時代の伝統木版　新版画の成立と展開
第7回 1920年代のアヴァンギャルドと版画
第8回 戦時下の版画

【学生へのメッセージ】
近代日本版画はまだ研究初期段階にある美術史の分野です。その内容・表現を一緒にあれこれ考えて読み解いていきましょう。作品制作の時代背景や西洋美術などとの比較参照によって表現の核心が見えたと思うときは気持ちがいいものです。

【受講前の準備学習等】
近代日本美術・版画を取り上げた展覧会や美術館の常設展示を観覧したり、関連文献を読むなど、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・世界版画史（青木茂（監修）、滝沢恭司ほか共著／美術出版社／¥2,750／ISBN=9784568400601）
・すぐわかる画家別近代日本版画の見かた（滝沢恭司ほか共著／東京美術／¥2,200／ISBN=9784808707514）
・もっと知りたい　川瀬巴水と新版画（滝沢恭司／東京美術／¥2,420／ISBN=9784808711825）

科目コード	2693453
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**チャールズ・ディケンズを読む2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	クマガイ　メグミ 熊谷　めぐみ 明治大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
ヴィクトリア朝を代表する作家の一人であるチャールズ・ディケンズ（Charles Dickens）の長編小説『大いなる遺産』（Great Expectations, 1860-61）を取り上げ、重要な箇所を中心に読んでいきます。当時のヴィクトリア朝イギリスの社会的・文化的背景にふれながら、作家と作品について理解を深めます。適時、映画やドラマなどの映像作品を参照し、アダプテーションの解釈についても検討します。

【到達目標】
作品の読解を通じて、チャールズ・ディケンズとその作品への理解を深める。ヴィクトリア朝イギリスの時代背景や文化的背景の基本的な知識を理解し、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 大いなる遺産1
第2回 大いなる遺産2
第3回 大いなる遺産3
第4回 大いなる遺産4
第5回 大いなる遺産5
第6回 大いなる遺産6
第7回 大いなる遺産7
第8回 大いなる遺産8

【学生へのメッセージ】
ディケンズやイギリス小説、ヴィクトリア朝などに関心がある方、一緒にディケンズの作品世界を探索しましょう。ディケンズのことをまったく知らないという方も大歓迎です。

【受講前の準備学習等】
ディケンズや『大いなる遺産』、ヴィクトリア朝について興味があることをできる範囲で調べておいてください。必須ではありませんが、あらかじめ作品を読んでおくと授業の理解度は飛躍的に高まります。翻訳、媒体は問いません。毎回の授業内容を活用して復習を行い、作品への理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693461
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**中東不思議ものがたりの考古学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	ハセガワ　ソウ 長谷川　奏 早稲田大学／東日本国際大学客員教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
『千夜一夜物語（アラビアンナイト）』は、9世紀頃には原型ができ、その後本来のアラビア語写本には存在しない話も加えられた経緯をもちますが、この講義では来歴にはこだわらず、広く物語を渉猟していきます。私たちにもよく知られた物語を選び、原文（翻訳）に触れ、映像を観ながら物語を楽しみつつ、考古学資料との接点を考えます。荒涼とした砂漠の一方で豊かな色彩感に彩られる日常、地中海べりから東洋、インド洋にわたる世界をめぐるヒトとモノ、古代の知を活かした科学技術の世界とふしぎ空間、といったイスラーム世界の魅力に触れていきます。
【到達目標】
イスラーム文明に対する近現代の西欧文明からの一方的なバイアスを排除し、イスラーム世界の人々の精神文化と物質文化の双方から、その深みが理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イスラームという宗教とイスラーム世界の特徴について
第2回 物語の始まりーシャハリヤール王とシャハラザード姫ー
第3回「アリババと40人の盗賊」
第4回「アラジンと魔法のランプ」
第5回「せむしの物語」
第6回「眼を覚ました永眠の男の物語」
第7回「ヌレンナハール姫と美しい魔女の物語」
第8回 イスラームと考古学ー原典に近づくアプローチー
【学生へのメッセージ】
講義は考古学的な手法でテーマを紐解いていくが、トピックは、歴史・美術・文学などさまざまな領域にわたるので、幅広い興味をもって講義にのぞみましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスに記されているキーワードを手掛かりに、講義の内容を予測しつつ、受講生各自によるトピックリサーチにより、講義メモの下書きを準備してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『アラビアン・ナイト』の国の美術史：イスラーム美術入門（小林一枝著／八坂書房（2011）／¥2,090／ISBN=9784896949865）
・新装版 図説 アラビアンナイト（西尾哲夫著／河出書房新社（2021）／¥2,112／ISBN=9784309763033）
・千夜一夜物語と中東文化（前嶋信次著、杉田英明編／平凡社: 東洋文庫 669（2000）／¥3,520／ISBN=9784582806694）
・すぐわかるイスラームの美術ー建築・写本芸術・工芸ー（桝屋友子著／東京美術（2009）／¥2,200／ISBN=9784808708351）
・カイロの邸宅ーアラビアンナイトの世界ー（木島安史著／丸善: 建築巡礼 14（1990）／¥2,530／ISBN=9784621035047）

科目コード	2693470	**授業概要**	**【授業内容】** 古典ラテン語の初歩を学びます。初級文法全体を学ぶには一年間（４単位）程度の学修が必要です。今回は四分の一程度を学び、ごく簡単な文章を理解できるようになるのを目標とします。古典ラテン語を学べば、カエサル『ガリア戦記』やオウィディウス『変身物語』、教会で用いられたラテン語も理解できるようになります。授業ではまず教科書の内容を学び、次の回までに重要な文法事項を暗記し、練習問題を解いてきます。次の週に、暗記した重要な文法事項は小テストで、練習問題は受講生が順番に発表して確認します。 **【到達目標】** 古典ラテン語のごく簡単な文章に関して、学生は次のことができるようになる。 １．正しく発音すること。 ２．それぞれの単語の文法的な形（名詞などの性・数・格や動詞の時制・数・人称など）をほかの人に正確に説明すること。 ３．文法的な形の分析にもとづいて、それぞれの単語がそれぞれの文章の中でどのような役割をもっているかを説明すること。 ４．２と３を活かして文法的に正しく和訳すること。 **【授業テーマ】** 第1回 文字と発音 第2回 動詞の活用（1）：現在時称、名詞の変化（1）：第1変化名詞 第3回 小テストと練習問題の答え合わせ 第4回 名詞の変化（2）：第2変化名詞・第1/2形容詞の変化・指示代名詞等の変化 第5回 小テストと練習問題の答え合わせ 第6回 動詞の活用（2）：未完了過去時称・未来時称、名詞の変化（3）：第3変化名詞 第7回 小テストと練習問題の答え合わせ 第8回 動詞の活用（3）：完了時称 **【学生へのメッセージ】** この授業では文法的に正しく説明できるかどうかが重要です。そのためには毎回事後学習を十分に行う必要がありますので、その時間をきちんと確保してください。単語の意味だけ調べてとりあえず意味が通じるような日本語の訳を作っただけではこの授業の目標に到達できないことに、特に注意してください。 **【受講前の準備学習等】** 事前学習 ａ．次に挙げる簡単な（英語の）文法用語がわからなければ復習して（あるいは調べて）おいてください：母音、子音、主語、述語、直接目的語、間接目的語、名詞・代名詞、形容詞、動詞（他動詞・自動詞、不定詞、3人称等）、副詞、接続詞。 ｂ．教科書の事前学習は必須ではありません。事後学習に力を入れてください。 事後学習 ｃ．事後学習は授業1日（2時限4時間）あたり10時間程度です。これを全3回行ってください。 ｄ．毎回指示される通りに、小テストの準備（暗記）と教科書の練習問題（和訳とラテン語訳）を行ってください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**ラテン語にふれる**		**【教科書】** ・標準ラテン文法（中山恒夫／白水社／¥2,090／ISBN=9784560017616） https://www.hakusuisha.co.jp/book/b203675.html
科目区分	専門科目：人間と文化		**【その他（特記事項）】** 授業用ページは以下の通りです。 https://museion.sakura.ne.jp/ouj/
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	マツウラ　タカシ 松浦　高志 東京大学助教		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～12:20 試験・レポート等 12:20～13:05		
実施会場	東京多摩学習センター		

科目コード	2693488
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**日本彫刻史（近代編）**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フジイ　アキラ 藤井　明 小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【12月20日（日）2時限のみ★小平市平櫛田中彫刻美術館（東京都小平市学園西町1-7-5)】で行います。

授業概要

【授業内容】
彫刻ってとっつきにくいと思っていませんか？
本講座では作品の見どころだけでなく、「展覧会」「美術学校」「銅像」「仏像」等をめぐって引き起こされた様々な出来事を取り上げながら、彫刻の魅力をお伝えします。
受講後は、彫刻が意外にも私たちの生活と密接に関係していることに気づき、彫刻に対するイメージが大きく変わっていることでしょう。
【到達目標】
美術用語の意味をよく理解したうえで、明治以降の彫刻史の流れについて概略を説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 彫刻とは何か
第2回 美術学校と高村光雲の活躍
第3回 博覧会の時代
第4回 銅像のはなし
第5回 ロダンと日本
第6回 美術館見学（小平市平櫛田中彫刻美術館）
第7回 大正時代の彫刻界
第8回 戦争と彫刻
【学生へのメッセージ】
美術の歴史を学ぶことは、単に作家の経歴や、作品の名前を頭に詰め込むことではありません。この講座を通じて、「彫刻とは何か」という、より根本的な問題を自分なりに考えながら、彫刻の魅力を味わってほしいと願っております。
【受講前の準備学習等】
・事前配布資料（1週間前にキャンパスメールで配布します）を読み、予習をしておいてください。
・シラバスの内容から判断し、書籍、インターネット等を活用して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。美術館入館料300円（第６回の授業のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2693496
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**ベンヤミンのメディア論入門**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	クボ　テツジ 久保　哲司 一橋大学名誉教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月26日(土) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月27日(日) 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
ドイツの思想家ヴァルター・ベンヤミン（1892-1940年）は、いまや人文・社会諸科学のほとんどあらゆる領域できわめて頻繁に引用・参照される存在です。彼の著作のうちで最も有名な論文「複製技術時代の芸術作品」は現代の芸術論やメディア論において古典中の古典の位置を占めています。本授業ではこの論文をなるべくわかりやすく解説したいと思います。
【到達目標】
機械的複製技術（写真、映画など）の発達が芸術にもたらした変化に関するベンヤミンの説を理解し、そのうえで、この論文が発表されてから現在までの90年間における芸術の変貌について、自分の考えを具体的な例にもとづき明晰な文章で表現することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ベンヤミンの生涯と著作
第2回「複製技術時代の芸術作品」の成立と背景
第3回 機械的複製技術がもたらした芸術の変化
第4回 アウラ（オーラ）
第5回 礼拝価値と展示価値
第6回 写真と映画
第7回 芸術と大衆
第8回 芸術の耽美主義化か、芸術の政治化か
【学生へのメッセージ】
授業の主眼は、知識を伝達することにではなく、皆さんが自分の頭で考えるための手がかりを提供することにあります。
【受講前の準備学習等】
「複製技術時代の芸術作品」に目を通しておいてください。授業が理解しやすくなります。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書
【教科書】
・ベンヤミン・コレクション1（ヴァルター・ベンヤミン著、浅井健二郎／久保哲司訳／筑摩書房（ちくま学芸文庫）／¥1,870／ISBN=9784480082169）

科目コード	2693500
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**ロシアと中東欧の映画を愉しむ4**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	サトウ　チトセ 佐藤　千登勢 法政大学教授
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
ソ連・ロシア映画に加えて今回はジョージアの作品もまじえ、映画のメッセージ性について象徴・寓意・カメラアングル・構図・台詞から探り、映像の力について考えます。そうすることで、ソ連とその衛星国だった東欧諸国、あるいはソ連の統治下にあったジョージアの歴史が国際社会の現状にどう繋がっているかを辿ることになります。しかし、何と言っても、ロシア（ソ連）とジョージアの映画の魅力に触れる機会となるでしょう。
【到達目標】
映画作品を内容（ストーリー）からのみならず、「表現」や「技法」の観点から鑑賞する方法を知ることで、映像表現の深みや重層性、監督の真意を探る視点を身につけることができるようになる。また今回とりあげる諸作品の鑑賞を通して、ソ連（ロシア)、ジョージアがいかなる歴史を辿って現状に至ったか、その一断面を理解できる。
【授業テーマ】
第1回 生きづらさの普遍性『アンナ・カレーニナ』
第2回 1980年代ソ連に甦る余計者『オブローモフの生涯より』
第3回 1980年代ソ連に甦る「女性と結婚」の問題『持参金のない娘』
第4回 家父長制を支える女性たち『モスクワは涙を信じない』
第5回 内面化された家父長制『ロシアン・スナイパー』
第6回 家父長制の呪縛とトラウマ『戦争と女の顔』
第7回 家父長制から離れて『花咲く頃』
第8回 シスターフッドが紡ぐ希望『ゴンドラ』
【学生へのメッセージ】
映像が語るメッセージと意味について考えていきましょう。ロシアやジョージアの歴史や文化の一断面を知る機会ともなります。本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれることをご承知おきください。
【受講前の準備学習等】
インターネット上の情報でよいので、シラバスに挙げた映画作品 について下調べをしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693518
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**AIプログラミング**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	46名
担当講師	マツダ　ユウコウ 松田　裕幸 東京大学非常勤講師
日程 実施時間	11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】
機械学習、深層学習、Transformer、生成AIに関し、中心的技術をプログラムの形で紹介します。
【到達目標】
本科目を通し、明示的なモデルを前提とする機械学習と大量のデータからモデルを推定する深層学習との違いを理解し、LLMの本質がTransformer設計にあることを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 機械学習講義① – 基本アルゴリズム
第2回 機械学習講義② – モデル評価とチューニング
第3回 深層学習講義① – ニューラルネットワークの基礎
第4回 深層学習講義② – CNN・RNNの実装と応用
第5回 深層学習講義③ – Attentionメカニズムと最新技術の展望
第6回 Transformer講義 – Transformerの原理
第7回 LLM講義 – 大規模言語モデル（LLM）の概論と実践活用
第8回 まとめと復習
【受講前の準備学習等】
・ハンズオンをGoogle Colab上のPythonコードの形で提供するので、Google Colab上のPythonプログラミングに慣れておいてください。
・カリキュラムに挙げた項目を最低1つ選び、内容を調べておいてください。
・授業で学習した内容や演習を活用し、上記事前学習の知識を更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
PC等、ブラウザを通し、Google Colabにアクセスできる環境を推奨します。一部タブレットは閲覧はできるが編集ができないので注意。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693526	授業概要	【授業内容】 整数に関する初等的な話題を2次行列式を使って捉えなおし、より簡明な表現方法で理解していくことを目指します。よく知られているユークリッドの互助法や連分数展開・互いに素といった話題は、2次行列式の掃き出し法とどのような関連があるのかについてご紹介していきます。特に平方剰余は他分野にも広く応用が見込まれる話題です。いくつかの応用例をご紹介しながら、2次行列式のもつ特徴が整数の合同問題を考える上で有用であることを学んでいきましょう。 【到達目標】 整数問題の文章・証明を、ある程度2次行列式の計算方法を用いて理解することができる。また、整数問題の発展的な話題についても2次行列式を用いることによって立体的に理解することができ、他分野への応用を積極的に行うことができる。 【授業テーマ】 第1回 整数の合同 第2回 ユークリッドの互除法 第3回 互いに素 第4回 連分数 第5回 平方剰余（1） 第6回 平方剰余（2） 第7回 平方剰余の応用（1） 第8回 平方剰余の応用（2） 【学生へのメッセージ】 2次行列式の掃き出し法等の計算にある程度慣れていることを前提として授業を進めます。 【受講前の準備学習等】 ユークリッドの互除法・連分数展開などの話題について自己学習に努めてください。授業で学習した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	東京多摩学習センター		
学習センターコード	13D		
クラスコード	K		
科目名	**平方剰余**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ホンダ　キョウコ 本多　恭子 法政大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05		
実施会場	東京多摩学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693534
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**みんなの天文学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フルショウ　レイコ 古荘　玲子 都留文科大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 第５時限　17:30～19:00 11月1日(日) 第１時限　 9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	東京多摩学習センター

授業概要

【授業内容】

第５回、第７回の授業でパソコン実習を行います。
自分用パソコンの持ち込みを推奨します（第７回はマウスもあると良いです）。
※当日PCの不具合が発生した際の対応はできません。
ただし、自分用パソコンを持ち込みできない場合でも、講師や他の受講者の画面を視聴することで、受講を可としています。

「あの星はなんだろう？」名前は？星座は？明るさは？色は？地球からの距離は？いつ生まれたの？この講義はまず、そんな質問から出発します。その質問に答えるために、時には星座早見盤に触れ、時には望遠鏡で実際の天体を観察し、時にはパソコンを操作します。そんな様々な体験を通して、天文学を身近なものとしてとらえ、みんなの天文学として共有し、最初の質問の答えを見つける方法を身につけていきます。

【到達目標】
・星の明るさと等級の関係、恒星のスペクトルの意味を理解し、HR図について説明することができる。
・星座早見盤の使い方を理解し、星座早見盤を使って季節の星座を探すことができる。
・望遠鏡の仕組みを理解して、実際に望遠鏡を使って天体観察をすることができる。
・天文ソフトの使い方を理解し、天体までの距離測定の方法や宇宙の階層構造を理解する。
・太陽黒点観測を体験して、太陽黒点と太陽活動の関係を理解する。
・近年の主要な天文学の観測成果・研究成果を理解して、その意義を説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 太陽黒点観測と最近の太陽活動
第2回 太陽系探査最前線
第3回 星座早見盤使用法
第4回 望遠鏡の組み立てと天体観察
第5回 太陽系の姿～天文ソフトMitakaを使おう～
第6回 星の明るさと等級、スペクトル、HR図
第7回 宇宙の距離をはかる～天体画像処理ソフトMakali'iを使う～
第8回 最新天文学最前線

【学生へのメッセージ】
この講義では、専門的な知識を必要としません。でも、講義の前に、ぜひ星空をながめてきてください。そして、見えている星の明るさや色を実感してください。そして、自分なりに感じたこと、あるいは質問や疑問を見出して、この講義にのぞみましょう。

【受講前の準備学習等】
晴れた日には星空をながめてください。
日頃からテレビやニュースで流れる天文・宇宙の話題を意識してください。
例)NHKのサイエンスZERO、NHKBSのフロンティアなど
近所の科学館やプラネタリウムに出かけて、展示やプラネタリウムを見学してみましょう。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
＜11月1日（日）に使用する端末の準備＞
(1) インターネット接続が必要
　インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
(2) ノートパソコンが必要
　この授業では、スマートフォンでは十分な機能・表示ができないため、ノートパソコンが必要です。第７回の実習では、マウスなどのポインティングデバイスがあると良いです。タブレットは向きません。
(3) 以下のソフトをインストールしてください。
　・4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」
　　https://4d2u.nao.ac.jp/wp-content/uploads/mitaka/software/mitaka_174a_w_topo.zip
　・すばる画像解析ソフト Makali'i（マカリィ）　※安定版であるVer. 2.1を推奨します。
　　http://makalii.mtk.nao.ac.jp/download/MkISetupJ.exe
　※ソフトのインストール後、必ず自宅で起動確認を行ってください。
　※その他必要なファイルは、授業中に指示してダウンロードします。
(4) 設定等 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウィルス定義ファイルも適切に更新してください。

【参考資料】
・教材：星団の分光視差（散開星団までの距離を求めよう）
　https://sites.google.com/view/paofits/Materials/fits%E6%95%99%E6%9D%90/SpParall
・hscmap
　http://hscmap.mtk.nao.ac.jp

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況、レポート及び試験の評点によって行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。
配布した資料は、次回も持参するようにしてください。最後の試験でも必要となります。
11月1日（日）
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。マウスもあると良いです。
2．OSの指定
　OSはWindowsが必要です（MacOSは不可）。
3．ソフトのインストール
　・表計算ソフト（Microsoft Execlを推奨）が必要です（Office365は不可）。
　・ブラウザが必要です（Chrome, Microsoft Edgeのいずれかを推奨）。
4．その他
　ソフトのバージョン指定はありませんが、いずれも最新版をご用意ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・最新 宇宙大図鑑220（ニュートンプレス／ニュートンプレス／¥1,980／ISBN=9784315523799）
・あなたもできるデジカメ天文学（鈴木文二・洞口俊博編／恒星社厚生閣／¥2,970／ISBN=9784769915751）
・理科年表 2026（国立天文台編／丸善出版／¥1,650／ISBN=9784621311820）
・すべての人の天文学（岡村 定矩（監修）、芝井 広（監修）、縣 秀彦（編著）、大山 真満、大朝 由美子、工藤 哲洋、佐藤 文衛、谷口 義明、真貝 寿明、鴈野 重之、西浦 慎悟／日本評論社／¥2,640／ISBN=9784535789463）

【その他（特記事項）】
※持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師、TA及び学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますので、ご注意ください。
※「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693542
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**多摩のまつりと自然**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	30名
担当講師	カキシマ　サトシ 柿嶋　聡 昭和医科大学准教授 ナカザト　リョウヘイ 中里　亮平 長野大学非常勤講師 ヨシムラ　カゼ 吉村　風 茨城女子短期大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【10月24日（土）1～2時限:東京多摩学習センター　10月24日（土）3～4時限★府中浅間山周辺　10月25日（日）1～4時限★八王子市内（10月25日（日）は現地集合予定)】で行います。

授業概要

【授業内容】
多摩は古代より関東の中心として人々が生活を営んできた地域です。都市化とともに多摩独自の農村文化や自然は失われつつありますが、多くの祭礼が自然と結びついていることを確認することは今でも可能です。本面接授業は「祭礼」にスポットを当て、多摩の民俗文化と自然環境の講義と野外巡検を行います。失われゆく自然環境と人々のくらしを追体験することで、多摩の地域資源の発掘と域学連携の端緒につながる講義を目指します。

【到達目標】
・多摩の民俗文化の変容において、人々の住む自然環境がどのように関連してしてきたのか、概説できる。
・人々の暮らしの変化によって、多摩地域の祭礼がどのように変遷してきたか、概説できる。
・自然が失われてきたことで、人々のくらしにどのような変化が起き、利益や不利益が生じたのかを、祭礼、自然、景観などの地域資源の例を挙げて説明できる。

【授業テーマ】
第1回 新田開発と武蔵野台地の祭礼（柿嶋・中里・吉村）
第2回 多摩地域の芸能とくらし（柿嶋・中里・吉村）
第3回【巡検】浅間山周辺の植物（柿嶋・中里・吉村）
第4回【巡検】浅間山と祭礼（柿嶋・中里・吉村）
第5回【巡検】富士塚から見る八王子（柿嶋・中里・吉村）
第6回【巡検】八王子の祭礼と自然・地形（柿嶋・中里・吉村）
第7回【巡検】浅川と八王子（柿嶋・中里・吉村）
第8回【巡検】多摩のまつりと自然（柿嶋・中里・吉村）

【学生へのメッセージ】
この科目は東京多摩学習センターにおける講義と、講義内容に関連する地域の巡検を組み合わせた授業となっています。徒歩移動（2日間とも5km程度）があるため、服装、靴、体調管理、水分補給は各自でご注意ください。

【受講前の準備学習等】
・多摩地域の歴史の概要について､本やインターネットなどで調べておいてください。
・多摩地域にはどのような祭礼があるか、本やインターネットなどで調べておいてください。
・里山の自然について、本やインターネットなどで調べておいてください。
・授業で学修した内容や巡検で見学した内容について復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
動きやすい服装・靴（2日間とも5km程度を歩きます。都内ですが、多少の高低差があります。)・雨具・筆記具・巡検中の交通費（2日間で1,000円程度）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・図解案内　日本の民俗（福田アジオ、小林光一郎、吉村風ほか著／吉川弘文館／¥3,630／ISBN=9784642080613）
・葉で見わける樹木 増補改訂版（フィールド・ガイドシリーズ23 ）(林将之／小学館／¥2,134／ISBN=9784092080232)
身近な草については「花と葉から見わける野草」亀田龍吉・有沢重雄（小学館）も携帯用によい。
・保全生態学入門 改訂版: 遺伝子からランドスケープまで（矢原徹一、鷲谷いづみ／文一総合出版／¥3,960／ISBN=9784829965344）
2023年に出版された改訂版。

【その他（特記事項)】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
天候などによりスケジュールが変わる場合があります。初日の座学には必ず出席をして集合場所・スケジュールの把握に努めてください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2693550
学習センター	東京多摩学習センター
学習センターコード	13D
クラスコード	K
科目名	**多摩の水とくらし**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	30名
担当講師	ヤスイ　マナ 安井　万奈 早稲田大学研究員非常勤講師 ナカザト　リョウヘイ 中里　亮平 長野大学非常勤講師 ヨシムラ　カゼ 吉村　風 茨城女子短期大学准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	この授業は、【11月14日（土）1～2時限:東京多摩学習センター　11月14日（土）3～4時限★拝島周辺　11月15日（日）1～4時限★青梅市周辺（11月15日（日）は現地集合予定)】で行います。

授業概要

【授業内容】
本講義では多摩川に代表される多摩地域の河川や地下水を主な題材として、多摩地域における水環境とその利用を自然科学・人文学二つの側面から複合的に検討するものです。まず、多摩地域における水環境とそれを取り巻く地形・地質をもとに供給される水質を考えます。そして人々が地域の水環境をどのように利用し、歴史的・文化的に影響を受けてきたか、実際に現地を見て考えたいと思っています。
【到達目標】
多摩地域の水をめぐる文化について、現地を歩いて説明を受けることによって、自然科学的・人文学的双方の側面から総合的に理解することを目指す。
【授業テーマ】
第1回 多摩川水系の地質と水質（安井・吉村・中里）
第2回 多摩地域における水環境の利用とくらし（安井・吉村・中里）
第3回 多摩川と玉川上水（1）～拝島の河成段丘を見る（安井・吉村・中里）
第4回 多摩川と玉川上水（2）～玉川上水の利用（安井・吉村）
第5回 多摩川がつくるもの・はこぶもの（1）～土壌と水質（安井・吉村）
第6回 多摩川がつくるもの・はこぶもの（2）～多摩地域の歴史・民俗（安井・吉村）
第7回 多摩地域の地下水とその利用（安井・吉村）
第8回 多摩の水とくらし（安井・吉村・中里）
【学生へのメッセージ】
この面接授業では、実際に野外に出て、長距離を歩き、地形や湧水などの観察、現地の史跡、建造物、博物館・工場（石灰石加工場跡・酒造工場など）の見学を行います。長距離の徒歩移動があるため、服装や靴などの装備や、また体調の維持に注意してください。なお、初日は5km程度、２日目は8km程度を歩く予定です。歩行に不安のある方は事前にご相談ください。
【受講前の準備学習等】
実際に見て回る「熊川駅～拝島駅」「宮ノ平駅～沢井駅」周辺の地図をネットなどで検索し、その特徴的な地形、家や田畑の配置、寺社の所在などを確認して、現地における解説と地理的環境が一致するようにしてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
動きやすい服装、歩きやすい靴。雨具、筆記用具。移動の公共交通費用・施設の見学費用（1,000円～1,500円程度）
当日は高低差を含む地域で 5km～8km程度歩きます。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・図解案内　日本の民俗（福田アジオ、小林光一郎、吉村風ほか著／吉川弘文館／¥3,630／ISBN=9784642080613）

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
１日目の午後は拝島、２日目は青梅市周辺で実施する予定です。実施時期の現地状況により、実習内容を変更することがあり得ますので、変更があった場合は学期初めに通知します。また、急な天候の変化により、一部授業の変更をする場合もあります（例：2017年度台風によるコースの変更など)。利き水など、味覚で考えていただくものをいくつか想定しています。アレルギーがある方、心配な方は授業開始前に教員に申し出てください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

東京渋谷学習センター

東京渋谷学習センターは、全ての授業を【ライブWeb授業】で開講します。
2026年度第2学期は、34科目のライブWeb授業を開講します。
※対面による面接授業は開講しません。

「ライブWeb授業」は、ご自宅のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等はすべて専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。Zoom授業は第1～7回は90分、第8回は45分または90分です。原則として1単位（8コマ）の授業となります。授業への取り組みやレポート等の評価の結果、合格した場合には所定の単位が付与されます。ライブWeb授業は、卒業要件上は「面接授業又はオンライン授業」として取り扱います。

受講を検討される方は、放送大学ウェブサイト「ライブWeb授業」のページをご確認ください。
＜放送大学ウェブサイト／選ばれる理由／いつでも、だれでも、自由な学び方を／
ライブWeb授業＞

【東京渋谷学習センター開設科目について】

東京渋谷学習センターが開設するライブWeb授業科目一覧は、放送大学ウェブサイト「ライブWeb授業」のページおよび「面接授業開設科目一覧」P.55～57に掲載しています。授業内容の詳細は、放送大学ウェブサイト「ライブWeb授業」のページをご確認ください。

科目コード	2693569
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**中国語の初歩：発音編**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	オウ　ビン 黄　斌 早稲田大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月31日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
はじめに声調やピンインの原則を学んだ後、母音や子音、無気音・有気音に注意しながら発音練習を繰り返していきます。また、授業の中では上記の発音練習で学んだことを意識して、旅行や買い物などの場面で使える会話練習にも取り組みます。なお、面接授業「中国語の初歩：文化編」(2025-1神奈川）とは、多少授業内容の重複があります。

【到達目標】
中国語未習者に対応する授業です。声調とピンインを習得し、発音や日常生活の会話表現を中心に、受講者一人ずつの発音をチェックしながら授業を進め、より自然な発音を身に付けることを目指します。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、中国語の概要、声調
第2回 母音、子音
第3回 あいさつ表現
第4回 １回～３回までの復習
第5回 無気音と有気音、そり舌音ほか、自己紹介の練習
第6回 文化から学ぶ中国語
第7回 旅先での会話（1）
第8回 旅先での会話（2）

【学生へのメッセージ】
中国語の基礎をマスターすると同時に、授業内で紹介する映画や動画を通じて中国語圏の国々の文化・社会・歴史等も学んでいきましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・《最新2訂版》中国語はじめの一歩（尹景春、竹島毅／白水社／¥2,420／ISBN=9784560069257）
・初級テキスト日中いぶこみ広場（相原茂、陳淑梅、飯田敦子／朝日出版社／¥3,025／ISBN=9784255451930）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
中国語の初歩は発音編、文化編、会話編の３科目で構成され、本科目は発音編です。

科目コード	2693577
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**基礎ドイツ語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	24名
担当講師	タチカワ　ムツミ 立川　睦美 上智大学非常勤講師
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
入門ドイツ語に続く講座です。発音、あいさつ表現、sein動詞を使った文や4格目的語を伴う単純な構造の文、語順の原則など、初歩的なドイツ語知識のある方を対象としています。入門レベルの文法も適宜説明します。一通り文法を習ったがもう一度学び直したいと考えている方にも向いています。初級、初中級、中級へと継続的な学修を視野に入れて、文構造の基本をしっかりと身につけます。授業は項目ごとに、表現や文法事項の導入・説明→問題演習→解答解説の演習形式で進めます。

【到達目標】
基礎的な文法と語彙を学ぶことで、現在形で書かれた平易な文章を辞書を使って読むことができ、また簡単な文であれば書くことができるようになります。日本語や英語など他の言語とのしくみの違いについて考えること、また言葉とともにドイツ語圏の地域・社会・文化について学ぶことで異文化理解を深めることができます。

【授業テーマ】
第1回 入門レベルのドイツ語の復習
第2回 動詞（規則動詞・不規則動詞）の現在人称変化
第3回 命令表現
第4回 名詞・人称代名詞①
第5回 名詞・人称代名詞②
第6回 前置詞①
第7回 前置詞②
第8回 時刻の表現

【学生へのメッセージ】
ドイツ語は基本が身につけば、その先の進歩は格段に速まります。最初から全体像を捉える意識を持って学修を進めてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
独和辞典（独英辞典等も可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693585
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**話せる韓国語入門2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	24名
担当講師	キム　ジナ 金　珍娥 明治学院大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
春学期の学習をふまえ、韓国語の基礎を学びます。韓国語の文字と発音、語彙、文法の基礎を獲得します。発音の練習も重視しながら、初級の段階から実践的に表現しうる能力を養います。日本語との対照的な観点からアプローチし、韓国語を話す喜びを深く実感できるようになります。

【到達目標】
春学期に修得した基礎を定着させ、用言の多様な活用を自在に使いこなせるようになる。用言の終止形や接続形、尊敬形や過去形といった主要な文法諸形式を体系的に理解し、習得できる。基礎語彙を拡充することで、日常の多様な場面に応じた実践的な表現能力を高めることができる。韓国文化についても理解を深め、コミュニケーション能力を総合的に増強できる。「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく学習できる。真摯かつ活気ある学習を通して、韓国語を学ぶ喜びを実感しながら、充実した学びを享受できる。

【授業テーマ】
第1回 春学期の復習。1課：用言の活用。「行きます」「会いましょう」など、用言の多様な活用方法を学ぶ
第2回 2課：〈こんにちは。イ ユアです。〉丁寧な文体の해요体（です・ます体）。感嘆を表す-네요（…ですね）
第3回 3課：〈買い物もして韓国料理も食べましょう。〉接続形の-고（…して）。相談・提案を表す-ㄹ까요?（…しましょうか）
第4回 4課：〈近くにコンビニもありますか。〉丁寧な文体の합니다体（です・ます体）。婉曲に表現する-죠（…でしょう）
第5回 5課：〈韓国語がとてもお上手です。〉接続形の-서（…して）。動作の継続を表す-고 있어요（…しています）
第6回 5課：〈韓国語がとてもお上手です。〉尊敬を表す-시-（…していらっしゃる）。命令を表す-세요（…してください）
第7回 6課：〈プルゴギ バーガーセットできました。〉過去を表す-ㅆ-（…しました）。依頼を表す해 주세요（…してください）ㅆ- ●名詞形 -기 ●依頼形 해 주세요
第8回 7課：〈お食事はなさいましたか？〉過去の尊敬形表す-셨-（…なさった）。約束を表す-ㄹ게요（…しますから）

【学生へのメッセージ】
初回の授業は極めて重要です。第１回目の授業には必ず出席してください。
小テストは随時実施します。

【受講前の準備学習等】
2回目以降、毎回授業の初めに簡単な小テストを行います。授業の事後復習と事前予習を自分の判断で努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況と小テストの評点をもって総合的に判断します。

【受講者が当日用意するもの】
1回目の授業時に必ず教科書を用意してください。

【教科書】
・『ユアと韓国語 初級』（金珍娥・野間秀樹 共著／くろしお出版）
2026年9月出版予定

【参考書】
・『新版 ハングルの誕生ー人間にとって文字とはなにかー』（野間秀樹著／平凡社／¥1,760／ISBN=9784582769227）
・『カナヘイの小動物ゆるっとおぼえる韓国語単語』（金珍娥著／Jリサーチ出版／¥1,100／ISBN=9784863925595）
・『カナヘイの小動物ゆるっとカンタン韓国語会話』（金珍娥著／Jリサーチ出版／¥1,100／ISBN=9784863924901）
・『カナヘイの小動物ゆるっとカンタン旅行韓国語会話』（金珍娥著／Jリサーチ出版／¥1,320／ISBN=9784863926585）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693593	**授業概要**	**【授業内容】** 最初に、英単語の構造を理解する上で重要な「英語とはどのような言語であるか」について学びます。次にアンドロイド、コラボレーション、テレパシー、サプリメントなど日本人に馴染みの深い単語を通して、英単語の基本要素であるprefix（接頭辞）、root（語根）、suffix（接尾辞）について学びます。授業の途中で演習も実施しますので、無理なく理解を深めることができます。英語語彙に対する心理的なハードルを下げ、楽しく語彙を増やすことを目指しています。 **【到達目標】** 本講義では、英単語の構造を理解し、興味を持って英語語彙を効率的に増やすための基本的知識を身に付けることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション／英単語の構造／英語はどのような言語か 第2回 既知の単語（アンドロイド、テレパシーなど）からrootを発掘する 第3回 既知の単語（アトラクション、サプリメントなど）からprefixを発掘する（その１） 第4回 既知の単語（コラボレーション、アグレッシブなど）からprefixを発掘する（その２） 第5回 suffixは面白い（その１） 第6回 suffixは面白い（その２） 第7回 rootを知っていると語彙数は飛躍的に増える（その１） 第8回 rootを知っていると語彙数は飛躍的に増える（その２） **【学生へのメッセージ】** 語彙力の不足が原因で伸び悩んでいる上級を目指す方、海外のサイトをもっとすらすら読みたいと考えている上級者の方などは是非受講されることをお勧めします。また、講義は短期間に多くのことを学ぶため、復習に時間を要することを念頭においてください。 **【受講前の準備学習等】** BBC.com、CNN.com、Forbes.comなどの任意の英語で書かれた記事を読んで、100ワード当たり知らない単語（見たことはあるが、意味が分からないものを含めて）がどのくらいあるかを把握しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**英語語彙力強化**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	マエカワ　マコト 前川　誠 名古屋大学客員教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月5日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月12日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月19日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** お持ちであれば、語源に関する記述がある英和電子辞書、英和紙辞書をご持参ください。（スマホのアプリなどでも可） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2693607
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**社会的運用からみる「英語」**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	210
定員	30名
担当講師	コバヤシ　マサヨシ 小林　正佳 放送大学客員教授／横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	11月13日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月20日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月27日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちにとって外国語である英語について、構造（発音・語彙・文法等）と運用（実際の使用やコミュニケーション等）の観点から再確認したり新たな認識に至るような知見にふれていきます。特に社会の中で使用されてどのような機能を果たすかという点について、日本語と対比しながら考えていきます。授業では教科書の内容のエッセンスを平易に説いていきますが、履修学生皆さんの「英語」に対する疑問・体験・希望などの「声」を聴きながら進めて行きたいと思います。

【到達目標】
・言語としての英語の構造面（音声・語彙・文法等）への基礎的な知識を持ち、簡潔に説明ができる。
・英語ネイティブスピーカーの言語運用について、社会的属性、発話行為、ポライトネス等の視点から簡潔に説明ができる。
・グローバル化し、ITやAIが世の中を席巻していく中で、英語とどう付き合うべきか私見を述べることができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：自己にとっての英語
第2回 さまざまな英語
第3回 語彙・音韻からみる英語らしさ
第4回 文法からみる英語らしさ
第5回 英語と社会的属性
第6回 英語の発話行為
第7回 英語のポライトネスと談話分析
第8回 英語文化とコミュニケーション・スタイル

【学生へのメッセージ】
英語とは中学や高校で学習してきた側面だけではない、ということに多少興味・関心があれば本科目は有意義で楽しいと思います。英語スキル向上を目指す科目ではありませんので誤解のないようにしてください。

【受講前の準備学習等】
授業では教科書の内容の重要と思われるところを中心に説いていきます。事前に該当箇所（章）を読み、概要をつかんで授業に臨んでください。授業ではスライド資料（Powerpoint）により解説します。そしてそのスライド資料と教科書をもとに事後学習をしてください。成績評価（筆記試験）までに事後学習が完了するように計らいます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書を持参してください。

【教科書】
・ベーシック　新しい英語学概論（平賀正子／ひつじ書房／¥1,870／ISBN=9784894765542）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693615	授業概要	【授業内容】 統計の基礎的な内容を講義します。具体的には、まず、平均、分散、標準偏差などのデータを特徴づける量について紹介した後、統計を理解するために必要な確率、確率変数、典型的な分布の例を説明します。その後、一部のデータから全体を推測する「推定」、ある仮説を立てたときにそれが正しいかどうかを判定する「検定」、データのグループ間の関係を表す「相関」について解説します。 【到達目標】 最初に、平均、分散、標準偏差などのデータを特徴づける量について理解することができる。次に、確率の定義と性質、さらには、確率変数の定義と性質、二項分布や正規分布のような典型的な分布の例を理解することができるようになる。そのうえで、統計の考え方やその基本的な手法である、推定、検定、相関について習得することができる。 【授業テーマ】 第1回 データの特徴量について 第2回 確率とは何か 第3回 確率変数の性質 第4回 典型的な分布の例：二項分布と正規分布 第5回 推定の考え方と手法 第6回 検定の考え方と手法 第7回 相関の考え方と計算 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 前提知識として高校のレベルを想定しています。統計の基礎をやさしく解説しますので、苦手な人もしっかり学んで頂きたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、筆記試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**統計の基礎を学ぶ**		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	32名		
担当講師	コンノ　ノリオ 今野　紀雄 横浜国立大学名誉教授／立命館大学客員教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		【受講者が当日用意するもの】 教科書（必ず事前に用意するようにお願いします） 【教科書】 ・［Si新書］統計学　最高の教科書（今野紀雄／ソフトバンククリエイティブ／¥1,100／ISBN=9784797395334） 【参考書】 ・横浜発 確率・統計入門（今野紀雄 他／産業図書／¥2,750／ISBN=9784782805121）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2693623
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**ウォーキングは生涯スポーツ**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	エビハラ　オサム 海老原　修 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	この授業は、【10月17日（土）は神奈川学習センター、10月18日（日）のみ★神奈川学習センター周辺のウォーキングを予定】で行います。

授業概要

【授業内容】
精確性を保証する機器が科学を保障するとは限りません。過度の機器への依存は測定の原理をおざなりとするかもしれません。本講義では、身近な測定機器となる巻き尺・ものさし、時計、体重計などによって、①形態と運動機能を測定し、②ウォーキングの実践を通じて理論を学び、③安心・安全なウォーキング・ルートを自ら開発する知見に触れ、④運動継続の社会心理的理論を知り、⑤ウォーキングが理知と情動を刺激する可能性を体験的に学習します。

【到達目標】
いつでも、どこでも、だれでもできる運動・スポーツは生涯スポーツではありません。そのように簡単ならば学ぶ必要がないからです。自らの身体のありようを知るためには他者の身体のありようを知る必要があります。この試みによって初めて主体的な身体知が獲得できます。このような学習を通じてヒトをして人に変身せしめる知見の獲得が目標となります。

【授業テーマ】
第1回 形態計測の理論と実際～身体組成：メタボリックなからだと隠れ肥満～
第2回 運動機能測定の理論と実際①：歩幅を測定する
第3回 運動機能測定の理論と実際②：ストライドと ピッチの関連性
第4回 運動機能測定の理論と 実際③：運動負荷上昇に伴う脈拍の応答
第5回 ウォーキングの理論と実際①：神奈川学習センター周辺を歩く
第6回 ウォーキングの理論と実際②：神奈川学習センター周辺を歩く
第7回 ウォーキングの理論と実際③：さまざまなストレッチング
第8回 まとめ：運動継続の社会心理学

【学生へのメッセージ】
使わなければ使えなくなる廃用性萎縮は、他者を思いやる心性（情動）にも、勉強（理知）にも、動かすべきからだ（身体）に顕著にあらわれます。他者の気持ちを理解しようと慮らねば自らのこころを描けません。コンピューターにお任せすると暗唱・暗算の能力を劣化せしめます。だから、歩かなければ歩けなくなります。

【受講前の準備学習等】
左右に配置される身体部位は必ずしも対称とはなっていません。前腕や上腕の長さや太さ、太ももや下腿のそれも異なります。ウォーキングにおいて、この違いが顕著に確認できるツールはシューズです。シューズのどのあたりに違いがあらわれるか、自分と身近な人のシューズの左右差について観察しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
歩幅の特異性ならびに異なる運動強度の変化に伴う身体機能の変化を図解しなさい。

【受講者が当日用意するもの】
①運動に適した服装・靴、②歩数計（スマホ等にダウンロードできます）、③電卓、④あらかじめ身長を測定しておく 、⑤腕時計、⑥ヨガマット（【授業テーマ】第７回のストレッチングで使用します。ない場合は体の下に敷いてもよいレジャーシートなどで代用可。）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
２日目は学外でのウォーキングを行います。（神奈川学習センターを起点に所要時間２時間、距離８キロ前後）
健康状態を十分考慮して履修登録の申し込みをしてください。
雨天の場合や諸般の事情により学外授業の実施ができなくなった場合には、神奈川学習センターで授業を行います。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693631
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**救急搬送サービスを科学する**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オオシゲ　ケンジ 大重　賢治 横浜国立大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
救急車の出場件数が増加してきています。最大の原因は人口の高齢化にありますので、都市部では今後15年ほど、この傾向が続くと予想されます。救急車要請の増加は、救急隊の現場到着時間の遅延をもたらすため、医学的にも社会的にも大きな影響が出てきます。横浜では、問題が顕在化し始めた2000年代より、消防機関と研究機関が協力して、効率的で効果的な救急搬送システムについて検討がなされてきました。本講義では、横浜での取り組みを紹介しつつ、地域の救急搬送サービスの在り方について考えていきたいと思います。

【到達目標】
救急搬送サービスのあり方について自分の意見を論理的に述べることができるようになる。
不適正な救急車利用とは何か、考察を深めることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 増加する救急車需要
第2回 方法論概説Ⅰ：　回帰モデル
第3回 方法論概説Ⅱ：支払意思額測定、二項変数の解析
第4回 救急搬送サービスの需要サイドに働きかける政策
第5回 救急車の有料化議論①　価格が与える影響
第6回 救急車の有料化議論②　通報に影響を与える社会的要因
第7回 救急搬送サービスの供給サイドの改革
第8回 救急車の有料化議論③　不適正な利用とは

【学生へのメッセージ】
方法論概説ⅠⅡでは、統計学的な話が出てきます。苦手な人もいるかと思いますが、大まかな理解で十分です。

【受講前の準備学習等】
・回帰分析（線形回帰分析、ロジスティック回帰分析）について、あらかじめ学習しておくと理解は深まると思います。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。レポートのテーマは、１日目の講義の最後（第4回講義の終わり）に提示します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
レポートは第８回後半の試験・レポート等の時間に作成していただきます。
書き終わらない場合は指定する締め切りまで提出を受け付けます。
提出期限、提出方法は授業中に説明します。

科目コード	2693640
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**先進医療の進展と物質・材料**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ナミキ　ヨウイチ 並木　陽一 NAMICOS技研代表 キムラ　フミカズ 木村　文一 信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻病因・病態検査学領域講師 カワサキ　ケンジ 川崎　健治 千葉大学医学部附属病院臨床検査技師長
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
様々な優れた性質を持つ高分子材料は先進医療を支えるとともに日常生活に無くてはならないものになっています。この授業では、生活を支える物質・材料の重要性を知るとともに、身近な高分子材料とその医療への応用を理解しつつ、臨床検査や診断の技術、治療技術における先進医療の進展の実際と物質・材料の関わりを学びます。この授業は、市民講座というよりは大学の専門科目として難解な部分があります。

【到達目標】
・病院などの医療機関を利用する際に受ける様々な臨床検査や医療機関で実施されている先進的な医療について、利用者として、または医療従事者として概要を理解する。
・身近な材料の技術が医療分野の周辺技術でも使われていることを学び、先進の医療技術が他の技術にどのように支えられているということをレポートで説明できる。

【授業テーマ】
第1回 臨床検査総論　（川崎）
第2回 検査プロセス概論　（川崎）
第3回 生活を支える物質・材料の重要性　（並木）
第4回 身近な高分子材料　（並木）
第5回 医療を支える高分子材料　（並木）
第6回 画像診断技術　（木村）
第7回 最新の内視鏡検査　（木村）
第8回 病理検査における標的治療の実際　（木村）

【学生へのメッセージ】
授業内容のすべてを理解しようとするよりは、先進の技術が他の技術に支えられているということを授業内容を通じて実感していただくことを願っています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して事前学習を行ってください。
また、授業で学習した内容などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、各自にとってどんな知見が得られたかについて記述していただくものです。（※レポートの提出期限は別途指示いたします。）

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「先進医療の進展」とは、授業内容が重複する部分があります。

科目コード	2693658
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**リスク入門**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	55名
担当講師	オオタニ　ヒデオ 大谷　英雄 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	11月6日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月13日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月20日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月27日(金) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
リスクという言葉は医学、経済、工学などいろいろな分野で使われており、少しずつ使い方が違います。この授業では工学的なリスクを中心にしますが、リスクの考え方やリスクをどう理解すれば良いかなどについて説明します。
【到達目標】
近年、社会のいろいろな分野で使われるようになってきたリスクという言葉について工学的定義などを知り、その意味を理解できるようになる。また、人間の認知能力について知り、リスクの基本となる確率的表現を正確に理解できる。
【授業テーマ】
第1回「リスク」とは？
第2回 ハザードの同定
第3回 定量的リスク評価
第4回 リスクの受容
第5回 リスクをどう伝えるか
第6回 リスクの心理学
第7回 コミュニケーションの手法
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
近年、社会にはいろいろなリスクが存在することが認識されるようになってきています。このようなリスクをどう捉え、どのように対応するべきか、心理学的な面も含めて理解ができるようになって欲しいと思っています。
【受講前の準備学習等】
事前に世の中にあるリスクについて調べてください。普段からテレビや新聞のニュースに興味を持つこと。リスクという言葉が出てくるニュースがあるはずですので、社会的にリスクという言葉がどのように使われているかを自分なりに考えてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、8回目の後半に行う筆記試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。毎回当日のパワーポイントのシートを印刷したものを資料として配布しますので、気になったことをメモするようにしてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・リスクを考える（吉川肇子／ちくま新書／¥946／ISBN=9784480074898）
・バイアスとは何か（藤田政博／ちくま新書／￥1,056／ISBN=9784480074089）
・ヒューマンエラーの心理学（一川誠／ちくま新書／¥946／ISBN=9784480072351）
・偶然の科学（ダンカン・ワッツ、青木創／早川書房／¥946／ISBN=9784150504007）

科目コード	2693666
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**トレーニングの理論と方法**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	56名
担当講師	イトウ　ノブユキ 伊藤　信之 横浜国立大学教育学部教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、最新のスポーツ・トレーニング理論を土台としています。各種スポーツにおける能力向上を目指したトレーニングの一般的理論及び方法について理解することを通して、様々な年代や目標に応じた実際のトレーニングの場面に適用していくための知識と技能を身につけてもらうことを目的としています。
【到達目標】
①日常生活の中で健康や体力を維持・向上するためのトレーニングを計画するための知識を身につけます。
②生涯スポーツとして取り組んでいるスポーツをより充実して楽しんで取り組んでいく方法を習得します。
③日々の生活の中で、手軽に取り組んでいくことのできる、運動やストレッチなどを習得します。
【授業テーマ】
第1回 日常生活の中でのトレーニング
第2回 動きのトレーニング
第3回 健康のための必要運動量
第4回 生活の中での姿勢
第5回 スポーツや運動における基本姿勢
第6回 筋力トレーニング
第7回 トレーニングにおける心理的準備
第8回 持久的な運動
【学生へのメッセージ】
スポーツ競技のトレーニング理論を、応用しておりますが、健康に気をつけたい、身近な運動を行っていきたいという方向けの内容としたいと思っております。日常生活の中でスポーツや運動の実施の仕方などに興味のある方に、受講していただきたいと思っております。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ストレッチや軽い運動のできる服装で参加ください。スカートは不可。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693674
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**食の科学で健康を考える**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フジタニ　アサミ 藤谷　朝実 済生会横浜市東部病院栄養部 タナカ　カズミ 田中　和美 神奈川県立保健福祉大学教授
日程 実施時間	11月27日(金) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月28日(土) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
ヒトは、「食」を通して命を紡いでいます。しかし、現代はグローバル化による食の多様化や食に関する情報の氾濫によって、「食」によって健康障害を起こすことが社会問題の1つともなっています。また、世界に類を見ない高齢化社会は、病とともに生きることも求めています。この授業では、健康の維持・向上、もしくは病とともに生き抜くための食事の基本について、ヒトの体の仕組みから考え学びを深めてゆきます。
【到達目標】
健康維持・向上に向けて、もしくは病とともに日々を過ごすための「食」について理解し、実践できるようになる。
また、普段の生活に活かせる点について各自の意見を述べることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 食事をおいしいと感じる仕組み（藤谷）
第2回 栄養・食事をどう評価するか（藤谷）
第3回 健康維持のための食事　何をいつどのように食べるか（藤谷）
第4回 肥満と食事　エネルギー（カロリー）（藤谷）
第5回 メタボリックシンドロームと食事　動脈硬化を予防する食事（藤谷）
第6回 自分に合った食事とは？（藤谷）
第7回 高齢者と毎日の食事（田中）
第8回 世界の食事と栄養（藤谷）
【学生へのメッセージ】
質問等は、できるだけ他の受講生の皆さんとその質問が共有できるよう授業内で質問をしてくださるよう心掛けてください。また、個人的なご相談はお控えください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、日々発信されている健康や食品にかかわる情報に関心をもって授業に臨んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693682
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**人と動物の共通感染症を知る**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	マルヤマ　ソウイチ 丸山　総一 日本大学生物資源科学部特任教授
日程 実施時間	12月3日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 12月10日(木) 第１時限　9:50～11:00 試験・レポート等　11:00～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 12月17日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～12:40 試験・レポート等　12:40～13:05
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
人に感染する病原体は約1,700種あるといわれていますが、その約半数が自然の状態で人と脊椎動物の間を相互に移行する疾病「人と動物の共通感染症（人獣共通感染症）」を起こすと考えられています。病原体は、ウイルス、リケッチア・クラミジア、細菌、真菌、原虫、および寄生虫などで、様々な経路で人や動物に感染します。本講義では身近な「人と動物の共通感染症」の病原体、感染源、伝播様式、発生状況、臨床症状、治療・予防方法などについて具体的な事例を紹介しながら解説します。

【到達目標】
私たちの生活環境においては、家畜やペットなど多くの動物に接する機会があります。また、最近では、様々な野生動物が身近に出没するようになってきました。私たちが快適・安全に暮らすうえで、病気、特に「人と動物の共通の感染症」についても正しい認識を持っておく必要があります。本講義では、身近な「人と動物の共通感染症」について理解を深め、未然に発生を防ぐとともに発生時にもあわてず適切に対処できるようにすることを目標とします。

【授業テーマ】
第1回 人と動物の共通感染症とは？
第2回 ウイルスが原因の人と動物の共通感染症（1）
第3回 ウイルスが原因の人と動物の共通感染症（2）
第4回 リケッチア・クラミジアが原因の人と動物の共通感染症
第5回 細菌が原因の人と動物の共通感染症（1）
第6回 細菌が原因の人と動物の共通感染症（2）
第7回 カビや原虫が原因の人と動物の共通感染症
第8回 寄生虫が原因の人と動物の共通感染症

【学生へのメッセージ】
疾病に関連する専門用語などがでてきますが、講義ではパワーポイントで写真や図表などを示しながらわかりやすく解説したいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や配布するテキストなどを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況と４回目、８回目に行う確認テストにより行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693690
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学実習A**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	イワクラ　タク 岩倉　拓 あざみ野心理オフィス臨床心理士
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
実際の心理面接におけるアセスメント・面接技法・面接理論について体験的に理解することを目的とします。特にこの授業においては精神分析理論に基づく、力動的心理療法の考え方を学習します。カリキュラムとしては①グループ体験②ロールプレイ実践③理論的背景と実際④心理療法の現実と事例検討⑤まとめと討論の順です。実技、実践しながら実のある授業を進める予定です。積極的に参加し、発言することが求められます。
なお、実施したすべての実習課題についてレポートを作成し提出する必要があります。

【到達目標】
実践的な授業の中で、心理面接の基本的な機能や役割、設定の仕方などについて習得する。主に精神分析の理論について習得するが、それとは違う視点心理療法の特徴についても説明し、自分なりの意見を述べることができるようになること。

【授業テーマ】
第1回 グループ体験
第2回 ロールプレイ実習
第3回 精神分析的心理療法の基礎
第4回 事例討議①
第5回 心理アセスメント
第6回 事例討議②
第7回 事例討議③
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
実践的内容になるので臨床心理学に関する基礎的な知識を有することが前提となっています。積極的参加と発言を求めます。

【受講前の準備学習等】
心理療法のさまざまな学派とその基本的な考え方を習得しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・事例で学ぶアセスメントとマネジメント（湊真季子、岩倉拓、他／岩崎学術出版社／¥2,530／ISBN=9784753310753）

【その他（特記事項）】
この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2693704
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**マインドフルネスと自他との対話**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	タカハシ　カズコ 髙橋　和子 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	10月22日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月23日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
「マインドフルネス＝瞑想」の静的な体験に加え、からだ（心身）には「①感じる、②かかわる、③動く、④表す、⑤ひらく」働きがあると捉え、心身の状態に気づくことを、様々な実習を通して体験します。

【到達目標】
しなやかな健幸生活を実現するために、からだの状態に気づき、自身の生活を変容できるように的確に判断できる。それがマインドフルネスを理解することに繋がります。

【授業テーマ】
第1回 マインドフルネスとは何か
第2回 ①感じる心身：感覚の覚醒
第3回 ②ー１　「ひと・もの・こと」とかかわる：生卵は立つ？
第4回 ②ー２　自然とかかわる：自然豊かな屋外を探索
第5回 ③ー１　動く：立居振舞から姿勢を振り返る
第6回 ③ー２　動く：笑いヨガや幸せ体操を生活に導入
第7回 ④表す：マイシルエットを描く
第8回 ⑤ひらく：腹式呼吸や瞑想

【学生へのメッセージ】
ダイバーシティ（多様性：年齢・性別・学歴・職歴・国籍・価値観等）を認め合う中での実習体験を願っています。「感じる事・感じない事」「考える事・考えない事」が各々違って当たり前であるという前提に立ちます。自身のからだ（怪我・病気等）の状況を知り、教材をやらない・やれないことも含め、ご自身で判断します。それは「一生かかわるからだの主人公になる」ことに繋がります。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容を活用して復習を行い、自身の行動変容に活かせるかについて理解を深めてください。
・日頃の呼吸や姿勢に意識を向けて過ごしてください。高橋和子公式webサイトhttps://kazuko-ynu.jpのメニュー「からだ気づき」の映像教材も見てください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・運動に適した服装と運動靴（天気が良い場合、外を歩きます。上履きは不要）。床に座ったり寝るので、ヨガマットやバスタオル等があるとよいです。また、靴を脱ぐので、厚手の靴下があるとよいです。
・教材「生卵は立つ？」では、生卵１個が必要です。
・教材「マイ・シルエット」では、等身大のシルエットを模造紙に取り、それに「色づけ・紙や毛糸を貼るなど」するので、ハサミ・ノリ・セロテープ・クレヨン・色紙・包み紙・毛糸など、自身の必要だと思うものを持参ください。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・からだ：気づき学びの人間学（髙橋和子編者／晃洋書房／¥3,520／ISBN=9784771015302）

【その他（特記事項）】
【資料】授業当日にプリントを配布予定です。
【学生教育研究災害傷害保険】保険加入者が対象ですので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧参照）

科目コード	2693712
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**「理科」を学ぶということ**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カトウ　ケイジ 加藤　圭司 放送大学神奈川学習センター所長／ 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	10月23日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月30日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月6日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月13日(金) 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
学校で理科を学ぶことに対する忌避感は、過去20年以上に渡る我が国の学校教育における課題と言われています。我が国の児童生徒は、テスト等では高い点数を獲得できるのに、理科が嫌いとか将来は理系分野に進みたくないという意識を相変わらず持っているということなのです。中には、学校を卒業したらもう使わない知識だから、という理由づけをする人もいると聞きます。この授業では、なぜ、学校で理科を学ぶのか、理科を学ぶ意味・意義をどこに求めるのか、そもそも理科とはどのような教科なのか、何を目指しているのかなど、理科を学ぶということについて皆さんの経験・体験を重ねつつ一緒に考えていきます。

【到達目標】
①学校教育に固有な教科「理科」について、経験的直観的な捉え方との差異を含んで説明することができる
②「理科」をより深く知る中で、それを学ぶ意味・意義について受講生の視点から説明することができる

【授業テーマ】
第1回 理科を学ぶことは楽しい？
第2回 我が国の理科教育の動向と課題①　－国際的な比較調査等をもとに－
第3回 我が国の理科教育の動向と課題②　－教科書や学校の理科をとらえの視点として－
第4回 理科は何を目指すのか、理科を学ぶ意味・意義とは
第5回 人は、いかにして自然事象に対する考えを創るのか　－自然認識の特性－
第6回 自然科学はどのような営みなのか
第7回 科学的に思考する市民を育成していくために　－科学の本質の理解－
第8回 理科を学ぶことの意味・意義とは　（まとめに代えて）

【学生へのメッセージ】
この授業では、小・中・高等学校で扱われる理科の学習内容の学び直しを目指してはいません。理科を学ぶ当事者としての自分を俯瞰的にとらえながら、理科という教科の本質的な部分の理解を目指します。これまでの経験や体験に裏付けられた自分のとらえ方に固執せず、広く様々な知識や考え方に触れ、それらを結び付けながら理科や自然科学に対する自分の理解を創るように心がけてください。

【受講前の準備学習等】
小・中・高等学校在籍時の理科の学習経験を想起して、当時の意識や感情をできるだけ言語化した上で授業にのぞんでください。
身のまわりの様々な自然事象について、自分がどこまでどのように説明できるのか、何が説明できないのかを、具体例をとりあげてその具体を集めておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・小学校理科を教えるために知っておきたいこと（平田豊誠・小川博士　編著／東洋館出版社／¥2,475／ISBN=9784491047225）
・これからの理科教育はどうあるべきか（久保田善彦　編著／東洋館出版社／¥1,980／ISBN=9784491053868）

【その他（特記事項）】
小・中・高等学校在籍時の理科の教科書や参考資料等が手元にある場合は、授業前後に参照しながら具体的に考えてみることを推奨します。

科目コード	2689162
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ハシモト　カズユキ 橋本　和幸 相模女子大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験を3種目行います。学生の皆さんには、実験者及び被験者として実験に参加して、結果をレポートにまとめてもらいます。
3種目全てのレポートを書かなければなりませんから、授業は原則として8回全てに出席する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示します)
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「実験協力者（被験者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の説明
第2回 実験1「囚人のジレンマ」の実施と分析
第3回 実験2「社会的判断（ヒューリスティック）」の実施
第4回 実験2の分析
第5回 実験3「鏡映描写」の実施
第6回 実験3「鏡映描写」の実施
第7回 実験3の分析
第8回 レポート作成の解説
【学生へのメッセージ】
この授業ではパソコンでの実験はありません。実験の結果処理は、基本的に電卓か手計算で可能なものです。
また、学生同士でペアを組んで実験を行う機会があります。積極的な参加をお願いします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
実験３種目の結果について、レポートを作成・提出してもらいます。(※レポート提出期限は別途指示します)

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。USBメモリ（Excelで作成する実験データ保存用。0.2MB程度の空き容量が有れば十分)。電卓（スマートフォンのアプリでもよい)。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この授業は本学期、神奈川学習センターでは同講師により同内容で2クラス開講します。受講する際は、開講日とクラスコードを間違えないようにしてください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	サノ　ツバサ 佐野　翼 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査はパーソナリティの個人差や特徴を測定するために用いられます。この面接授業では、心理検査を実際に体験し、それぞれの心理検査の特徴やその役割および限界を学ぶと同時に、検査から理解できる心理傾向の解釈を試みていきます。面接授業での被検者体験や、教員との双方向のやり取りによって、科目理解を深め、有効な学習の場にしてください。
受講生の皆さんは、原則として８コマの授業全てに出席し、３つの検査全てについてレポートを提出する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示いたします)
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の理論的背景
第2回 心理検査実習①自尊感情尺度、エゴグラム（質問紙）
第3回 心理検査実習①についての解説
第4回 心理検査実習②文章完成法（投影法）
第5回 心理検査実習②についての解説
第6回 心理検査実習③バウム・テスト（図式法）
第7回 心理検査実習③についての解説
第8回 テストバッテリーや所見作成の考え方
【学生へのメッセージ】
心理検査の体験をご自分を振り返るきっかけにし、心理検査の活用イメージを持っていただきたいと考えます。そのため、各自の心理検査の結果を各人で解釈し、レポート作成を行っていただきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
レポートは、「問題」「目的」「方法」「結果」「考察」で構成される標準的レポートであることを評価します。心理学論文やレポートの書き方に関する予習があることが望ましいです。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
①自尊感情尺度、エゴグラム検査レポート ②文章完成法（SCT）検査レポート ③バウム・テスト検査レポート（※レポート提出期限は別途指示いたします）

【受講者が当日用意するもの】
2Bなど柔らかめの鉛筆、消しゴム、定規、電卓（携帯電話の機能でも可）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業は本学期、神奈川学習センターでは同講師により同内容で2クラス開講します。受講する際は、開講日とクラスコードを間違えないようにしてください。

科目コード	2689120
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オザワ　エミコ 小沢　恵美子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業の目的は、心理学の基礎的な実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することです。行う実験は「ミュラー・リヤーの錯視」「心理尺度」「情報伝達」の３つです。実際に実験者と実験協力者の立場を経験しながら、実験の手続き、条件設定、実験を行う時の注意点などを体験的に学んでいきます。受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。実験はペアやグループで実施します。また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 ミュラー・リヤーの錯視（1）：実験（ペア作業あり）
第3回 ミュラー・リヤーの錯視（2）：解説、データの整理
第4回 心理尺度（1）：実験（ペア作業あり）
第5回 心理尺度（2）：解説、データの整理
第6回 情報伝達（1）：実験（グループ作業あり）
第7回 情報伝達（2）：解説、データの整理
第8回 レポートの書き方の説明、全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
受講者同士での相談の時間も取りながら授業を進めることがあります。実験、データ整理はパソコンは使わず、手作業で行っていきます。パソコンを使わないから簡単ということではありません。細かい作業の上に作業量も多くなります。また授業終了からレポート提出のスケジュールがタイトになるかと思いますが、ぜひ頑張ってほしいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び後日提出のレポートにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、20cm程度が測定できる定規、電卓、ハサミ（ミュラー・リヤーの錯視）
※プリントが多くなるのでクリアファイルなどがあると便利だと思います。
※授業中にご自分のPCを使用したい場合はご持参ください（講義室での電源確保が難しいため、PC持参の場合はご自宅で十分な充電をお願いします。なお、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	L
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カトウ　アン 加藤　杏 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査はパーソナリティの個人差や特徴を測定するために用いられます。この面接授業では、心理検査を実際に体験し、それぞれの心理検査の特徴やその役割および限界を学ぶと同時に、検査から理解できる心理傾向の解釈を試みていきます。面接授業での被検者体験や、教員との双方向のやり取りによって、科目理解を深め、有効な学習の場にしてください。
受講生の皆さんは、原則として８コマの授業全てに出席し、３つの検査全てについてレポートを提出する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示いたします)
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の理論的背景
第2回 心理検査実習①Big Five尺度（質問紙法）
第3回 心理検査実習①についての解説
第4回 心理検査実習②文章完成法（投影法）
第5回 心理検査実習②についての解説
第6回 心理検査実習③バウム・テスト（描画法）
第7回 心理検査実習③についての解説
第8回 テストバッテリーや所見作成の考え方
【学生へのメッセージ】
心理検査の体験をご自分を振り返るきっかけにし、心理検査の活用イメージを持っていただきたいと考えます。そのため、各自の心理検査の結果を各人で解釈し、レポート作成を行っていただきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
レポートは、「問題」「目的」「方法」「結果」「考察」で構成される標準的レポートであることを評価します。心理学論文やレポートの書き方に関する予習があることが望ましいです。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
①Big Five尺度検査レポート
②文章完成法（SCT）検査レポート
③バウム・テスト検査レポート
（※レポート提出期限は別途指示いたします）

【受講者が当日用意するもの】
2Bなど柔らかめの鉛筆、消しゴム、定規、電卓（携帯電話の機能でも可）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フジモリ　ユウキ 藤森　裕紀 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月5日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月12日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～14:50 試験・レポート等 14:50～15:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験者」及び「参加者（ 協力者 ）」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、２つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示いたします)
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きをすることができる。
他の受講者との対話を通じて、⑴実験の体験で得られた気づきや内省の共有と、⑵実験結果の考察の深化を行い、その内容を発話やレポートによって表現することができる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、レポートの書き方
第2回 実験１「顔面フィードバック」実施
第3回 実験１「顔面フィードバック」解説・分析
第4回 実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」実施
第5回 実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」解説
第6回 実験２「自由再生による記憶の系列位置効果」分析
第7回 分析・振り返り・標準的レポート執筆指導
第8回 標準的レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
この授業ではパソコンが必須の実験はありません。ただし、実験結果の集計に計算を行うので、その際に自分のPCを使用したい場合には、PCを持参しても構いません（講義室での電源確保が難しいため、PC持参の場合はご自宅で十分な充電をお願いいたします。）。また、学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。
既に学習済みの場合を除き、シラバスに記載のある実験課題は、実験を受けた後に検索や学習を行うようご協力願います。
統計学に関する用語（ｔ検定・分散分析・有意水準・帰無仮説など）を授業内で用いるため、インターネットや参考書で調べておいてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
「顔面フィードバック」実験レポート、「自由再生による記憶の系列位置効果」実験レポートの２本すべて
(※レポート提出期限は別途指示いたします)

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具（鉛筆やシャープペンシルなどの書くもの、消しゴム)、PCや電卓等の計算器（任意）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・記憶研究の最前線（太田信夫・多鹿秀継（編著）／北大路書房／¥4,400／ISBN=9784762821660）
「自由再生による記憶の系列位置効果」の参考書です。
・感情心理学・入門〔改訂版〕（大平英樹（編）／有斐閣／¥2,090／ISBN=9784641222380）
「顔面フィードバック」の参考書です。
・Rを使った〈全自動〉統計データ分析ガイド: フリーソフトjs-STAR_XRの手引き（田中 敏／北大路書房／¥3,300／ISBN=9784762831485）
授業で使用する統計ツールの参考書です。
・よくわかる心理統計（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）（山田剛史・村井潤一郎／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623039999）
授業で使用する統計手法の参考書です。
・三訂版 心理学論文の書き方: 卒業論文や修士論文を書くために（松井 豊／河出書房新社／¥2,200／ISBN=9784309254494）
心理学レポートの書き方の参考書です。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	コマキ　ウキョウ 小牧　右京 臨床心理士
日程 実施時間	11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験２つ（ミュラー・リヤーの錯視、心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法））を行います。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業全てに出席し、２つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。原則として遅刻、欠席は認められません。（※ レポート提出期限は別途指示いたします）

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学実験の歴史と解説
第2回 レポートの書き方、第１実験「ミュラー・リヤーの錯視」の実験準備
第3回 第１実験「ミュラー・リヤーの錯視」の実験準備
第4回 第１実験の実施
第5回 第１実験の結果の処理
第6回 第２実験「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実験準備
第7回 第２実験の実施、第２実験の解説
第8回 第２実験の結果の処理

【学生へのメッセージ】
実験の実施や、結果の処理はパソコンを使わず、電卓などを用いて行います。レポートの作成にはパソコンを推奨しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel 等）を修得されていることを望みます。実験についての予習は必要ありません。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
授業で取り上げる２つの実験的研究それぞれのレポート
（※レポート提出期限は別途指示いたします）

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓（携帯電話の機能でも可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2693356	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、クライエントへの有効な援助のためのアセスメント面接を中心に学んでいただきます。さらに体験的理解のためにロールプレイングを織り込むことでアセスメント面接、ひいては援助一般になじむことを意図しています。 **【到達目標】** 臨床場面で出会うクライエントは、来談に至る様々な気持ち、理由、経緯、歴史を背負って私たちの前にやってきます。ゆえに臨床心理学的援助を行うにあたってクライエントの背景を理解するのは必須の課題でしょう。臨床心理学的援助の際にどのような点に留意し、どのような観点から聴取していけばいいのか、言葉の表面的な内容に留まらず、表現できるようになることを目指します。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション 第2回 アセスメントのための面接 第3回 生育歴の聴取 第4回 心理検査の活用法 第5回 語られた内容と“今ここで”面接場面で起こることとの関係 第6回 カウンセラー ・治療者が自分の内的体験を用いること 第7回 心理療法とは何か 第8回 ふりかえり **【学生へのメッセージ】** 予備知識・経験の量は問いません。体力・気力は整えておいてください。疲れますが放送授業では決して得られない学びになるかと思います。 **【受講前の準備学習等】** 臨床心理学についての入門書を一冊でも読んでおいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、レポートの評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**臨床心理学演習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	コニシ　タケシ 小西　健 西新宿心理相談室臨床心理士		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** （履修制限）面接授業「臨床心理学実習B」の単位を修得済みの方は登録できません。 （面接授業開設科目一覧P.7参照）

科目コード	2689146
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カトウ　アン 加藤　杏 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
この面接授業では、実験それぞれに、実験者と実験協力者としての両方の役割を担って参加していただきます。面接授業出席者が実験協力者となって得られたデータを結果として整理し、基本的な統計手法を用いて分析します。さらに、レポートを作成する経験を通じて、心理学レポートや論文を作成するコツやポイントを習得してください。
受講生の皆さんは、原則として８コマの授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示いたします)

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学実験の意義と目的、レポート作成について
第2回 第１実験「自由再生による記憶の系列位置効果」
第3回 第１実験のデータ整理、解説
第4回 第２実験「パーソナルスペース」
第5回 第２実験のデータ整理、解説
第6回 第３実験「印象形成」
第7回 第３実験のデータ整理、解説
第8回 レポートの書き方とまとめ

【学生へのメッセージ】
この授業ではパソコンでの実験はありません。実験の結果処理は、電卓か手計算で可能なものです。
ペアやグループを組んで、実験を行う機会があります。積極的な参加を求めます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
レポートは、「問題」「目的」「方法」「結果」「考察」を含む標準的レポートであることを評価します。心理学論文やレポートの書き方に関する予習があることが望ましいです。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
①「自由再生による記憶の系列位置効果」実験レポート
②「パーソナルスペース」実験レポート
③「印象形成」実験レポート
(※レポート提出期限は別途指示いたします)

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。USBメモリ（Excelで作成する実験データを保存して持ち帰ってもらいます。0.2MB程度の空き容量が有れば十分)。電卓（スマートフォンのアプリでもよい)。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	M
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	コマキ　ウキョウ 小牧　右京 臨床心理士
日程 実施時間	12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
代表的な心理検査（バウムテスト、自尊感情尺度、コミュニケーションスキル尺度、矢田部ギルフォード性格検査）を取り上げます。
受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、４つの検査全てについてのレポートを提出する必要があります。原則として、遅刻、欠席は認められません。（※レポート提出期限は別途指示いたします）
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の解説
第2回 描画法の解説と検査１「バウムテスト」の実施
第3回 バウムテストの結果と解釈
第4回 レポートの書き方①
第5回 検査２「自尊感情尺度」検査３「コミュニケーションスキル尺度」の実施、結果と解釈
第6回 検査４「矢田部ギルフォード性格検査」の実施
第7回 矢田部ギルフォード性格検査の結果と解釈
第8回 レポートの書き方②
【学生へのメッセージ】
レポート作成がありますので、基本的なパソコン操作（Word等）を習得されていることを望みます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
授業で取り上げる４つの心理検査それぞれのレポート
（※レポート提出期限は別途指示いたします）

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、電卓（携帯電話の機能でも可）、2B以上の鉛筆と消しゴム（検査１）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査はパーソナリティの個人差や特徴を測定するために用いられます。この面接授業では、心理検査を実際に体験し、それぞれの心理検査の特徴やその役割および限界を学ぶと同時に、検査から理解できる心理傾向の解釈を試みていきます。面接授業での被検者体験や、教員との双方向のやり取りによって、科目理解を深め、有効な学習の場にしてください。 受講生の皆さんは、原則として８コマの授業全てに出席し、３つの検査全てについてレポートを提出する必要があります。（※レポート提出期限は別途指示いたします） **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査の理論的背景 第2回 心理検査実習①自尊感情尺度、エゴグラム（質問紙） 第3回 心理検査実習①についての解説 第4回 心理検査実習②文章完成法（投影法） 第5回 心理検査実習②についての解説 第6回 心理検査実習③バウム・テスト（図式法） 第7回 心理検査実習③についての解説 第8回 テストバッテリーや所見作成の考え方 **【学生へのメッセージ】** 心理検査の体験をご自分を振り返るきっかけにし、心理検査の活用イメージを持っていただきたいと考えます。そのため、各自の心理検査の結果を各人で解釈し、レポート作成を行っていただきます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 レポートは、「問題」「目的」「方法」「結果」「考察」で構成される標準的レポートであることを評価します。心理学論文やレポートの書き方に関する予習があることが望ましいです。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、レポートの評点により行います。 ＜レポート課題＞ ①自尊感情尺度、エゴグラム検査レポート ②文章完成法（SCT）検査レポート ③バウム・テスト検査レポート （※レポート提出期限は別途指示いたします）
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	P		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サノ　ツバサ 佐野　翼 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 2Bなど柔らかめの鉛筆、消しゴム、定規、電卓（携帯電話の機能でも可） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この授業は本学期、神奈川学習センターでは同講師により同内容で2クラス開講します。受講する際は、開講日とクラスコードを間違えないようにしてください。

科目コード	2689162
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ハシモト　カズユキ 橋本　和幸 相模女子大学教授
日程 実施時間	12月23日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月6日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学の基礎的実験を3種目行います。学生の皆さんには、実験者及び被験者として実験に参加して、結果をレポートにまとめてもらいます。
3種目全てのレポートを書かなければなりませんから、授業は原則として8回全てに出席する必要があります。(※レポート提出期限は別途指示いたします)
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「実験協力者（被験者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の説明
第2回 実験1「囚人のジレンマ」の実施と分析
第3回 実験2「社会的判断（ヒューリスティック）」の実施
第4回 実験2の分析
第5回 実験3「鏡映描写」の実施
第6回 実験3「鏡映描写」の実施
第7回 実験3の分析
第8回 レポート作成の解説
【学生へのメッセージ】
この授業ではパソコンでの実験はありません。実験の結果処理は、基本的に電卓か手計算で可能なものです。
また、学生同士でペアを組んで実験を行う機会があります。積極的な参加をお願いします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」､「心理学研究法（'20）」､「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、レポートの評点により行います。
＜レポート課題＞
実験３種目の全ての結果について、レポートを作成・提出してもらいます。(※レポート提出期限は別途指示します)

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。USBメモリ（Excelで作成する実験データ保存用。0.2MB程度の空き容量が有れば十分)。電卓（スマートフォンのアプリでもよい)。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この授業は本学期、神奈川学習センターでは同講師により同内容で2クラス開講します。受講する際は、開講日とクラスコードを間違えないようにしてください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2693720	授業概要	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 企業活動の結果である事業成績は財務諸表として公開されます。この財務諸表が示すデータを一定の方法で処理することで、事業の安全性や収益性など、企業活動の実態に関するさまざまな情報を経営指標として読み取ることができるようになります。 本講義では、Excelを活用しながら、実在企業の財務諸表を題材とした基本的な経営指標の算出、ビジネスデータを用いて仮説を立てて検証するプロセスを、実習を通じて身につけます。 **【到達目標】** ・財務諸表の基本的な読み方、基本的な経営分析の指標とその意味を理解し、計算できるようになる。 ・ビジネスで扱うデータについて仮説を立て、Excelを用いて検証できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 財務諸表の概要説明 第2回 安全性指標の理解と実習－自己資本比率／固定比率／他－ 第3回 収益性指標の理解と実習（1）－売上総利益率／自己資本利益率／総資本利益率－ 第4回 収益性指標の理解と実習（2）－損益分岐点／限界利益率－ 第5回 効率性指標・発展性指標の理解と実習－総資本回転率／売上高伸び率／他－ 第6回 製品戦略の理解と実習（1）－データの集計／相関－ 第7回 製品戦略の理解と実習（2）－単回帰分析－ 第8回 製品戦略の理解と実習（3）－重回帰分析－ **【学生へのメッセージ】** 企業にとっての財務諸表は、ヒトの定期健康診断結果に相当します。財務諸表を読み解き、経営状況を知ることは、その企業への理解を深めることにつながります。 なお、Excelを使って四則計算ができることが受講条件です。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 講義はExcelを使った実習形式ですので、基本的な使い方（四則計算など）を確認しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**エクセルを活用する経営分析入門**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	18名		
担当講師	アリマ　ヒロカズ 有馬　宏和 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3．ソフトのインストール ・Excelが必要です。 ・配布資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4．その他 ・ソフトのバージョン指定はありませんが、Excelのアドイン設定で「分析ツール」が使えることを推奨いたします。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・この１冊ですべてわかる　新版　経営分析の基本（林 總／日本実業出版社／¥1,760／ISBN=9784534059970） ・Excelで学ぶビジネスデータ分析の基礎（玄場公規、湊宣明、豊田裕貴／オデッセイコミュニケーションズ／¥1,650／ISBN=9784908327049） **【その他（特記事項）】** Excelを使って四則計算ができることが受講条件です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2693739
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**事例でみる 地方自治の法としくみ**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カトウ　リョウ 嘉藤　亮 放送大学客員教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施しますが、他方で、私たち住民はより良いまちづくりのため様々な活動に参加し、主体的に運営することが求められます。ここに、特有の法現象が見出されます。本講義は、地方自治の法としくみ、具体的には地方自治の意義、地方公共団体の種類や組織、住民参加、ルールづくり、国との関係等について実例を交えながら、その構造について学び、実社会における諸課題への対応策について法的に検討していきます。

【到達目標】
①地方自治法上の制度を理解し、そのしくみを説明できるようになること、そして
②地方自治に関わる問題の所在を理解し、地方自治法に特有の法的思考方法を用いて対策について考えられるようになること。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション　地方自治の概念～感染症対策と地方自治
第2回 地方公共団体の種類～都構想と特別自治市構想
第3回 地方公共団体の機関～不信任議決と議会の解散
第4回 直接請求と住民訴訟～住民参加
第5回 法律と条例～政策法務と条例
第6回 自治体財政～ふるさと納税と地方財政
第7回 関与法制～国と地方公共団体間の紛争解決手法
第8回 地方分権と住民自治

【学生へのメッセージ】
地方公共団体は住民の安全・快適な生活の実現をその任務とし積極的な活動が期待されます。地方自治の法としくみを学ぶことは非常に重要なものです。地方自治を通じてこの社会のあり方について考えてみましょう。

【受講前の準備学習等】
日頃のニュースや新聞記事をよく読んでおきましょう。地方公共団体に関連する事項が非常に多く見受けられます。そこで報じられる課題や対応について確認しておきましょう。また、自分が居住している地方公共団体の組織や活動についてホームページ等で調べてみましょう。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業では必ずノートをとってもらいたいので、筆記用具等をご準備ください。
授業のノートをとることは、授業内容の理解に非常に役に立ちますし、物事を整理して考える力が身に付きます。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
・授業資料等は必要に応じて毎回配布します。授業は、プロジェクターを利用して資料等を見ながら進めていきます。
・成績評価対象のレポートは、授業終了後、１週間程度のうちに提出していただきますが、内容や締め切り等の詳細については、授業時に説明します。
・授業では毎回リアクションペーパーを提出していただきます。これは授業内容への質問やコメント等を書いていただくものです。これは、担当教員が受講生の関心、コメント等を授業に役立てるものであり、かつ受講生の学習状況を把握するためのものです。提出の有無は成績評価の対象となります。
・授業では、受講生の意見を伺うことがあります。授業内容を理解するためにも質問等は積極的にしてください。

科目コード	2693747	**授業概要**	**【授業内容】** 古代から現代まで会計は世界中で必要とされた便利な道具です。経済社会で生きる限り、会計と無縁でいることは困難です。このように社会に深く根差す会計において、現代の企業では原価計算は極めて重要になっています。この授業では、社会に広く発信される損益計算書などの財務諸表や企業経営において、原価計算がどのような役割を演じることとなっているかを、基礎から丁寧に説明することとします。 **【到達目標】** ・実際の企業でどのような原価が発生しているかを説明できるようになる。 ・利益をどのように計画するかを説明できるようになる。 ・原価計算と損益計算書の関連を説明できるようになる。 ・日商原価計算初級に合格できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 原価の計算：教科書第1章 第2回 利益の計画：教科書第2章 第3回 製造原価の計算：教科書第3章 第4回 製造間接費の計算：教科書第4章 第5回 製品別の計算：教科書第5章 第6回 損益計算書の作成：教科書第6章 第7回 原価計算情報の記録：教科書第7章 第8回 授業の振り返りとまとめ **【学生へのメッセージ】** この授業を通じて会計や原価計算が社会や組織などにおいて、どのように機能しているかを理解してほしいと思います。このために、授業の理解と練習問題に取り組み、会計や原価計算の基礎から学びましょう。 **【受講前の準備学習等】** ・事前に教科書の該当箇所を読み、練習問題に解答してきて下さい。 ・事前に教科書や練習問題で理解できないところを確認しておいて下さい。 ・授業の復習を行い、教科書の本試験シミュレーションに解答して下さい。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**基礎から学ぶ原価計算**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ナカムラ　ヒロユキ 中村　博之 放送大学客員教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 電卓（携帯電話での計算は可）。ノートと筆記用具。教科書。 **【教科書】** ・土日で合格る原価計算初級（資格の大原／中央経済社／¥1,320／ISBN=9784502264016）

科目コード	2693755
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**今からはじめる知的財産**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	32名
担当講師	アオ　シズオ 青　志津男 国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所 知的財産プロデューサー ジビキ　ケイイチ 地曳　慶一 貝印株式会社　取締役　上席執行役員 知財・法務本部長　CIPO兼CLO
日程 実施時間	11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
はじめての方にも分かりやすく、知的財産の基礎から事業活用までを、身近な事例から実際のビジネス上での知財マネジメントの事例までを交えて解説します。企業経験のある講師が提供する多様な知識や事例（学園祭で撮影した音楽演奏のSNSへの投稿、ライセンス交渉の実際など）を基に、特許権、意匠権、商標権、著作権などの知的財産権が、どのような役割を果たしているかを考えます。知的財産に関する予備知識の必要はありませんので、初学者の方の参加も歓迎します。

【到達目標】
ネットワーク社会の発展に伴う著作権侵害の事例について、種々のケーススタディを通して、その回避方法を判断できるようになる。
知的財産の種類と特徴を学習し、どのように事業活用されているかを理解することにより、自らの業務に活用できるようにする。
企業の特許戦略、ブランド戦略を理解し、ビジネス戦略への展開を想定できる。

【授業テーマ】
第1回 今からはじめる知的財産（青）
第2回 商標・意匠の活用とブランド戦略（青）
第3回 特許制度を活用した事業戦略（青）
第4回 企業知財部門のプレゼンス（地曳）
第5回 著作権の基礎と事例検討（青）
第6回 知的財産活用の最先端・IPランドスケープ（地曳）
第7回 デジタルネットワーク社会の著作権（青）
第8回 まとめ・質疑応答（青）

【学生へのメッセージ】
本授業では、面接授業を活用して、教わったことを覚えるだけではなく、ケーススタディ等を通して積極的に授業に参加して、「自ら考える」ことを目指します。

【受講前の準備学習等】
知的財産に関する事前の知識は求めませんが、「参考書」として紹介した資料に目を通してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具等の基本的な文具の持参。
検索のためにスマートフォンがあれば望ましい。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・知的財産権制度入門テキスト（特許庁／特許庁HP／¥0）
https://www.jpo.go.jp/news/shinchaku/event/seminer/text/2025_nyumon.html
開講時に2026年度版が公開されている場合は、最新のものを参考図書とする。
・著作権テキスト（文化庁／文化庁HP／¥0）
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/
・J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）（工業所有権情報・研修館／工業所有権情報・研修館HP／¥0）
https://www.j-platpat.inpit.go.jp/
特許・意匠・商標の検索サイト

【その他（特記事項）】
試験の際に、配布資料・ノート・参考書等の持ち込みは可とするが、試験時には、スマートフォン・パソコン等の使用は不可とする。

科目コード	2693763	**授業概要**	**【授業内容】** 会計は企業について語る共通の言葉といわれ、企業にかかわるさまざまなステークホルダーの意思決定に利用されます。SDGs（Sustainable Development Goals）やカーボンニュートラルに象徴されるサステナビリティ社会では、企業活動を、財務の視点に加えて、サステナビリティの視点から捉えた会計情報が求められるようになってきました。講義では、導入と制度化が進む企業のサステナビリティ会計の基礎と最新動向について学びます。 **【到達目標】** サステナビリティ会計の基礎と最新動向を学び、企業が公表するサステナビリティ会計情報を理解し、分析できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 企業のサステナビリティ活動やサステナビリティ情報はなぜ必要か 第2回 企業のサステナビリティ活動を会計情報で把握する 第3回 日本のサステナビリティ情報開示制度と企業の取り組み 第4回 企業の環境問題への取り組みを会計の視点から評価する（ワークショップ） 第5回 統合報告とは何か 第6回 企業の気候変動戦略と自然資本戦略を会計の視点で考える 第7回 環境戦略のための管理会計とは何か 第8回 企業のサステナビリティ戦略と会計のケーススタディ（ワークショップ） **【学生へのメッセージ】** 会計についての専門的知識は特に必要ありません。講義の中で登場する会計についてはそのつど解説します。企業が開示しているサステナビリティ情報や企業のサステナビリティへの取り組みが、企業の活動、業績、評価などにどのような影響を及ぼしているか、関心や問題意識を持って講義に臨んでください。 **【受講前の準備学習等】** 各自が興味を持っている企業や身近な企業の有価証券報告書、サステナビリティ報告、統合報告、環境報告、HPなどに記載されているサステナビリティ経営に関連する情報やサステナビリティ会計情報に目を通すようにしてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。（※レポートの提出期限は別途指示いたします。）
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**サステナビリティ社会と会計情報**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヤギ　ヒロユキ 八木　裕之 横浜国立大学名誉教授／放送大学客員教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 必要に応じて指示します。 **【教科書】** 教科書は使用しません。

科目コード	2693771
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**学び方・働き方の大変革**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	55名
担当講師	スミ　ヨシヒコ 鷲見　芳彦 夢マネジメント代表／元北海道大学特任教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月28日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月5日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 12月12日(土) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
今、新しい技術やシステムの登場などで、社会は大変革・イノベーションを起こしています。その結果、過去に学んだ事が役に立たなくなくなり、特定の職業が消滅しています。一方で、全く新しい産業や職業が出現し、学ぶべき新たな分野やスキルが増えています。さらに人生100年時代を迎え、一生の間に何度も大きな社会変革に直面するでしょう。この社会変化に合わせて、職業・世代に関係なく、私たちも「学び方・働き方の見直し」を求められています。
イノベーションの基礎を学ぶとともに、今起こりつつある社会変革に対応した、これからの学び方・働き方を考えます。

【到達目標】
・イノベーションの基礎を理解し、今どのような社会変化が起きているのか、分析と判断ができるようになる。
・今起きている社会変化を理解し、これからの社会で活躍していくために必要となる新たな知識やスキルは何かを判断できるようになる。
・今後必要となる新たな知識やスキルを理解し、それをいつどこでどのようにして学び獲得するかを判断できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 過去に起きた社会変革（社会変革はこうして起きた）
第2回 イノベーションが引き起こす社会変革（持続的イノベーション）
第3回 イノベーターのジレンマ（破壊的イノベーション）
第4回 少子高齢化・新技術が起こす社会変革（後戻りはしない）
第5回 働き方の大転換（無くなる仕事、生まれる仕事）
第6回 学び方の大転換（何を、いつ、何処で、どのように学ぶのか）
第7回 新たな生き方に人生をシフトする（新領域への挑戦）
第8回 2050年の未来社会を予測する（科学技術予測調査）

【学生へのメッセージ】
理系・文系、仕事経験の有無、職種、年齢を問わず、どなたにも理解していただけるように進めます。具体的な事例研究やグループ討論も行います。イノベーションを理解し、皆さんそれぞれに適した「学び方・働き方」について考えましょう。

【受講前の準備学習等】
今、人工知能や自律型ロボットが私たちの社会に浸透し、社会システムが大きく変わりつつあります。また、人生100年時代を迎え、社会生活の時間も長くなっています。
このような大きな流れの中で、あなたが一番関心を持っている変化は何ですか？その変化は、自分の「学び方・働き方」と、どう関係しているでしょうか？
あらかじめ、ご自身で考えてきてください。
また、シラバスの内容から判断して自己学習にも努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
イノベーションによる新技術・新産業（AIやロボットなど）の登場に加えて、少子高齢化による社会構造の変化も私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。
最新の知見や情報を交えて、今後の学び方や働き方を考えます。

科目コード	2693780	**授業概要**	**【授業内容】** 経営学の基本を学びつつ、実際の日本企業の経営戦略を事例として学ぶと共に、企業経営のマーケティングで活用されている行動経済学も学びます。行動経済学は、経済学と心理学を融合したもので、近年注目されています。また企業経営の競争戦略、多角化戦略、国際化戦略、ウェルビーイング経営、社員の幸せ、企業の不祥事、内部統制、長寿企業の経営理念と課題などを学びます。 **【到達目標】** 経営学の基本的な理論を学び理解する。行動経済学の理論も学び、企業経営にどう活用されているのかについても理解する。また企業経営が行っている多様な戦略についてそれぞれ理解し、自分自身の考えをまとめ、適切な判断ができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 経営学及び行動経済学の基本的理論の理解、演習問題と解説 第2回 行動経済学の理論、ウェルビーイング経営、社員の幸せ、人手不足対応等 第3回 経営の内部統制、企業の不祥事対応、AIと経営等 第4回 競争戦略。ドトール、スタバの戦略、セブンイレブンの変化等 第5回 多角化戦略。多角化の理論と経営、富士フィルム、キヤノンほか 第6回 国際化戦略。日本製鉄、ホンダ、外国企業との合弁事例 第7回 100年続く長寿企業の経営理念と今後の課題、虎屋など 第8回 イノベーションの罠、ソニーの経営戦略、オーナー企業戦略等 **【学生へのメッセージ】** 企業の経営は、世界の政治や経済や為替・金利、内外企業との競争、消費者のニーズ変化などにより、常に変化しないと生き残れません。日々の企業活動の動きをニュースやテレビや新聞や経済誌で関心を持って考えてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して、日本企業の競争状況、多角化、グローバル化、人手不足対応、働き方改革、米国経済、行動経済学などについて、インターネットや経済誌等で調べ、自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**日本企業の経営戦略と行動経済学**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	70名		
担当講師	サトウ　タケオ 佐藤　武男 元三菱UFJ銀行理事外為事務部長		
日程 実施時間	11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、赤ボールペン、ノートなど **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 面接授業「経営学と日本企業の経営戦略」（2025-2神奈川）と授業内容が一部重複する部分があります。 科目名は同じですが、中身は変わっており、最新の経済や政治情勢を反映しています。

科目コード	2693798
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**キャリア形成概論 ー自己理解編ー**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	オクダ　ミツコ 奥田　美都子 人材育成・キャリアコンサルタント／研修講師／港湾職業能力開発短期大学校横浜校特任准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
せっかく入社したにもかかわらず直ぐにやめてしまう社員が多くて困っているという話を企業の人事担当者からよく聞きます。また、その辞めてしまう理由の多くが上司との人間関係が原因であることも調査結果から浮き彫りになっています。その離職の原因の一つに、上司も部下も自己理解が不足していることが挙げられます。
これから入社する人は、自己理解をしっかりやって自分の適した職業・進路を選択し、継続して生き生きと働くことができるようにしてほしいですし、上司である管理職の人は、自分が周囲に与える印象や雰囲気がどんなものなのか、自己理解のワークによる他者からのフィードバックによって気づいてほしいと思います。まずは、自己理解を深めて良好な人間関係・信頼関係を構築し、楽しく生き生きと働けるヒントをつかみましょう。

【到達目標】
・自分の夢、興味、価値観、強み・弱み、性格などを知って、自分に合った職業選択につなげることができる。
・自己理解のペア・ワークによる相手からのフィードバックによって新たな自分を発見できる。
・自己開示すればするほど、新たなフィードバックをもらえて、その結果、新たな気づきを得ることができる。

【授業テーマ】
第1回 キャリアとは？キャリア形成の意義とは？（ガイダンス）
第2回 キャリア形成の重要性について（労働環境は変化する）
第3回 自己理解その１（あなたの夢・目標は何ですか？）
第4回 自己理解その２（あなたの強み・弱みは何ですか？）
第5回 自己理解その３（あなたが職業選択する上で大切にしている価値観は何ですか？）
第6回 自己理解その４（自分を掘り下げる人生のテーマを見つけよう）
第7回 自己理解その５（自分の性格を知ってポジティブシンキングへ自己変容しよう）
第8回 まとめと振り返り（今まで実施した自己理解ワークの結果を振り返ろう）

【学生へのメッセージ】
理系・文系、仕事経験の有無、職種、年齢を問わず、どなたでもウェルカムです。むしろ、いろんな方がいらっしゃる方が多様性があって楽しいと思います。自己理解ワークは、個人ワークの後、ペアワークやグループワークを行います。ぜひ他者からのフィードバックによって、新たな自分を発見してください。

【受講前の準備学習等】
あなたにとって「キャリア」とは何ですか？また、どのように「キャリアをデザイン」して行きたいですか？事前に考えてきてください。人生の主人公は、あなた自身です。参考図書「港湾で活躍する人材の育成」（成山堂書店、奥田美都子共著）付録２に今回実施する自己理解ワークの一部が掲載されています。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記道具（鉛筆以外に、色分けできるボールペンやラインマーカー等があると自己理解ワークがやりやすいです）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・港湾で活躍する人材の育成（奥田美都子・柴原優治共著／成山堂書店／¥3,300／ISBN=9784425395118）
付録２に今回実施する自己理解ワークの一部が掲載されています。事前に一読することをお勧めします。

科目コード	2693801
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**テキスト分析で経済学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	ナカムラ　ヤスシ 中村　靖 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月12日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 12月19日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

まずテキスト分析の基本的な手法を学びます。その後、ツール（RおよびPython）を使って経済財政白書（予定）を対象としてテキスト分析をおこない、戦後日本経済の変遷を目に見える化します。テキスト分析手法としは、文書がどのようなトピックについて議論しているか、議論されているトピックが時間的にどのように変わっているかを示す手法であるトピックモデリングまで学ぶことを目指します。

【到達目標】

・テキスト分析の基本的方法を他者に説明できるようになる。
・テキスト分析のツールを使えるようになる。
・分析結果の表、グラフの意味を他者に説明できるようになる。

【授業テーマ】

第1回 基本的なテキスト分析手法
第2回 レポートの構想と準備
第3回 トピック・モデリングの理論
第4回 トピック・モデリングの方法：データの準備
第5回 トピック・モデリングの方法：分析ツール
第6回 トピック・モデリングの方法：分析結果の可視化
第7回 トピック・モデリングの課題と展望
第8回 テキスト分析演習

【学生へのメッセージ】

テキスト分析は、便利な分析ツールであるとともに、人間が普通に使っている自然言語をどうやってコンピュータに理解させるかという問題でもあります。便利な道具としてのテキスト分析の使い方を学びながら、人間とコンピュータとの間の意思疎通という現在のAI問題につながる問題を考えましょう。

【受講前の準備学習等】

各自のPCにR、RStudio、Python、Quarto CLIの最新版を事前にインストール（を試）してください。いずれもWeb検索で簡単にみつかるフリーソフトです。RStudioはフリーのDesktop版で十分です。R、RStudio、quartoはデフォルトのままインストールで問題ありません。Pythonは、Anaconda版やMicrosoft Store版ではなく、www.python.orgのオリジナルのシンプル版が良いです。Quarto、PythonはRが使うだけで、我々は直接は使いません。

１日目の4限に各自のレポートの構想をうかがうので、テーマ、問題、問題の予想される答え、その答えが正しいことを支持するためのデータと方法を準備しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、最終日4限目の後半に行うレポート発表の評点により行います。レポートはテキスト分析を使ったものでなくてもかまいません。初日の4限目に構想をうかがいます。構想の必須項目は、(1)「テーマ」、(2) 答えを出すべき「問い」、(3) なぜその「問い」に答えることが必要なのか、(4)「問い」への「予想される答え」、(5) 答えが正しいことを支持するための「データと方法」です。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　無線LAN機能があり、pdfファイル閲覧、Web閲覧ができる標準的なPC。
２．OSの指定
　資料および分析ツールはWindows 11、Linux用に作成しています。その他のOSの場合は，こちらに実験環境が無いため、インストールで問題が生じた場合はご自身で解決を目指してください。
３．ソフトのインストール
　Rは4.5以上、Pythonは3.8以上、RStudio、Quartoは最新版をインストールで問題ないです。
４．その他
　テキスト分析用コードは提供します。

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

・Text Mining with R: A Tidy Approach（Julia Silge and David Robinson／O'Reilly）
　https://www.tidytextmining.com/ ISBN978-1491981658 のオープンE-bookです。

科目コード	2693810
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**憲法のいまとむかし**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ワタナベ　ノブヒサ 渡辺　演久 神奈川工科大学非常勤講師 アラフネ　シュンタロウ 荒船　俊太郎 早稲田大学文学学術院講師（任期付）
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
現在わが国の憲法は大きな岐路を迎えていますが、今まで一度も改正されていません。それはなぜでしょうか？本講義では、まず現行憲法とその理念について検討します。その上で、近代国家の成り立ちと戦前の憲法について講じます。以上の中で、わが国における２つの憲法に関する認識を深め、今後の憲法とその下にあるわたしたちの暮らしについて考える端緒にしたいと思います。
【到達目標】
日本国憲法と大日本帝国憲法の成り立ちを学び、両憲法の理念や相違点、歴史的に培われた国民主権の意義を説明できるようになることを目標とします。
【授業テーマ】
第1回 日本国憲法の誕生と特徴（渡辺）
第2回 立憲主義の由来（渡辺）
第3回 平和主義（渡辺）
第4回 伊藤博文の憲法調査とそのねらい（荒船）
第5回 大日本帝国憲法の制定（荒船）
第6回 立憲政治の運用と試練（荒船）
第7回 明治憲法体制の終焉（荒船）
第8回 まとめ（渡辺）
【学生へのメッセージ】
熱心な学生の受講を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693828
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**東京・神奈川の 高度成長期の諸相**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	スズキ　ミチヒコ 鈴木　理彦 金沢星稜大学経済学部准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
この講義では、東京・神奈川にみる高度成長期の諸相について、その前提条件となる前史を適宜振り返りつつ、政治・経済・社会の視点から検討します。さまざまな諸相を「光と影」で捉えたのち、今回はそのなかでも「郊外化」（工場進出、団地造成など）と「都市変容」（交通、まちづくりなど）に注目して議論します。
なお、授業は講義形式をベースに進めます。
【到達目標】
・東京・神奈川にみる高度成長期の諸相について、歴史的ダイナミズムから理解を深めることができる。
・「郊外化」や「都市変容」の歴史的な在り方について、政治・経済・社会の視点から論理的な把握ができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス／日本の高度成長期
第2回 東京・神奈川の戦前から戦後復興
第3回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相①：光と影（1）
第4回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相②：光と影（2）
第5回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相③：郊外化（1）
第6回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相④：郊外化（2）
第7回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相⑤：都市変容
第8回 東京・神奈川にみる高度成長期の諸相⑥：まとめ
【学生へのメッセージ】
現代日本の歴史、地域の現代史に興味関心がある学生の参加を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、最終時限に作成するレポート評点（60%）、第3回の授業中に課す予定の小レポート評点および授業への参加姿勢（40%）で行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693836
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**映画と精神分析**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	キヨタ　トモノリ 清田　友則 横浜国立大学都市イノベーション研究院教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
映画（主に誰でも楽しめるハリウッド映画）を前半後半の二つに分け鑑賞します。毎回60分ほどの鑑賞の前後に、精神分析の立場から解釈します。精神分析以外にも、社会学的、歴史学的、思想的考察を適宜加えます。
精神分析の創始者フロイトと、後継者として最も影響を与えた分析家の一人ジャック・ラカンの教えを、映画作品を観ながら、できるだけ平易な言葉で説明していきます。
【到達目標】
フロイトとジャック・ラカンの教えを、自分なりの言葉で説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション
第2回 映画作品A前半鑑賞・講義
第3回 映画作品A後半鑑賞・講義
第4回 映画作品B前半鑑賞・講義
第5回 映画作品B後半鑑賞・講義
第6回 映画作品C前半鑑賞・講義
第7回 映画作品C後半鑑賞・講義
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2693844
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**昭和文学の名作をよむ3**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カミヤ　ミツノブ 神谷　光信 関東学院大学客員研究員
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
昭和時代は、アジア太平洋戦争の敗戦による「大日本帝国」の崩壊と、連合国軍による占領、その後の主権回復と復興、高度経済成長など、日本社会が大きく揺れ動きました。それにともない、昭和文学は、明治、大正のそれとは異なる特徴を持っています。今回は、昭和20年代後半から40年代半ばまでの約20年間に書かれた短篇を取り上げて、作者の経歴や芸術作品としての表現などに注意を払いながら読解します。人々の暮らしぶりや生活感情、現在とは異なる価値観なども考察します。
【到達目標】
授業で取り上げた作家と作品の特徴について、時代状況を踏まえて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 取り上げる時代の社会状況について／小島信夫「小銃」
第2回 吉行淳之介「驟雨」、幸田文「黒い裾」
第3回 庄野潤三「結婚」、中野重治「萩のもんかきや」
第4回 円地文子「二世の縁　拾遺」、花田清輝「群猿図」
第5回 富士正晴「帝国軍隊に於ける学習・序」、山川方夫「夏の葬列」
第6回 島尾敏雄「出発は遂に訪れず」、埴谷雄高「闇のなかの黒い馬」
第7回 深沢七郎「無妙記」、三島由紀夫「蘭陵王」
第8回 授業全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
文芸に親しむ習慣がない方の受講も歓迎します。取り上げた作家は全員が文学史的に重要な人物なので、昭和という時代と当時の作品に批評的に触れる機会にしてください。
【受講前の準備学習等】
教科書は必ず入手してください。受講生が事前に作品を読み、登場人物とあらすじを理解している前提で授業を行います。作品の長さにもよりますが、授業での朗読は重要な場面だけになります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、ノート、筆記用具
【教科書】
・日本近代短篇小説選　昭和篇３（紅野敏郎・紅野謙介・千葉俊二・宗像和重・山田俊治編／岩波文庫／¥1,045／ISBN=9784003119167）

科目コード	2693852
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**神奈川県の政治史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	オオニシ　ヒロシ 大西　比呂志 フェリス女学院大学名誉教授
日程 実施時間	11月20日(金) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月21日(土) 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月22日(日) 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
神奈川県の近代政治史を扱います。神奈川県は開国開港から「帝都の関門」として登場し、戦後は首都圏の先進的な地位を占めてきました。神奈川県の全国的にも特色ある近代史を、県政をリードした個性ある知事たちの施策を中心に紹介します。
【到達目標】
開国に始まる神奈川県の近代史の基本的流れを理解し、その特質について把握できるようになる。
歴代知事の施策について理解し、その先進性を把握できるようになる。
現代の神奈川県政の課題について理解し、その解決に向けて自分なりの展望を把握できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 神奈川県の政治史　ガイダンス
第2回 戦前期の神奈川県政治
第3回 内山岩太郎・津田文吾と占領復興・高度経済成長期の県政
第4回 長洲一二と地方の時代
第5回 岡崎洋・松沢成文と世紀転換期の県政
第6回 黒岩祐治県政と新しい課題
第7回 神奈川県政の特質～戦前戦後の神奈川県政治史のふりかえり
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
県政というのは、私たちの生活にとってちょっとなじみが少ないかもしれませんが、国と市町村の間にあってさまざまな広域的機能を果たす重要な自治体です。道州制、都構想、特別市制など、これまでの地方政治の基本構造の見直しが議論されている昨今、あらためて県というものの歴史的な特色を具体的に学んでください。
【受講前の準備学習等】
神奈川県のホームページで、県政の歴史、知事の名前と経歴など調べておきましょう。興味がある知事がいたら、ウィキペディアでもよいので、調べてみてください。
授業は参考文献にあげた講師の著書に依拠しています。できれば購入して授業内容について再確認してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『神奈川県の政治史―帝都の関門・首都圏の先進』（シリーズ：「戦後日本の地方政治」）（大西比呂志編著／法律文化社／¥3,000）
10月末の刊行予定です。購入希望者は著者引きの価格で教場で講師から直接頒布します。

科目コード	2693860	**授業概要**	**【授業内容】** 私たちは、学校以外でも国語を学んでいますが、本授業では、学校での「国語」の授業を中心に、歴史的な視点、社会的な視点、メディア（教科書を含む）という視点などから、「国語」を学ぶことに光を当てて、その意味を、皆さんの経験も織り込みつつ、考えてみたいと思います。学校の「国語」の授業が嫌いだった、苦手だったという人、そしてもちろん好きだった、得意だったいう人など多様な経験をもつ皆さんとともに「国語」を学ぶことについて考えていきます。 **【到達目標】** 「国語」を学ぶことについて考えるための多様な視点を知り、自分の経験も踏まえつつ、「国語」を学ぶことの意味について説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 私たちは、今、どこに立っているのか？ 第2回 デジタル活用と国語の学習 第3回 国語力、読解力とは何か？ 第4回 国語力、読解力が低いと何に困るか？ 第5回 国語教育小史～様々な学力調査も踏まえて～ 第6回 私たちは、国語教科書で何を学んできたのか？ 第7回 国語力向上のために　～読解力、語彙力を中心に～ 第8回「国語」を学ぶことの意味　～まとめ～ **【学生へのメッセージ】** これまでは、授業が好きか嫌いか、テストが得意か苦手かくらいしか、「国語」を学ぶことについて考える機会はなかったかもしれません。ですが、「国語」を学ぶことは、テストの問題だけでなく、当たり前ですが、私たち個人の、そして社会のアイデンティティの問題などとも深く関係しています。「国語」の教科書で何を学んだか思い出しつつ（手元に教科書がある人は実際に眺めてみたりして）、授業に参加してください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**「国語」を学ぶこと**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	タカギ　マサキ 髙木　まさき 横浜国立大学名誉教授／ （公財）教科書研究センター統括研究監		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・「他者」を発見する国語の授業（髙木まさき／大修館書店／¥2,200／ISBN=9784469221558） ・情報リテラシー　言葉に立ち止まる国語の授業（髙木まさき／明治図書／¥2,200／ISBN=9784183274199） 古書でしか購入できません。その場合は定価より高額のようです。
			【その他（特記事項）】 実際に教科書を見たい人は次を参考にしてください。 ・（公財）教科書研究センター附属教科書図書館（江東区千石）。戦後の小中高校の検定教科書の多くを閲覧することができます。ホームページで、開館日や予約方法などを確認し、必要な手続きをしてください。 ・国立国会図書館国際子ども図書館（台東区上野）。過去10年分程度の教科書を所蔵。ホームページで開館日や必要な手続きなどを確認してください。

科目コード	2693879
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**都市の歴史を再考する**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	55名
担当講師	クレヌマ　ノリヒサ 樽沼　範久 横浜国立大学教授
日程 実施時間	12月11日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月18日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
飛鳥時代の藤原京や奈良時代の平城京だけでなく、縄文時代にも都市はあったのでしょうか。しかも三内丸山遺跡のような巨大集落に限らず。「都市」は「都」+「市」とすれば、半分は国家に関連しているのかもしれません。しかし別の半分は国家どころか、現代都市がそうであるように、定住や農耕がなくても成立しそうです。にもかかわらず、これまでの都市史は国家を前提にしすぎてきたのではないでしょうか。こうした疑問から出発して本講義では、(都市の通史ではなく) 現在に至る都市の歴史を再考する視座を構築していこうと思います。

【到達目標】
世界人口の半数以上が都市に住み、2050年には…と言われるほど、都市化した人間世界がますます広がっていく気配の現在、人類史のなかで都市とは果たして何だったのか、そして都市の未来はどうなっていくのか、どうなる必要があるのか、といった問いに対して、あらためて都市の歴史を再考する視座から接近できるようになることを目標とします。

【授業テーマ】
第1回 柳田国男『都市と農村』などから都市の歴史を考えなおす
第2回 今西錦司『人間社会の形成』などから都市の歴史を考えなおす
第3回 考古学的・人類学的・哲学的知見から都市の歴史を考えなおす (1)
第4回 考古学的・人類学的・哲学的知見から都市の歴史を考えなおす (2)
第5回 ジェイン・ジェイコブズ『都市の原理』などから都市の歴史を考えなおす
第6回 アンリ・ルフェーブル『都市革命』などから都市の歴史を考えなおす
第7回 都市の未来はどうなっていくのか、どうなる必要があるのか (1)
第8回 都市の未来はどうなっていくのか、どうなる必要があるのか (2)

【受講前の準備学習等】
講義は当日の配布資料や投影資料をもとに進めますが、都市史や古代文明に関する書籍などを事前に読んだり、調べものをしておいてください。講義の理解が深まるはずです。なお、二日目に向けては一日目の配布資料や自身のノートを復習してください。併せて、二日目に提出するレポートの準備を開始することを薦めます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「この講義への応答、この講義を媒介に考えたこと」になります。

【受講者が当日用意するもの】
(配布資料や自分のノートに記入するための) 筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・NHK　3か月でマスターする　古代文明　10月号 (関雄二、三宅裕、常木晃、津本英利、河合望／NHK出版／¥1,430／ISBN=9784142288915)
2025年放送のテキスト。巻末の「おすすめ書籍紹介」も参考になります。
・NHK　3か月でマスターする　古代文明　11月号 (関雄二、小茄子川歩、中村慎一、久米正吾、周藤芳幸／NHK出版／¥1,430／ISBN=9784142288922)
2025年放送のテキスト。巻末の「おすすめ書籍紹介」も参考になります。
・NHK　3か月でマスターする 古代文明 12月号 (関雄二、小野林太郎、青山和夫、坂井正人、小茄子川歩／NHK出版／¥1,430／ISBN=9784142288939)
2025年放送のテキスト。巻末の「おすすめ書籍紹介」も参考になります。

科目コード	2693887
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**イギリスの多言語社会と地域言語**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	32名
担当講師	ヨネヤマ　ユウコ 米山　優子 静岡県立大学
日程 実施時間	12月18日(金) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 12月19日(土) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 12月20日(日) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 12月23日(水) 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～14:50 試験・レポート等 14:50～15:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
イギリスの言語状況を概観し、ことばと社会の関係や話者のアイデンティティについて考察する。イギリスの言語政策、ことばを取り巻く環境の変化、優勢言語と少数派言語の並存状況、コミュニティ言語の定着、地域言語の維持・発展に向けた取り組みなどを取り上げる。
【到達目標】
イギリスの多言語状況について、ヨーロッパの諸言語の状況と照らし合わせながら把握し、その特徴を社会におけることばの役割と関連づけて理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イギリスの言語概況：英語以外の言語の存在
第2回 イギリスの言語政策
第3回 ウェールズ語の状況
第4回 コーンウォール語の状況
第5回 マン島語の状況
第6回 スコットランド・ゲール語の状況
第7回 スコッツ語の状況
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・イギリス文化事典（イギリス文化事典編集委員会（編）／丸善出版／¥22,000／ISBN=9784621088647）

科目コード	2693895
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**ロボット教材による自動運転演習**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	スギウチ　ハジメ 杉内　肇 放送大学非常勤講師 オカヤス　カズト 岡安　和人 横浜国立大学技術専門職員
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
モノレール等で実現していた自動運転技術はバスや自家用車にも応用されつつあります。本講義ではロボット教材を利用して初歩の自動運転の仕組みを講義と演習を通じて学びます。(演習はグループ単位で行います。)
レゴ教材を利用してプログラミングの初歩を学びます。フローチャートを通じて配列、条件分岐、繰り返し処理等を学び、自動運転のためのプログラミングの考え方（アルゴリズム）を理解することを目標とします。

【到達目標】
・プログラムの制御構造を理解し、内容を説明できる。
・各センサーの役割を理解し、設定値を適切に与えてプログラムを作成できる。
・与えられた課題に対し、適切なプログラムを作成できる。
・プログラムがエラー等で動作しないことに対し、原因を探求し、動作可能なプログラムに修正できる。

【授業テーマ】
第1回 ロボット教材を使ってみよう（デモ＋演習）
第2回 センサーを使ってみよう（講義＋演習）
第3回 フローチャートでアルゴリズムを視覚的に理解する（講義＋演習）
第4回 トレーニングロボットを組み立てて動かしてみよう（演習）
第5回 自動運転を行うには（講義＋演習）
第6回 自動運転のプログラミング（ライントレース、自動ブレーキ）（演習）
第7回 いろいろな自動運転のプログラミング（演習）
第8回 自動運転でロボットを走らせてみよう（演習）

【学生へのメッセージ】
ロボット教材のプログラミングはアイコン操作を主体としているため、見た目にわかりやすく、プログラミングが容易なのが特徴です。本講義を通じてプログラミングを学ぶきっかけとなることを期待します。

【受講前の準備学習等】
放送大学自己学習サイト（システムWAKABAより利用可）でリメディアル数学（1次方程式と連立方程式、1次不等式）及びPCスキル教材（Windows11入門コース）の自己学習を行ってください。

【成績評価の方法】
成績評価は、レポート、グループワークでの成果、筆記試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・アルゴリズム入門（改訂版）（大谷紀子、志村正道／コロナ社／¥2,420／ISBN=9784339024746）
・はじめてのセンサ技術（増田良介／東京電機大学出版局／¥2,310／ISBN=9784501115401）
・センサーのしくみ（谷腰欣司／電波新聞社／¥2,200／ISBN=9784885547621）
※上記3冊は、本科目の内容より進んだ知識を得たい場合の参考書です。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2693909
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**IoT実践入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	18名
担当講師	ジョ　コウゲン 徐　浩源 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この講義は、IoT（Internet of Things）の基礎を取り扱っており、ネットワークやデジタル化とIoTの要素の相互作用により、組織、ビジネス、政府機関、および業界にどのように価値がもたらされるのかを包括的に概観します。受講者は、シミュレーションツールPacket Tracerで以前は接続されていなかったデバイスがどのように接続され、IoTシステムで重要な役割を果たしているのかを学習します。本講義は、IoTにおけるIT職種の役割と責任、および受講者が自分独自のIoTの職務を作成する方法を理解するのに役立ちます。
【到達目標】
1）社会のデジタル化によるDXとIoTとの関係を理解できること
2）IoTによるデータの生成、処理が必要になるため、クラウドコンピューティング、フォグコンピューティング、エッジコンピューティングについて理解すること
3）IoT機器とセンサーなどと連携して生活や仕事に利便性をもたらす仕組みを理解すること
4）シミュレーションソフト（Cisco Packet Tracer）の初歩的な操作によるIoT機器とセンサーの連携をルール設定やプログラミングによる実現できることを理解すること
5）講義の宿題と課題を積極的に参加し基本的な内容を理解と説明できること
【授業テーマ】
第1回 デジタル変革ですべてのもの（IoT）が接続される（Packet Tracerの導入）
第2回 すべてのものがプログラム可能になる（Packet Tracerの練習）
第3回 すべてのものがデータを生成する（IoTによるビッグデータの処理）
第4回 すべてのものを自動化できる（Packet TracerによるIoTディバイスの配置と操作）
第5回 すべてのものを保護する必要がある（スマートホームの探検と実践）
第6回 IoTの概要まとめとIoT課題の説明（質疑とグループワーク・ブレインストーミング）
第7回 グループワークによるIoTスマートホームの実践
第8回 グループワークIoT実践のプレゼン
【学生へのメッセージ】
講義の履修のため、ネットワークやPCの初期設定の基本知識とスキル（家庭等WiFiアクセスポイントの利用、IPアドレス、ゲートウェイの設定）、初級プログラミングの知識と理解が必要。講義参加の際にPC（Windows/Mac）を持参してください。講義中の練習と講義後の復習・練習のため、自分のPCにCisco Packet Tracerをインストールして利用できることが必須。講義教材の登録にgmailなどを事前に用意してください。（キャンパスメールアドレスでも可）
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。とくに基本的なIT用語・概念、例えば、ルータ、スイッチ、IoT、センサー、IPアドレス（ネットマスク）、ゲートウェイ、WiFi/アクセスポイントなど、できるだけ事前にインターネットやAIツール（ChatGPTなど）を利用して調べておいてください。
持参PCをインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
PCのセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス駆除ソフトも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
講義内容に関するクイズ練習と理解度チェックモジュール試験、グループワーク課題の取り組みの結果による総合評価

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
BYODのため必ずご自分のPC（Windows/Mac）を持参してください。
2．OSの指定：Windows/Mac
3．ソフトのインストール
シミュレーソフトCisco Packet Tracerのインストールを行います。
実習用のシミュレーションソフトPacket Tracerのインストール方法は、講義中に説明する予定です。
4．その他
ブラウザについては、最新版のChromeあるいはEdgeであればよいです。
シミュレーションソフトPacket Tracerは、ChromeとEdgeが動作するPCのOS（Windows/Mac）を対象とします。
【教科書】
・IoTとDX入門（Introduction to IoT and Digital Transformation）（Cisco Networking Academy／Cisco Networking Academy／¥0）
この教材はCisco networking academyのオンライン教材のため、講義初日に各自のメールアドレスによるアカウントの登録により、無料でオンラインにて利用可能になります。

【その他（特記事項）】
本講義はオンライン教材（Cisco Networking Academy）を利用しますので、自分のgmailあるいはキャンパスメールのアドレスが利用できることについて必ず事前に確認してください。オンライン教材の利用登録のためにメールアドレスが使われます（キャンパスメールアドレス以外、個人用のメールアドレスを使用しても構いませんが、講義前/講義開始時の申告によって教員が登録を行います）。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2693917	授業概要	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 「データ処理ができるから何かができる、のではなく何かをしようと思ったときにデータを処理できるからできることがある」そう思えるようになりましょう。 自分に必要なデータの管理と処理の手段を見極め、研究などに活かせるように理解を深める方法の修得を目指します。 コンピューターでの実習を中心に行い、実際にデータを処理しながら様々なデータやデータ形式について理解を深めていきます。 **【到達目標】** その場その場でデータと情報の違いが何となくでも分かる。理想的にはそれを言葉で表現できるようになる。 自分に必要なものが何であり、それを得るための処理方法や手順を考え、決めることができるようになる。 多くの場合データベースを基準に考えるが、不要であると判断できるなら全く別の方法を選ぶ決断ができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 基礎となる技術 第2回 様々なデータ形式 第3回 データを扱う 第4回 データベースでデータを管理する 第5回 データ構造の設計 第6回 データ操作 第7回 オープンデータの取り扱い 第8回 ビッグデータの概念 **【学生へのメッセージ】** ビッグデータやオープンデータなどデータという言葉が使われる場面は少なくありません。これらを理解できていますか？ 自分には無関係と思う人も是非積極的にこの知識を身につけに来てください。 **【受講前の準備学習等】** 講義ではプログラムを組むのでプログラミング経験者を想定しています。 またターミナル（macOS）やコマンドプロンプト（Windows）などを使用する予定です。授業内で解説しますが、起動方法などを確認しておいてください。 あとは自分なりに色々と想像しながら講義に臨んでください。 インターネットへの接続を予定しています。 学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 Wi-Fi などの設定や切り替えは、基本的に各自行ってもらいます。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**データ処理入門**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	22名		
担当講師	アマノ　ヒデアキ 天野　英明 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月5日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 講義中の温度調節のために、必要と思う人は上着などを用意すると良いかも知れません。 1．持参する端末 各自パソコンを持参し、それを使用して実習を行います。 2．OSの指定 OS は Windows 及び macOS を想定しています。その他の OS を使用したい場合は基本的に自分で対応してもらうことになります（教室で講師への相談や確認は可能）。各OSのバージョンは問いません。 3．ソフトのインストール 使用するソフトウェアや環境については授業時間内に解説しますが、データベース操作とスクリプトプログラミング言語でのプログラミング及び実行を行う予定です（状況により変更する場合あり）。 4．その他 自分のパソコンのインストールや実行に必要な情報（管理権限のあるアカウントとそのパスワードなど）は把握しておいてください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2693925	授業概要	**【授業内容】** 人工知能（AI）は人工的に作られた知能で、記憶や学習、推論、判断など高度な作業に必要な人間のような知的処理を行うシステムです。AIは第４次産業革命の実現を支える科学技術と言われており、AIの問題の解決、AIの具現化、AIの活用の社会におけるニーズは高く、AIの知識を身につけることはあらゆる分野で重要になっています。とりわけ、生成AIの有効活用は効率性や生産性の向上、新たな価値創出のために不可欠です。本授業では、AI技術を用いた身近な事例を取り上げながら、AIの歴史、基本となる技術、先端技術の概要と動向、実社会での応用について学びます。 **【到達目標】** AI技術の実用的なスキル習得に進むための基礎を築くために、AIの本質を正しく理解し、AIの基本技術、AIが発展してきた過程および最新動向について説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 AIの歴史：AIが辿ってきた道と今 第2回 AIの学習メカニズム 第3回 AIの代表的な学習手法 -身近な問題にAIを適用してみよう- 第4回 AIの中核技術：機械学習 第5回 AIの中核技術：ディープラーニング 第6回 AIとゲーム －どのようなAI技術を使いゲームAIは強くなったのか？－ 第7回 生成AI　－何ができる？何に使う？急速な進化と広がり－ 第8回 AIの応用と未来 **【学生へのメッセージ】** 昨今注目を集めている人工知能（AI）について、身近なところで活用されるAIを例に基礎と最新のAI技術の理解を深め、AIの全貌を学びます。先端技術を紹介するため、講義内容には難易度が高い内容が一部含まれます。 **【受講前の準備学習等】** 専門的な内容は講義で解説しますが、シラバスの内容から判断して、基礎的なデータ処理や確率統計の手法、微分・積分などについて自己学習に努めてください。また、AIや情報処理に関する用語をインターネット等で調べておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、レポートの評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**人工知能の基本と応用 －入門編－**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	スギモト　チカ 杉本　千佳 横浜国立大学准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～17:20 11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:35～13:05 第３時限 14:05～15:35 第４時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2693933
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**VBプログラミング入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	カナダ　トオル 金田　徹 関東学院大学教授
日程 実施時間	12月6日(日) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月13日(日) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 12月20日(日) 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～14:50 試験・レポート等　14:50～15:35
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】・【受講者が当日用意するもの】・【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

自身のPCにインストールしたVisual Basicの環境を利用して比較的簡単なWindowsフォームアプリケーションを開発します。その過程において、PC・Visual Basicの基本的操作を身につけます。簡単な例題を対象にしてプログラミングの基本を学んだ後に、課題のプログラミングに取り組みます。

【到達目標】

(1) 最新版のVisual Studio Community（無償版）を自身のPCにインストールできるようになります。
(2) その中の一つの開発環境であるVisual Basicの基本的操作が可能になるようにします。
(3) コンピュータ処理させたい内容の流れ（フローチャート）をまとめることができるようなります。
(4) 処理内容の流れに基づいて、基本的な処理命令（文字表示・加減乗除演算・判断および繰り返し・配列）を使用して、プログラム（プロジェクト）を開発できるようになります。

【授業テーマ】

第1回 最新版Visual Studio Community（無償版）のインストール、Visual Basicの起動
第2回 アルゴリズムおよびフローチャート、変数の概念、文字表示（コンソールアプリケーション）
第3回 Windowsフォームアプリケーションによる開発手順、ツールボックス・プロパティ操作、簡単なプログラム（プロジェクト）の入力
第4回（Windowsフォームアプリケーションによる）変数・加減乗除・文字表示（例題および練習問題）
第5回（Windowsフォームアプリケーションによる）条件分岐（例題および練習問題）
第6回（Windowsフォームアプリケーションによる）繰り返し（例題および練習問題）
第7回（Windowsフォームアプリケーションによる）配列（例題および練習問題）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】

プログラミング言語は、習うより慣れろということもあり、デバッグ（文法上・実行上のエラー修復）作業も含めた繰り返しの経験が、スキルを向上させる基本です。

【受講前の準備学習等】

PCの最低限の基本的操作（キー入力、マウス操作、ファイル操作、フォルダ操作）ができることです。
必要に応じて、インターネットに接続します。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンク内にある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等の最新のセキュリティ修正プログラムを適用しておいてください。また、ウイルス定義ファイルも必要に応じて適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
ノートPCを、毎回持参していただきます。
2．OSの指定
WindowsOS（Windows11）
3．ソフトのインストール
最新版のVisual Studio Community（無償版）を、第1回目の授業時間内にご自身のWindowsOSのPCにインストールしていただきます。Microsoftアカウントをおもちでない場合は、事前に当該アカウントを入手（登録）しておき、登録したメールアドレス・パスワードを失念しないようにしてください。また、参考までに、インストールの仕方に関する説明書を、次のGoogleDriveに置いてありますが、各履修者のインストール後の状況が異なることを避けたいので、事前にインストールしないでください。
https://drive.google.com/file/d/17jyYS1r6T_wMH002QDniK5Jv5kjXjF6q/view?usp=drive_link
4．その他
授業で使用するプレゼンファイルをUSBメモリー経由で提供することがあります。最終回の試験で開発したプロジェクトは、講師が用意するUSBメモリーに保存して、提出していただくことがありますので、USBインタフェースが少なくとも一つは空いている状態にしておいてください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・実習Visual Basic最新版　だれでもわかるプログラミング（林直嗣、児玉靖司／サイエンス社／¥2,310／ISBN=9784781913339）
・Visual Basic入門（朝井淳／技術評論社／¥2,970／ISBN=9784297140250）

【その他（特記事項）】

充電を完了したPCと、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
PC等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員は基本的には対応しませんので、ご自身で解決する必要があります。場合によっては、講師がサポート・アドバイスすることがあります。
なお、WindowsOS以外のPC（たとえば、Windowsエミュレータを搭載していないMacPC）の持込み、PC等の故障や必要なソフトウェアをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2693941
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**三浦半島北部の地層と化石**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	マジマ　リュウイチ 間嶋　隆一 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
三浦半島北部には270万年前から50万年前に海に堆積した上総層群が分布しています。上総層群は220万年間の南関東周辺の地球科学的事件を記録しています。最近上総層群の地層に複数回の地球磁場の逆転が見つかりました。また、メタンの海底面からの染み出しに依存した大型二枚貝からなる化石群集などが産出が知られています。授業では、上総層群の地球科学的意味、地層の見方、化石の見られる場所などを紹介し、これらの地層や化石から分かる過去の三浦半島の古環境を解説します。
【到達目標】
私たちの住む横浜を含む三浦半島北部の地層や化石の産出する場所と、それらの地球科学的意味を知ることにより、過去数百万年間の関東地方の環境変遷を理解し、他者に説明することができるようになる。また、授業で紹介する地層や化石の産出する場所に行き、その意味を他者に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 関東地方の地球科学
第2回 三浦半島北部で観察される地球磁場の逆転
第3回 瀬上市民の森に露出する地層と化石
第4回 メタン湧水と化学合成群集
第5回 メタンハイドレートと地球環境
第6回 地層の話
第7回 陸棚堆積物
第8回 生物擾乱
【学生へのメッセージ】
横浜市の北部の地層や化石の産出する場所とその意味を解説します。身近な場所にある地層や化石の意味を学び、是非見学に出かけてみてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・古生物学入門（間嶋隆一、池谷仙之／朝倉書店／¥3,300／ISBN=9784254162745）
　この本は古本でしか入手できない可能性があります。

科目コード	2693950
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**環境再生型農業**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	55名
担当講師	カネコ　ノブヒロ 金子　信博 島根大学生物資源科学部客員教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
農地を耕さずに栽培をする不耕起栽培が世界中で拡大している。この農法は土壌に二酸化炭素を吸収できるので、気候変動対策になるとして「環境再生型農業」と呼ばれることもある。「環境再生型農業」の実態と利点、欠点について学び、環境にも人の健康にもよい農法のあり方について考える。
【到達目標】
持続可能で環境にも人の健康にもよい農法について、理論的に理解し、グリーンウオッシュの言説を区別できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 現代農業の現状と問題点
第2回 耕さない農業の拡大
第3回 生態系の物質循環
第4回 土壌生態系の生物多様性
第5回 土壌生態系の生態系サービス
第6回 保全農法の原理と実践
第7回 これから始める持続可能農業
第8回 人の健康と土壌の健康、まとめ
【学生へのメッセージ】
「環境再生型農業」「リジェネラティブ農業」など耳にやさしい新しい農法の話をよく聞くようになりました。農業は高度に発展したシステムなので、生産者でも消費者でもこのような農法について判断することが難しくなっています。環境も人の健康も守るには、土壌の生態系を健全にすることが大前提です。土壌生態学を基礎として、私たちの食を守る方法について学んでください。
【受講前の準備学習等】
コメが高くなって家計を圧迫すると言われますが、実は私達はコメよりコムギを多く消費しています。日本は食料自給率が低く、農業人口も激減しています。輸入品が安く、国産が高い理由は、海外での生産にも、日本の生産にも無理があるからです。海外で安く生産できる理由、日本で生産コストが高い理由について、メディアや書籍で調べてください。
また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
スマートフォンをご持参ください。土壌の健康度の指標のひとつである耐水性団粒の測定を体験します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ミミズの農業改革（金子信博／みすず書房／¥3,300／ISBN=9784622096405）
・耕さない農業入門講座（農文協編／農文協／¥2,200／ISBN=9784540251450）

科目コード	2693968
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**生物の世界**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	キクチ　トモヒコ 菊池　知彦 横浜国立大学名誉教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月5日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月12日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 11月19日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
地球には多種多様な生命が分布し、その営みはヒトの生活のみならず、地球環境や地球生態系にも大きな影響を与えています。その一方、生物の世界には未解決の問題も多く残されています。本講では地球に分布する生命を細菌、原生生物、菌、植物、そして動物の５つの生物世界に分け、生物世界の大枠を概観し、その中で未解決とされる問題も見たいと思います。最後には最新の科学が示す新たな生物の世界（枠組み）についても紹介します。
【到達目標】
地球上に分布する生物の枠組ついて、生命進化の歴史を踏まえて、その概要を理解するとともに生物学に残されている未解決問題についても説明することが出来る。
【授業テーマ】
第1回 生物の世界　生命の体系と生物学上の未解決問題
第2回 生物の世界　生命の体系と生物学上の未解決問題　つづき
第3回 地球誕生から生命誕生まで
第4回 菌の世界と真核生物、生命の連続性
第5回 原生生物の世界・菌類の世界
第6回 菌類の世界
第7回 植物の世界
第8回 動物の世界と新しい生物の世界の枠組み
【学生へのメッセージ】
地球に分布する生命の歴史を地球の歴史とともに学びましょう。
地球に誕生した生命の進化と枠組みの変遷を学びながら地球の生物多様性を考えてみましょう。
多種多様な生命の世界を学びながら、人類がどうやって豊かな地球生命圏を守り育てて行くかも考えてみましょう。
毎回の講義テーマは授業の進捗により変更することがあります。
【受講前の準備学習等】
地球誕生とその後の地球の歴史、地球環境の変化・変遷、地球生命の誕生と進化、生物多様性、そして生物学上の未解決問題に関する図書や図鑑等を見て、あなたの疑問点（なぜ？）を挙げておいてみましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。
講義に必要な資料（講義プリント等）は授業当日に配布します。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・五つの王国（マルグリス、シュバルツ著　川島･根平訳／日経サイエンス／¥7,743／ISBN=9784532062675）
・生命の跳躍（ニック・レーン著　斉藤隆央訳／みすず書房／¥4,620／ISBN=9784622075752）
・生命　最初の30億年　地球に刻まれた進化の足跡（アンドルー ・H・ノール／紀伊國屋書店／¥3,080／ISBN=4314009888）
・生物はなぜ誕生したのか　生命の起源と進化の最新科学（ピーター ・ウオード、ジョゼフ・カーシュビング／河出書房新社／¥2,420／ISBN=9784309253404）

【その他（特記事項）】
授業では毎回質問票を配り、講義終了時に回収します。
頂いた質問や意見は次回の講義の始まりで紹介し、議論するとともに、質問・意見への解説・回答も行います。

科目コード	2693976	授業概要	【授業内容】 物理実験を中心とする物理学史を辿り、力学の発達を俯瞰することで物理学の体系、特に古典力学の体系を学習します。加えて、物理実験を通して力学の基本法則に従う剛体の運動について理解を深めます。実際に行う物理実験では、ボルダの振り子と呼ばれる剛体の振り子運動と、転がる金属球を題材として使用します。目に見える日常の運動を理解するために、数式の理解だけでなく、実験を通して力学的エネルギーや運動量など力学の基礎を学習します。 【到達目標】 物理学の基礎であるニュートン力学について、運動の基本法則を実験を通して理解し、剛体の簡単な運動について説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 講義（物理の体系、運動の法則） 第2回 講義（剛体の運動、演習） 第3回 実験（力学的エネルギー保存則、運動量保存則、ボルダの振り子）1 第4回 実験（力学的エネルギー保存則、運動量保存則、ボルダの振り子）2 第5回 実験（力学的エネルギー保存則、運動量保存則、ボルダの振り子）3 第6回 実験（力学的エネルギー保存則、運動量保存則、ボルダの振り子）4 第7回 実験（力学的エネルギー保存則、運動量保存則、ボルダの振り子）5 第8回 データ整理、検討 【学生へのメッセージ】 動きやすい服装で参加してください。 三角関数やその逆関数を電卓で計算できるように準備しておくこと。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。放送大学教材「力と運動の物理」では10章までの範囲に相当します。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**物理実験で学ぶ 力学とエネルギー**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	16名		
担当講師	ヤマモト　イサオ 山本　勲 横浜国立大学名誉教授／放送大学客員教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		【受講者が当日用意するもの】 ノート、筆記用具、レポート用紙（A4・罫線の有無は問わない） 電卓（スマートフォンで代用可）に加え、あれば表計算用パソコン 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・力と運動の物理〔改訂新版〕（岸根順一郎、松井哲男／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595319655） 放送大学教材 ・物理学実験（六訂）（吉田卯三郎ほか／三省堂／¥1,815／ISBN=9784385341460）
			【その他（特記事項）】 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693984
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**身近な水を調べる：水質分析**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オオヤ　マサル 大矢　勝 横浜国立大学名誉教授／放送大学客員教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
水は私たちを取り巻く環境中で最も身近な物質です。その水をテーマに、その性質を化学的な視点で理解します。具体的には水の性質としてpH、酸化還元電位、硬度、有機汚濁負荷等を取り上げて、その理論と分析方法を学びます。簡単な実験を行うことにより化学分析についてより理解を深めます。
【到達目標】
水の性質の中で、pH、ORP値、硬度、CODとはどのようなものか、それぞれの測定方法にはどのようなものがあるかを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 酸と塩基（アルカリ）の測定方法とその原理
第2回 実験：各種水のpH測定
第3回 酸化還元電位の測定方法とその原理
第4回 実験：各種水のORP（酸化還元電位）測定
第5回 水の硬度の測定方法とその原理
第6回 実験：試験紙と泡立ち法による水の硬度の測定
第7回 水の有機汚濁負荷の測定方法とその原理
第8回 実験：各種水のCOD（化学的酸素要求量）の測定
【学生へのメッセージ】
より簡単に化学実験を経験することのできるツールを利用して、水の分析をテーマに化学実験を楽しみましょう。
【受講前の準備学習等】
pH、ORP、水の硬度、CODについて、それぞれどのようなものかイメージできる程度に調べておいてください。
また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況と講義時間に行う小テスト及び実験のミニレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
白衣持参が望ましいですが、白衣がない場合も汚れが付着してもよい服装で受講すれば問題ありません。また、動きやすく汚れてもよい靴を着用してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2693992
学習センター	神奈川学習センター
学習センターコード	14A
クラスコード	K
科目名	**神奈川・横浜の環境・防災総論**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	サドハラ　サトル 佐土原　聡 横浜国立大学名誉教授／放送大学客員教授
日程 実施時間	12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～12:20 試験・レポート等　12:20～13:05
実施会場	神奈川学習センター

授業概要

【授業内容】
神奈川・横浜には比較的高密度な都市域が広がっています。こうした都市域では、人が豊かさを実現する一方で自然環境、人工環境に起因し、それらが複合的に関わりあう環境問題や災害のリスクが高まっています。本講義では、主体である人間の視点から都市の環境問題・災害を総合的にとらえ、両者を適切にマネジメントするアプローチについて学びます。さらに、横浜・神奈川を主な対象として、突発性リスク（災害）に関わる地圏環境、進行性リスク（環境問題）に関わる水圏・気圏・生物圏環境に関するリスクとそのマネジメントを概説します。
【到達目標】
・私たちが暮らす都市において、持続可能性に関わる環境の多様な構成要素を、わかりやすく整理して説明することができる。
・都市における人工環境と、主に地圏環境との関わりから、災害を理解する。その理解をふまえて、持続可能な都市づくりの取組みの具体例を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：私たちと自然環境とのかかわりを整理する
第2回 居住環境の評価：安全性・健康性・利便性・快適性・持続可能性
第3回 環境の入れ子構造：人・建築・都市・地球と環境システム
第4回 地球環境問題・災害と都市の環境（地圏・水圏・気圏・生物圏・人間圏）
第5回 神奈川・横浜の地圏環境のリスクとマネジメント概説①
第6回 神奈川・横浜の地圏環境のリスクとマネジメント概説②、地理情報システム（GIS）
第7回 神奈川・横浜の水圏・気圏・生物圏環境のリスクとマネジメント概説
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
例えば、都市で日常のよい環境を形成している樹木が、災害時には火災延焼防止に役立つなど、環境によいものは防災にも役立つということがしばしば見られます。これは何故なのか。こうした身近な環境や防災に興味をお持ちの皆さんの受講をお待ちしています。
【受講前の準備学習等】
自己学習が可能なテーマは、ぜひそれに努めてください。自己学習がむずかしそうなテーマは、自分なりに考えをめぐらしてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・都市環境学（都市環境学教材編集委員会 編／森北出版／¥3,520／ISBN=9784627552524）
・都市の環境設備計画（日本建築学会（編）／森北出版／¥7,150／ISBN=9784627553514）

科目コード	2694000	**授業概要**	**【授業内容】** 授業の第１日目は、持参した豆腐からDNAを抽出します。第２日目は、抽出したDNAを鋳型にして組換え遺伝子をPCRで増幅・検出します。必ず「受講者が当日用意するもの」を確認してください。結果は紙媒体でお渡ししますが、データをお渡しすることはできませんのでご留意ください。 **【到達目標】** 一連の実験を通して、組換え遺伝子を検出する方法について理解することを到達目標とします。実験を成功させるだけではなく、DNAの基本や実験原理、また目に見えないものを扱う難しさについても理解を深めていただきたいです。 **【授業テーマ】** 第1回 DNAの構造・複製とPCR反応に関する講義 第2回 実験の説明 第3回 大豆及び豆腐からのDNA抽出 第4回 大豆及び豆腐からのDNA抽出 第5回 実験の説明 第6回 PCR反応によるDNA断片の増幅 第7回 アガロースゲルの作製と電気泳動 第8回 実験結果の整理と復習 **【学生へのメッセージ】** ①危険を伴い、非常に細かい作業が連続した実験ですので、説明をよく聞いてください。 ②基礎的な部分は概略しますが実験手順の説明に時間を取りますので、事前学習が必要です。 **【受講前の準備学習等】** 「真核細胞」、「DNA」、「タンパク質」、「PCR」について、ご自身の言葉で説明できるようにしておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、筆記試験の評点により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**組換え遺伝子を検出する**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	12名		
担当講師	オグラ　リエコ 小倉　里江子 横浜バイオテクノロジー株式会社・取締役研究開発部長		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～17:20 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:35～13:05 第３時限　14:05～15:35 第４時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	神奈川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ①スーパー等で購入した絹豆腐（1/５丁程度）と銘柄のわかるもの（パッケージ等） ②動きやすく汚れてもよい服（白衣・エプロン）・靴 ③（任意）カメラ付き携帯電話、デジタルカメラなど結果を撮影できるもの **【教科書】** 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694018	授業概要	【授業内容】 里山は生活に必要な資材を調達する場として集落で共同所有し、管理されてきた林です。里山にある技術から燃料、食料、農業資材、入会地を維持するための合議を学び、また里山の現代的価値として認識される生物多様性や公園への活用事例を見て、現代的意義について議論を交えながら考えます。 【到達目標】 この授業では里山の伝統的な管理技術を学び、自給的な集落経営の手法から現代につながる技術継承の意義を伝え、公園が整備される都市部で起こる里山保全活動から見える日本人と緑の関わり方について推察し、口述試験にて里山の技術が現代に活かせるポイントについて各自の意見を述べることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 里山とは何か　里山の伝統管理と現代里山の捉え方 第2回 里山の管理と技術　炭焼きの現場から 第3回 里山の管理と技術　農業との関わりと里山の衰退 第4回 里山の管理と技術　食べ物を作る・見つける 第5回 里山保全活動の勃興　生物多様性と里山 第6回 都市公園と里山　身近な自然としての里山 第7回 里山の管理と技術　入会地における合議と管理 第8回 里山の現代的意義 【学生へのメッセージ】 里山を通じて現代や将来に向けて役立つ技術や知恵を学びます。高度に都市化された生活の中で、私たちが手に入れた便利さと引き換えに忘れつつある自給的生活を見直してみましょう。各回で授業内容に沿った短時間のグループワークを実施します。 【受講前の準備学習等】 各自で「里山」が何を指す言葉であるのか調べるとともに、里山が残る場所を一か所訪ねてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業最後に行う口述試験により行います。
学習センター	神奈川学習センター		
学習センターコード	14A		
クラスコード	K		
科目名	**里山から見る 人と緑の現代的関係**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	30名		
担当講師	ナカジマ　トシヒロ 中島　敏博 東京工科大学講師		
日程 実施時間	1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～17:20 1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:35～13:05 第3時限　14:05～15:35 第4時限　15:50～16:35 試験・レポート等　16:35～17:20		
実施会場	この授業は、【1月9日（土）1～4時限と1月10日（日）3、4時限は神奈川学習センター、1月10日（日）1、2時限のみ★都筑中央公園（横浜市都筑区茅ヶ崎中央2260)】で行います。		【受講者が当日用意するもの】 5、6回目は都築中央公園を散策します。動きやすい服・靴で参加ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項)】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 各回でグループワークを実施します。必要に応じてご自身でマスクをご用意ください。学外授業の際にかかる交通費は個人負担となります。また、荒天などにより学外授業の実施ができなくなった場合には、神奈川学習センターでの授業を行いますので予めご了承ください。 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

[学習センター・サテライトスペース案内図]

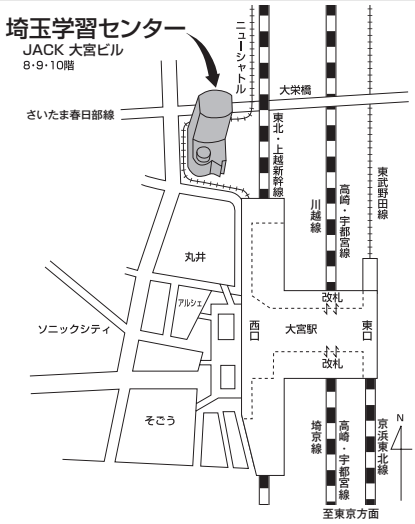
月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

埼玉学習センター

048-650-2611
FAX 048-650-2615

〒330-0853　さいたま市大宮区錦町682-2（JACK大宮ビル）

■大宮駅西口から徒歩５分

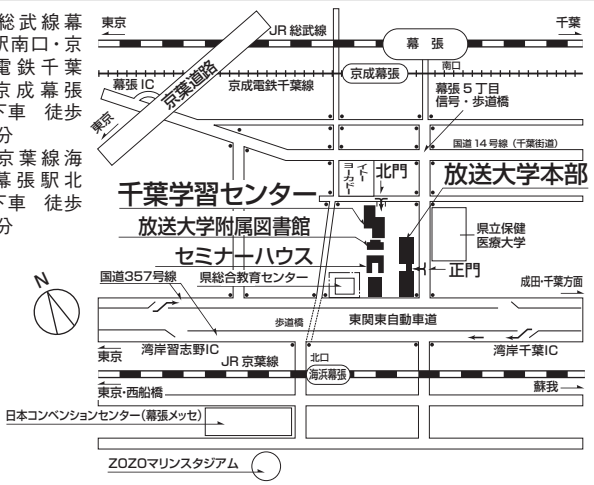


千葉学習センター

043-298-4367
FAX 043-298-4386

〒261-8586　千葉市美浜区若葉2-11（放送大学本部敷地内）

■JR総武線幕張駅南口・京成電鉄千葉線京成幕張駅下車　徒歩15分
■JR京葉線海浜幕張駅北口下車　徒歩15分

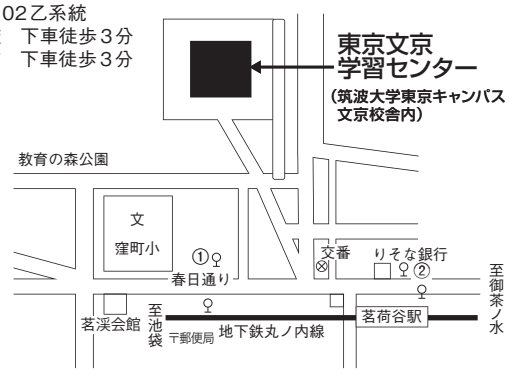


東京文京学習センター

03-5395-8688
FAX 03-5395-8681

〒112-0012　文京区大塚3-29-1

■地下鉄東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車（出口1）徒歩３分
■都営バス　都02系統
　都02乙系統
　①窪町小学校　下車徒歩３分
　②茗荷谷駅前　下車徒歩３分



東京足立学習センター

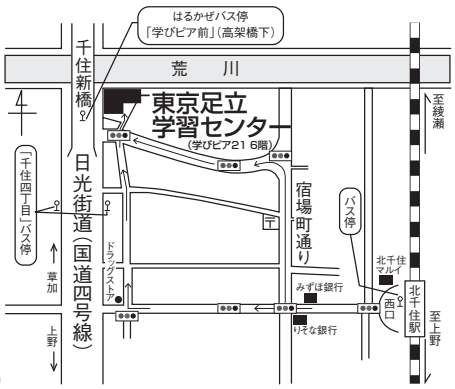
03-5244-2760
FAX 03-5244-2762

〒120-0034　足立区千住5-13-5（学びピア21（6階））

■≪電車≫
　北千住駅西口から徒歩15分
　利用可能路線：JR常磐線・東京メトロ（日比谷線、千代田線）、東武スカイツリーライン、つくばエクスプレス
■≪バス≫
●都バス
『千住四丁目』下車５分
（北47系統）
（北千住駅⇔
　足立清掃工場前）

●東武バス
『千住四丁目』下車５分
（北11系統）
（北千住駅⇔花畑車庫）

●足立コミュニティバス
　はるかぜ
『学びピア前』下車1分
（５号：北千住駅西側
　　地域循環）
（８号：小台・宮城循環）
（11号：堀之内・椿循環）

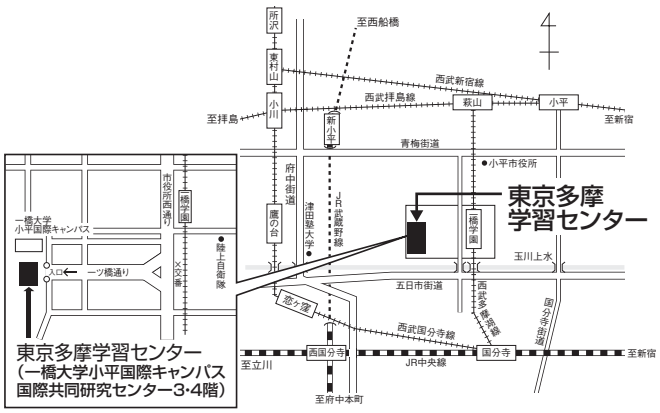


東京多摩学習センター

042-349-3467
FAX 042-349-3468

〒187-0045　小平市学園西町1-29-1（一橋大学小平国際キャンパス内）

■西武多摩湖線「一橋学園駅」下車　南口から徒歩約７分



東京渋谷学習センター

03-5428-3011
FAX 03-5428-3015

〒151-0052　渋谷区代々木神園町3-1（国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟5階）

■小田急線：参宮橋駅下車徒歩７分
■地下鉄千代田線：代々木公園駅下車徒歩10分
■京王バス：代々木５丁目下車徒歩１分



月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

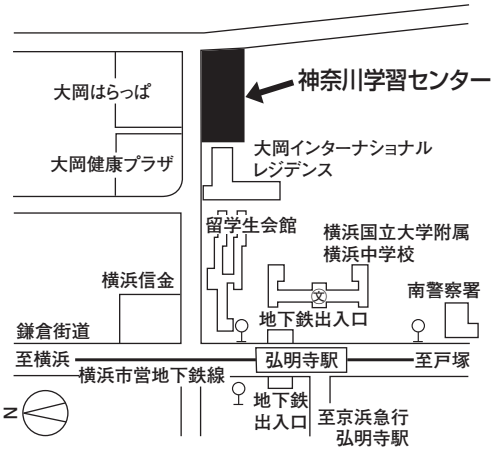
［学習センター・サテライトスペース案内図］

神奈川学習センター

〒232-8510　横浜市南区大岡2-31-1

TEL 045-710-1910
FAX 045-710-1914

■市営地下鉄弘明寺駅下車徒歩５分
■京浜急行弘明寺駅下車徒歩12分
■市営・神奈中バス「弘明寺」停留所下車　徒歩５分



MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

○複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

○提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考

放送大学